

埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第366集

さいたま市

清河寺前原遺跡

大宮西部特定土地区画整理事業地内
埋蔵文化財発掘調査報告

2009

独立行政法人 都市再生機構
財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団



1 石器集中8～18出土石器



1 石器集中8～18 黒曜石接合資料



2 石器集中8～18 ガラス質黒色安山岩等接合資料



1 石器集中8～18出土ナイフ形石器・台形様石器



2 遺跡遠景

清河寺前原遺跡の紹介

清河寺前原遺跡は、埼玉県南東部のさいたま市西区に所在します。遺跡は、大宮台地西縁部の滝沼川によって樹枝状に開析された台地上に立地しています。

清河寺前原遺跡の発掘調査は、複数回実施されています。本書は第1～4次調査の成果をまとめたもので、旧石器時代と縄文時代、近世の人々の生活の跡が見つかりました。

旧石器時代では複数時期の石器が見つかりました。特に大宮台地で発見例が少ない後期旧石器時代前半の石器（今から約30,000年前）が見つかり、直径約15mの範囲に環状に石器集中が並び、埼玉県では採取することのできない黒曜石が1,000点以上も石器に使われていました。出土品の整理を行った結果、細かく割られた黒曜石の多くが復元でき、原産地との交流が窺える貴重な資料を得ることができました。

縄文時代では早期（今から約7,000年前）の野外の炉跡が多く見つっています。

序

本県は首都東京に隣接し、高次の都市機能と交通利便性を備えながら豊かな自然にも恵まれております。さいたま市西区は、低地に水田が広がり、雑木林や屋敷林が多く残された緑豊かなまちなみが広がっています。

現在、独立行政法人都市再生機構により、J R川越線の北側の地域を対象にした、大宮西部特定土地区画整理事業が進められています。事業地内には平成15年にさいたま市西区役所が開設、平成21年3月14日にはJ R川越線の新駅「西大宮」駅が開業しました。都市と自然が調和した安心して暮らせる街づくりの推進とともに、活気に満ちた商業・業務施設の進出が期待されています。

大宮西部特定土地区画整理事業地内には、清河寺前原遺跡をはじめ多くの遺跡が知られており、埋蔵文化財の取扱いについては埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課（当時）が関係諸機関と慎重に協議を重ねてまいりましたが、やむを得ず記録保存の処置が講じられることとなりました。発掘調査は都市基盤整備公団（当時）の委託を受け、当事業団が実施いたしました。

発掘調査の結果、旧石器時代および縄文時代の遺構と遺物が多く見つかりました。特に、大宮台地では発見例が少ない後期旧石器時代前半の石器が多く出土しました。直径約15mの範囲に石器集中が環状に並んでおり、埼玉県では採取することのできない黒曜石片が1,000点以上見つかりました。その幾つかは原石のかたちかわかるまで復元でき、当時の大宮台地と黒曜石の産地との交流がわかる貴重な資料です。

本書はこれらの成果をまとめたものであります。埋蔵文化財の保護、普及・啓発の資料として、また、学術研究の資料として広く活用いただければ幸いです。

最後に、本書の刊行にあたり、発掘調査に関する諸調整に御尽力を頂きました埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課をはじめ、独立行政法人都市再生機構埼玉地域支社、さいたま市教育委員会並びに地元関係者の方々に深く感謝申し上げます。

平成21年11月

財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団
理事長 刈部 博

例言

1. 本書は、埼玉県さいたま市西区清河寺宇前原に所在する清河寺前原遺跡第1次～4次調査の発掘調査報告書である。

2. 遺跡の略号と代表地番、発掘調査届に対する指示通知は、以下のとおりである。

清河寺前原遺跡第1次 (SMEHR 1・2)

埼玉県さいたま市西区清河寺宇前原426番地他

平成13年4月9日付け 教文第2-130号

清河寺前原遺跡第2次 (SMEHR 1・2)

埼玉県さいたま市西区清河寺宇前原426番地他

平成13年8月10日付け 教文第2-51号

清河寺前原遺跡第3次 (SMEHR 2)

埼玉県さいたま市西区清河寺宇前原426番地他

平成14年4月17日付け 教文第2-1号

清河寺前原遺跡第4次 (SGJM 3)

埼玉県さいたま市西区清河寺宇前原426番地他

平成15年2月6日付け 教文第2-113号

3. 発掘調査は、大宮西部特定土地地区画整理事業に伴う埋蔵文化財記録保存のための事前調査であり、埼玉県教育庁生涯学習部文化財保護課(当時)が調整し、都市基盤整備公団(当時)の委託を受け、財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団が実施した。

4. 発掘調査・整理報告書作成事業はI-3の組織により実施した。

第1次調査は、平成13年3月1日から平成13年3月23日まで、木戸春夫・渡辺清志が担当し実施した。

第2次調査は、平成13年8月1日から平成14年3月22日まで、大木戸遺跡と併行して実施し、

西井幸雄・福田 聖・渡辺が担当した。

第3次調査は、平成14年4月4日から平成14年5月31日まで、細田 勝・西井が担当し実施した。

第4次調査は、平成14年12月24日から平成15年2月28日まで、鈴木孝之・安生素明が担当し実施した。

整理報告書作成事業は、平成20年10月1日から平成21年9月30日まで実施し、平成21年11月30日に事業団報告書第366集として印刷・刊行した。

5. 発掘調査における基準点測量は、平成12・13・14年度に中央航業株式会社に委託した。空中写真撮影は、平成13年度に株式会社東日本朝日航空に委託した。また、巻頭顔版の写真撮影は小川忠博氏に委託した。
6. 発掘調査における写真撮影は各担当者が行い、出土遺物の写真撮影は福田・西井が行った。
7. 出土品の整理・図版作成は主に西井が行ない、上野真由美・福田の協力を得た。
8. 本書の執筆は、I-1を埼玉県教育庁市町村支援部生涯学習文化財課、IV-3を上野、IV-4を福田が行い、その他は西井が行った。
9. 本書の編集は西井が行った。
10. 本書に掲載した資料は、平成21年12月以降埼玉県教育委員会が管理・保管する。
11. 発掘調査、本書の作成にあたり、下記の機関及び方々から御教示・御協力を賜った。記して感謝いたします。(敬称略)

さいたま市教育委員会

安斎正人 織笠明子 亀田直美 国武貞克

小菅将夫 佐藤宏之 田代 治 館野 孝

中村真理 中村雄紀 仲田大人 藤田征史

凡例

1. 遺跡全体におけるX・Yの数値は、日本測地系（旧測地系）、国土標準平面直角座標第Ⅳ系（原点北緯36°00′00″、東経139°50′00″）に基づく座標値を示す。また、各種図に記した方位は全て座標北を示す。

J9・A2グリッド北西杭の座標

日本測地系

X=-8400.000m Y=-22590.000m

北緯35°55′26″ 東経139°34′59″

世界測地系による変換数値

X=-8044.9544m Y=-22882.8625m

北緯35°55′38″ 東経139°34′47″

2. 調査区で使用したグリッドは、座標値X=-7500.000m、Y=-23500.000mを基準（A1・A1グリッド）とし、大宮西部特定土地地区画整理事業地内全域をカバーする100×100mの大グリッドを設定し、その中を10×10mの中グリッドに細分し設定した。
3. 大グリッドの名称は、北から南方向にアルファベット（A・B・C…）、西から東方向に算用数字（1・2・3…）を付し、アルファベットと算用数字を組み合わせた。中グリッドは北西杭を基準に北から南にA～J、西から東に1～10とし、100グリッドに区分けした。
4. 本書の本文、挿図、表中に記した遺構の略号は以下のとおりである。
- SB…掘立柱建物跡 SK…土壌 FP…ガ穴
SS…集石土壌 SD…溝跡 P…ビット・柱穴
5. 遺構番号は各地点で振っていたが、本書において第1～3地点の通し番号に振り替えた。新旧対照表を掲載した。
6. 本書における挿図の縮尺は、以下のとおりである。例外的なものについては、個別に示した。
- 遺構図面版
全体図…1/1,200、1/400、1/250

掘立柱建物跡…1/60 土壌…1/60

ガ穴…1/60 集石土壌…1/30

旧石器遺物集中部…1/60、1/80

溝跡、グリッドビット…1/200

遺構図版

純文土器実測図…1/4 純文土器拓本…1/3

石器…4/5、2/3、1/3 古銭…1/1

7. 遺構断面図に表記した水準数値は、海拔標高を表す。

8. 石器観察表の略号、単位は以下のとおりである。

石器器種

ナイフ形石器 (Kn) 台形碌石器 (Dk)

槍先形尖頭器 (Po) 掻・削器 (S)

石錐 (Dr) 敲石 (PT) 剥片 (F)

碎片 (T) 石核 (Co) 原石 (PC) 礫 (P)

石器石材

黒曜石 (Ob) ガラス質黒色安山岩 (GA)

トトロ石 (G.Da) 硬質頁岩 (H.Sh)

珪質頁岩 (C.Sh) 黒色頁岩 (B.Sh)

頁岩 (Sh) 流紋岩 (Rhy) メノウ (Ag)

玉髓 (Jas) 安山岩 (An)

ホルンフェルス (Ho) チャート (Ch)

砂岩 (S.S)

大きさはcmを単位、重さはgを単位とした。

断面形状

単剥離面 (単) 複剥離面 (複) 点状 (点)

線状 (線)

剥片石器は、自然面の残存率を4分割し下記のように表記した。

無 (0) 1/4 (1) 2/4 (2) 3/4 (3)

全面 (4)

10. 本書に使用した地形図は、国土地理院発行1/50,000地形図、都市計画図1/2,500、荒川流域地形分類図1/25,000を使用して、編集した。

目次

巻頭図版

序

例言

凡例

目次

I 発掘調査の概要	1	(2) 集石土壌	227
1. 発掘調査に至る経過	1	(3) 土壌	228
2. 発掘調査・報告書作成の経過	2	(4) グリッド出土遺物	230
3. 発掘調査・報告書作成の組織	4	4. 中世以降の遺構と遺物	236
II 遺跡の立地と環境	6	(1) 掘立柱建物跡	236
1. 地理的環境	6	(2) 土壌	236
2. 歴史的環境	7	(3) 溝跡	252
III 遺跡の概要	11	(4) ビット群	261
IV 遺構と遺物	14	(5) グリッド出土遺物	266
1. 概要	14	V 調査のまとめ	269
2. 旧石器時代の遺構と遺物	18	(1) 調査の成果	269
(1) 概要	18	(2) 第4文化層の石器群について	269
(2) 第1地点	20	(3) 環状ブロック群について	271
(3) 第2地点	34	(4) 環状ブロック群出土の石器	274
3. 縄文時代の遺構と遺物	223		
(1) 竪穴	223		

写真図版

挿 図 目 次

第1図	埼玉県の地形	6	第35図	石器集中8~18	43
第2図	周辺の遺跡	8	第36図	石器集中8~18土層断面図	44
第3図	大宮台地西部の旧石器時代遺跡	9	第37図	石器集中8(1)	45
第4図	清可寺前原遺跡調査地点位置図	11	第38図	石器集中8(2)	46
第5図	大宮西部特定土地区画整理事業地内の 遺跡分布	12	第39図	石器集中9(1)	47
第6図	基本土層	13	第40図	石器集中9(2)	48
第7図	清可寺前原遺跡全体図・区割図	14	第41図	石器集中10	49
第8図	遺跡全体図(1)	15	第42図	石器集中11(1)	50
第9図	遺跡全体図(2)	16	第43図	石器集中11(2)	51
第10図	遺跡全体図(3)	17	第44図	石器集中12(1)	52
第11図	遺跡全体図(4)	18	第45図	石器集中12(2)	53
第12図	旧石器調査区	19	第46図	石器集中13(1)	54
第13図	第1地点遺物分布図	21	第47図	石器集中13(2)	55
第14図	第1地点土層断面図	22	第48図	石器集中14(1)	56
第15図	石器集中1・出土石器	23	第49図	石器集中14(2)	57
第16図	石器集中2(1)	24	第50図	石器集中15(1)	58
第17図	石器集中2(2)	25	第51図	石器集中15(2)	59
第18図	石器集中2出土石器	26	第52図	石器集中16(1)	60
第19図	石器集中3(1)	27	第53図	石器集中16(2)	61
第20図	石器集中3(2)	28	第54図	石器集中17(1)	62
第21図	石器集中3出土石器(1)	29	第55図	石器集中17(2)	63
第22図	石器集中3出土石器(2)	30	第56図	石器集中18	64
第23図	石器集中4(1)	31	第57図	エリアI(1)	66
第24図	石器集中4(2)	32	第58図	エリアI(2)	67
第25図	石器集中4出土石器	33	第59図	エリアII(1)	68
第26図	単独出土	34	第60図	エリアII(2)	69
第27図	グリッド出土石器	34	第61図	エリアIII(1)	70
第28図	第2地点遺物分布図	35	第62図	エリアIII(2)	71
第29図	第2地点土層断面図(1)	36	第63図	石器集中8~18出土石器(1)	73
第30図	第2地点土層断面図(2)	37	第64図	石器集中8~18出土石器(2)	74
第31図	石器集中5・出土石器	38	第65図	石器集中8~18出土石器(3)	75
第32図	石器集中6	39	第66図	石器集中8~18出土石器(4)	76
第33図	石器集中6出土石器	40	第67図	石器集中8~18出土石器(5)	77
第34図	石器集中7・出土石器	41	第68図	石器集中8~18出土石器(6)	78
			第69図	石器集中8~18出土石器(7)	79

第70回	石器集中8-18出土石器(8)	……80	第107回	石器集中8-18接合石器(10)	……120
第71回	石器集中8-18出土石器(9)	……81	第108回	石器集中8-18接合石器(11)	……121
第72回	石器集中8-18出土石器(10)	……83	第109回	石器集中8-18接合石器(12)	……122
第73回	石器集中8-18出土石器(11)	……84	第110回	石器集中8-18接合石器(13)	……123
第74回	石器集中8-18出土石器(12)	……85	第111回	石器集中8-18接合石器(14)	……124
第75回	石器集中8-18出土石器(13)	……86	第112回	石器集中8-18接合石器(15)	……125
第76回	石器集中8-18出土石器(14)	……87	第113回	石器集中8-18接合石器(16)	……126
第77回	石器集中8-18出土石器(15)	……88	第114回	石器集中8-18接合石器(17)	……127
第78回	石器集中8-18出土石器(16)	……89	第115回	石器集中8-18接合石器(18)	……128
第79回	石器集中8-18出土石器(17)	……90	第116回	石器集中8-18接合石器(19)	……129
第80回	石器集中8-18出土石器(18)	……91	第117回	石器集中8-18接合石器(20)	……130
第81回	石器集中8-18出土石器(19)	……92	第118回	石器集中8-18接合石器(21)	……131
第82回	石器集中8-18出土石器(20)	……93	第119回	石器集中8-18接合石器(22)	……132
第83回	石器集中8-18出土石器(21)	……94	第120回	石器集中8-18接合石器(23)	……133
第84回	石器集中8-18出土石器(22)	……95	第121回	石器集中8-18接合石器(24)	……134
第85回	石器集中8-18出土石器(23)	……96	第122回	石器集中8-18接合石器(25)	……135
第86回	石器集中8-18出土石器(24)	……97	第123回	石器集中8-18接合石器(26)	……136
第87回	石器集中8-18出土石器(25)	……98	第124回	石器集中8-18接合石器(27)	……137
第88回	石器集中8-18出土石器(26)	……99	第125回	石器集中8-18接合石器(28)	……138
第89回	石器集中8-18出土石器(27)	……100	第126回	石器集中8-18接合石器(29)	……139
第90回	石器集中8-18出土石器(28)	……101	第127回	石器集中8-18接合石器(30)	……140
第91回	石器集中8-18出土石器(29)	……102	第128回	石器集中8-18接合石器(31)	……141
第92回	石器集中8-18出土石器(30)	……103	第129回	石器集中8-18接合石器(32)	……142
第93回	石器集中8-18出土石器(31)	……104	第130回	石器集中8-18接合石器(33)	……143
第94回	石器集中8-18出土石器(32)	……105	第131回	石器集中8-18接合石器(34)	……144
第95回	石器集中8-18出土石器(33)	……106	第132回	石器集中8-18接合石器(35)	……145
第96回	石器集中8-18出土石器(34)	……107	第133回	石器集中8-18接合石器(36)	……146
第97回	石器集中8-18出土石器(35)	……108	第134回	石器集中8-18接合石器(37)	……147
第98回	石器集中8-18接合石器(1)	……111	第135回	石器集中8-18接合石器(38)	……148
第99回	石器集中8-18接合石器(2)	……112	第136回	石器集中8-18接合石器(39)	……149
第100回	石器集中8-18接合石器(3)	……113	第137回	石器集中8-18接合石器(40)	……150
第101回	石器集中8-18接合石器(4)	……114	第138回	石器集中8-18接合石器(41)	……151
第102回	石器集中8-18接合石器(5)	……115	第139回	石器集中8-18接合石器(42)	……152
第103回	石器集中8-18接合石器(6)	……116	第140回	石器集中8-18接合石器(43)	……153
第104回	石器集中8-18接合石器(7)	……117	第141回	黒耀石接合分布図(1)	……154
第105回	石器集中8-18接合石器(8)	……118	第142回	黒耀石接合石器(1)	……155
第106回	石器集中8-18接合石器(9)	……119	第143回	黒耀石接合分布図(2)	……156

第144図	黒耀石接合石器 (2) ……………	157	第177図	炉穴 (1) ……………	224
第145図	黒耀石接合分布図 (3) ……………	158	第178図	炉穴 (2) ……………	225
第146図	黒耀石接合石器 (3) ……………	159	第179図	炉穴 (3) ……………	226
第147図	黒耀石接合分布図 (4) ……………	160	第180図	炉穴出土遺物 ……………	226
第148図	黒耀石接合石器 (4) ……………	161	第181図	集石土城 ……………	227
第149図	黒耀石接合分布図 (5) ……………	162	第182図	土城出土遺物 ……………	228
第150図	黒耀石接合石器 (5) ……………	163	第183図	土城 (1) ……………	229
第151図	黒耀石接合分布図・石器 (6) ……………	164	第184図	グリッド出土遺物 (1) ……………	231
第152図	黒耀石接合分布図 (7) ……………	166	第185図	グリッド出土遺物 (2) ……………	232
第153図	黒耀石接合石器 (7) ……………	167	第186図	グリッド出土遺物 (3) ……………	233
第154図	石器集中 8～18接合石器 (44) ……………	168	第187図	グリッド出土遺物 (4) ……………	234
第155図	石器集中 8～18接合石器 (45) ……………	169	第188図	グリッド出土石器 (5) ……………	235
第156図	石器集中 8～18接合石器 (46) ……………	170	第189図	第1号掘立柱建物跡 ……………	236
第157図	石器集中 8～18接合石器 (47) ……………	171	第190図	土城 (1) ……………	237
第158図	石器集中 8～18接合石器 (48) ……………	172	第191図	土城 (2) ……………	238
第159図	石器集中 8～18接合石器 (49) ……………	173	第192図	土城 (3) ……………	239
第160図	石器集中 8～18接合石器 (50) ……………	174	第193図	土城 (4) ……………	240
第161図	石器集中 8～18接合石器 (51) ……………	175	第194図	土城 (5) ……………	241
第162図	石器集中 8～18接合石器 (52) ……………	176	第195図	土城 (6) ……………	242
第163図	石器集中 8～18接合石器 (53) ……………	177	第196図	土城 (7) ……………	243
第164図	石器集中 8～18接合石器 (54) ……………	178	第197図	溝跡 (1) ……………	254
第165図	石器集中 8～18接合石器 (55) ……………	179	第198図	溝跡 (2) ……………	255
第166図	石器集中 8～18接合石器 (56) ……………	180	第199図	溝跡 (3) ……………	256
第167図	石器集中 8～18接合石器 (57) ……………	181	第200図	溝跡 (4) ……………	257
第168図	石器集中 8～18接合石器 (58) ……………	182	第201図	溝跡 (5) ……………	258
第169図	ガラス質黒色安山岩接合分布図 (1) ……………	183	第202図	溝跡 (6) ……………	259
第170図	ガラス質黒色安山岩接合石器 (1) ……………	184	第203図	グリッドピット (1) ……………	263
第171図	ガラス質黒色安山岩接合分布図・接合 石器 (2) ……………	185	第204図	グリッドピット (2) ……………	264
第172図	ガラス質黒色安山岩接合分布図・接合 石器 (3) ……………	186	第205図	グリッドピット (3) ……………	265
第173図	石器集中 8～18接合石器 (60) ……………	187	第206図	グリッド出土遺物 ……………	266
第174図	石器集中 8～18接合石器 (61) ……………	188	第207図	環状ブロック群の器種・石器石材分布 ……………	272
第175図	石器集中 8～18接合石器 (62) ……………	189	第208図	清河寺前原遺跡出土のナイフ形石器・ 台形椀石器 ……………	275
第176図	トトロロ石器接合分布図・接合石器 ……………	189	第209図	関池遺跡のナイフ形石器・台形椀石器 ……………	276

表 目 次

第1表	発掘調査・整理報告書作成工程表 ……3	第9表	石器集中5出土石器観察表 ……192
第2表	周辺の遺跡一覧表 ……9	第10表	石器集中6出土石器観察表 ……193
第3表	石器集中8～18器種・石材組成表 ……42	第11表	石器集中7出土石器観察表 ……193
第4表	石器集中1出土石器観察表 ……190	第12表	石器集中8～18出土石器観察表 ……193
第5表	石器集中2出土石器観察表 ……190	第13表	第1地点ビット計測表 ……261
第6表	石器集中3出土石器観察表 ……191	第14表	第2地点ビット計測表 ……262
第7表	石器集中4出土石器観察表 ……192	第15表	第3地点ビット計測表 ……262
第8表	単独出土石器観察表 ……192	第16表	遺構新旧対照表 ……267

写 真 図 版 目 次

図版1	石器集中1 石器集中2 石器集中3	第79号土城 第1号掘立柱建物跡 第1号土城 第2号土城	
図版2	石器集中3 炭化物集中 石器集中5 石器集中6	図版7	第3号土城 第7号土城 第10号土城 第29号土城 第30号土城 第33号土城 第34号土城 第35号土城
図版3	石器集中8～18 調査風景 土層断面 石器集中8～18(1)	図版8	第36号土城 第38号土城 第39～41号土城 第42号土城 第44号土城 第45号土城 第47号土城 第48号土城
図版4	石器集中8～18(2) 石器集中8～18(3) 石器集中8～18(4)	図版9	第49号土城 第60・61号土城 第62号土城 第63号土城
図版5	第1～3号炉穴 第4号炉穴 第6～9号炉穴 第5～11号炉穴 第12号炉穴 第14号炉穴 第19・20号炉穴 第22～24号炉穴		
図版6	第1号集石土城 第4号土城 第71号土城 第72号土城		

	第65号土壌	図版18	石器集中8～18出土石器 (21)
	第66号土壌		石器集中8～18出土石器 (22)
	第73号土壌		石器集中8～18出土石器 (23)
	第74号土壌	図版19	石器集中8～18出土石器 (24)
図版10	石器集中1・2出土石器		石器集中8～18出土石器 (25)
	石器集中3出土石器		石器集中8～18出土石器 (26)
	石器集中4出土石器	図版20	石器集中8～18出土石器 (27)
図版11	石器集中5～7出土石器		石器集中8～18出土石器 (28)
	石器集中8～18出土石器 (1)		石器集中8～18出土石器 (29)
	石器集中8～18出土石器 (2)	図版21	石器集中8～18出土石器 (30)
図版12	石器集中8～18出土石器 (3)		石器集中8～18出土石器 (31)
	石器集中8～18出土石器 (4)		石器集中8～18出土石器 (32)
	石器集中8～18出土石器 (5)	図版22	石器集中8～18出土石器 (33)
図版13	石器集中8～18出土石器 (6)		石器集中8～18出土石器 (34)
	石器集中8～18出土石器 (7)		石器集中8～18出土石器 (35)
	石器集中8～18出土石器 (8)	図版23	石器集中8～18出土石器 (36)
図版14	石器集中8～18出土石器 (9)		石器集中8～18出土石器 (37)
	石器集中8～18出土石器 (10)		石器集中8～18出土石器 (38)
	石器集中8～18出土石器 (11)	図版24	石器集中8～18出土石器 (39)
図版15	石器集中8～18出土石器 (12)		石器集中8～18出土石器 (40)
	石器集中8～18出土石器 (13)		サ穴出土遺物
	石器集中8～18出土石器 (14)	図版25	第4号土壌 出土遺物
図版16	石器集中8～18出土石器 (15)		グリッド出土遺物 (1)
	石器集中8～18出土石器 (16)		グリッド出土遺物 (2)
	石器集中8～18出土石器 (17)	図版26	グリッド出土遺物 (3)
図版17	石器集中8～18出土石器 (18)		グリッド出土遺物 (4)
	石器集中8～18出土石器 (19)		グリッド出土遺物 (5)
	石器集中8～18出土石器 (20)		

I 発掘調査の概要

1. 発掘調査に至る経過

独立行政法人都市再生機構によって、さいたま市北西部で、大宮西部特定土地地区画整理事業が施行されている。対象面積は約115haで、新駅の西大宮駅を中心としたさいたま市西区における地域拠点の形成を図っている。

埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課では、このような施策の推進に伴う文化財の保護について、従前より関係機関との事前協議を重ね、調整を図ってきたところである。

本事業の計画段階における埋蔵文化財の所在および取り扱いについては、昭和63年8月17日付けし21-21号で、住宅・都市整備公団首都圏都市開発本部開発本部長（当時）より埼玉県教育委員会教育長あて照会があった。

文化財保護課（当時）では、平成元年1月14日付け教文第1106号で、計画地内には埋蔵文化財包蔵地15箇所が存在することから、取り扱いについて別途協議が必要な旨、回答した。

本事業の市街化区域等の都市計画決定後、事業区域内における埋蔵文化財の取り扱いについて、平成10年7月9日付けさ25-4号で、住宅・都市整備公団埼玉地域支社長（当時）より教育長あて照会があった。以後、事業の進捗に合わせ、取扱いを決定するための確認調査を生生涯学習文化財課が実施してきた。

清可寺前原遺跡の取扱いについては平成10年度から平成20年度の11年間に9件の回答を行い、そのうち、工事計画上やむを得ず現状を変更する場

合に、記録保存のための発掘調査が必要な旨の回答を行ったものは下記の2件である。

平成13年1月11日付け 教文第989号

平成14年12月20日付け 教文第1312号

本事業に係る発掘調査に先立つ平成12年9月1日付けで「大宮西部地区埋蔵文化財に関する協定書」が、都市基盤整備公団（当時）、埼玉県教育委員会、財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団の三者により締結され、発掘調査については、事業団が実施機関としてあたることとなった。発掘調査の実施にあたっては、関係機関で調査方法、調査期間等の協議が行われ、その結果、平成12～14年度にかけて発掘調査が実施された。

文化財保護法第94条の規定による埋蔵文化財発掘通知は、平成13年3月26日付けさ第24-27号で都市基盤整備公団埼玉地域支社長地域支社長から県教育長あてに提出され、それに対する保護に必要な勧告は平成13年4月9日付け教文第3-986号で行った。また、文化財保護法第92条の規定による発掘調査届が財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団理事長から提出された。

発掘調査の届出に対する埼玉県教育委員会教育長からの指示通知番号は次のとおりである。

平成13年4月9日付け 教文第2-130号

平成13年8月10日付け 教文第2-51号

平成14年4月17日付け 教文第2-1号

平成15年2月6日付け 教文第2-113号

（埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課）

2. 発掘調査・報告書作成の経過

(1) 発掘調査

清可寺前原遺跡の発掘調査は、大宮西部特定土地地区画整理事業に先立ち、平成12年度に第1次調査、平成13年度に第2次調査、平成14年度に第3・4次調査を実施した。

平成12年度

第1次調査は、大木戸遺跡の発掘調査と併行して行った。第1・2地点の表土を重機によって掘削し、調査区周辺の囲柵工事を行った。第1地点は表土掘削後に基準点測量を行った。

表土掘削の後、遺構確認面を保護するため、シートを敷いて土壌袋で固定した。

平成13年度

第2次調査は、平成13年8月1日から平成14年3月22日まで、第1・2地点の発掘調査を大木戸遺跡と合わせて実施した。

7月に事務手続きを完了し、8月に現場事務所の設置を行い、機材を搬入した。

9月上旬、第1地点を人力による遺構確認・遺構精査作業を行う。8月下旬に遺構の測量・写真撮影等記録作業を終了し、旧石器時代の調査を実施した。9月中旬に完了し、調査区の埋め戻し作業を行う。

第2地点の基準点測量を行い、2月上旬から人力による遺構確認作業を行う。その後、遺構の精査及び測量・写真撮影などの記録作業を行う。

3月から、遺構の密でない部分に旧石器調査の為の深掘区を設定し調査を行う。調査区東側から石器集中が2箇所発見された。3月下旬、縄文時代以降の遺構の調査を終了した後、調査区西側に

深掘区の調査を実施した。その結果、遺構確認面から1～1.5mの深さから石器が出土した。都市基盤整備公団(当時)・文化財保護課(当時)と協議し、調査区西側の旧石器時代の調査は、平成14年度の初頭に行うことになった。

3月下旬、発掘機材の搬出、現場事務所の撤去を行った。

平成14年度

第3次調査は、平成14年4月4日から平成14年5月31日まで、第2地点の旧石器調査を実施した。

4月初旬に事務手続きを完了し、現場事務所の設置、機材搬入を行った。

4月上旬、第2地点の西側区で旧石器時代の調査を開始した。

遺物が集中すると想定される範囲は、人力によって、ローム層の掘り下げを行った。周辺は重機によってトレンチを入れ、土層断面の観察を行った。遺物の取り上げ・断面図の作成・写真撮影等の記録作業を行った。

5月下旬、調査区の埋め戻し作業を行い、発掘機材の搬出、現場事務所の撤去を行った。

第4次調査は、平成14年12月24日から平成15年2月28日まで、第3地点の発掘調査を実施した。

12月に事務手続きを完了し、現場事務所の設置、機材搬入を行った。

1月上旬、基準点測量を行い、人力による遺構確認・遺構精査を行った。

2月に実測・写真撮影等の記録作業を行った。

2月下旬、調査区の埋め戻し作業を行い、発掘機材の搬出、現場事務所の撤去を行った。

(2) 整理・報告書の作成

整理・報告書作成作業は、平成20年10月1日から平成21年9月30日までの、1年間実施した。

平成20年度

10月上旬から、出土遺物の水洗・注記を行い、続けて遺物を調査地点・遺構別に整理し、土器や石器に分別した。旧石器は石器台帳を作成し、1点1点の大きさ、重さ、石材等の属性を記録した。整理が完了したもものから、遺構・文化層ごとに接合・復元を行った。

遺物は復元後、実測図や拓本を作成した。土器類の実測では、機械実測による素図をもとに完成図を作成し、墨入れ（トレース）を行い遺物両面の版下を作成した。

遺構図版は、第二原図を作成し、スキャナーで画像データとして取り入れ、それを下図にデジタルトレースを行った。併行して遺構の規模等のデータを計測し一覧表にまとめ、原稿執筆の為の基礎データとした。

実測が終了した土器は、大きさや胎土等のデータを記録した。

平成21年度

平成20年度に引き続き、4月上旬から、遺物の接

合・復元作業を行った。併行して遺物実測を行った。石器の接合資料は機械実測による素図をもとに実測図を作成した。遺物実測図のトレースは7月中にほぼ完了した。

遺構図版は、第二原図の作成を5月中に完了し、スキャナーで画像データとして取り入れ、それを下図にデジタルトレースを行い、8月中にほぼ完了した。

8月に現場で撮影した写真から報告書に使用するものを選択し、フィルムスキャナーで取り込み、パソコンで色調整を行った。遺物の写真撮影は、7月中旬に行った。

7月中に電子トレースされた遺構図版の見直し・修正を行った。

8月から遺構・遺物のデータを基に順次、原稿を執筆し、併行して割付・編集作業を行った。

9月下旬に印刷会社に入稿し、3回の校正を経て、平成21年11月30日に報告書を刊行した。

9月に遺物や図版・写真等の記録類を整理分類し、報告書との対照を可能にした上で収納作業を行った。

第1表 発掘調査・整理報告書作成工程表

発掘調査	面積	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成20年度	平成21年度
第1次調査			■			
第2次調査	7,400㎡		■	(大木戸遺跡と併行して調査)		
第3次調査	1,500㎡			■		
第4次調査	1,854㎡				■	
整理報告書作成作業					■	

3. 発掘調査・報告書作成の組織

平成12年度（発掘調査）

理 事 長	中野 健 一	調査部	
常務理事兼管理部長	広木 卓	調査部長	高橋 一夫
管理部		調査部副部長	石岡 憲雄
管理部副部長	関野 栄 一	専門調査員	大和 修
主 席	阿部 正 浩	(調査第二担当)	
主 席	野中 廣 幸	統括調査員	木戸 春夫
主 席	江田 和 美	主任調査員	渡辺 清志

平成13年度（発掘調査）

理 事 長	中野 健 一	調査部	
常務理事兼管理部長	大館 健	調査部長	高橋 一夫
管理部		調査部副部長	坂野 和信
管 理 幹	持田 紀 男	専門調査員	村田 健二
		(調査第一担当)	
		統括調査員	西井 幸雄
		主任調査員	福田 聖
		主任調査員	渡辺 清志

平成14年度（発掘調査）

理 事 長	桐川 卓 雄	調査部	
常務理事兼管理部長	大館 健	調査部長	高橋 一夫
管理部		調査部副部長	坂野 和信
管 理 幹	持田 紀 男	専門調査員	村田 健二
		(調査第一担当)	
		統括調査員	細田 勝
		統括調査員	西井 幸雄
		統括調査員	鈴木 孝之
		調 査 員	安 生 素 明

平成20年度（報告書作成）

理 事 長	刈 部 博	調 査 部	
常務理事兼総務部長	萩 元 信 隆	調 査 部 長	村 田 健 二
総務部		調 査 部 副 部 長	磯 崎 一
総 務 部 副 部 長	昼 間 孝 志	整 理 第 二 課 長	富 田 和 夫
総 務 課 長	松 盛 孝	主 査	西 井 幸 雄

平成21年度（報告書作成）

理 事 長	刈 部 博	調 査 部	
常務理事兼総務部長	萩 元 信 隆	調 査 部 長	小 野 美 代 子
総務部		調 査 部 副 部 長	磯 崎 一
総 務 部 副 部 長	昼 間 孝 志	整 理 第 二 課 長	富 田 和 夫
総 務 課 長	田 中 雅 人	主 査	西 井 幸 雄

2. 歴史的環境

清河寺前原遺跡は、旧石器時代と縄文時代、近世の複合遺跡である。旧石器時代の層からは、複数時期の石器集中が検出された。特に、後期旧石器時代前半の資料は、大宮台地で最も良好な石器群といえる。

【旧石器時代】

大宮台地で周知の旧石器時代遺跡は約250を数えるが、その殆どは後期旧石器時代後半の遺跡で、前半の遺跡は極端に少ない。大宮台地最古段階は、さいたま市の明花向遺跡A区第Ⅸ層（武蔵野台地標準層位で第Ⅴ層に対応）の石器群で、第2暗色帯下位から出土しているが、剥片類と石核の接合資料が主体で、典型的な石器はない。

明花向遺跡A区以外に第2暗色帯下位の石器群は無く、他は第2暗色帯中の石器群である。

清河寺前原遺跡の周辺では、さいたま市大木戸遺跡（7）第1次調査第3文化層で、ガラス質黒色安山岩の剥片類と石核の接合資料が出土しており、明花向遺跡の石器群と近似している。また、大木戸遺跡の第3地点では、黒色頁岩の大形縦長剥片を主体に、基部に微細な調整加工を施したナイフ形石器が出土した。出土層位は第2暗色帯上面である。大木戸遺跡の東側に谷を挟んで対峙する西大宮バイパスNo.5遺跡（2）第Ⅲ文化層では、台形鎌石器が出土している。

滝沼川流域は、大宮台地で検出例が少ない、後期旧石器時代前半期の遺跡が多く発見されており、旧石器時代における大宮台地への進出で重要な地域として注目される。

大宮台地西部の遺跡（第3図）は、後期旧石器時代後半期の岩宿Ⅱ期（武蔵野台地第Ⅴ～Ⅳ層下部段階）の遺跡が主体である。上尾市殿山遺跡（44）で黒曜石製のナイフ形石器と共に、玉髓製の国府型ナイフ形石器が複数出土し、県指定文化財となっている。また、同市天沼遺跡（28）と北

本寺提灯木山遺跡（e）から国府型ナイフ形石器に関連するナイフ形石器が出土している。

さいたま市大和田高明遺跡（c）、桶川市滝の宮坂遺跡（d）及び、西大宮バイパスNo.4・5遺跡（2・4）からは良好な石器群が出土している。

砂川期及びナイフ形石器終末期（武蔵野台地第Ⅳ層上部）の遺跡は、上尾市前戸崎遺跡（61）、同市在家遺跡（38）さいたま市今羽丸山遺跡（a）が挙げられる。

【縄文時代】

縄文時代の遺跡は、草創期から晩期の各時期の遺跡が分布するが、特に早期の遺跡が多い。

草創期の遺跡は、西大宮バイパスNo.4遺跡から、黒曜石製槍先形尖頭器の製品及び未成品が、小範圍に密集しており、デポと考えられている。

早期末は、当該地域で貝塚が形成されている。昭和3年に大山史前学研究所によって、東京湾に注ぐ主要渓谷の貝塚調査による縄文土器編年研究の一環として五味貝戸貝塚（74）が調査され、指扇式が提唱された。しかしその後、茅山式の範疇に含まれるとされ使われなくなった。1970年に榎本金之丞・佐藤達夫によって縄文海進の上限の土器形式を明らかにする目的で、平方貝塚（29）が調査され、茅山上層式と花積下層式をつなぐ土器として注目された。貝層は淡水産の貝と鹹水産の貝が共存していた。

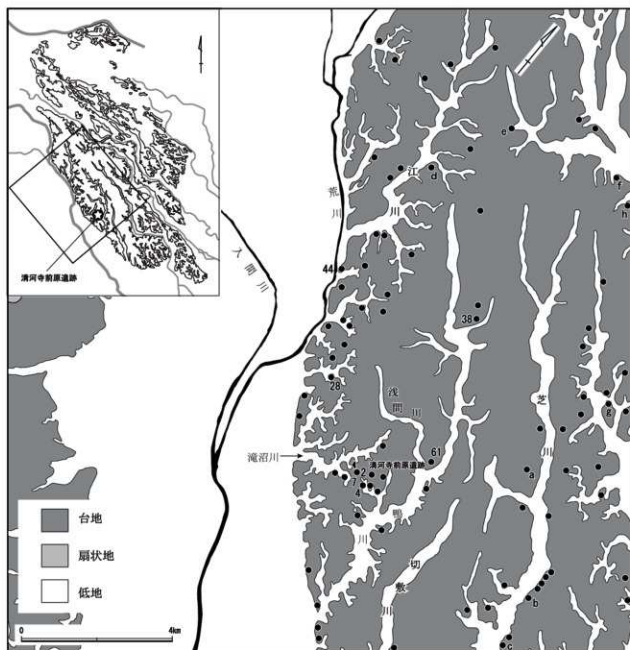
前期では、上尾市箕輪Ⅱ遺跡（35）から花積下層式期の住居跡が検出され、上尾市稲荷台遺跡（27）・同市宿北Ⅱ遺跡（34）から関山式期の住居跡が検出された。

中期では、さいたま市下加遺跡（68）の調査で、勝坂式から加曾利Ⅲ式期の住居跡が多数検出され、拠点集落と考えられる。

後期では、大木戸遺跡（7）西大宮バイパスNo.5遺跡（2）から柄鏡形住居跡が検出された。



第2図 周辺の遺跡



第3図 大宮台地西部の旧石器時代遺跡

第2表 周辺の遺跡一覧表

番号	遺跡名	時期
1	清河寺前原	旧石器、縄文（早～後）
2	西大宮バイパスNo.5	旧石器、縄文（早～後）
3	大塚古墳	古墳
4	西大宮バイパスNo.4	旧石器、縄文（早～後）、中～近世
5	西大宮バイパスNo.2	旧石器、縄文（早～後）
6	西大宮バイパスNo.1	旧石器、縄文（早～後）
7	大木戸 西大宮バイパスNo.6	旧石器、縄文（早～後）、弥生、中～近世
8	C16号	縄文（早）
9	C66号	縄文（早～前）
10	C39号	旧石器、縄文（早）

番号	遺跡名	時期
11	滝沼	縄文（早～後）、弥生、古墳、平安
12	C98号	縄文（早）
13	清河寺丸山	
14	清河寺西原	縄文
15	C33号	
16	C31号	縄文（早）
17	福田船跡	近世
18	高木道下	中世
19	高木道下北	縄文（中）
20	高木道小明	縄文、古墳
21	高木水川	縄文（中）

番号	遺跡名	時期
22	C23号	旧石器、縄文(早-中)
23	C92号	縄文(中)
24	C93号	縄文(中)、古墳、平安
25	辻	縄文(中)
26	薬師耕地前	縄文(早-中)、弥生(後)、古墳
27	上尾市稲荷台	縄文(早-中)、弥生(後)、古墳(前)、奈良・平安
28	天沼	旧石器、縄文(早-後)、古墳(前)、中・近世
29	平方貝塚	縄文(早-前)
30	雨沼Ⅰ	旧石器、縄文(早・中)、弥生(後)、古墳(前-後)、中・近世
31	東谷	縄文(後)
32	宿北Ⅰ	縄文、古墳
33	箕輪Ⅰ	旧石器、縄文(早-後)、中・近世
34	宿北Ⅱ	縄文(早-後)、古墳、中・近世
35	箕輪Ⅱ	縄文(前)、古墳(後)
36	小塚	古墳(前)
37	小塚Ⅱ	旧石器、縄文(前)
38	在家	旧石器、縄文(前-後)、古墳(後)、中・近世
39	小林	縄文(中-後)、平安
40	平方丸山	縄文(前-中)
41	群吉貝塚	縄文、古墳(前)
42	群吉	旧石器、縄文(早)、古墳(前)
43	八幡(江川山古墳)	縄文(前-後)、古墳(前)
44	殿山・殿山古墳	旧石器、縄文(早-後)、古墳(前-後)
45	雲雀	縄文(前)、古墳(前)、近世
46	西浦Ⅰ	縄文(前-後)、中・近世
47	向山	縄文(後)
48	後耕地	縄文(中-後)、中・近世
49	B37号	縄文(中-後)
50	B44号	旧石器、縄文(前-中)
51	三番耕地	縄文、古墳、近世
52	山王	縄文(早-後)
53	奈良瀬戸	縄文(早-晩)、平安
54	B43号	縄文(中)
55	B45号	縄文(中-後)
56	永川	縄文(前-中)、奈良・平安
57	B46号	縄文(中)
58	B47号	縄文(前)
59	西谷裏	縄文(中)
60	宮前遺跡	縄文(早-後)、平安
61	前戸崎	旧石器、縄文(中-後)
62	日進西谷	縄文(中-後)
63	B50号	縄文(中-晩)、平安
64	B53号	旧石器、縄文(早-中-後)、古墳
65	上加	縄文(前-中)
66	B55号	縄文(中-後)、古墳
67	B56号	縄文(中-後)
68	下加	旧石器、縄文(中-後)
69	長谷島	旧石器、縄文(早)
70	長谷島貝塚	旧石器、縄文(早-前)
71	C73号	旧石器、縄文(早)
72	指扇下戸	縄文(早-後)、中・近世
73	大丸山	縄文(草創期-後)
74	五味貝戸貝塚	旧石器、縄文(早-中)

番号	遺跡名	時期
75	B92号	縄文(早-後)
76	青葉園東	縄文(前-後)
77	原	旧石器、縄文(早-後)
78	C45号	縄文(後)
79	C67号	縄文(中)、古墳、平安
80	C65号	縄文(前-後)、平安
81	C64号	縄文(前-後)
82	C83号	縄文(中)
83	C82号	縄文(中)、古墳
84	C15号	縄文(早-中)、古墳、平安
85	八幡耕地	縄文(前-中)、古墳
86	C12号	縄文(前-中)、古墳、平安
87	下加貝塚	縄文、弥生、古墳
88	B60号	縄文(中-後)、古墳、平安
89	C59号	縄文(中)
90	C58号	縄文(中)
91	下手	縄文(前)、弥生、古墳
92	B61号	縄文(早-中)、平安
93	C7号	縄文(中-後)、弥生、平安
94	基木貝塚	縄文(早-晩)
95	B70号	縄文(中)、弥生(後)
96	B67号	縄文(中)、弥生(後)、近世
97	小村田	縄文(中)、近世
98	山王東4号	縄文、平安
99	小村田西	縄文(中)、近世
100	小村田東	縄文(中)、古墳(後)、平安、中世
101	与野東	縄文(中)、弥生(後)、古墳(後)、平安
102	西浦1号	縄文(早-後)、古墳(前-後)、平安
103	白旗宮腰	旧石器、縄文(中)、古墳(前-後)、奈良・平安
104	寺田	奈良
105	与野西	縄文(中)、古墳(後)、平安
106	苗塚	縄文(後)、古墳(後)
107	八王子前原	縄文(早-中)、平安
108	八王子前原西	旧石器、縄文(早-後)、奈良・平安
109	南上峰	縄文(後)、古墳(後)、平安
110	相野谷1号	旧石器、縄文(中)
111	内道西	旧石器、縄文(早-晩)、弥生(中)、平安
112	諏訪坂	縄文(後)、弥生(中)、古墳(前)
113	上大久保新田	弥生(後)、古墳(前-後)、中-近世
114	殿ノ前	古墳(前)
115	大久保条里	平安、中世
116	伊在島	弥生(後)、平安、中・近世
117	鷺森	縄文(前)、平安、中・近世
118	川森	古墳、平安、中世
119	城山	中・近世
120	天神懸	縄文、古墳
121	櫃切	奈良・平安
a	今羽丸山遺跡	
b	鷺山遺跡	
c	大和田高明遺跡	
d	滝の宮取遺跡	
e	塚木山遺跡	
f	本村遺跡	
g	伊奈氏屋敷遺跡	
h	向原遺跡	

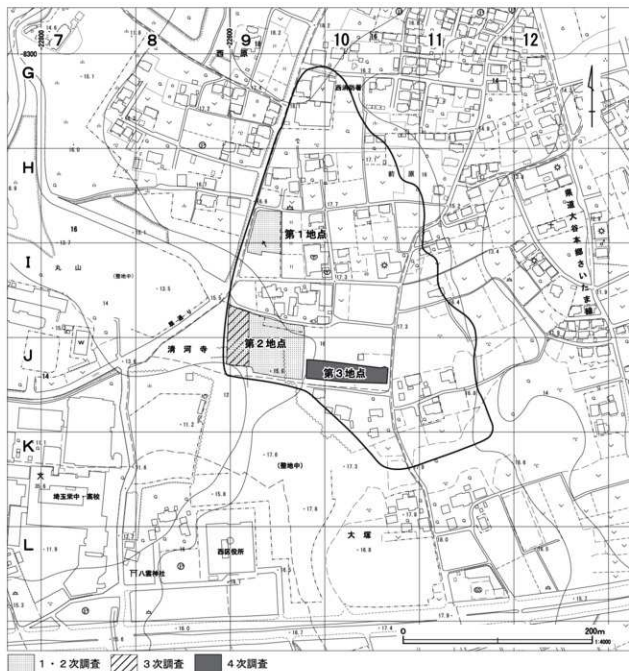
Ⅲ 遺跡の概要

清河寺前原遺跡は、JR川越線西大宮駅の北東約0.6kmに位置する。遺跡の範囲は南北約420m、東西約260mと広く、標高は16mである。

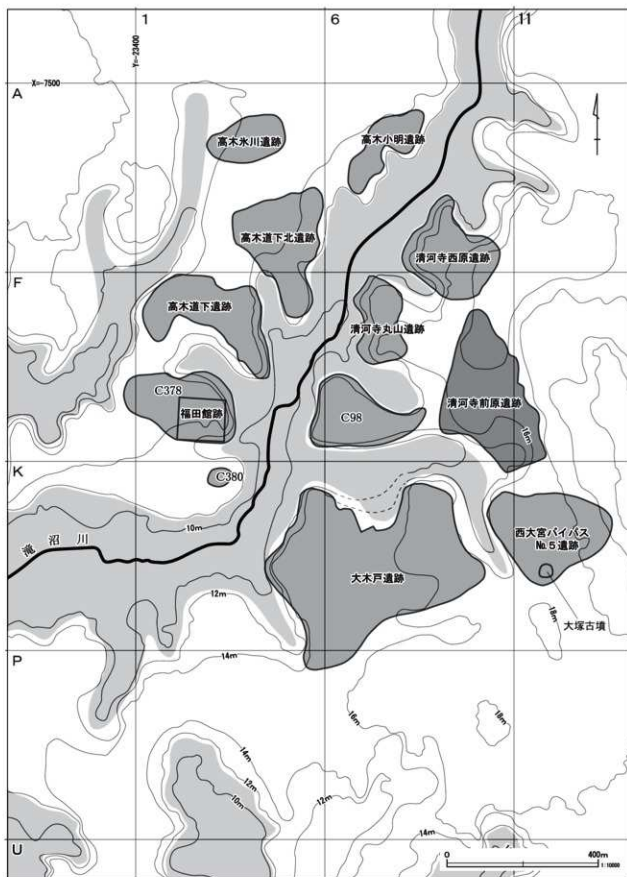
遺跡は、大宮西部特定土地区画整理事業に関連して調査が進められている。区画整理事業地内には13箇所の遺跡が確認されている（第5図）。

グリッドは、X=-7500.000m、Y=-23500.000mを基準（A1・A1グリッド）に、100×100mの大グリッドを設定し、北から南にA・B・C…、西から東に1・2・3…として大宮西部特定土地区画整理地内全体を覆っている。

大グリッドの中を10×10mの中グリッドとし、



第4図 清河寺前原遺跡調査地点位置図



第5図 大宮西部特定土地区画整理事業地内の遺跡分布

北から南にA～J、西から東に1～10とし、100区画に分割した。

清河寺前原遺跡は、滝沼川から東側にやや奥まった地点にあり、滝沼川に直接面してはいない。遺跡は南西側に大木戸遺跡、西側にC-98号遺跡、南東側に西大宮バイパスNo.5遺跡が隣接している。清河寺前原遺跡と大木戸遺跡の間には、滝沼川に注ぐ谷が、北から東に大きく方向を変えており、後期旧石器時代前半の石器集中群（環状ブロック群）は、丁度その変換点に面している。

清河寺前原遺跡の発掘調査は、平成12年度に第1次調査、平成13年度に第2次調査、平成14年度に第3・4次調査を実施した。今回の報告は第1～4次調査の成果をまとめたものである。

発掘調査の結果、旧石器時代と縄文時代・中・近世の遺構・遺物が検出された。

旧石器時代では複数時期の石器群が検出され、4枚の文化層に区分した。第1文化層は槍先形尖頭器を主体とする石器群（第Ⅲ層）、第2文化層はナイフ形石器終末期の石器群（第Ⅳ層）、第3文化層は岩宿II期の石器群（第Ⅴ層）、第4文化層は後期旧石器時代前半の石器群（第Ⅵ～Ⅷ層）である。

第1地点からは、第1文化層で石器集中1箇所、第3文化層で石器集中1箇所、第4文化層で石器集中2箇所が検出された。第2地点からは、第1文化層で石器集中1箇所、第2文化層で石器集中1箇所、第3文化層で石器集中1箇所、第4文化層で石器集中11箇所（環状ブロック群）が検出された。

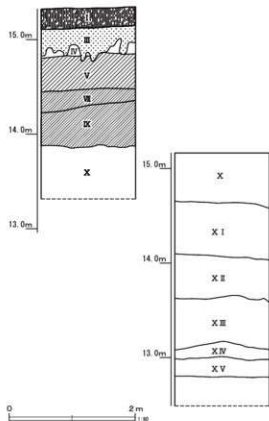
縄文時代では、台地の南西側の台地の縁辺部から早期の穴2基が検出された。他は、集石土壌1基、土壌5基検出された。

中・近世では、掘立柱建物跡1棟、土壌76基、溝跡36状が検出された。第2地点では、方形の溝跡と土壌が検出された。

基本層位

当該地域は、南関東系の火山灰と北関東系の火山灰が交差する地点にあたり、どちらからも遠距離である。その為、立川ローム層の堆積は1.5m程度と薄く層位区分が難しくなっているが、基本的に武蔵野台地の標準層に対比される。また、当該地域は第Ⅲ層（ソフトローム層）が厚い地域でもあり、地点によっては第Ⅵ・Ⅷ層（第2暗色帯）までソフトローム化している。

清河寺前原遺跡は、地点により堆積状況が若干異なるが、層位の厚さはほぼ一定であった。第Ⅲ層（ソフトローム層）は第Ⅴ層（第1暗色帯）中まで達しており、第Ⅳ層では部分的にブロック状に観察された。第Ⅵ・Ⅷ層（第2暗色帯）は上下に区分が明瞭な地点もあったが、難しい地点も多く、断面ラインはグリッドによって分層が困難な範囲があった。第Ⅵ層は、第1地点では明瞭に分層できたが、第2地点では分層が困難であった。



第6図 基本土層

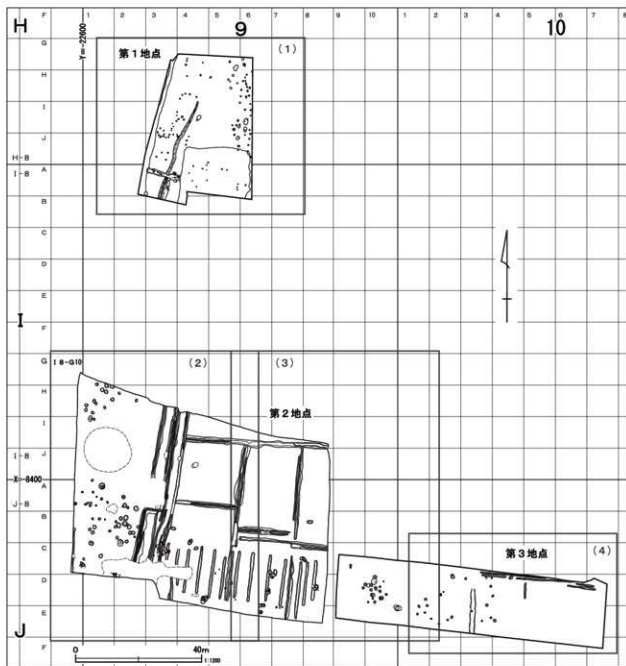
IV 遺構と遺物

1. 概要

今回の清河寺前原遺跡の発掘調査は、遺跡範囲の南西側部分を中心に第1～3地点の調査を実施した。第1地点は台地の西縁に近く、眼前には滝沼川の低地が広がっている。第2地点は第1地点の南側約50mに位置し、滝沼川に注ぐ谷が南北方

向から東西方向に変わる屈曲部に当たる。台地南縁は低地との標高差が約4mあり、崖線は明確であった。

調査前の状況は、第1地点は陸田、第2地点は畑地と陸田、第3地点は果樹園であった。第1地



第7図 清河寺前原遺跡全体図・区割図

点は調査区南東側が、第V層（第1暗色帯）上面まで一部削平されていた。第2地点は調査区の西部と南西部に大きな攪乱が入り、遺構の一部が失われていた。

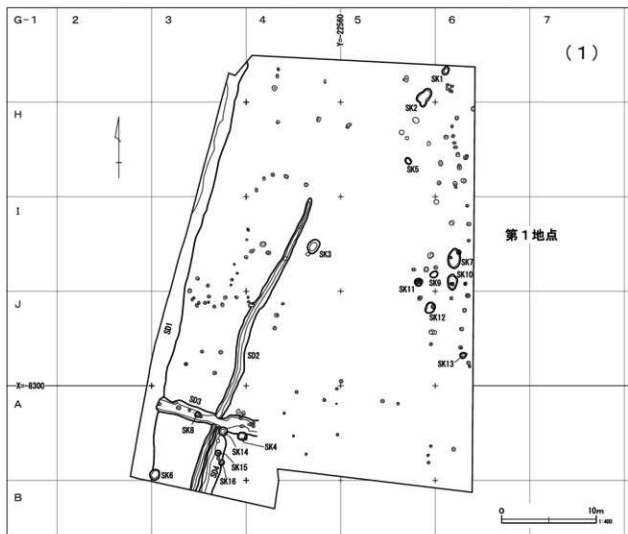
発掘調査の結果、旧石器時代と縄文時代、近世の遺構・遺物が発見された。

旧石器時代の遺構は複数時期の石器群が検出され、4枚の文化層に分けられた。各地点の石器集中は第1地点が石器集中4箇所、第2地点が石器集中14箇所、各文化層の内訳は、第1文化層は第1・2地点で各1箇所、第2文化層は第2地点で1箇所、第3文化層は第1・2地点で各1箇所、第4文化層は第1地点で2箇所、第2地点で11箇所である。今回の発掘調査で中心となるのは、第

4文化層で、該期は大宮台地で発見例の少ない後期旧石器時代前半に当たり、特に第2地点の石器集中11箇所は径約15mの範囲に環状に密集する環状ブロック群である。また、良質な黒曜石が多量に用いられており、関東地域において黒曜石原産地との関係を検討するのに貴重な資料である。

縄文時代は、第2地点の台地縁辺を中心に早期の炉が25基検出された。竪穴住居跡は検出されなかったが、谷を挟んで対峙する大木戸遺跡でも検出されており、当該地域の特色を検討するための資料になる。

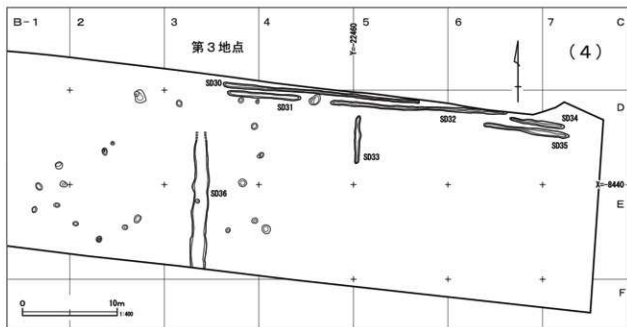
近世は、第2地点で掘立柱建物跡、溝跡、土壌等の配置から、区画溝を伴う畑の跡と推定される。



第8図 遺跡全体図(1)



第9図 遺跡全体図(2)



第11図 遺跡全体図(4)

2. 旧石器時代の遺構と遺物

(1) 概要

旧石器の調査は、10mの中グリッドの北西コーナーに2m四方のグリッドを設定し立川ルームの下底部の第Ⅹ層まで掘り下げ、遺物の出土したグリッドは随時拡張した。また、拡張したグリッドは遺物の出土層位を見ながら、第Ⅲ層、第Ⅴ層、第Ⅶ層、第Ⅹ層まで掘り下げた。

第1地点は、調査区の南東側で第Ⅶ～Ⅸ層(第2暗色帯)中から石器が出土し、その周辺を随時拡張し石器集中2箇所を検出した。調査区西側は、他時期の遺構を調査中に焼礫片等が出土したので、その範囲を第Ⅴ層中まで掘り下げ石器集中1箇所を検出した。

第2地点は、台地の西側縁部と南側縁部を意識してグリッドを設定し、ルーム層の掘り下げを行ったが、他時期の遺構と絡む部分が多く、第Ⅹ層まで調査できたグリッドは6箇所だけであった。他時期の遺構確認作業の段階で黒曜石等の破片の検出に注意したところJ9・A4、H9・J7、J9・B7グリッド周辺でみられたので、グリッ

ドを設定し第Ⅲ層(ソフトルーム層)を掘り下げた。その結果、H9・J7、J9・B7グリッドから、小規模な石器集中が各1箇所検出された。

調査区西側縁部に設定したグリッドで、第Ⅶ～Ⅸ層(第2暗色帯)中から石器が複数出土した。第1地点の成果を加味すると、後期旧石器時代前半期の石器群が検出されることが想定されたので、旧石器時代の範囲を第3次調査として、平成14年度に調査を行った。

調査の結果、径約15mの範囲に石器集中11箇所が密集する環状ブロック群であることが判明した。石器は1,400点以上出土し、大宮台地で最も良好な資料となった。

第3地点は台地の南側縁部によって、グリッドを14箇所設定し、旧石器時代の調査を行ったが、ルーム層中から遺物は検出されなかった。

清可寺前原遺跡における旧石器時代の遺構と遺物は、複数時期にわたっており4枚の文化層に区分した。石器集中は第1地点から4箇所、第2地

点から14箇所検出されている。

各文化層の概要

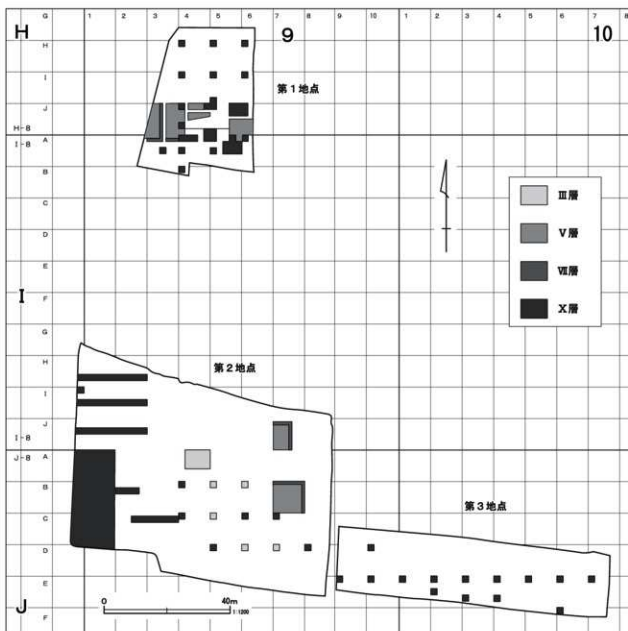
第1文化層は、槍先形尖頭器を主体とする石器群で、第Ⅲ層から出土した。石器集中は第1地点から1箇所、第2地点から1箇所みつけた。

第2文化層は、ナイフ形石器終末期の石器群で、第Ⅳ層の上面から検出された。石器集中は第2地点で1箇所みつけた。

第3文化層は、岩宿Ⅱ期の石器群、第Ⅳ層中か

ら検出された。石器集中は第1地点で1箇所検出され、小規模な礫のまとまりを伴っている。第2地点は、第4文化層の分布範囲の北側に隣接して、小規模な石器集中が1箇所検出された。

第4文化層は、後期旧石器時代前半期の石器群で、第Ⅶ～Ⅷ層（第2暗色帯）中から検出された。石器集中は第1地点で2箇所、第2地点で11箇所みつけている。第2地点の石器集中は径約15mの範囲に密集する環状ブロック群である。



第12図 旧石器調査区

(2) 第1地点

概要 (第13図)

調査区の南側半分から石器集中が4箇所検出された。文化層ごとに石器集中に位置をみると、第1文化層の石器集中1は、調査区南東側で第4文化層の石器集中3と4に挟まれるように検出された。遺物の出土層にレベル差があるため、分離は比較的容易であった。第3文化層の石器集中2は調査区南西側から検出され、焼礫片との分布が重複していた。遺物の分布は2箇所に分かれるが、分布が散漫なことから一つの石器集中として捉えておいた。第4文化層は調査区の南東側から石器集中3と4が検出された。また、石器集中1・3・4と石器集中2の中間から単独出土の石器が何点かみられた。

層位 (第14図)

土層断面は調査区を東西に通す方向でAライン、南北に通す方向でBラインを設定し、現場で実測した断面図を配置した。Aラインを見ると、調査区東側(①東側から③)が第V層上面まで削平されており、調査区東端部(④)で第III層(ソフトローム層)が残位していた。第IV層(ハードローム層)はほとんど区分できず、第V層(第1暗色帯)が厚くなっている。現地表面は西側縁部に緩く傾斜しているが、第V層、第VII・IX層を見る限りほぼ水平に堆積している。

Bラインは、遺物の出土していない北側部分の⑤・⑥グリッドは、層位の堆積状況が良好で、第IV層がブロック状ではあるが確認することができた。また、第1地点は第V層と第VII・IX層の間に第VI層が分離できた。

石器集中1 (第15図)

H9・J5グリッドに位置する。第1文化層で遺物の出土層位は第III層である。

遺物の分布は、第4文化層の第3・4石器集中

と近接するが、出土層位に差があるため区分は容易であった。遺物は径2mの範囲に槍先形尖頭器1点、碎片1点と礫9点がまとまり、南側にやや離れて碎片1点と礫1点が出土した。

出土石器 (第15図)

1は槍先形尖頭器である。外形は細身で両側縁が僅かに外湾し、横断面は厚手で凸レンズ状を呈している。調整加工は細かな剥離が両側縁から入念に施されている。先端は衝撃剥離により槌状が視られる。

石器集中2 (第16・17図)

H9・J3、I9・A3、A4グリッドに位置する。第3文化層で遺物の出土層位は第IV層である。

遺物の分布は、調査区東側に南北約4m、東西約2mの範囲と南西側に約4m離れて散漫な分布に分布していた。西側の石器分布には、砂岩と安山岩の焼礫片の分布と重複している。

出土石器 (第18図)

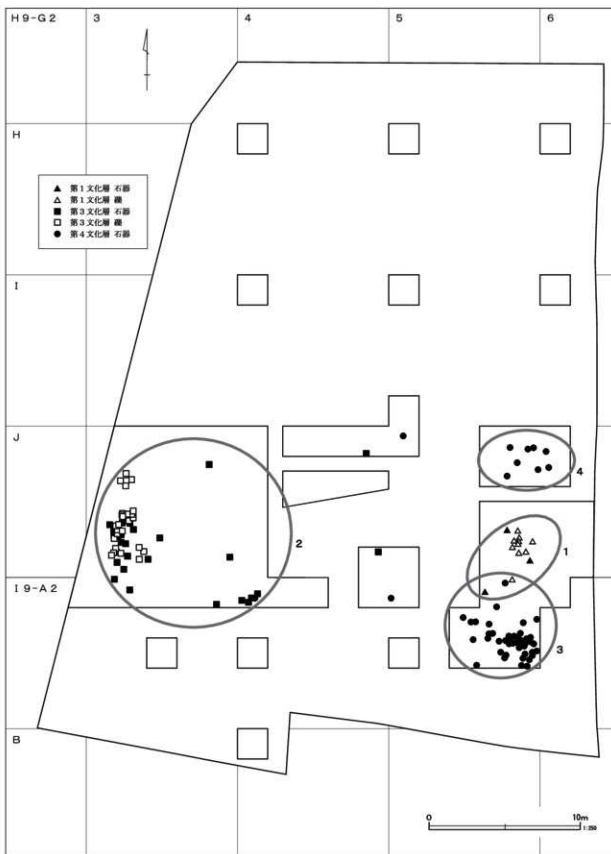
1はナイフ形石器である。外形は切出し状を呈し、右側面及び正面に自然面を大きく残している。調整加工は、基部は正面から裏面方向に施され、刃部側は裏面から正面方向の微細な剥離が施されている。6は安山岩製の軟質ハンマーである。

石器集中3 (第19・20図)

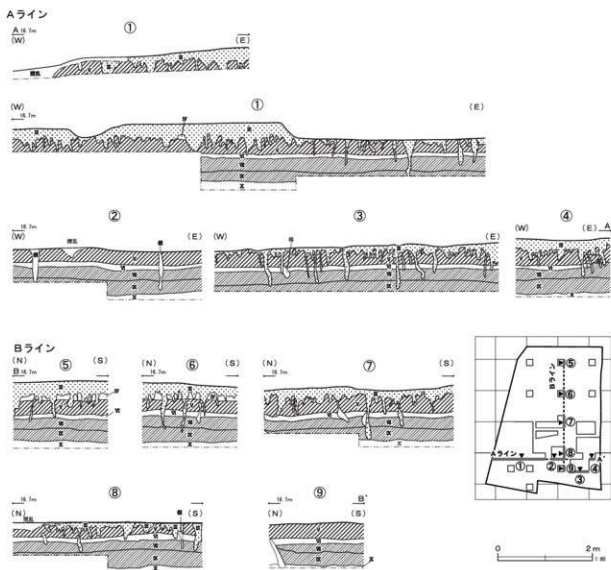
I9・A5グリッドに位置する。第4文化層で遺物の出土層位は第VII・IX層である。

遺物分布は、南北約4.5m、東西約5mの範囲に密集しており、炭化物粒子の分布が遺物分布の北東側に重なっている。

石器点数は44点とまとまっているが、剥片と碎片がほとんどである。その中で、第1地点第4文化層では、唯一の製品である掻・削器(1)が遺物分布範囲の西側端から出土している。



第13图 第1地点遺物分布图



第14図 第1地点土層断面図

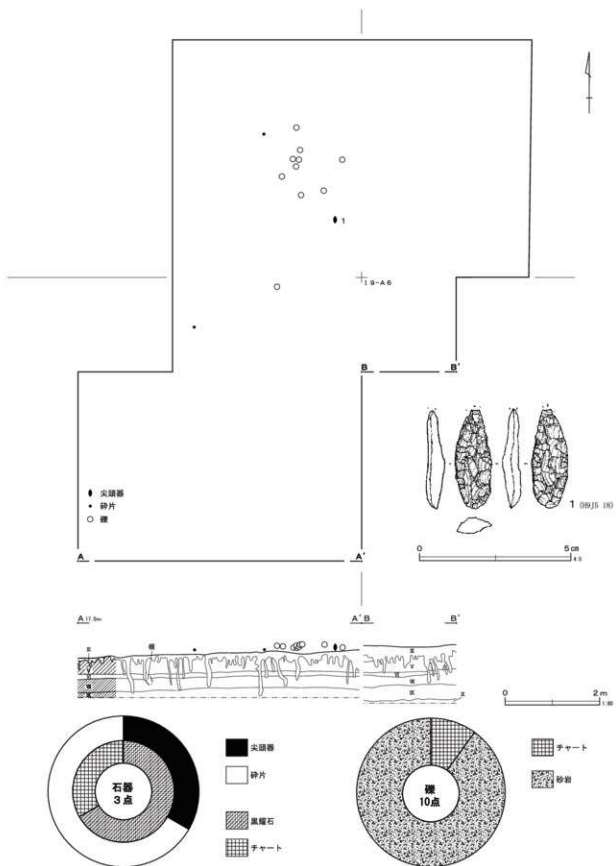
石器石材は、ガラス質黒色安山岩と流紋岩が多く使われている。石材ごとの分布をみると、ガラス質黒色安山岩が中央にまとまり、その周辺に流紋岩が分布している。

本石器集中から東側に約5 m離れた地点からメノウ製の縦長剥片(14)が単独で出土した。遺物の出土層位は第Ⅷ層下部で、本石器集中と同一時期と考えられる。

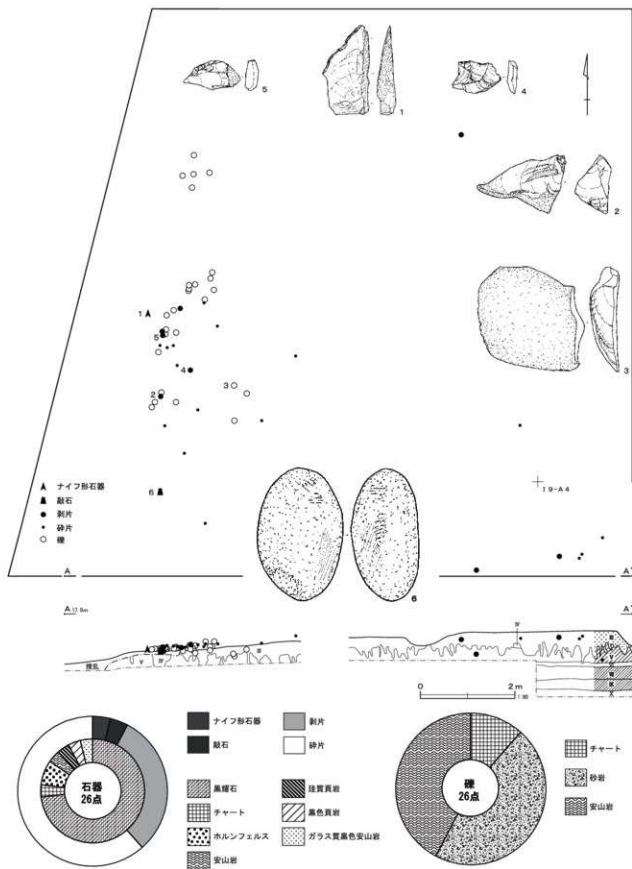
出土石器(第21・22図)

1は掻・削器である。上半部を欠損する。正面

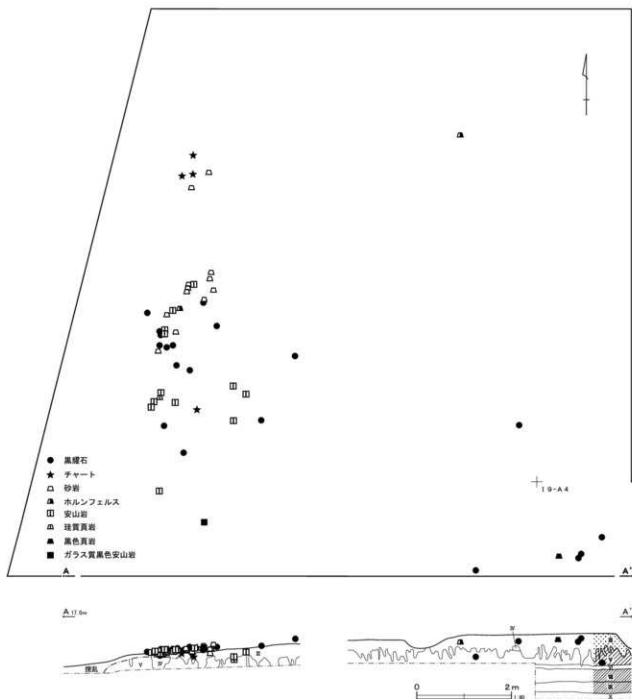
は自然面を大きく残した、大形厚手の縦長又は幅広剥片を素材としており、右側縁に荒い刃部加工が施されている。石器石材はガラス質黒色安山岩が用いられている。2は流紋岩製の大型の剥片である。左側面に正面から裏面に向かっての剥離面が観られるが、調整加工ではない。3は玉髓製の剥片である。下半分を欠損しているが、縦長剥片になると想定される。



第15図 石器集中1・出土石器



第16回 石器集中2 (1)



第17図 石器集中2 (2)

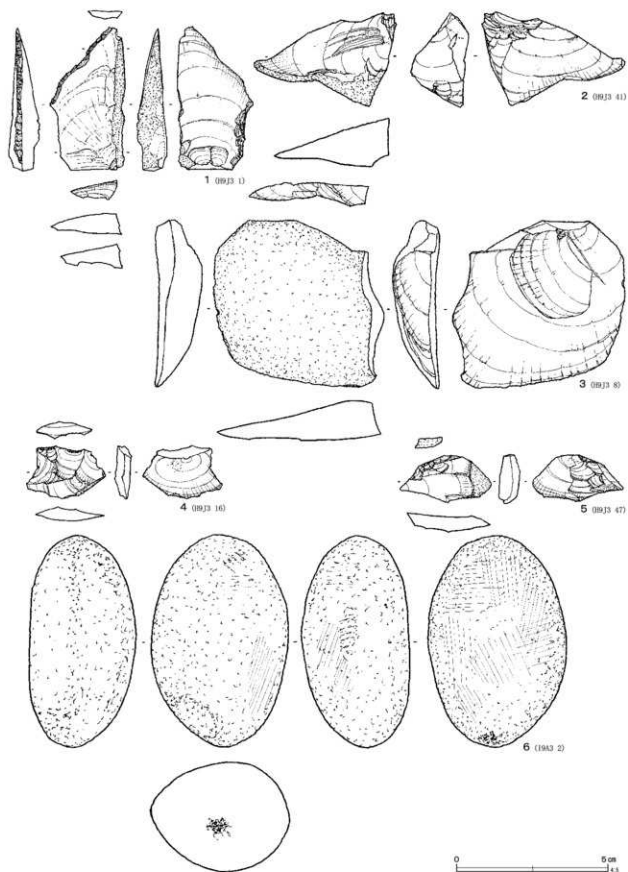
石器集中4 (第23・24図)

H9・J5、J6グリッドに位置する。第4文化層で遺物の出土層位は第Ⅶ・Ⅷ層である。

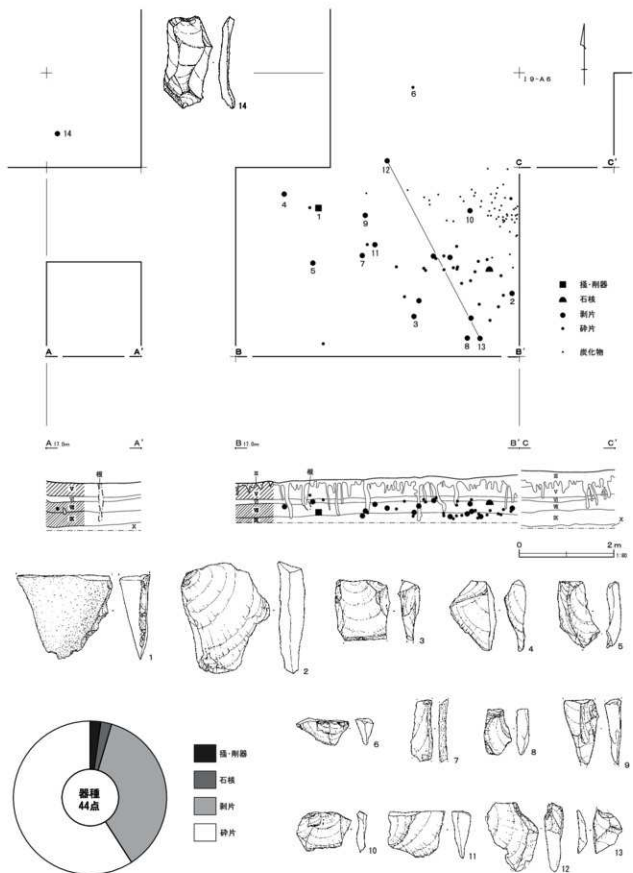
遺物分布は、南北約2.5m、東西約3mの範囲にコンパクトにまとまっている。石器の出土点数

は9点と少ないが、2点の接合資料が含まれていた。

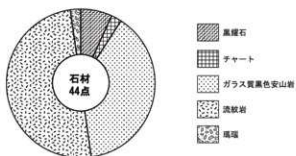
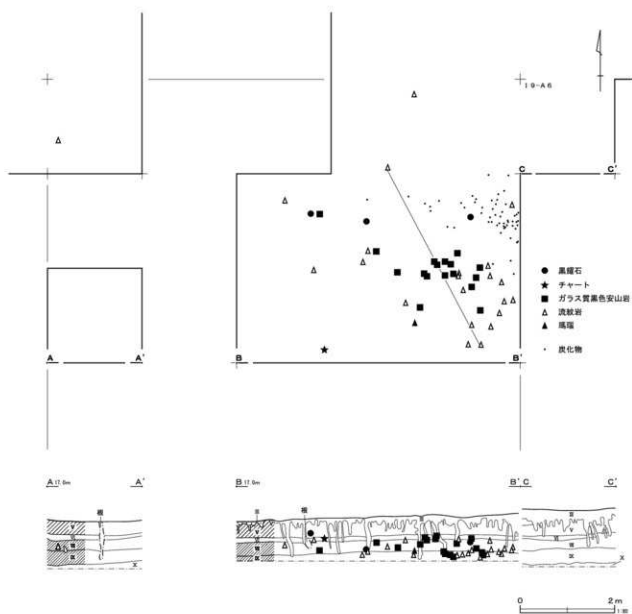
石器石材はガラス質黒色安山岩が主体を占め、石器集中3とは組成比が異なるが、流紋岩と玉髄が含まれており、同じ石材の組み合わせである。



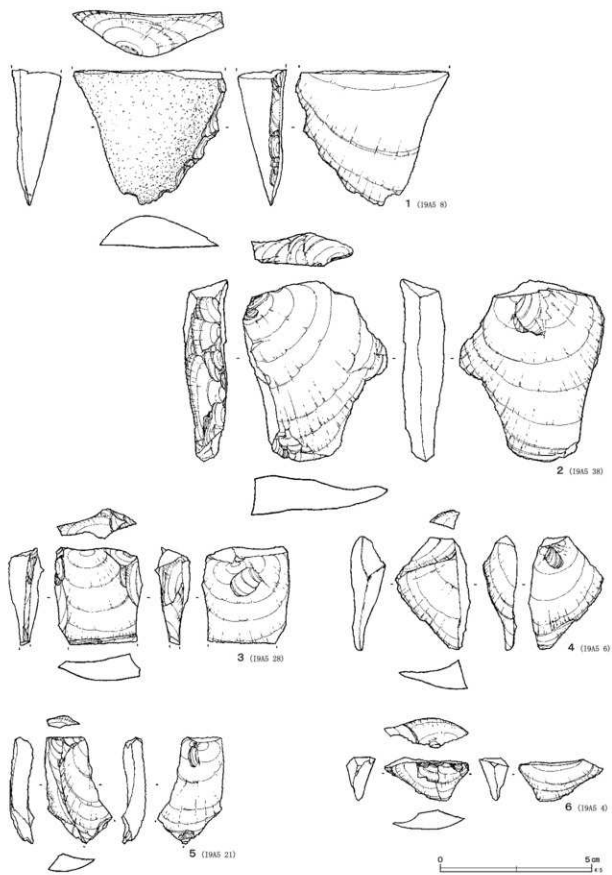
第18图 石器集中2出土石器



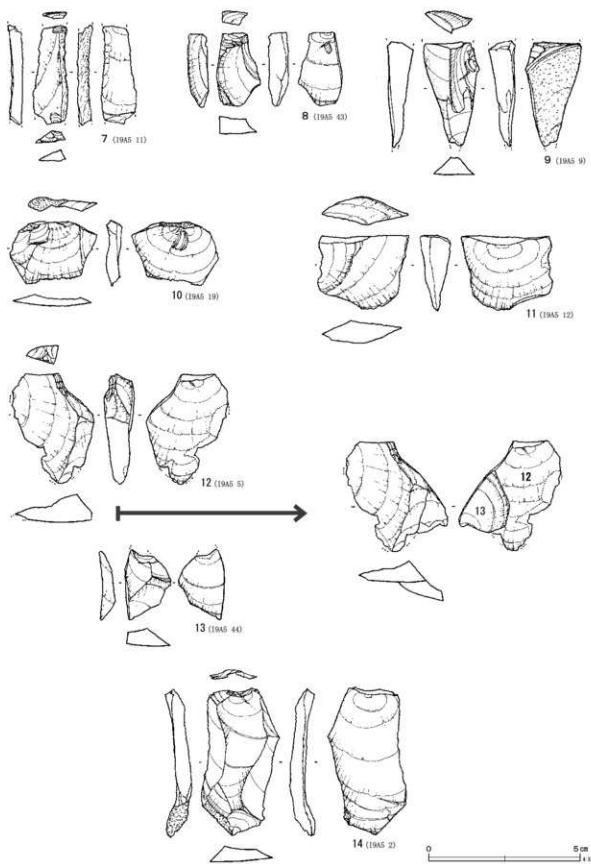
第19图 石器集中3 (1)



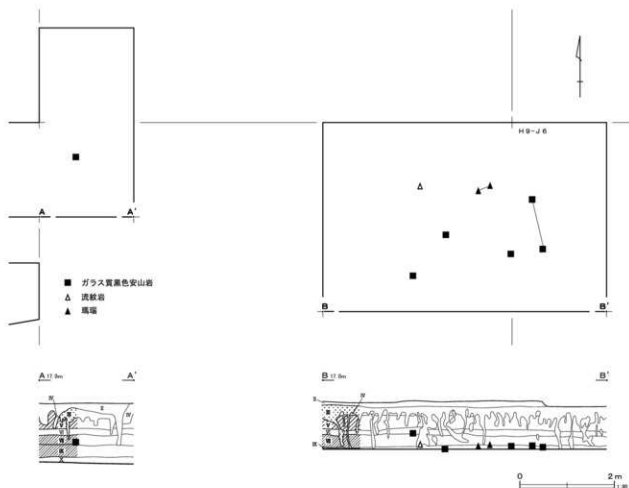
第20図 石器集中3 (2)



第21图 石器集中3出土石器(1)



第22图 石器集中3出土石器(2)



第24図 石器集中4 (2)

出土石器 (第25図)

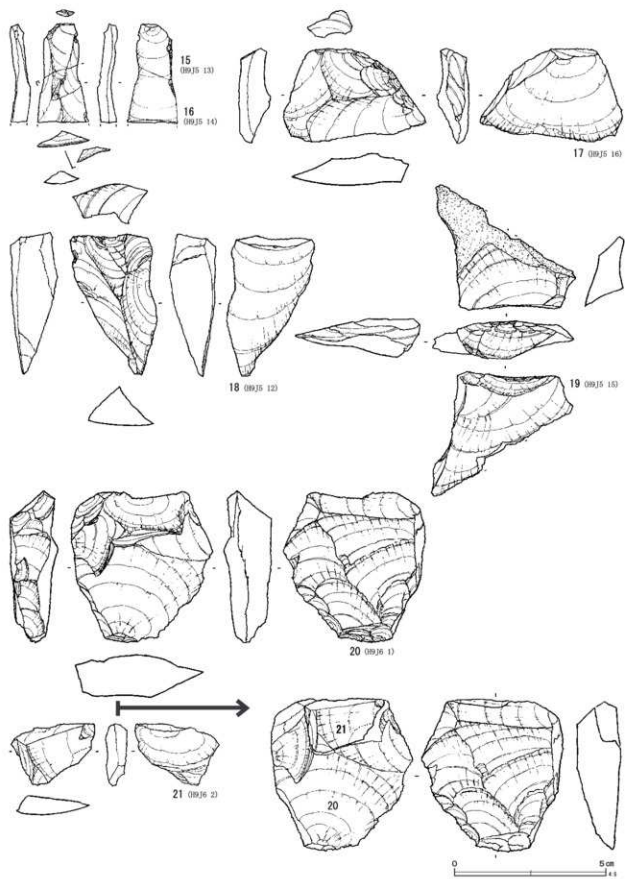
15・16は玉髄製の縦長剥片である。下半分を欠損するが、右側縁裏面に微細な剥離痕が窺られることから、石刃等として使用されたと考えられる。また、上下2点に折れているが出土地点は近接しており、使用による欠損か埋没等の過程での欠損かは不明である。19は剥片素材の石核である。正面から裏面に向かって打面側を輪切りにするように小形横広剥片を剥離している。20は厚手剥片素材とした石核である、正面から主要剥離面側を取り込むように、幅広剥片(21)が接合している。

単独出土 (第26図)

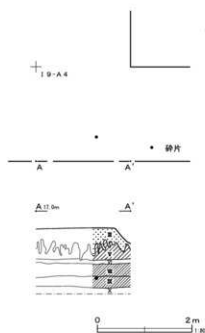
石器集中2の分布範囲と重複する、I 9・A 4グリッドから剥片が単独で出土した。出土層位は第IX層上面である。

グリッド出土石器 (第27図)

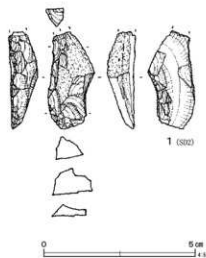
切出し状を呈するナイフ形石器である。先端を欠損するが外形は、左右非対称で刃部正面に自然面を大きく残している。調整加工は、左側縁に急角度の剥離が施され、側刃縁は折断した後裏面に平坦剥離が施されている。石器石材は黒曜石である。



第25图 石器集中4出土石器



第26図 単独出土



第27図 グリッド出土石器

(3) 第2地点

概要 (第28図)

第2地点は調査区東側から、第1文化層の石器集中5と第2文化層の石器集中6が検出され、調査区西側から第4文化層の石器集中8～18(環状ブロック群)と第3文化層の石器集中7が検出された。第3地点は旧石器時代の遺構及び遺物は出土しなかった。

層位 (第29・30図)

土層断面は、調査区を東西方向に通すように、Aラインを設定した。断面をみると東から西に僅かに傾斜している。ローム層堆積状況は、第Ⅲ層(ソフトローム層)が第Ⅴ層(第1暗色帯)中まで達しており、第Ⅳ層はほとんど確認できなかった。第Ⅵ層は第1地点と比べ分離できたのは台地中部で、縁辺に近い断面では確認できなかった。第Ⅶ・Ⅷ層(第2暗色帯)は台地の縁に近い部分は分層が難しく、第4文化層の石器群の出土層位を限定するのが難しくしている。

石器集中5 (第31図)

I 8・J 7グリッドに位置する。第1文化層で遺物の出土層位は第Ⅲ層中である。

遺物は南北約5m、東西約2.5mの範囲に散漫に分布している。石器の出土点数は7点と少ないが、槍先形尖頭器3点が出土した。石器石材は剥片類を含め全て硬質頁岩が用いられている。

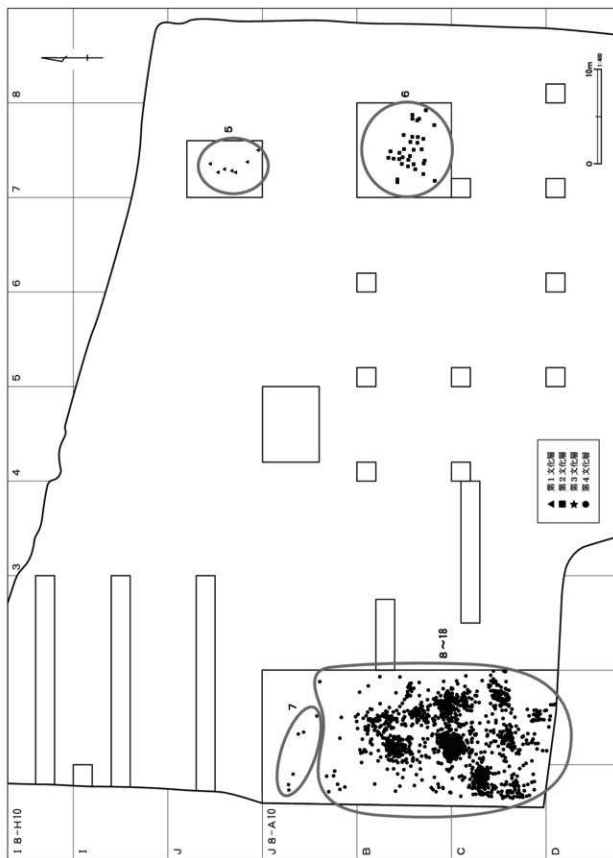
出土石器 (第31図)

1は両面加工、2は片面加工、3は周辺加工の槍先形尖頭器である。1・2は先端に衝撃剝離による極状剝離が観られる。3は上下を大きく欠損している。

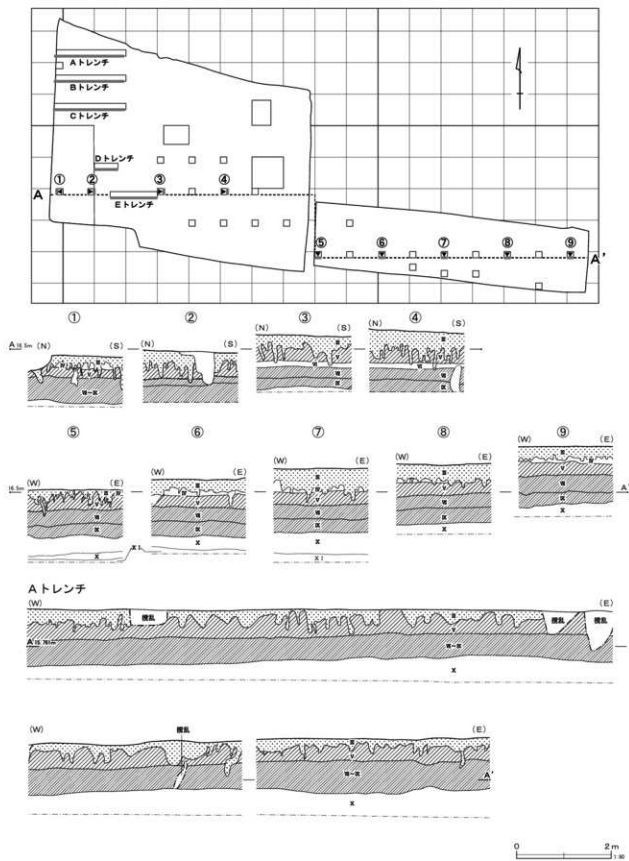
石器集中6 (第32図)

J 9・B 7グリッドに位置する。第2文化層で遺物の出土層位は第Ⅲ～Ⅳ層上面である。

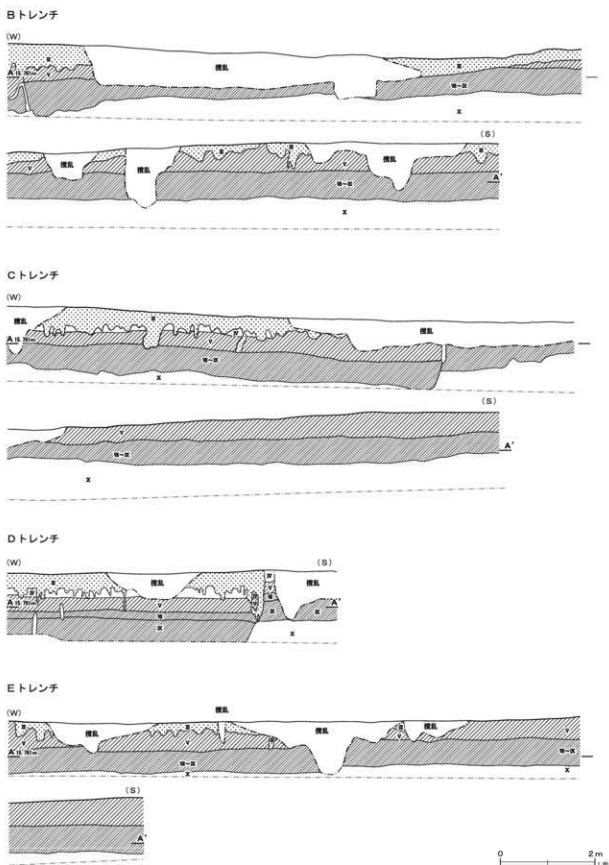
遺物は南北約5m、東西約7mの範囲に分布する。石器の出土点数は33点であるが、2点のナイフ形石器と剥片、破片が主体である。石器石材は



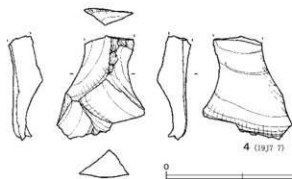
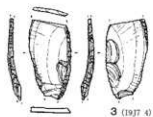
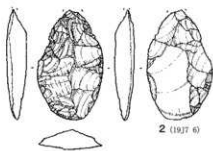
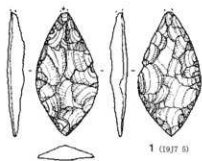
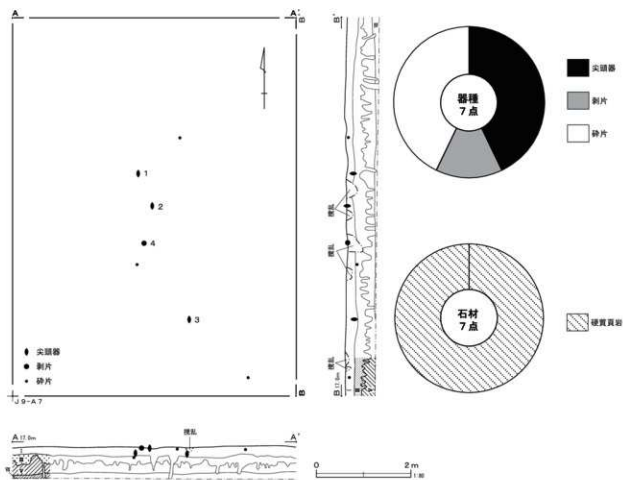
第28图 第2地点遗物分布图



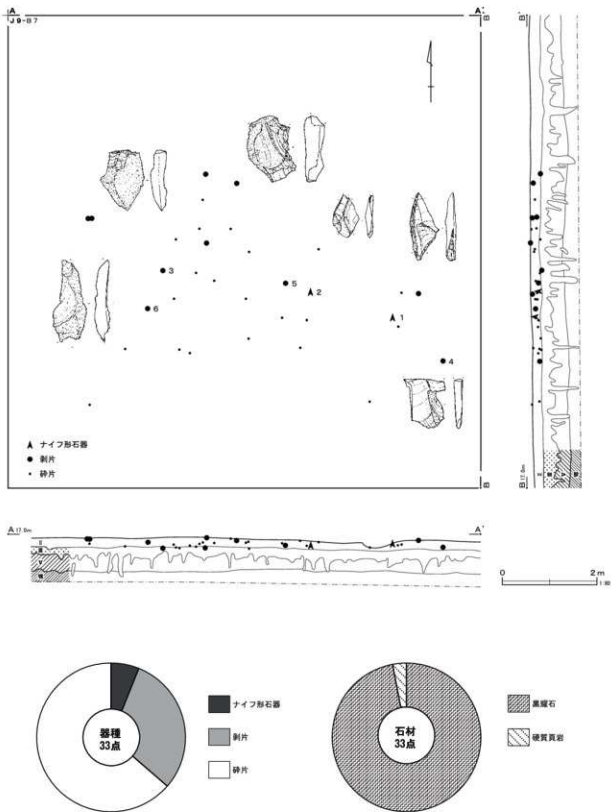
第29図 第2地点土層断面図(1)



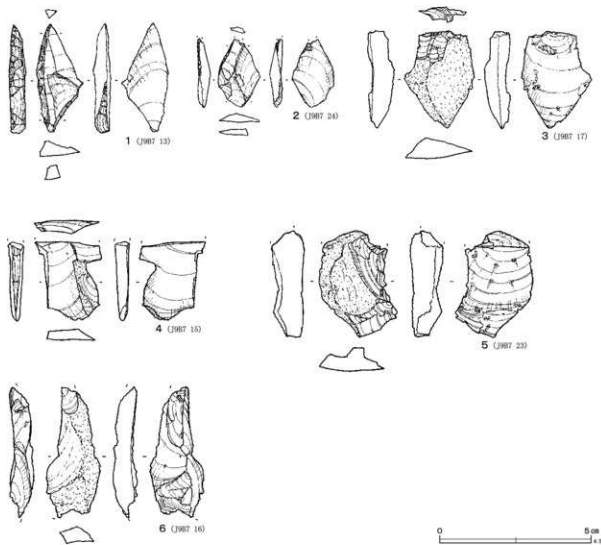
第30図 第2地点土層断面図(2)



第31圖 石器集中5・出土石器



第32図 石器集中6



第33図 石器集中6出土石器

1のナイフ形石器を除くと全て黒曜石が用いられている。

出土石器 (第33図)

1は硬質頁岩製のナイフ形石器である。調整加工は二側面に施されている。2は先端を欠損するが尖頭状を呈すると思われる。調整加工は、左側縁上半部に微細な剥離が施されている。

石器集中7 (第34図)

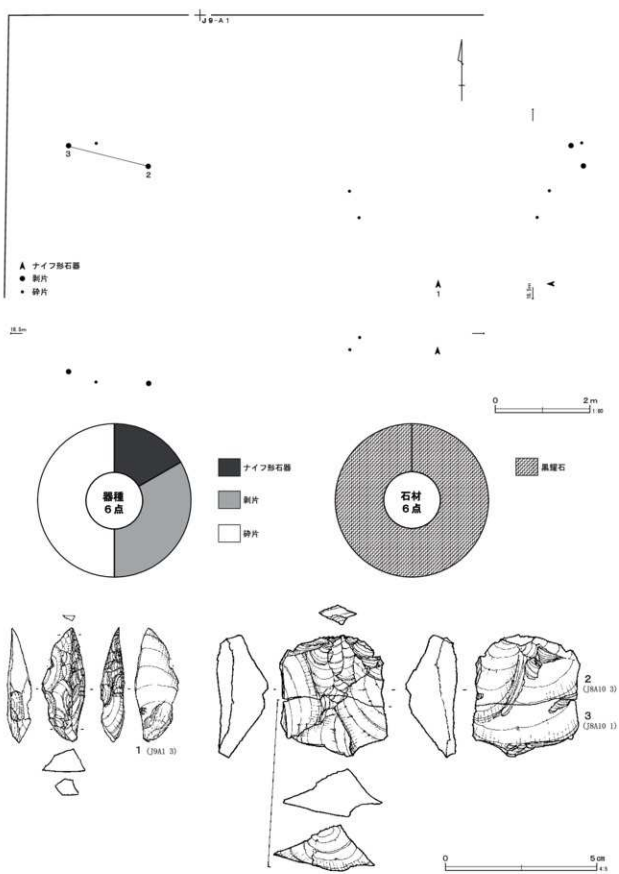
J 8・A 9、J 9・A 1グリッドに位置する。第3文化層で遺物の出土層位は第IV層である。

第4文化層の石器集中8～18の北側に近接して

いる。遺物は約3.5m、東西約8mの範囲に散漫に分布している。石器の出土点数は6点と少ないが、ナイフ形石器1点が出土している。石器石材は不純物の多い黒曜石が用いられている。

出土石器 (第34図)

1は厚手のナイフ形石器である。外形は右側縁が直線的で、左側縁は刃部と側刃縁の部分で僅かに肩が張る、切出し状を呈している。調整加工は粗く鋸歯状である。2・3は厚手剥片の接合資料である。石器石材はナイフ形石器と同じ黒曜石が用いられている。



第34図 石器集中7・出土石器

石器集中8～18 (第35～62図)

石器集中8～18の11箇所は、調査区の南西部でJ 8・A10、B10、C10、J 9・A10、B10、C10グリッドに位置する。遺物の出土層位は第Ⅶ～Ⅸ層の第2暗色帯中からで、第Ⅸ層に入る遺物はなかった。石器集中の配置は、径約15mの範囲に密集部が環状に並んでいる。また密集部と密集部の間にも遺物が分布しており、密集部を石器集中とし、その周りをエリアとした。密集部は11箇所に分け石器集中8～18とした。エリアはⅠ～Ⅲに区切り全体を網羅した。

石器集中は、環状の中央部に最も密集度の高い石器集中17が位置し、その周りに北から時計回りに石器集中9・10・12・16・15の遺物密集度の高い石器集中6箇所が囲み、その外縁に、遺物の密集度が比較的低い石器集中8・13・14が配置されているようにみえる。北西側からは石器集中が検出されなかったが、調査区域外に存在するのか、

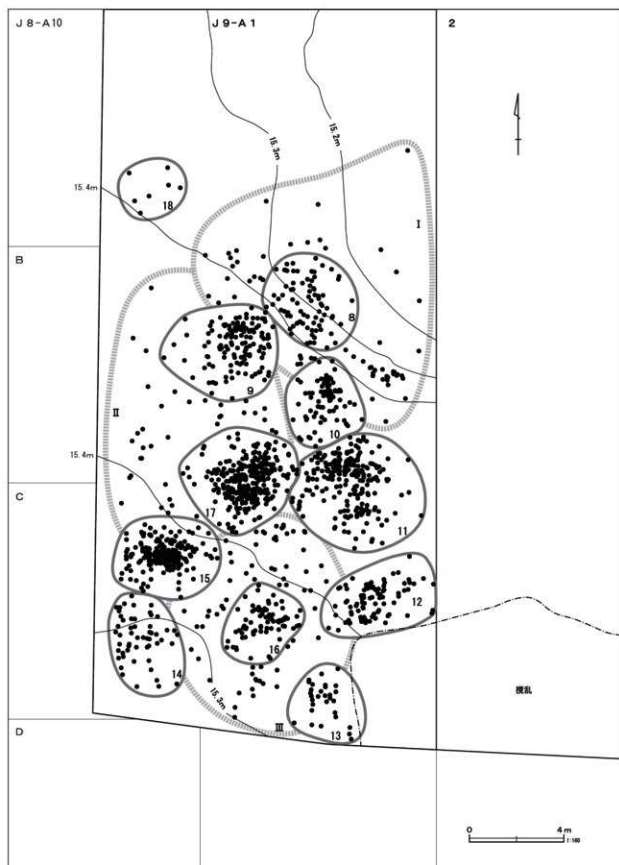
元来一部開放していたのかは不明である。ただ環状の北側外周に位置する石器集中18は石器点数が少ないが、敲石等がまとまっており、本環状ブロック群で得意な位置を占めている。

各石器集中の器種及び石器石材組成は、第3表に示したが、全体の傾向を確認すると製品はナイフ形石器26点と台形縁石器19点を主体に、掻・削器、石錐等の器種が出土した。しかし、環状ブロック群と密接な関係を示すとされる石斧が検出されなかった。大宮台地では石斧出土例がなく、本遺跡から砂岩製の剥片が数点出土しており、石斧の調整剥片等の可能性も考えたが説得力に乏しかった。大宮台地の山間部との距離、群馬県から延びる台地の先端部に位置している等の地域性によって石斧の携帯が必要なかったのか、調査事例が少ない為なのか今後の検討課題でもある。

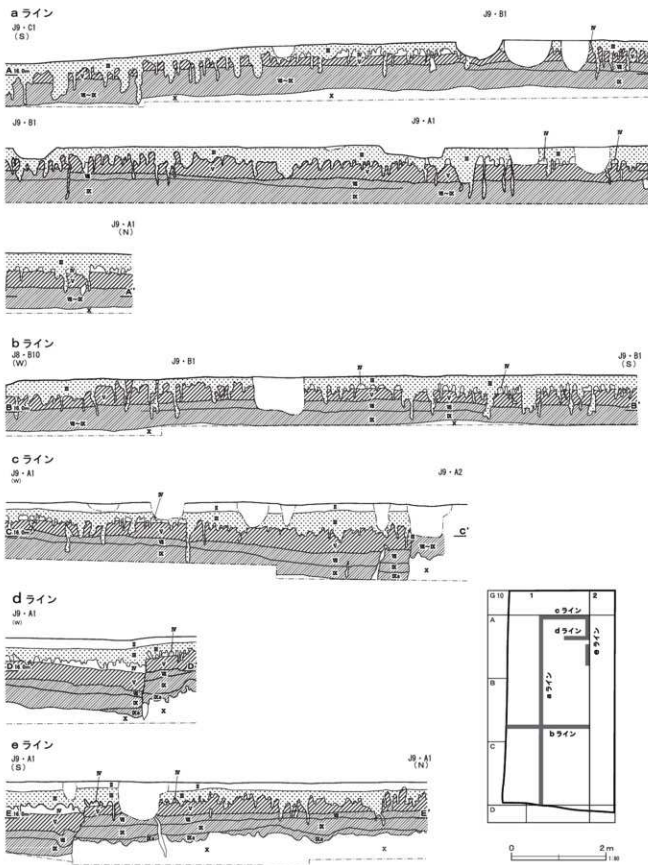
石器石材は、良質な黒曜石が全体の88%を占め、ガラス質黒色安山岩が9%、トトロ石が2%用

第3表 石器集中8～18器種・石材組成表

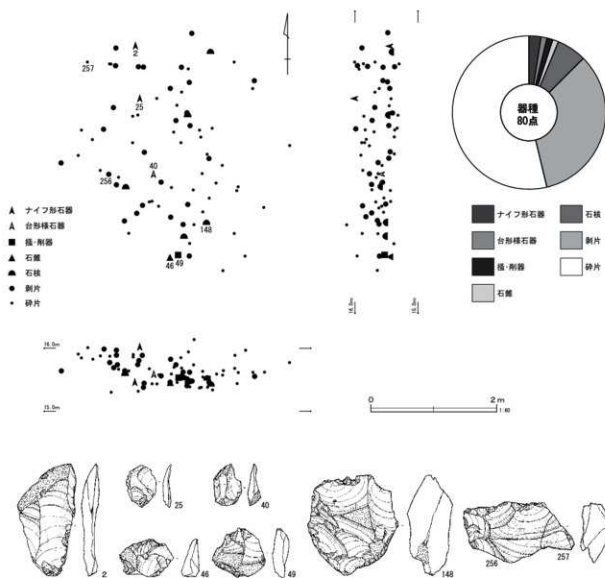
	石器集中												エリア			合計
	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ		
ナイフ形石器	2			5	2	1	4	3	3	1		2	1	2	26	
台形縁石器	1	4		2	2			3	1	5			1		19	
掻・削器	1	2			1			1		2			2	1	10	
石錐	1								1				1		3	
敲石											2				2	
剥片	27	39	19	92	52	15	39	75	26	103	4	25	21	32	569	
砕片	43	92	61	117	28	10	8	143	42	184	3	27	8	30	796	
石核	5	1		5	2	3	4	4	1	11			2	4	42	
原石			1	3		1				1		1			7	
合計	80	139	80	224	87	30	55	229	74	307	9	55	36	69	1,474	
黒曜石	75	121	76	166	45	27	39	223	71	306	5	51	34	54	1,293	
ガラス質黒色安山岩	5	18	4	53	15	3	16	4	2	1		1	2	13	137	
トトロ石					27										27	
黒色頁岩				1								2		1	4	
玉髓				4					1		2			1	8	
砂岩								2				1			3	
ホルンフェルス											2				2	
合 計	80	139	80	224	87	30	55	229	74	307	9	55	36	69	1,474	



第35圖 石器集中 8-18



第36図 石器集中8-18土層断面図



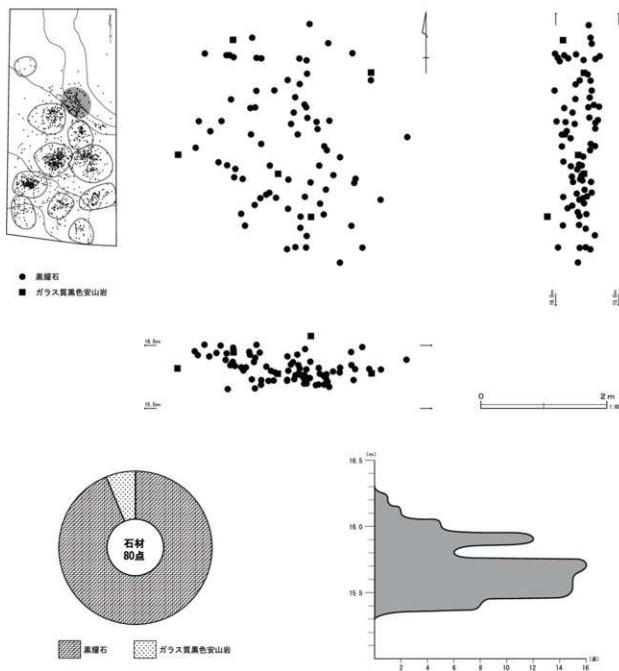
第37図 石器集中 8 (1)

いられていた。関東地域の当該期に、良質な黒曜石がこれだけ用いられている遺跡は他にほとんどみられない。房総半島は当該期の遺跡が多く、黒曜石が多く用いられている場合があるが、その殆どは高原産が主体である。本遺跡の黒曜石は肉眼観察であるが、高原産とは異っており、今後理化学的方法による産地推定分析等の必要がある。また、ガラス質黒色安山岩、トトロ石は黒曜石と補完関係にあり、当該集団の遊動経路等重要な意味を持つと思われる。

層位 (第36図)

本地点は南北30m、東西15mの範囲を立川ローム下底部まで面的に調査を行うことができたので、各グリッドにベルトを設定し、調査の進行に合わせて土層観察を行った。

調査区の北側に設定したdラインの断面において、地震によると思われる断層が見つかった。断層の方向を確認するため、eラインとeラインで土層観察を行うと北西から南東に向かって断層が伸びていることが確認できたので南の延長線上



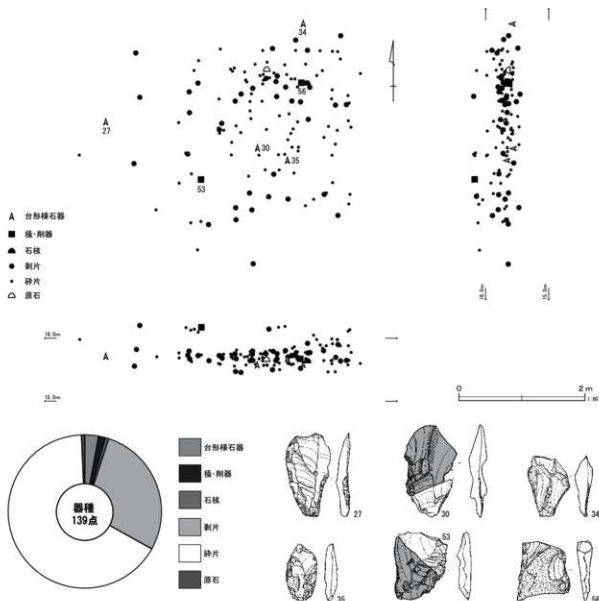
第38図 石器集中8(2)

(第29・30図)に、D・Eトレンチを設定した。Dトレンチでは断層が確認できたが、Eトレンチでは観察できなかった。また、北側はCトレンチで上層は攪乱が激しく詳細は不明であるが、第Ⅶ・Ⅷ層のズレが確認できた。A・Bトレンチでは断層が確認することはできず、調査区の西側に伸びるのかもしれない。

ローム層の堆積状況は他の断面と比較して台地縁部に近い地点とほぼ共通して、第Ⅳ層と第Ⅵ層の分層が難しく、第Ⅶ～Ⅷ層(第2暗色帯)の細分も明確でないグリッドがあった。

等高線(第35図)

第Ⅹ層上面の標高を20cm間隔で計測して調査区内の等高線を作成した。



第39図 石器集中9(1)

等高線を視ると旧石器調査区の中央がやや高く、南と北側に向かって僅かに低くなっている。遺物の分布は高い15.4mの等高線に扶まれた範囲から、南側の僅かに下がる部分に遺物が密集している。

J 8・A10、J 9・A 1、J 9・B 1グリッドは、15.4mラインより北側の等高線が東に引張られているが、これは断面で観察された地震による断層のためと思われる。遺物分布を重ねると15.4mのラインより北東側が等高線に扶まれように遺物が帯状に拡散しているように見える。元来

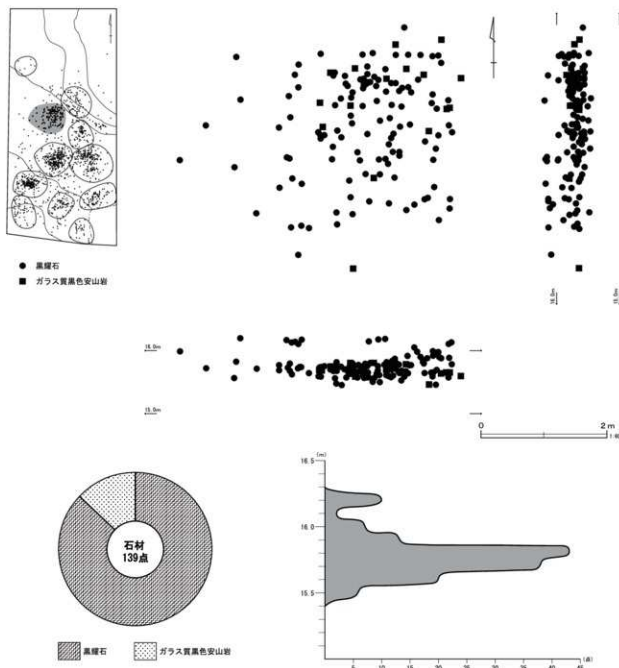
は明確な集中を示していたのが、一部地震によって分布が乱れたのかもしれない。

石器集中8(第37・38図)

J 9・B 1グリッドに位置する。

本石器集中は、環状ブロック群の北東部に位置し、遺物の密集する範囲の外縁部に当たる。

遺物分布範囲は、南北約5.2m、東西約4.8mの範囲で、ナイフ形石器、台形様石器等の製品は中央にまとまる傾向が観られる。

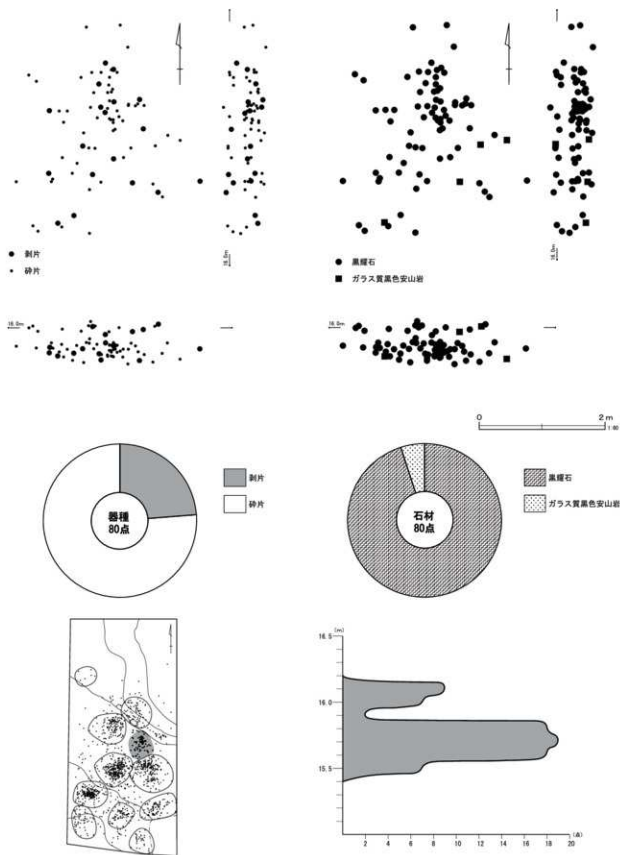


第40図 石器集中9 (2)

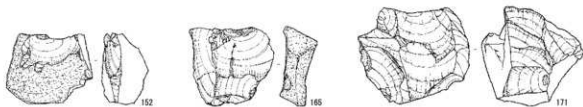
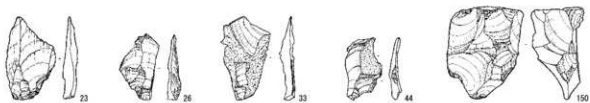
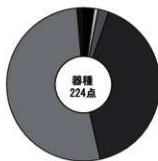
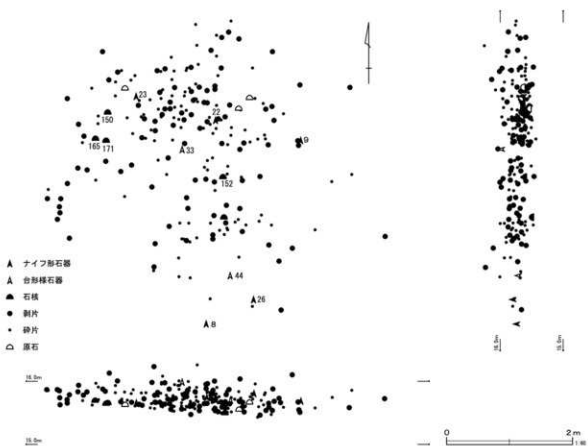
遺物のレベルは15.7mと15.4mの2つのピークが観られる。2つの文化層の重複の可能性も想定したが、石器の特徴からは複数時期の分離は難しい。また、本石器集中中は断層が確認された地点に近く、等高線が乱れる場所と重なっており、それが要因と思われる。

石器点数は80点である。ナイフ形石器2点と台

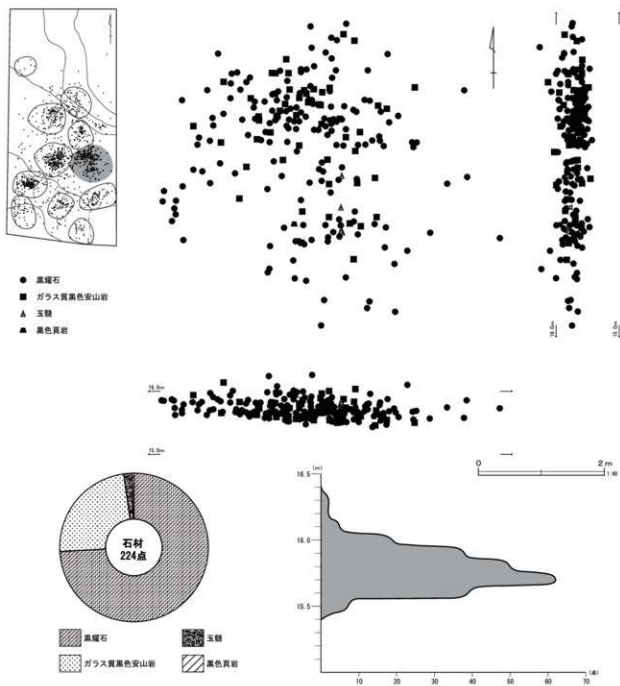
形様石器、搔・削器、石錐が出土している。ナイフ形石器(2・25)と台形様石器(40)は、遺物分布の中央から北側から出土した。石錐(46)と搔・削器(49)は、分布南側端で2点が隣接して出土している。搔・削器は錐状の突起があり、石錐的機能を有するものと思われる。石核(148)は石錐・搔・削器に近接して出土している。



第41図 石器集中10



第42図 石器集中11 (1)



第43図 石器集中11(2)

石器石材は黒曜石が94%と主体を占め、ガラス質黒色安山岩が6%である。

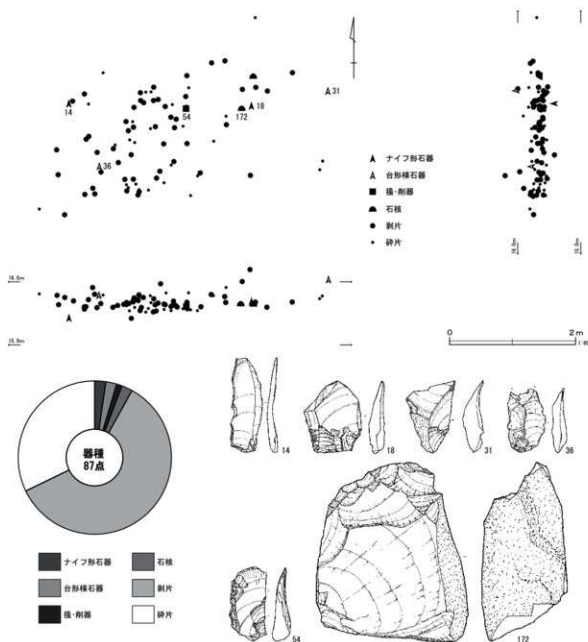
石器集中9 (第39・40区)

J 8・A10、J 9・A1グリッドに位置する。本石器集中は、環状ブロック群の北部に位置し、中央部に位置する石器集中17の北側に隣接してい

る。

遺物は南北約4.8m、東西約6.0mの範囲に分布し、密集部は東側に偏っている。台形様石器が4点出土しているが、分布には偏りはみられない。

遺物のレベルは15.8mと16.3mの2つのピークが観られたが、石器集中8と同じく石器の特徴からは複数時期の分離は難しく、地震等による要因



第44図 石器集中12(1)

と思われる。

石器点数は139点である。台形様石器が4点ま
とまり、槓・削器等が組成する。台形様石器は、
遺物分布の中央部から、小形で平坦剥離が入念に
施された(35)が出土し、北側の端部から(34)
が出土した。分布の密集部から西に少し離れて、
大形の基部加工のナイフ形石器に近い(27)が出
土した。槓・削器(56)は台形様石器(34)と

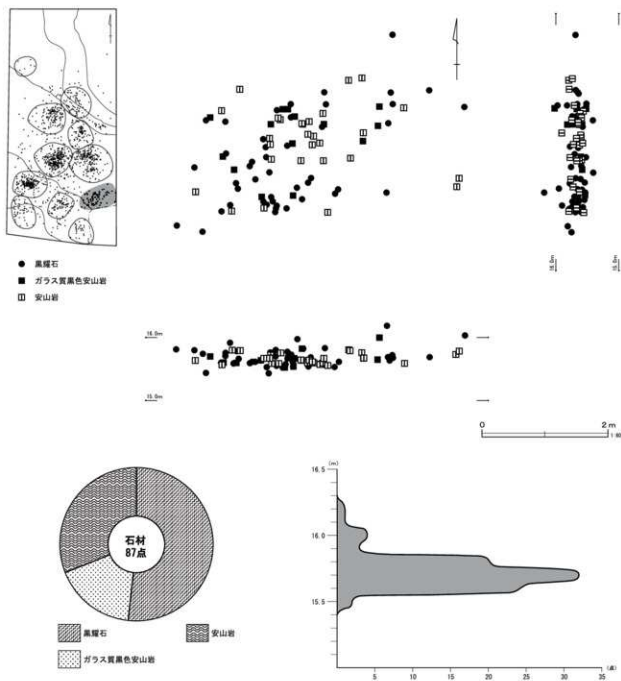
(35)の中間から出土している。

石器石材は、黒曜石が87%と主体を占め、ガラ
ス質黒色安山岩が13%である。

石器集中10(第41図)

J9・B1グリッドに位置する。

本石器集中は、環状ブロック群の北東部に位置
し、石器集中8と11に挟まれている。



第45図 石器集中12(2)

遺物の分布は、南北約4.5m、東西約4.0mとコンパクトにまとまる。

遺物のレベルは15.7mと16.2mの2つのピークが観られるが、石器集中8・9と同じく、石器の特徴からは複数時期の分離は難しい。地震等による要因と思われる。

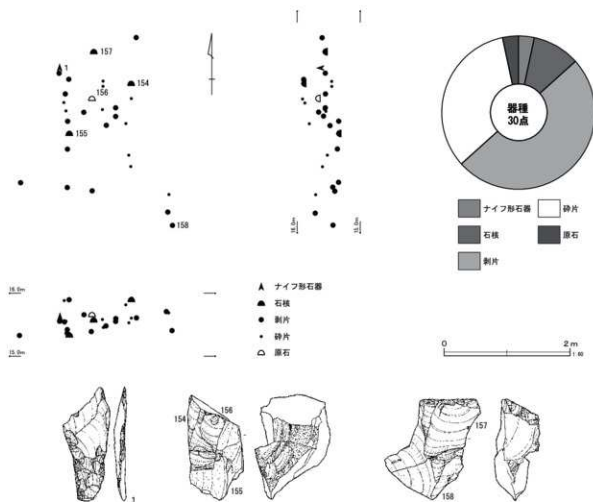
石器点数は80点である。剥片と碎片だけで、製

品は出土していない。石器石材は黒輝石が95%と主体を占め、ガラス質黒色安山岩が5%である。

石器集中11 (第42・43図)

J9・B1、C1グリッドに位置する。

本石器集中は、環状ブロック群の東部に位置し、中央部に位置する石器集中17の東側に隣接してい



第46河 石器集中13(1)

る。

遺物は南北約6.5m、東西約7.2mの範囲に分布、径2m程度の密集部が2箇所みられる。製品の分布に偏向はない。玉髓が点数は少ないが、密集部と密集部の間にまとまっている。

遺物のレベルは15.7mにピークが観られた。ヒストグラムはピークより下は少なく、ピークの上に向かって広がっている。垂直分布図をみても下底部でよく並び上部に向かって拡散していることが観られる。

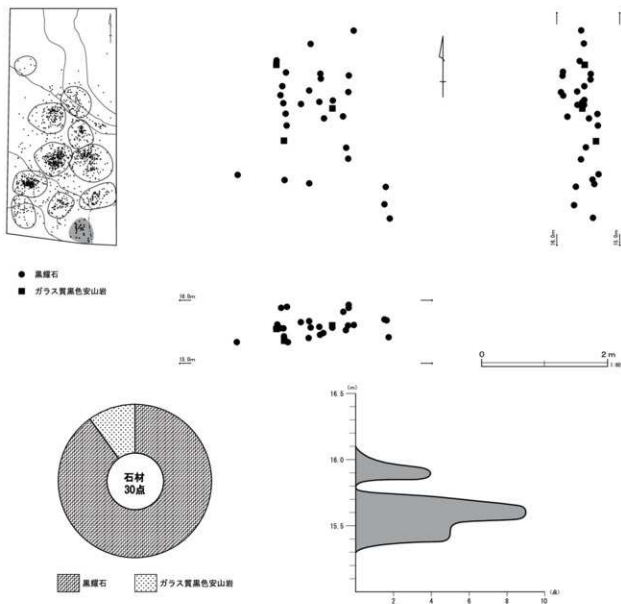
石器点数は224点と多く、ナイフ形石器5点、台形縁石器2点が出土している。

ナイフ形石器は、黒曜石以外の唯一になるガラ

ス質黒色安山岩製の(23)が、遺物分布の密集部北西側から出土した。(8)・(26)のナイフ形石器と(44)の台形縁石器は、遺物分布の南側でまとまって出土している。先端を衝撃剥離で欠損するが、調整加工が入念な(9)は、密集部の東端から出土している。

石核は密集部の西側に、ガラス質黒色安山岩の(379)と剥片素材の石核(165)が近接している。また、(152)の石核は密集部の中央部付近からみつかる。

石器石材は、黒曜石が74%、ガラス質黒色安山岩が24%と他の石器集中と比べると、ガラス質黒色安山岩が占める割合が高く、全体の約1/4を占



第47図 石器集中13(2)

めている。

石器集中12 (第44・45区)

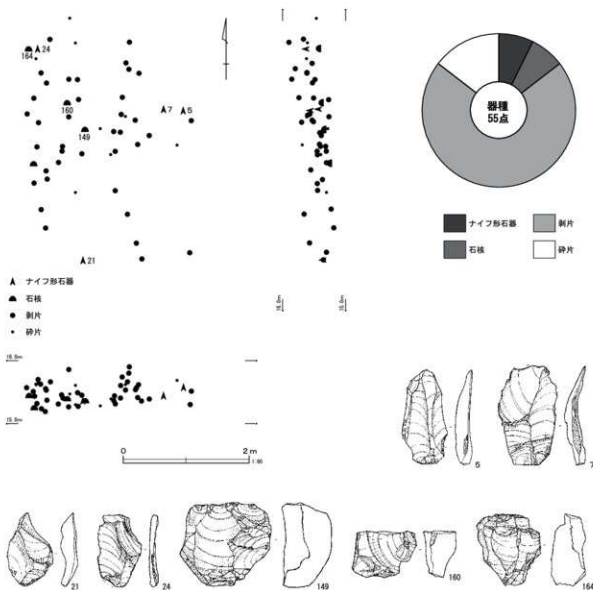
J9・C1グリッドに位置する。

本石器集中は、環状ブロック群の南東部に位置する。南側に大きな攪乱穴があり、遺物の一部が失われている可能性が高い。

遺物分布は、現況で南北約4.2m、東西約6.0mである。製品は分布の北側にまとまる傾向が観られる。

遺物のレベルは15.7mにピークがある。下底部はフラットであるが、上部はやや拡散している。

石器点数は87点である。ナイフ形石器2点、台形様石器2点と挿・削器等の製品が出土し、他に、ガラス質黒色安山岩製の礫器状の石核(172)が出土している。ナイフ形石器(14)は密集部の西端、(18)が東端から出土している。台形様石器(31)は東側に密集部より少し離れてみつがっている。ガラス質黒色安山岩の石核(172)はナイフ形石器(18)と隣接してみつがっている。



第48河 石器集中14(1)

石器石材は、黒曜石が52%、トトロ石31%、ガラス質黒色安山岩17%を占めている。トトロ石は本石器集中にほぼ限定される。

石器集中13 (第46・47図)

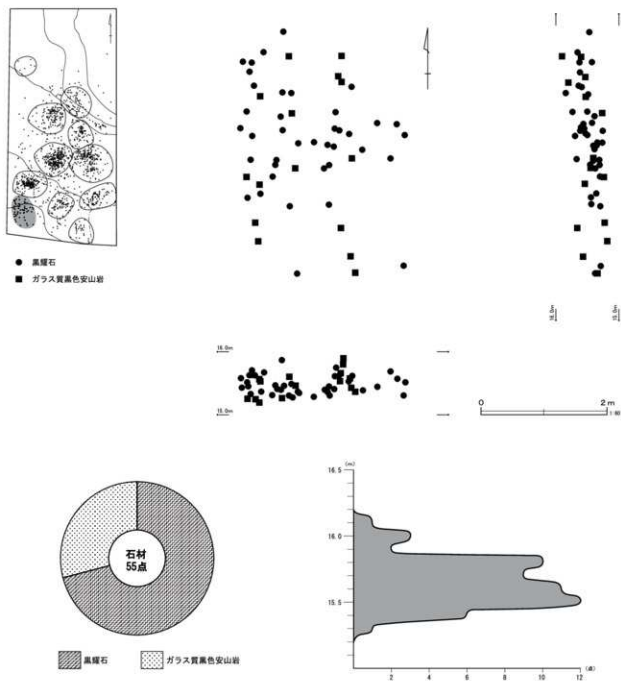
J9・C1、D1グリッドに位置する。

本石器集中は、環状ブロック群の南東部に位置し、東側を攪乱穴によって一部失われていると思われる。石器集中12・16の南側に隣接し、環状に密集部の外縁に当たる。

遺物分布は、南北約4.0m、東西約3.2mと小範囲で遺物点数も少ない。台形縁石器等は分布の北側に偏る傾向があり、南側は剥片と砕片が散発に分布している。

遺物のレベルは15.6mと16.9mの2つのピークが観られるが、資料点数が少ないため有意な傾向を表しているか不明である。

石器点数は30点と少ないが、台形縁石器、石核等が出土した。大形のナイフ形石器(1)は、北西端から出土した。(154)～(157)の石核は接



第49図 石器集中14(2)

合する。分布は小範囲にまとまっている。

石器石材は黒曜石が90%、ガラス質黒色安山岩が10%占めている。

石器集中14 (第48・49図)

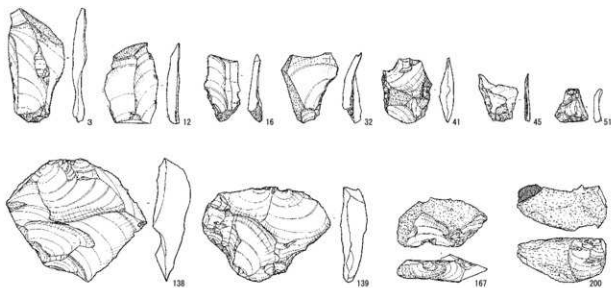
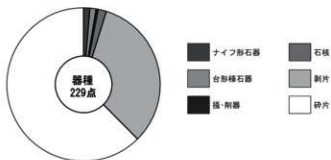
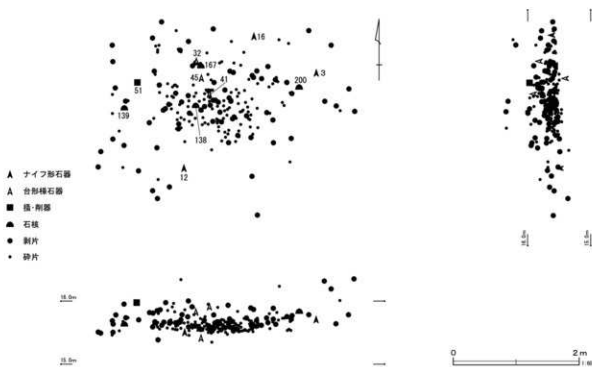
J 8・C10グリッドに位置する。

本石器集中は、環状ブロック群の南西部に位置

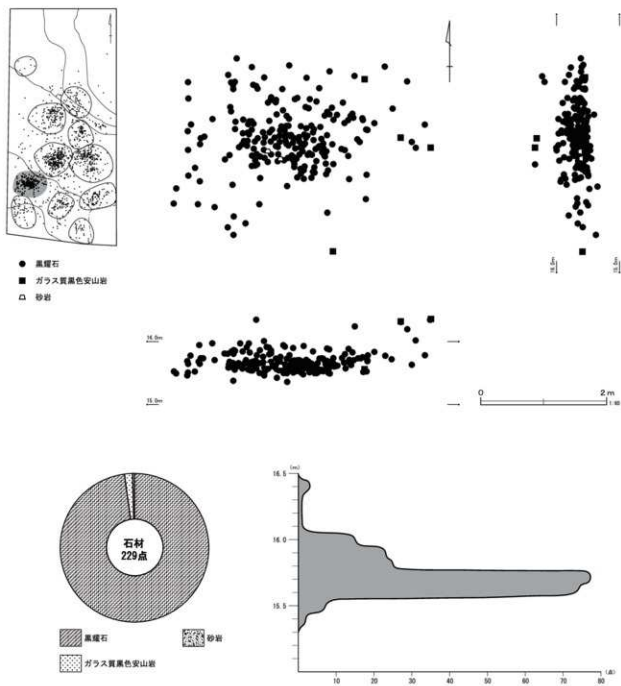
し、石器集中15の南側に隣接し、環状に密集部の外縁に当たる。

遺物分布の範囲は、南北約5.2m、東西約3.6mである。ナイフ形石器、台形様石器等は分布の北側にまとまりやや密集するが、南側は剥片類が散漫に分布している。

遺物のレベルは15.5mにピークが、上部に幾つ



第50図 石器集中15(1)



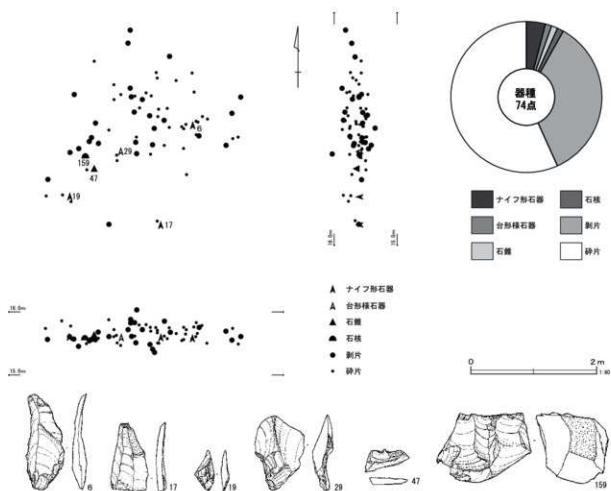
第51図 石器集中15(2)

かの小さなピークと思われる突起があり、上部への拡散が著しい。南北方向の垂直分布をみると、北から南に僅かに下がっており、等高線が南西に向かって下がり始めているのと一致しており、台地縁部の肩部に近いと考えられる。

石器点数は55点と少ないが、ナイフ形石器4点がまとまっている。基部加工のナイフ形石器(5)、

(7)は、密集部の東端で2点近接して出土している。(24)のナイフ形石器は密集部の北西部で(164)の石核と近接してみつがっている。石核は3点が直線状に並んで出土している。

石器石材は、黒曜石が71%、ガラス質黒色安山岩が29%とガラス質黒色安山岩が占める割合が比較的高い。



第52図 石器集中16(1)

石器集中15 (第50・51図)

J 8・C10、J 9・C 1グリッドに位置する。本石器集中は、環状ブロック群の南西部に位置し、中央部に位置する石器集中17の南西に隣接している。

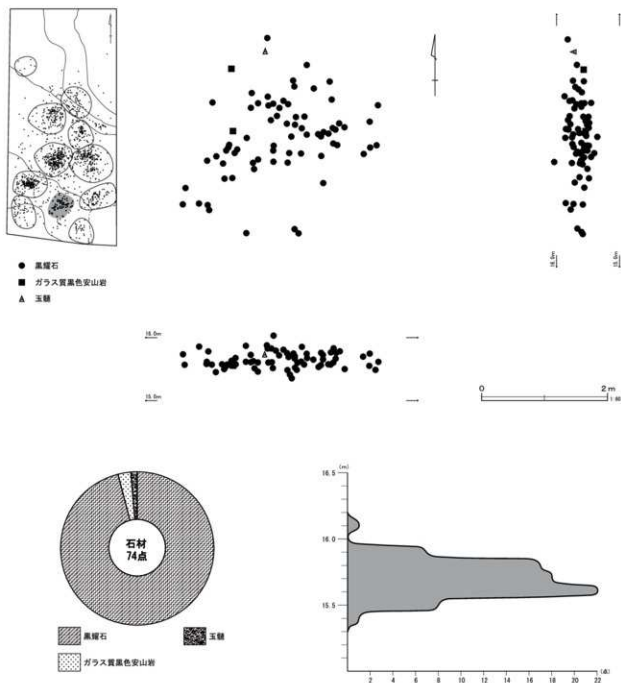
遺物の分布は、南北約4.5m、東西約5.6mの範囲で、中央部が特に密度が高い。製品は中の密集部を取り囲むように北側に分布し、南側は剥片類が散漫に分布する傾向がみられる。本環状ブロックでは希少な砂岩製の剥片が、密集部中央から2点近接して出土している。

遺物のレベルは15.6mと15.7mにピークがある。下底がやや乱れるのは、南北方向の垂直分布は石器集中14と同じく北から南に僅かに下がっており、

それが要因と思われる。上部への拡散は北側で一部みられるが、石器集中14のような拡散はしていない。

石器の出土点数は229点と、中央の石器集中17に続いて多い。器種はナイフ形石器3点、台形様石器3点と掻・削器等が出土している。台形様石器は密集部の中から出土し、ナイフ形石器は東半分の外周からみつがっている。掻・削器(51)は密集部の西側から出土している。石核は、大形剥片素材の(138)と(139)が、密集部の中央部と西側、掻・削器(54)に近接して出土している。

石器石材は、黒曜石が97%とほとんどを占めている。他は、上記で述べた砂岩が2点出土している。



第53図 石器集中16(2)

石器集中16 (第52・53図)

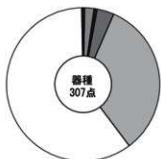
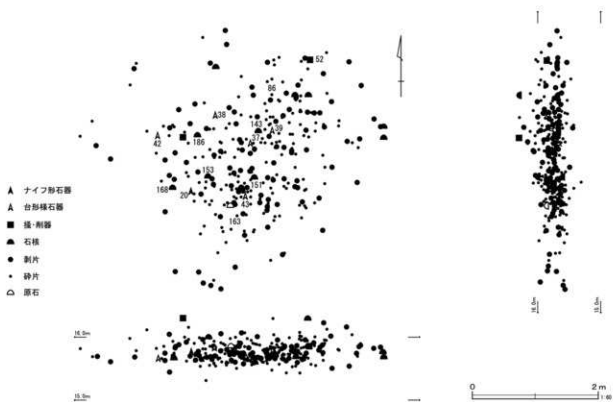
J9・C1グリッドに位置する。

本石器集中は、環状ブロック群の南部に位置し、石器集中12と石器集中15に挟まれている。

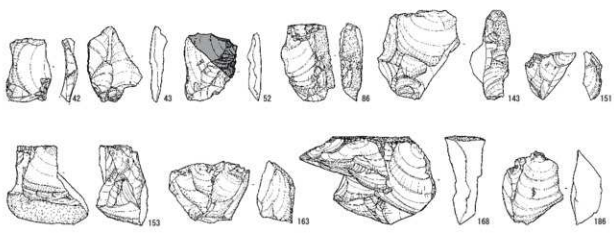
遺物の分布範囲は、南北約4.5m、東西約4.5mである。製品は分布範囲の南側に偏る傾向がみられる。

遺物のレベルは15.6mにピークがあり、上部にやや拡散している。

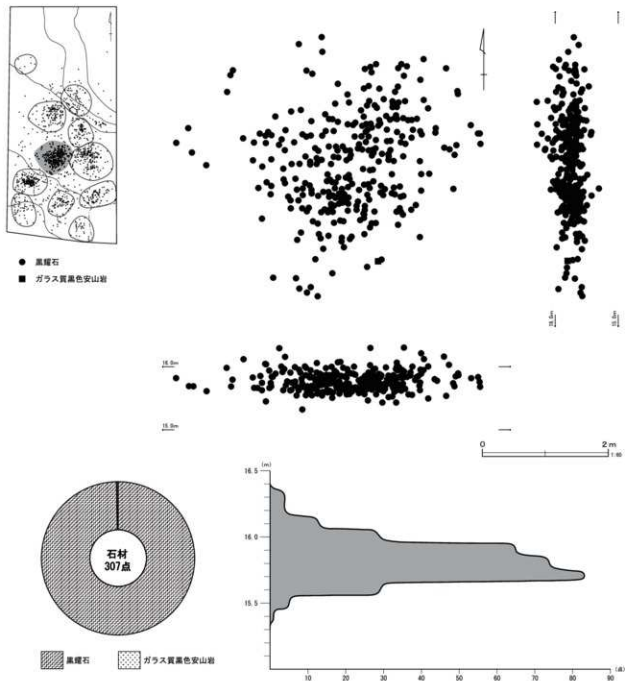
石器点数は74点と多くないが、ナイフ形石器3点、台形縁石器、石錐等が出土している。製品は遺物分布の南側から出土している。ナイフ形石器(6)は東側、(19)は南西側から、(17)は南東側に少し離れて出土している。台形縁石器(29)



- ナイフ形石器
- 台形種石器
- 長-州器
- 石核
- 剥片
- 碎片
- 原石



第54図 石器集中17(1)



第55図 石器集中17(2)

は密集部の中央近くからみつかっている。石錐(47)はナイフ形石器(19)と台形様石器(29)の中間から出土している。

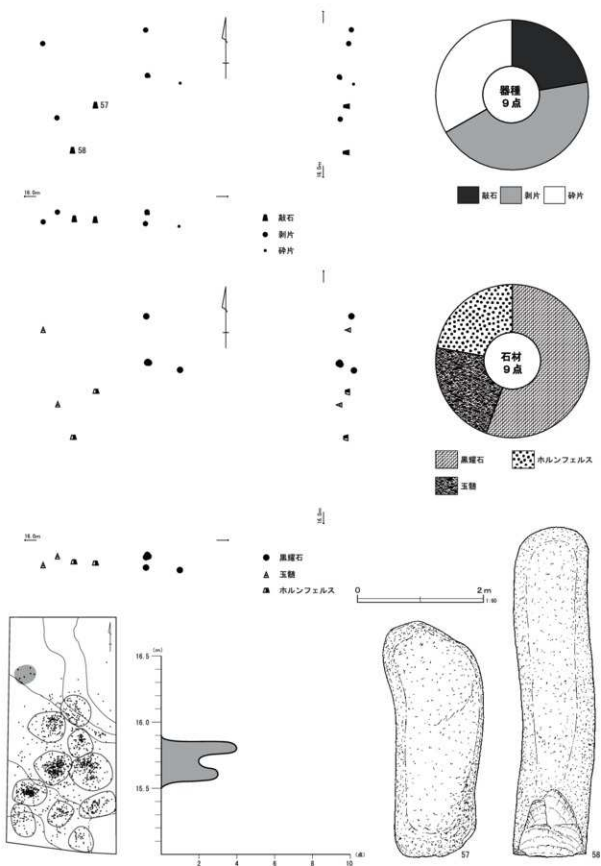
石器石材は、黒曜石が96%を占めているが、本環状ブロック群では希少な玉髄が1点出土している。

石器集中17(第54・55図)

J8・B10、C10、J9・B1、C1グリッドに位置する。

本石器集中は、環状ブロック群の中央部に位置し、中心的な存在である。

遺物は南北約5.5m、東西約6.5mの範囲に分布し、中央の約4mの円形に密集する。製品は中央



第56図 石器集中18

を中心にナイフ形石器、台形縁石器、掻・削器が複数出土した。

遺物のレベルは15.7mにピークがあり、上部にやや拡散している。垂直分布をみると中央は下底が少し下がるが、全体に凸レンズ状を呈している。

石器点数は307点と、本環状ブロック群で最大規模である。製品はナイフ形石器1点、台形縁石器5点、掻・削器2点が出土した。また、石核が11点出土しており、石器点数と共に器種組成も充実している。製品は密集部の西側にまとまる傾向がある。ナイフ形石器(20)は、密集部の南西部からみつがっている。台形縁石器は、密集部から3点(37・39・43)、西側から2点(38・42)出土している。

石器石材は、黒曜石が100%である。

石器集中18 (第56図)

J 8・A10グリッドに位置する。

本石器集中は、環状ブロック群の北東部にやや離れた地点に位置する。

遺物の分布は、径約2.8mの範囲に散漫に分布している。

遺物のレベルは15.9mと15.6mに二つの突起がみられるが、資料点数が少なく有意な傾向を示しているのか不明である。

石器点数は9点と少ないが、敲石2点と玉髓製の剥片2点が出土しているなど、他の石器集中とは異なっている。本石器集中が環状部からやや離れていることを考え合わせると、機能の異なる空間であったと考えられる。

石器石材は、黒曜石56%、玉髓22%、ホルンフェルス22%である。

エリアI (第57・58図)

J 9・A1、B1グリッドに位置する。

本エリアは環状ブロック群の北東部に位置する。

石器集中8～10で述べたように、地震によって遺物の分布が乱されている可能性が高い。特に石器集中8と10の東側は、遺物が帯状に並んでおり、一定方向の力がなかったように思われる。

石器点数は55点である。ナイフ形石器2点(10・13)出土した。(13)は分布の北東に少し離れて出土し、(10)は石器集中8と10の中間から出土している。砂岩製の剥片2点(127・128)が出土している。

石器石材は、黒曜石93%、ガラス質黒色安山岩2%、砂岩2%である。

エリアII (第59・60図)

J 8・B10、C10、J 9・B1グリッドに位置する。

本エリアは環状ブロック群の西部に位置する。密集部と密集部の間の遺物で、元来は石器集中17・15・9に含まれる石器群かもしれない。

石器点数は36点と少ないが、ナイフ形石器と台形縁石器、石錐、掻・削器が石器集中17の西側に並ぶようにみつがっている。掻・削器(55)は石器集中17北東部に沿うように出土している。

石器石材は、黒曜石が94%である。

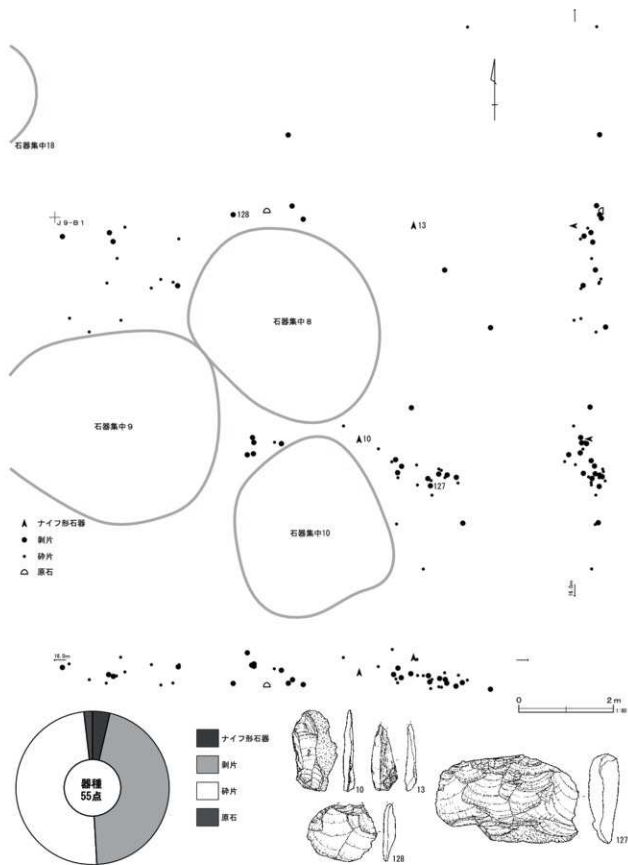
エリアIII (第61・62図)

J 8・C10、J 9・C1グリッドに位置する。

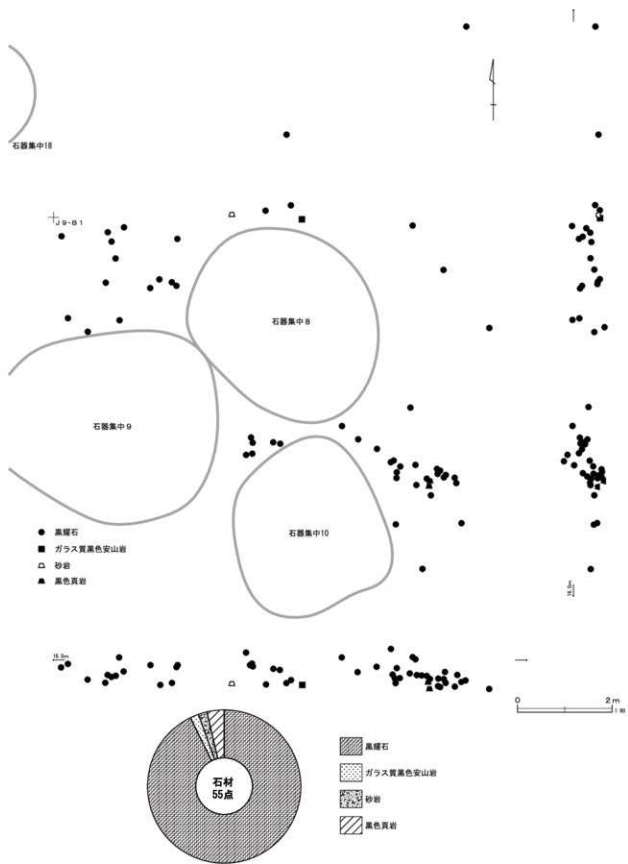
本エリアは環状ブロック群の南部に位置する。石器集中16を中心に散漫に広がっているようにもみえる。等高線をみると南に向かって下がっており、15.3mの等高線が湾曲しているところと重なっている。

石器点数は69点である。ナイフ形石器2点と掻・削器が石器集中16の南側にまとまって出土している。

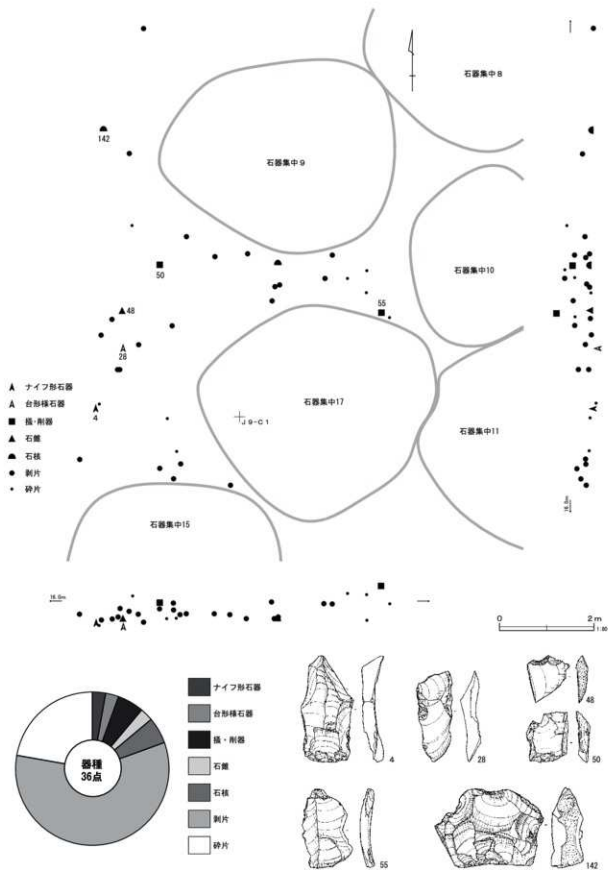
石器石材は、黒曜石78%、ガラス質黒色安山岩19%である。



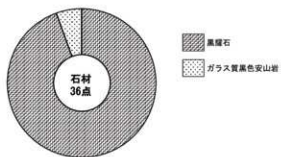
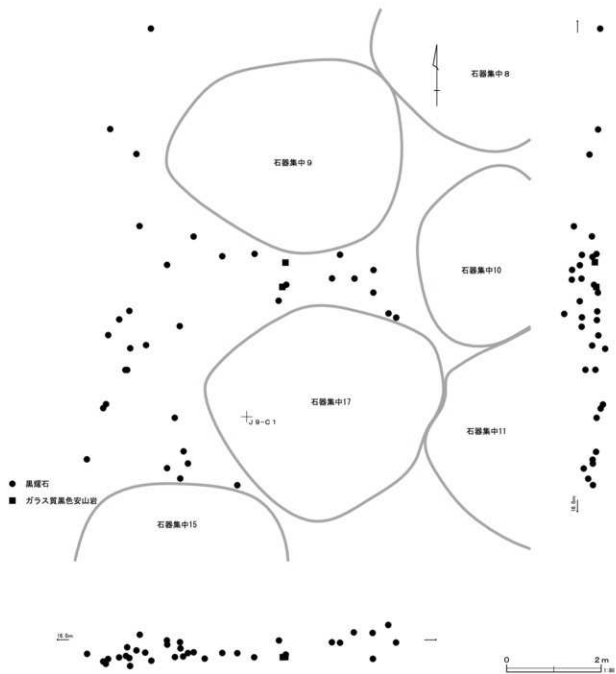
第57図 エリアI (1)



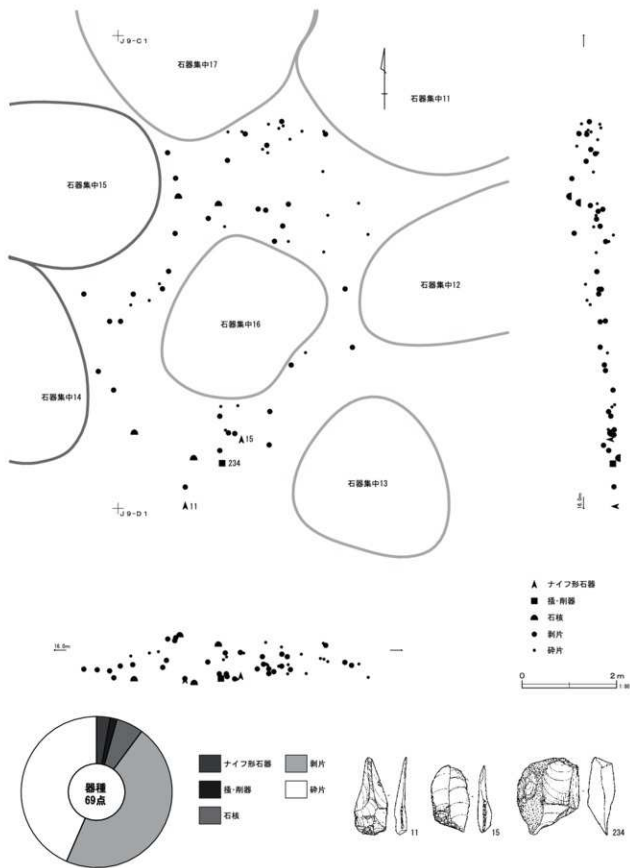
第58図 エリアI (2)



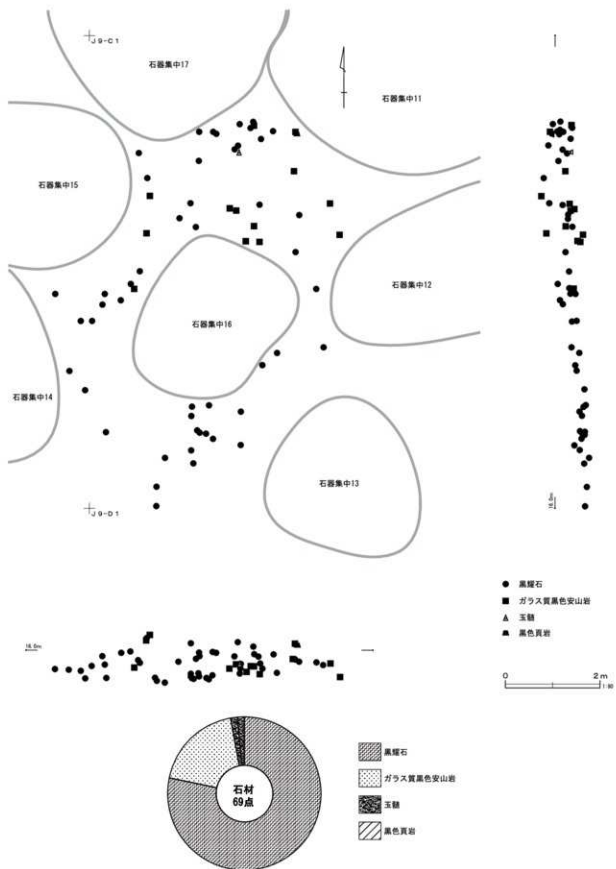
第59図 エリアⅡ(1)



第60図 エリアII (2)



第61図 エリアⅢ(1)



第62図 エリアⅢ（2）

出土石器 (第63~140図、第154~168図、第173~175図)

石器集中8~18、エリアI~IIIから多くの石器が出土した。本項は各石器の特徴を概略する。

ナイフ形石器 (第63~68図)

当該期におけるナイフ形石器と台形様石器の区分は難しく、長幅比が2対1以上で先端が尖り、基部に微細な剥離調整が施される、いわゆる典型的といわれるナイフ形石器と、長幅比が1対1程度で、刃部は平縁で面的剥離加工が施される台形様石器の間には漸移的に、多様な石器群が含まれる。今回は長幅比が2対1以上で、先端が尖り基部加工が明確なものを主にナイフ形石器と分類した。

1は基部表面に面的な剥離加工が施されており、台形様石器と迷ったが、2・3の石器と平面形状が近似しているので、同じナイフ形石器とした。裏面には調査時の傷が大きく調整加工の観察に支障があった。基部正面に面的剥離が施され、右側縁は正面から裏面方向の細かい剥離が施されている。左側縁は正面からの力によって折断されている。

2・3は縦長剥片を下位に用いて、基部に打面を残置している。調整加工は基部を中心に微細な剥離が施されている。

4は縦長剥片を下位に用いて打面を残置している。外形は最大幅が基部付近にある、左右対称形である。調整加工は、基部付近に微細な剥離が施されている。基部部正面の剥離は、調整加工なのか、素材剥片作出のさいの頭部調整か、不明である。

5は縦長剥片を下位に用いて打面を残置している。外形は基部下半分に最大幅がある。外形は左右対称で、基部が内側に挟れて舌状になっている。調整加工は基部を主体に施されている。右側縁は正面から裏面方向に明確な剥離が施され、右側縁

は裏面から正面に微細な剥離が施されている。

6は縦長剥片を下位に用いて、打面を除去している。外形は、先端が左側にやや偏る素材剥片の形状をあまり変えることなく、基部部のみを尖らせるために整形している。調整加工は、左側縁は裏面からの微細な剥離、右側縁は不規則な平坦剥離が施されている。

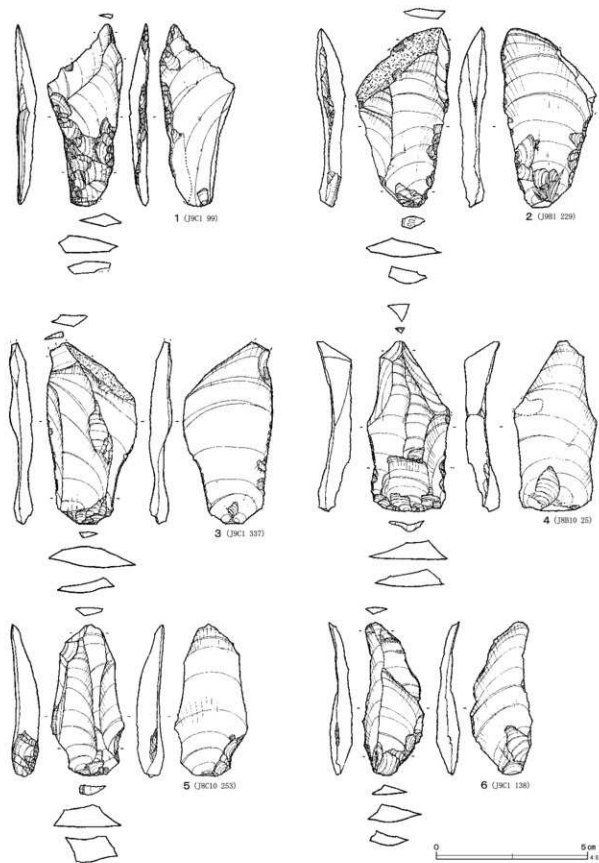
7は縦長剥片を下位に用いて打面を残置している。外形は先端を若干欠損するが、全体の形状は両側縁が平行し先端は平刃に近い、長方形を呈している。右側面に自然面を残している。調整加工は左側縁基部を中心に両面から裏面に微細な剥離が施されている。上半部の裏面に見られる剥離は使用によるものと考えられる。

8は縦長剥片を下位に用いて打面を小さく残置している。外形は、先端部を僅かに欠損しているが、全体の形状は把握できる。不整形の素材剥片の形状をあまり変えることなく、左右非対称形である。正面に自然面を大きく残している。調整加工は基部を中心に、右側縁は正面から裏面、左側縁は裏面から正面に微細な剥離が施されている。

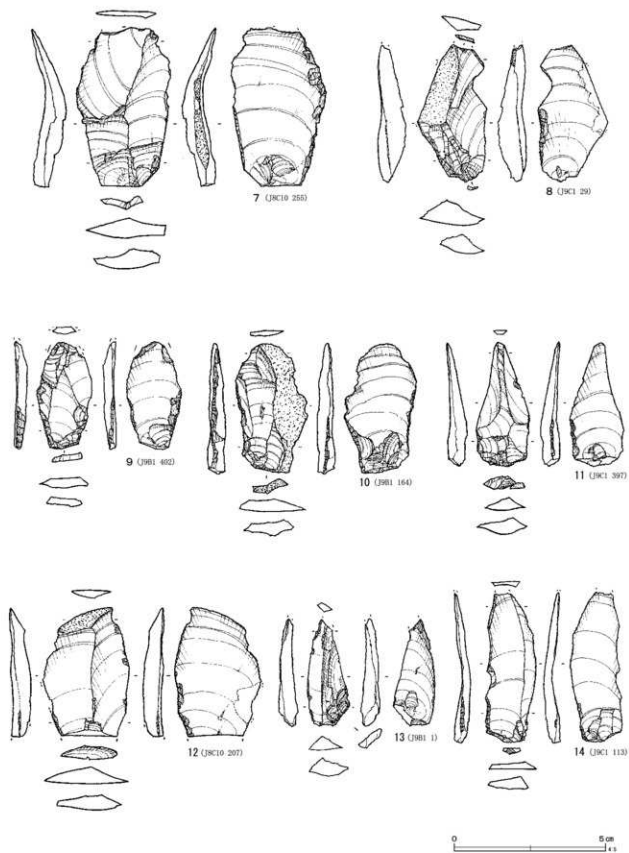
9は縦長剥片を下位に用いて打面を残置している。先端部は、上方向からの衝撃剥離と思われる極状剥離が複数面観られる。外形は先端が欠くが、左右対称の均整のとれた尖頭状を呈している。一見第VI層のナイフ形石器かと思われた。調整加工は右側縁に裏面から正面に微細な剥離、左側縁に裏面から正面に規格的な剥離が施されている。また、両側縁の裏面に微細な平坦剥離が観察できる。

10は縦長剥片を下位に用いている。打面は自然面を残置している。外形は、先端が丸く右側縁は正面が自然面のため側縁が不規則になって素材剥片を、あまり整形させていない。調整加工は、左側縁は基部部から先端部まで裏面からの微細剥離が施されている。右側縁は基部を中心に正面から裏面に微細な剥離が施されている。

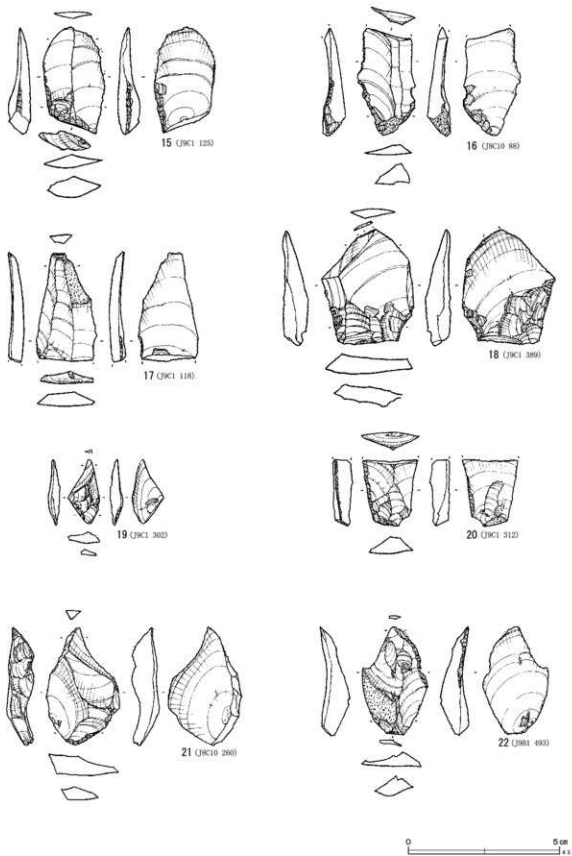
11は縦長剥片を下位に用いて打面を残置してい



第63图 石器集中8~18出土石器(1)



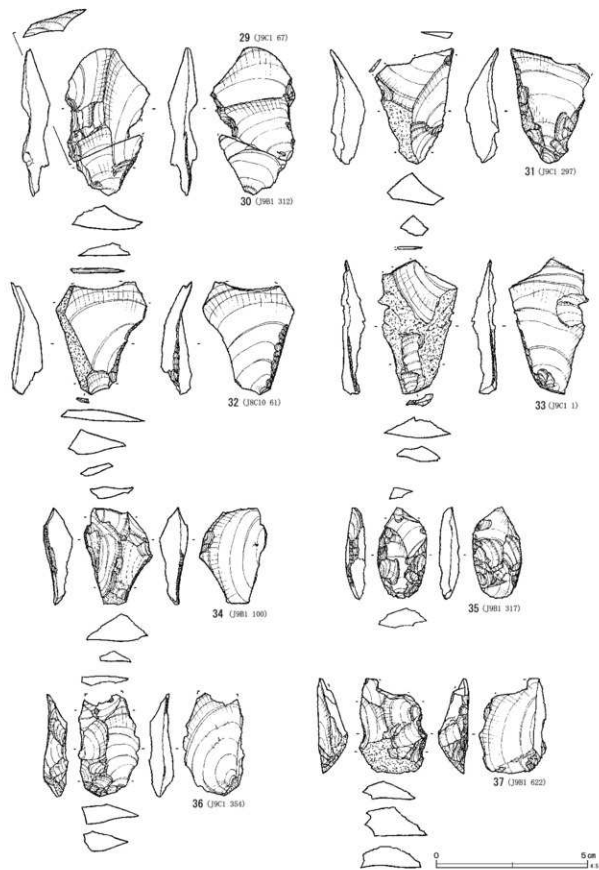
第64图 石器集中8~18出土石器(2)



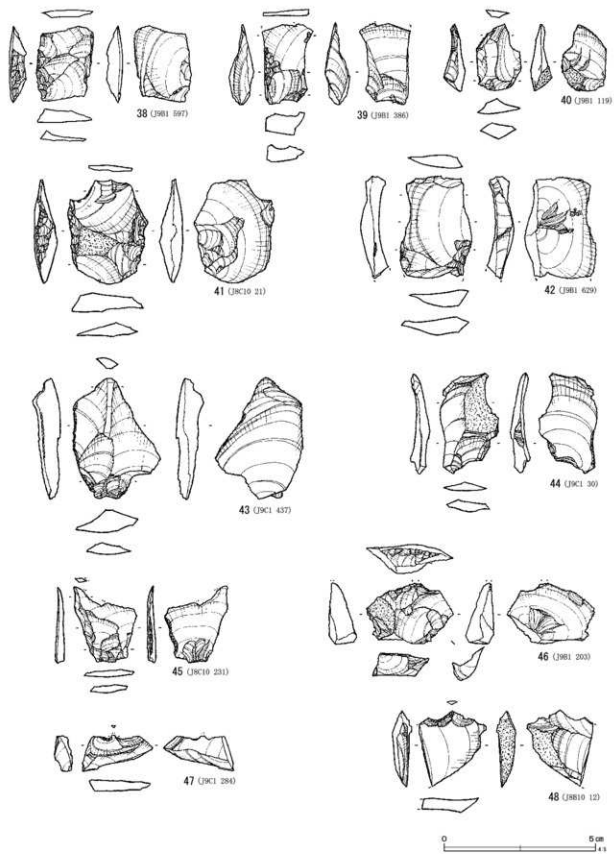
第65图 石器集中8~18出土石器(3)



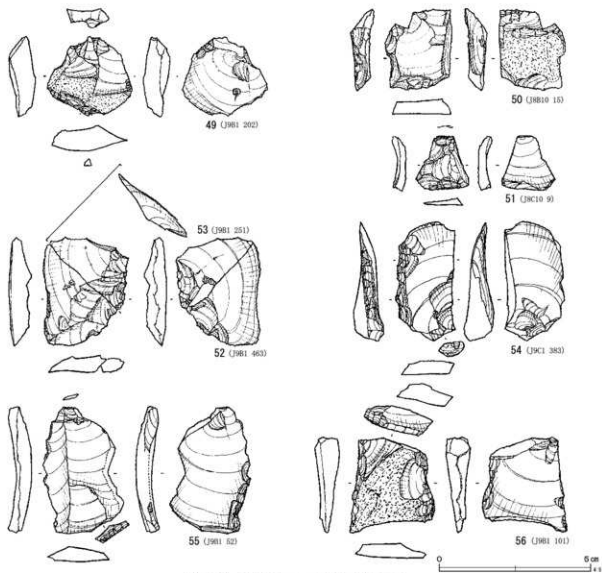
第66图 石器集中8~18出土石器(4)



第67图 石器集中8~18出土石器(5)



第68图 石器集中8~18出土石器(6)



第69図 石器集中8～18出土石器(7)

る。外形は、基部部に最大幅があり左右対称で先端が尖っている。調整加工は、基部を主体に右側縁は正面から裏面に、左側縁は裏面から正面に微細な剥離が施されている。

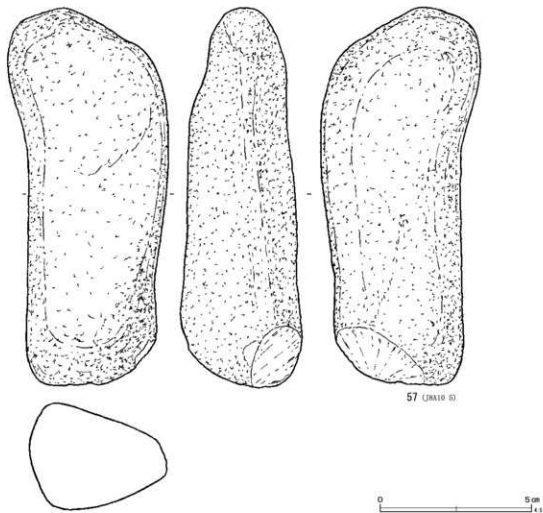
12は下半分を欠損している。縦長剥片が用いられており、先端部正面に自然面を残している。調整加工は、基部を欠損するため不明な部分もあるが、左側縁に裏面からの微細な剥離が施されている。

13は縦長剥片を下位に用いているが、器軸と剥片の軸が偏っており、基部部右側に打面を残している。外形は、先端を欠損するが、三角形状を呈

している。調整加工は、左側縁に微細剥離、右側縁は打面の平坦面を用いている。また、右側縁の正面の剥離は、調整剥離か素材剥片作出の際の頭部調整か不明である。

14は縦長剥片を下位に用いて、打面を小さく残置している。外形は、先端部を欠損するが、両側縁が比較的並行し長方形に近く形状を呈している。調整加工は、左側縁から基部部に裏面から正面に微細な剥離が施され、右側縁は部分的に正面から裏面に微細な剥離が施されている。

15は縦長剥片を下位に用いて、打面を大きく残置している。外形は最大幅が基部部に位置し、左



第70図 石器集中8～18出土石器(8)

右対称のドーム状を呈している。調整加工は、右側縁は正面から裏面に微細な剥離、左側縁は裏面から正面に微細な剥離が施されている。基端部正面の剥離は調整加工なのか、素材剥片作出際の頭部調整かは不明である。

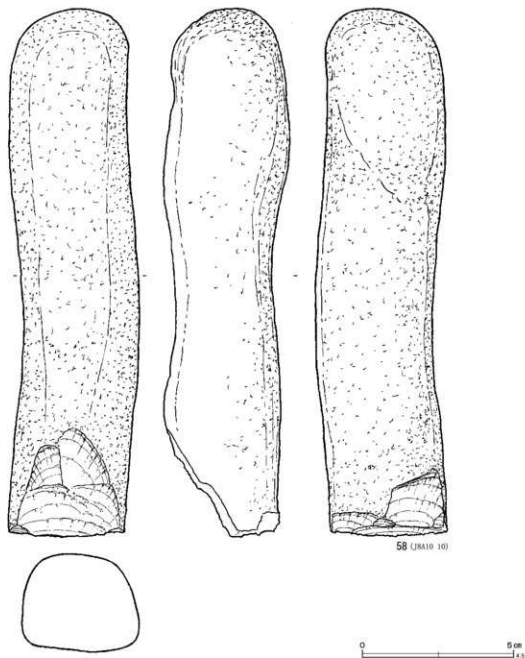
16は縦長剥片を下位に用いて、打面は除去している。外形は先端部を大きく欠損している。基端部は正面に自然面を残し、平面形状はやや尖っている。調整加工は、右側縁は裏面に平坦剥離、左側縁は裏面から正面に微細な剥離が施されている。

17は縦長剥片を下位に用いている。下半分を欠損するため、打面は不明である。また、外形は基部の形状がわからないが、現況では三角形状を呈

している。調整加工は、僅かに右側縁に正面から裏面、左側縁に裏面から正面方向の微細剥離が確認できる。

18は幅広の剥片を、器軸とずらして用いている。先端を若干欠損するが、外形は台形に近い形状を呈している。調整加工は、右側縁は正面と裏面から微細な剥離が施され、左側縁は裏面からの微細な剥離が視られる。また、裏面側には平坦剥離が施されている。形状から台形縁石器との区分に躊躇するが、僅かであるが基端部を両側縁から扶るようになっており、5と同じように舌部を作りだす意図があったと考え、ナイフ形石器とした。

19は小形の幅広剥片を用いて、右側縁に打面を



第71図 石器集中8～18出土石器(9)

残置している。調整加工は右側縁に裏面からの微細な剥離が施されている。

20は上半部を欠損する。縦長剥片を下位に用いて、自然面を打面とし残置している。調整加工は右側縁に正面から裏面に微細な剥離が、左側縁は基端部から折部まで裏面から正面の微細な剥離が施されている。

21は横広剥片を右位に用いており、打面を残置している。外形は、半形に近く基部は丸くなっている。調整加工は、基端部を中心に裏面から正面に微細な剥離が施されている。左側縁は素材剥片の剥離するさいの打面調整である。

22は縦長剥片を下位に用い、打面を小さく残置する。外形は尖頭状を呈している。調整加工は右

側縁上半部に裏面から正面に微細な剥離が施されている。

23はガラス質黒色安山岩製のナイフ形石器である。本遺跡で黒曜石以外のナイフ形石器は、本資料のみである。幅広の縦長剥片を下位に用いて、打面を残置している。調整加工は、左側縁に裏面から正面に微細な剥離が施されている。

24は縦長剥片を下位に用いている。基端部の裏面に調査時の傷が入っており、観察できない部分もあるが、打面を残置している。外形は、先端が平刃で長方形に近い形状を呈している。調整加工は、右側縁に正面から裏面に微細な剥離が、左側縁に折面が観られる。

25は小形の貝殻状剥片を下位に用いている。外形は楕円形に近い。調整加工は、右側縁に正面から裏面に微細な剥離が施されている。

26は不整形の剥片を下位に用い、右側を大きく折衝している。打面は残置している。調整加工は左側縁の一部に正面から裏面に微細な剥離が施されている。右側縁は折面をそのまま用いている。

27は端部が丸くなる縦長剥片を下位に用いて、打面を残置している。外形は、最大幅が先端近くにある楕円形に近い形状を呈している。調整加工は、右側縁に裏面から正面に規格的剥離が、左側縁は裏面から正面に微細な剥離が施されている。

台形様石器 (第63～68図)

28は横広の剥片を左位に用い、主要剥離面を正面にしている。外形は平刃で逆三角形を呈している。調整加工は、上半部に集中する。右側縁は裏面に平坦剥離が、左側縁は両面に平坦剥離が施されている。

29・30は台形様石器の再加工の過程がわかる接合例である。29の外形は、基端部が尖り最大幅が先端部付近にある。調整加工は、右側縁は正面から裏面に、右側縁は裏面から正面に微細な剥離が施されている。裏面の基部は、下位からの剥離によって削がれるように薄くなっている。30の剥片

が接合した状態をみると、29に比べて基軸が左に少し振るが、平面の形状が少し長くなった台形様石器であることがわかる。基端部は同じく尖り、調整加工は、右側縁は裏面から正面に微細な剥離が施されている。

31は幅広剥片を下位に用いて、打面は除去している。外形は逆三角形に近い。調整加工は、右側縁は基端から先端まで裏面に平坦剥離が、左側縁は基部を中心に裏面に平坦剥離が施されている。

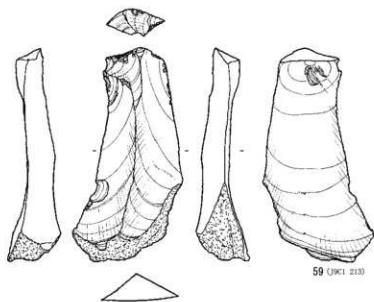
32は幅広剥片を下位に用いて、打面を小さく残置している。外形は、刃部を一部欠損するが、全体としては逆三角形に近い形状を呈する。調整加工は、右側縁は裏面から正面に微細な剥離が、左側縁は裏面に微細な平坦剥離が施されている。

33は正面に大きく自然面を残す、先端がやや広がる縦長剥片を下位に用いており、打面は残置している。外形は、刃部の一部を欠損するが、全体としては撥を逆に置いた形に近い。調整加工は、右側縁は正面から裏面に、左側縁は裏面から正面に微細な剥離が施されている。

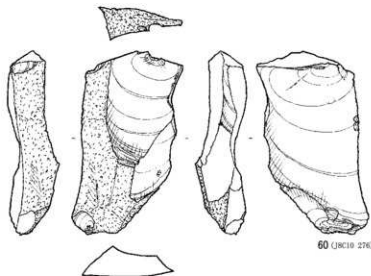
34は横広剥片を左位に用いている。外形は、撥を逆さに置いた形状に近い。調整加工は、基部を中心に裏面から正面に微細な剥離が施されている。

35は調整加工率が高く、素材剥片の形状はわかりにくい。横広の剥片を右位に用いていると思われる。外形は、先端が一部欠損するが左右対称の尖頭状を呈しており、調整加工は丁寧である。単独出土で、一見小形の槍先形尖頭器と見間違えるほどである。調整加工は、左側縁は裏面から正面の微細な剥離が施されている。右側縁は両面に平坦剥離が施され、両面体加工のように見える。基端部は丸く整形されている。先端は、右側に調整加工以前の折面があり、左側縁は欠損しているが、素材剥片の鋭利な縁を刃部としている。

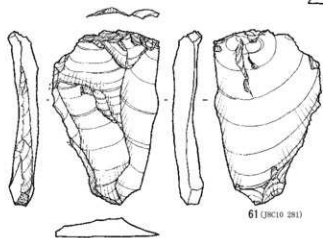
36は横広剥片を左位に用い、基端部に自然面の打面を残置している。外形は、刃部を欠損するが、両側縁が平行し、方形に近い形状を呈している。



59 (JHC1 213)



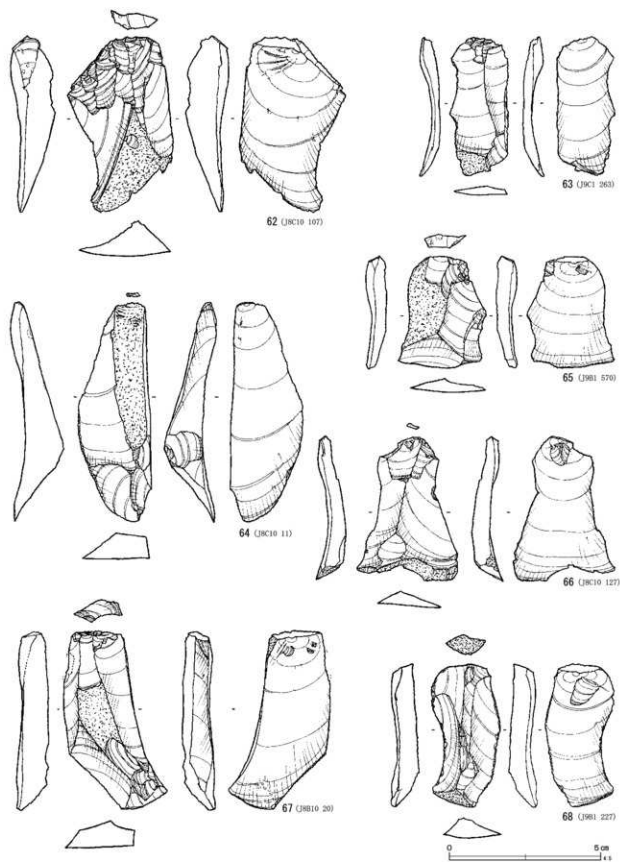
60 (JHC10 276)



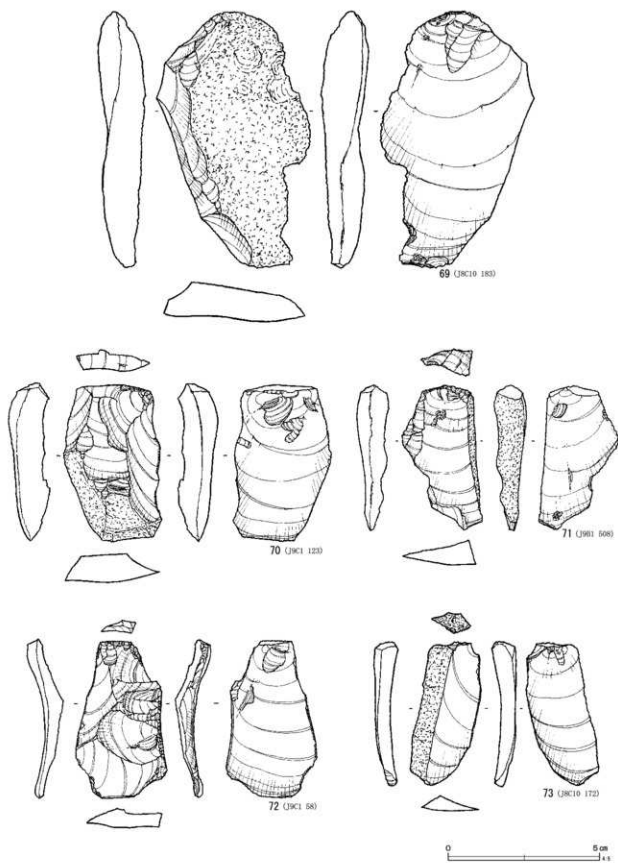
61 (JHC10 281)



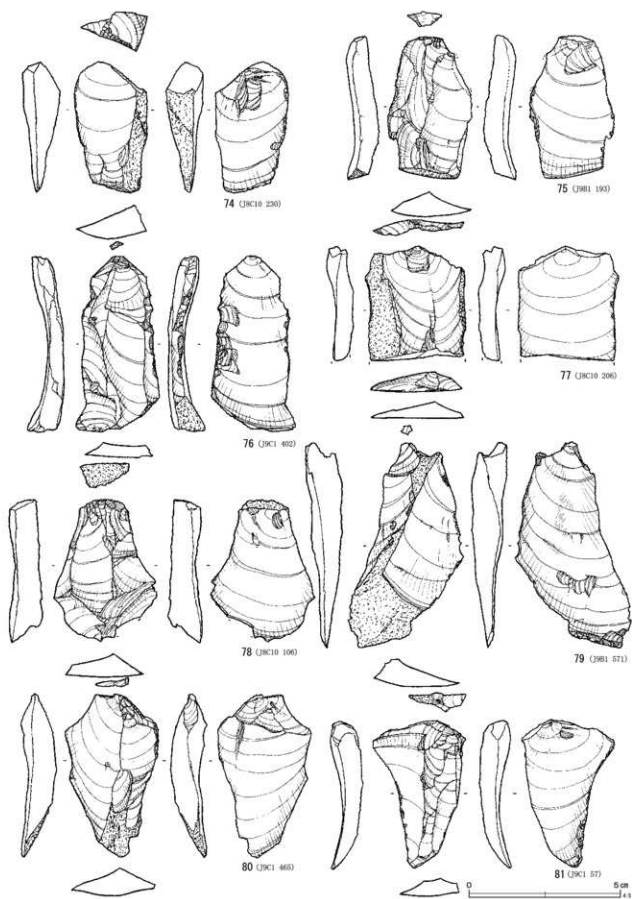
第72图 石器集中8~18出土石器(10)



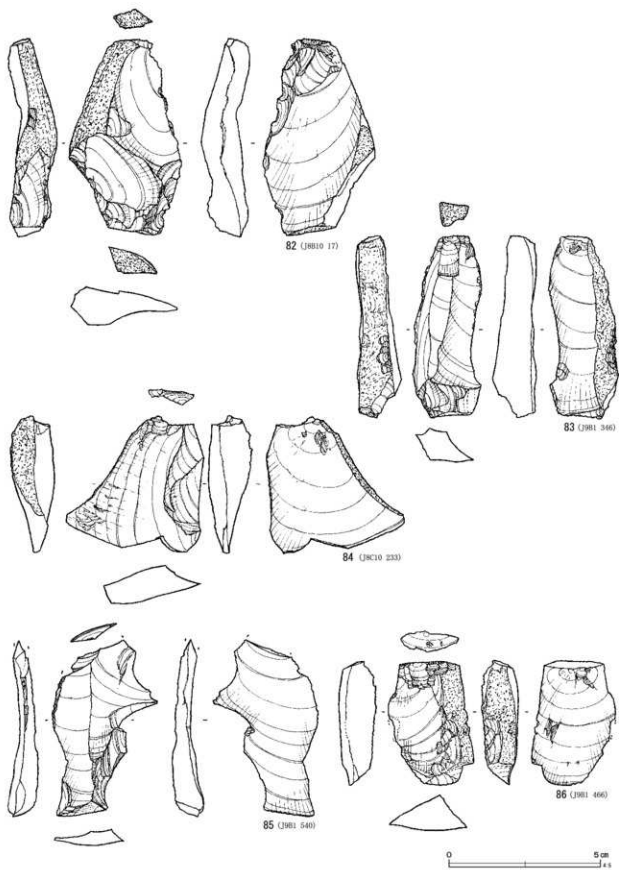
第73图 石器集中8~18出土石器(11)



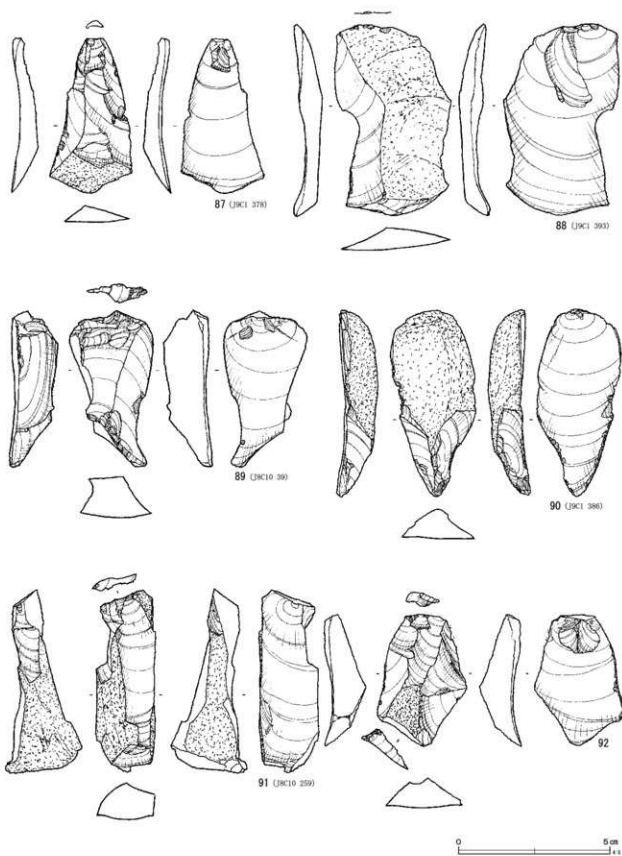
第74图 石器集中8~18出土石器(12)



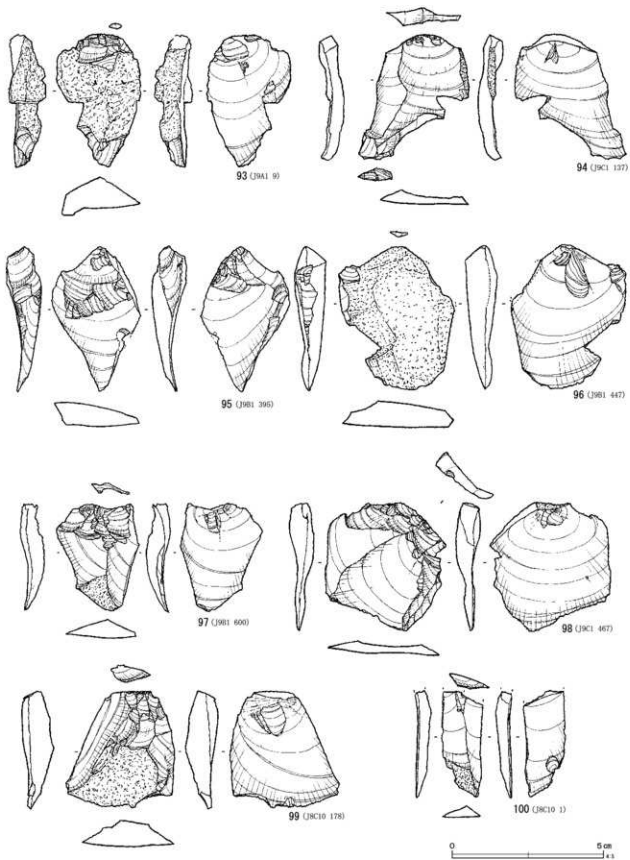
第75图 石器集中8~18出土石器(13)



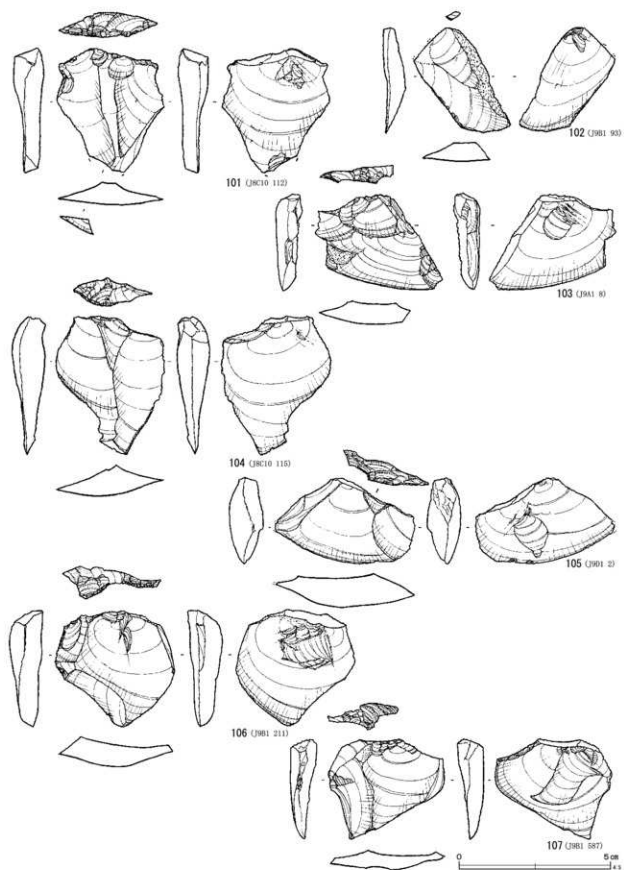
第76图 石器集中8~18出土石器 (14)



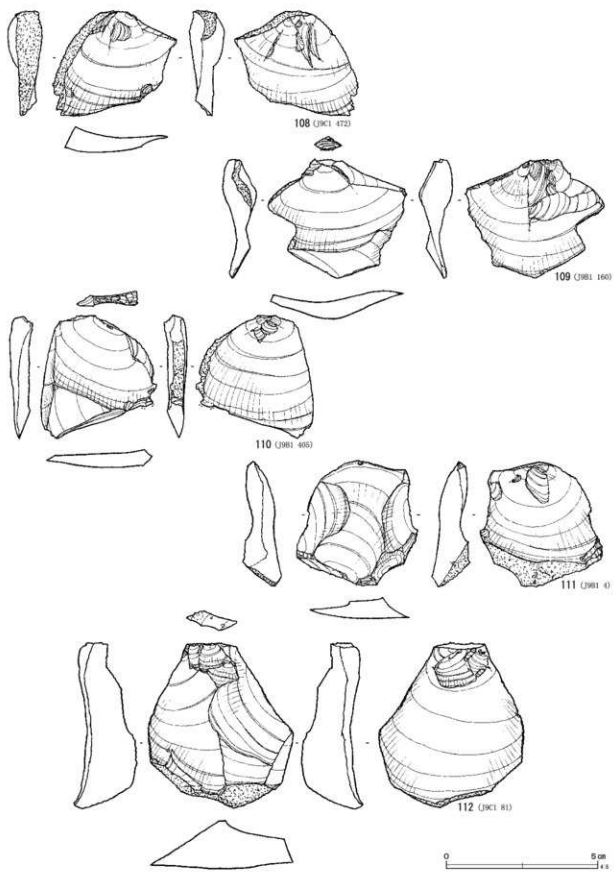
第77图 石器集中8~18出土石器(15)



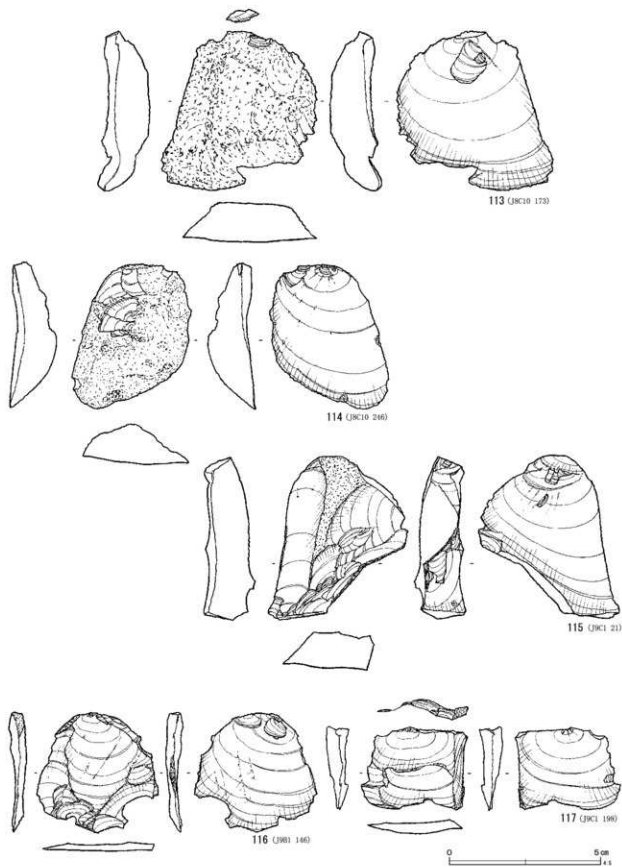
第78图 石器集中8~18出土石器(16)



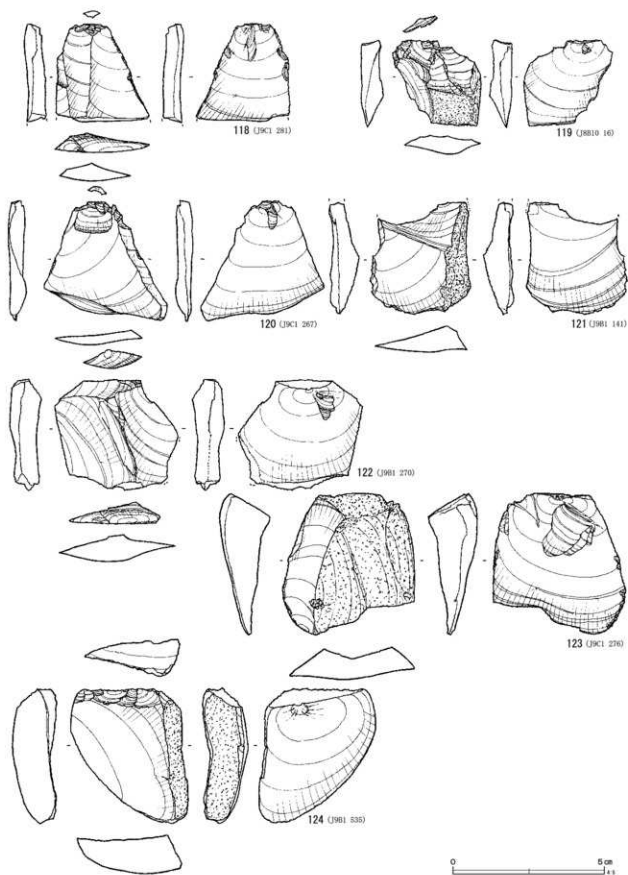
第79图 石器集中8~18出土石器(17)



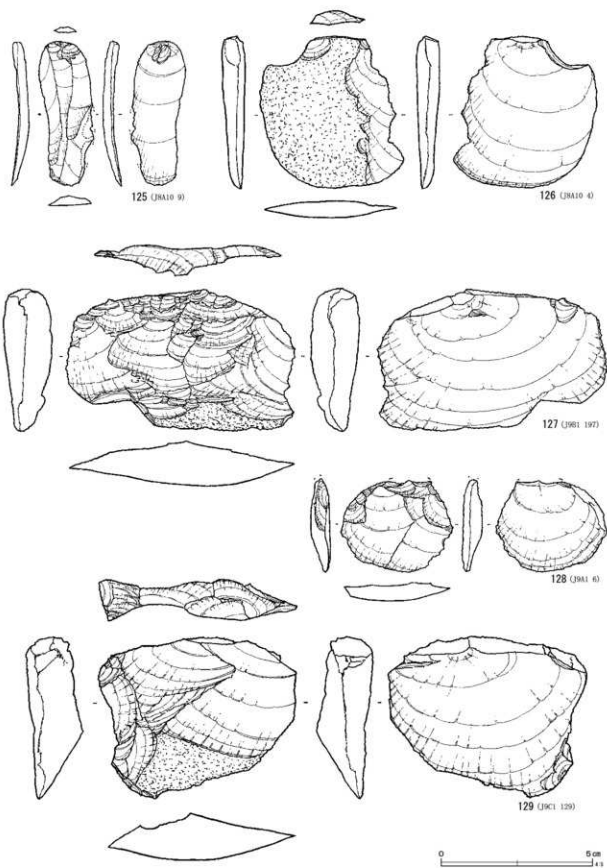
第80图 石器集中8~18出土石器 (18)



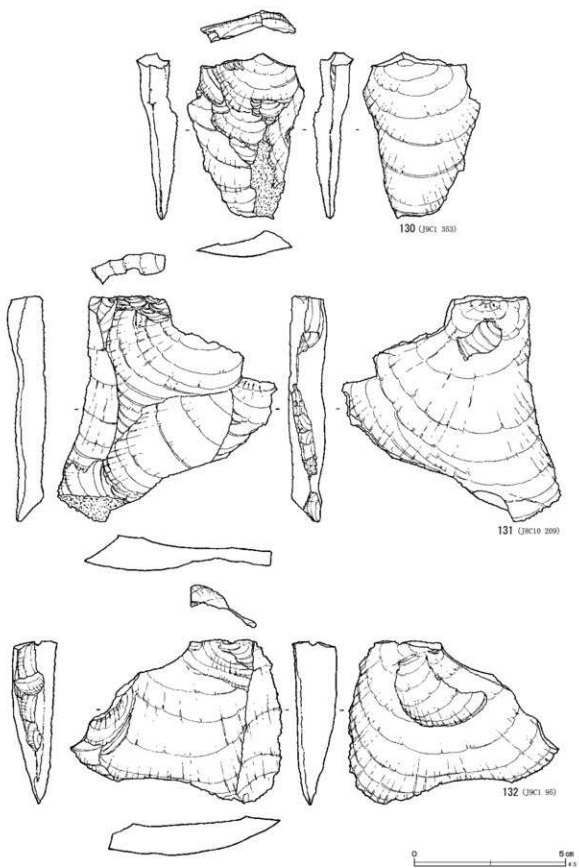
第81图 石器集中8~18出土石器(19)



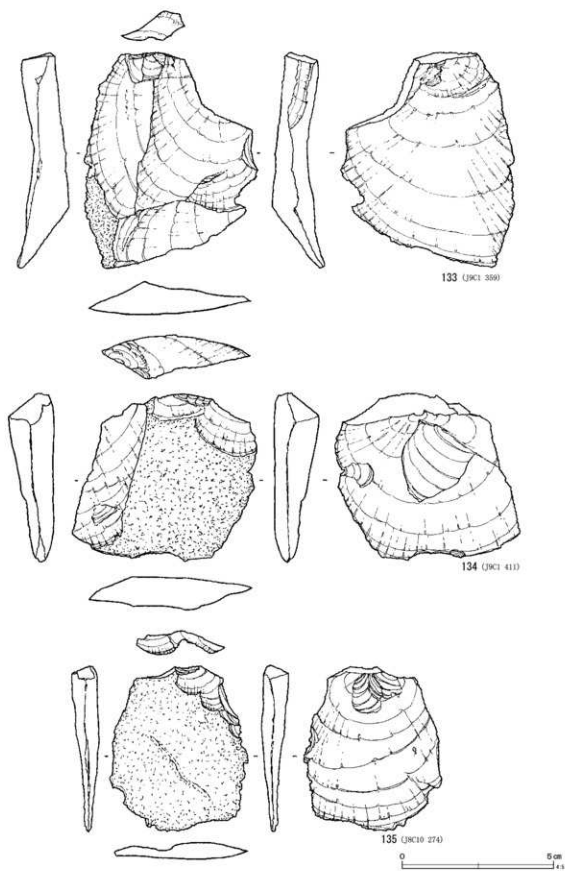
第82图 石器集中8~18出土石器(20)



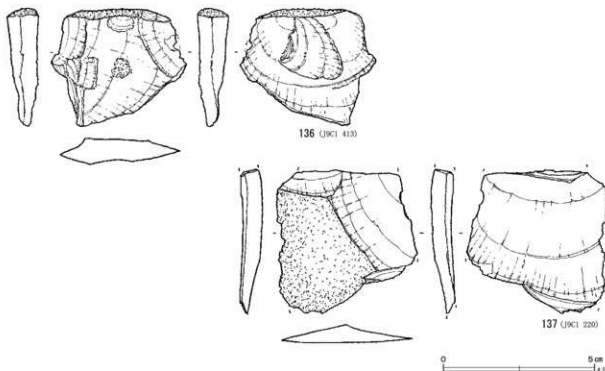
第83图 石器集中8~18出土石器(21)



第84图 石器集中8-18出土石器(22)



第85图 石器集中8~18出土石器(23)



第86図 石器集中8～18出土石器(24)

調整加工は、基部部を中心に右側縁の素材剥片の縁辺に微細な剥離が施されている。左側縁は素材剥片剥離前の石核調整剥離と思われる、急角度の面をそのまま用いている。

37は刃部を欠損する。厚手幅広剥片の打面側を折断して左位に用いている。外形は正方形に近い台形を呈している。調整加工は、剥片端部となる右側縁に裏面からの剥離が複数施されており、その後、裏面の微細な剥離によって整形されている。

38は横広の剥片を左位に用いている。外形は、台形状を呈している。調整加工は左側縁、打面側に裏面からの剥離が集中的に施され、打面を除去している。右側縁は素材剥片の端部を微細な剥離によって潰している。

39は円形に近い厚手剥片を下位に用いて、両端を折断し、打面を除去している。外形は正方形に近い台形を呈している。調整加工は、左側縁正面に折面からの平坦剥離が施されている。基部部は正面に折面からの剥離、裏面は下位からの剥離に

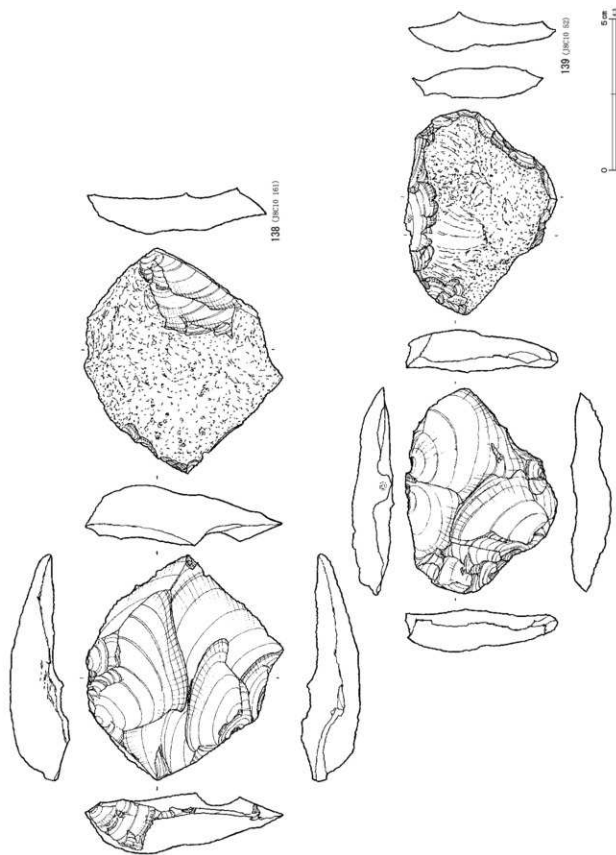
よって直線的になっている。

40は厚手の貝殻状に近い剥片を下位に用いている。打面は自然面で基部部に残置している。外形は先端が尖り、他の台形様石器とやや異なる。調整加工は、左側縁上半部に裏面からの細かい剥離が施されている。

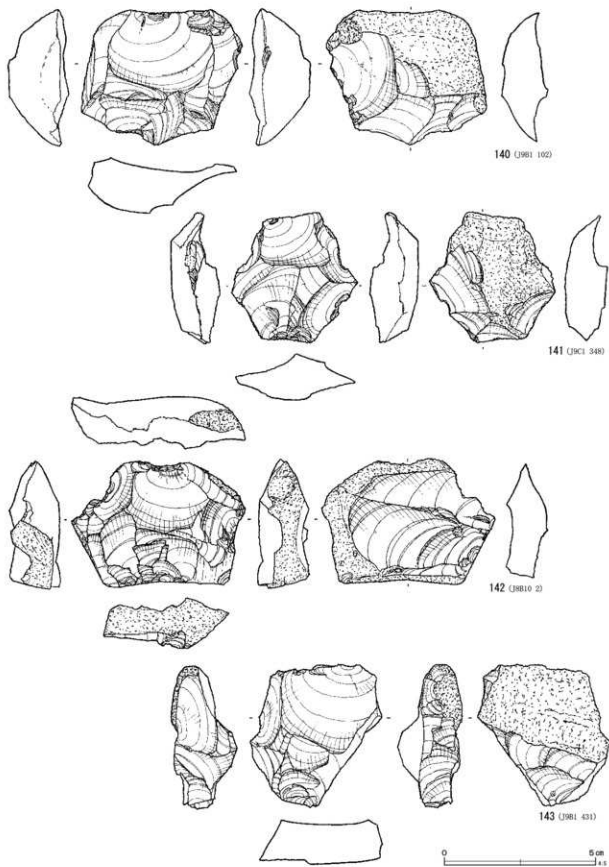
41は幅広剥片を左位に用いており、打面は除去している。外形は、刃部を欠損するが、整った台形状を呈しており、横断面はレンズ状である。調整加工は、両側縁に裏面からの剥離加工が施されている。

42は幅広剥片を右位に用いている。打面は大きく、素材剥片の幅いっぱいである。外形は、基部を一部欠損するが、方形である。調整加工は、右側縁の正面と左側縁に微細な剥離が覆られるが、右側縁に関しては、素材剥片作出のさいの頭部調整なのかは不明である。

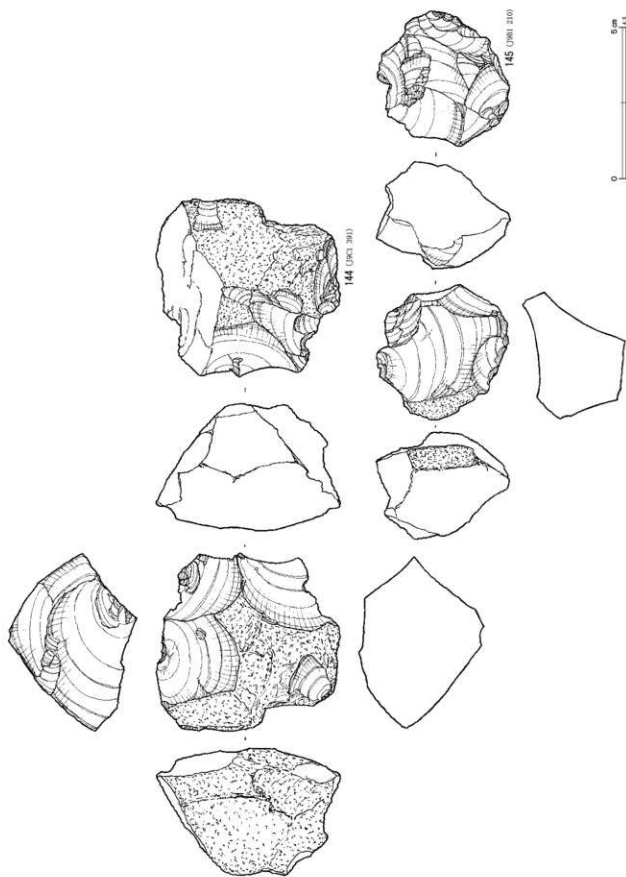
43は両端が尖る剥片を下位に用いている。打面は調整加工によって除去されている。外形が29に



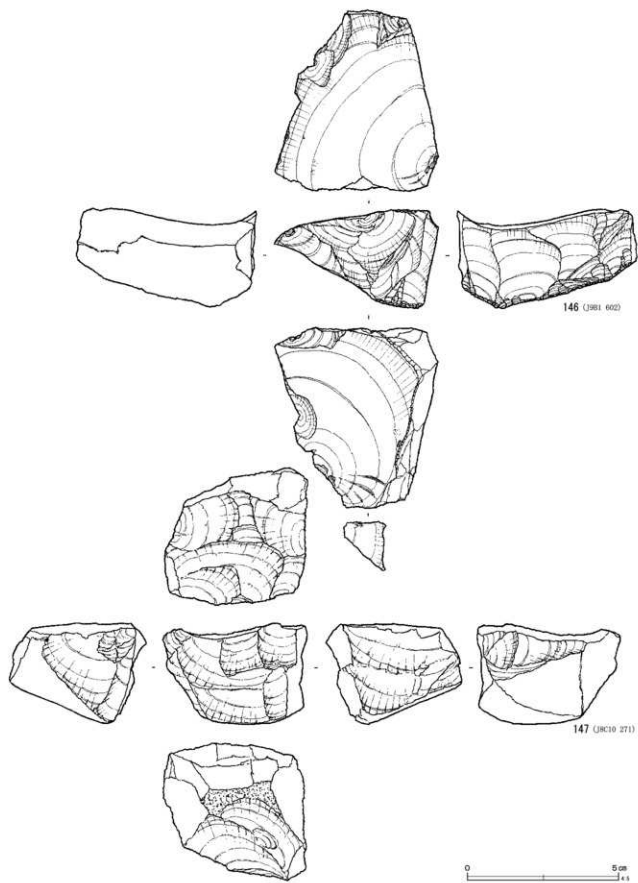
第87图 石器集中8~18出土石器(25)



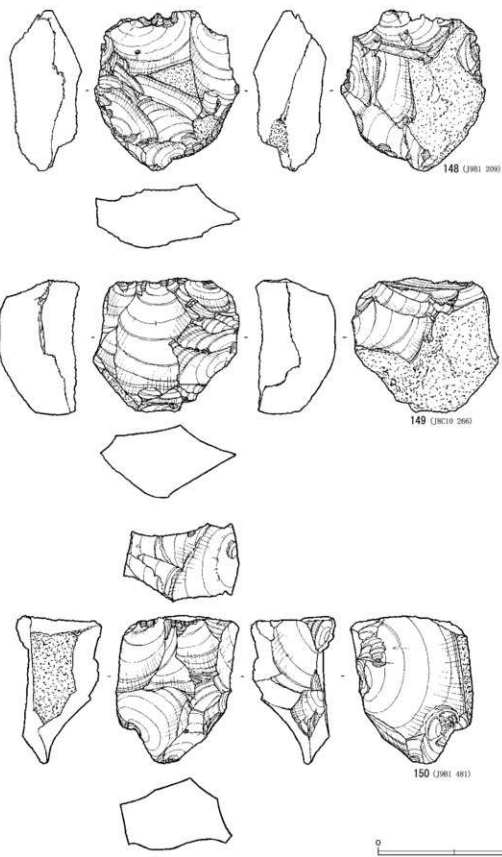
第88图 石器集中8~18出土石器(26)



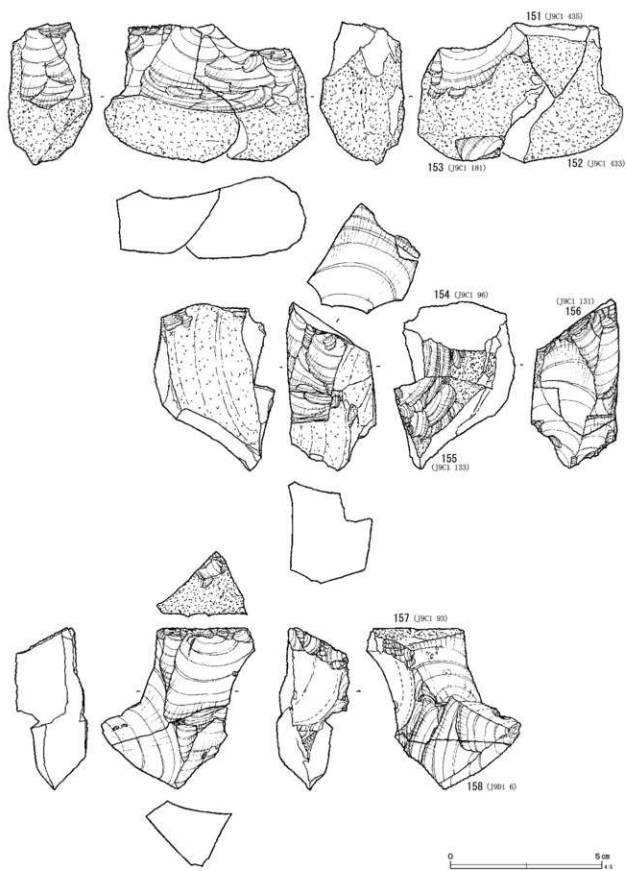
第89图 石器集中8~18出土石器(27)



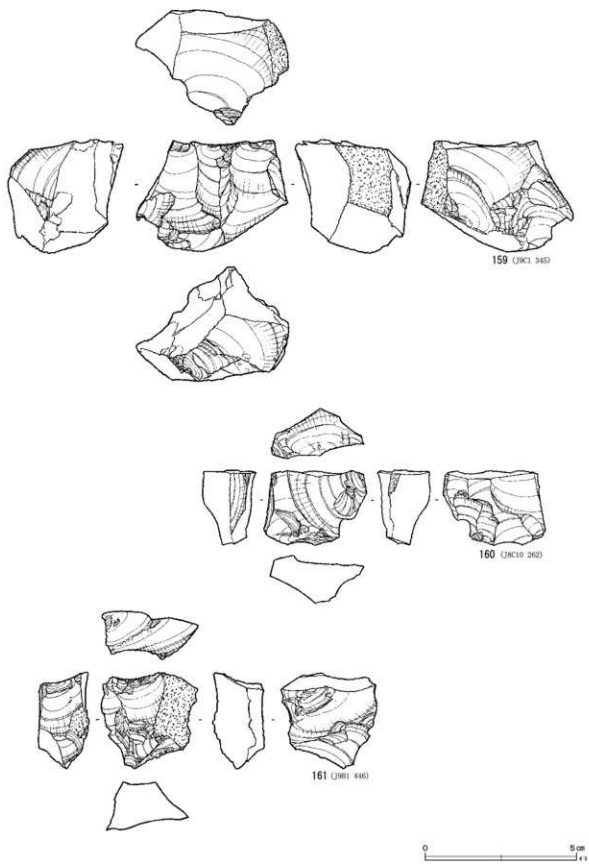
第90图 石器集中8-18出土石器(28)



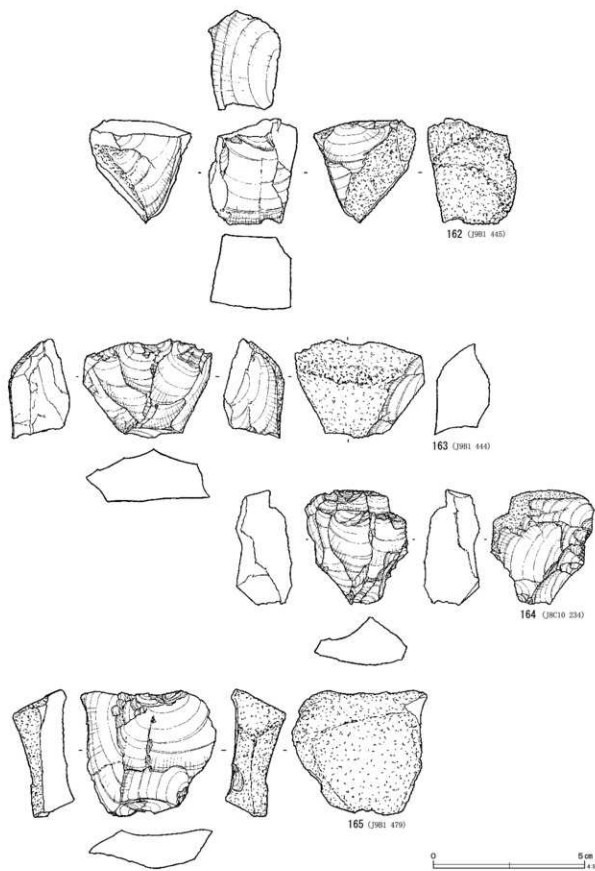
第91图 石器集中8~18出土石器(29)



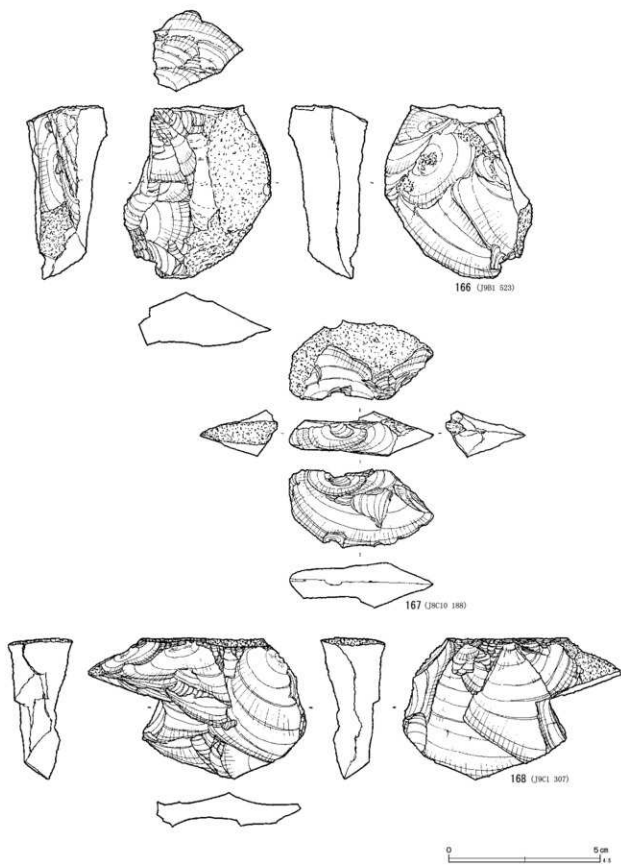
第92图 石器集中8~18出土石器(30)



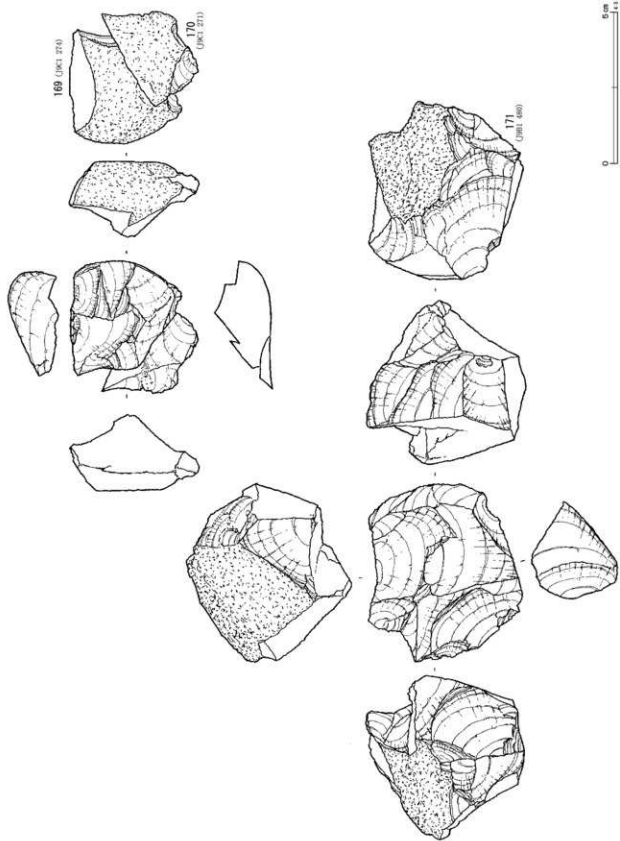
第93图 石器集中8~18出土石器(31)



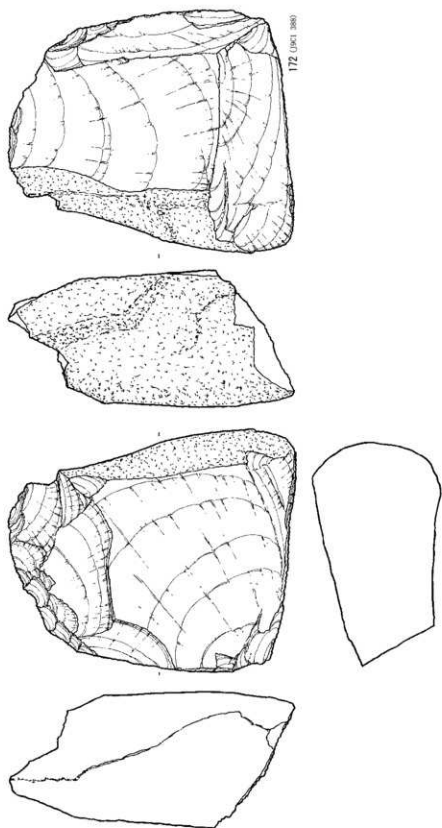
第94图 石器集中8~18出土石器(32)



第95图 石器集中8~18出土石器(33)



第96图 石器集中8-18出土石器(34)



第97图 石器集中8~18出土石器(35)

近いことから台形様石器とした。調整加工は、左側縁と基部に微細な剥離が施されている。

44は不整形の剥片を下位に用いて、打面は除去されている。調整加工は、左側縁の裏面に微細な剥離が施されている。

45は幅広剥片を下位に用いている。外形は台形状を呈する。調整加工は、右側縁の裏面に微細な剥離が施されている。

石錐 (第68図)

46は厚手の貝殻状剥片を用いており、打面を大きく残している。素材剥片の端部に掻・削器の刃部状の加工が施され、錐部を作り出している。

47は小形剥片の側縁に、ノッチ状の抉りをいれ錐部を作り出している。

48は剥片の打面側を折断し、右位に用いている。両面か裏面にノッチ状の剥離を施し、錐部を作り出している。

掻・削器 (第69図)

49は厚手の貝殻状剥片を用い、打面を大きく残している。46と形態が近似しており、刃部の一部に錐部状の突起が認められ、石錐の可能性もある。しかし、ノッチ状に錐部を作り出すというよりか、掻・削器の刃部加工と共通することから、掻・削器と分類した。

50は裏面に自然面、正面は凹面である。外形は方形で下縁の刃部は直線的である。右側縁は折断、左側縁は裏面からの調整加工で整形されている。刃部は裏面からの剥離加工である。

51は貝殻状剥片の端部に、刃部加工と思われる連続する剥離が認められる。刃部としては剥離角が浅いが、掻・削器とした。

52・53は横広剥片を右位に用いている。打面側に正面からの調整加工が、左側縁に微細な剥離が施されている。加工途中で2つに欠損したと思われる。

54は縦長剥片を下位に用い、基部に打面を残置する。右側縁は正面からの力で折断されている。

左側縁に刃部加工は施されている。

55は縦長剥片の端部に刃部加工が施されている。左側縁裏面の小剥離は、調整加工が使用によるものかは不明である。

56は上下両端を欠損する。両側縁に調整加工が施されており、刃部と考えられる。

敲石 (第70・71図)

57・58は棒状である。明確な敲打痕は観察できなかったが、敲石と考えられる。

剥片 (第72～86図、第98～140図、第154～158図、第161～164図、第166～168図、第172～174図)

黒曜石製剥片の大きさ及び形状は多様である。大形の剥片は原石面を残すものが多く、形状は縦長剥片から幅広剥片まで漸移的にある。打面は自然面と単剥離面のものも多く、打面調整は殆ど行われていない。剥片の多くに使用と思われる微細な剥離が観察できる。

ガラス質黒色安山岩製の剥片は、大形の縦長剥片が多く、明花向遺跡A区、西大宮バイパスNa6遺跡の石器群とは様相が異なる。

トトロ石は風化が激しく詳細は不明である。

その他の石材の剥片は、127・128が砂岩製である。石斧に関連する資料かもしれない。125・126は玉髓製である。本環状ブロック群では希少石材になる。

石核 (第87～97図)

石核は多様である。

138・139は大形の剥片を素材とし、裏面は自然面を残している。剥片剥離作業は主要剥離面側に求心的に施され、裏面は扇状的に打面を作っている。

140～143は拳大の円礫を素材に、作業面は正面に固定し周縁から求心状に剥片剥離が施されている。打面調整は殆ど行われず、自然面を直接叩いている。

144・148～150、159～162は、打面を比較的確り作っている。144は垂角礫の上端を打ち割り単

剥離面の大きな打面を作っている。正面を作業面としているが、幅広剥片が何枚か剥がされているだけで終わっている。大ききから本格的な剥片剥離を行う前に、何らかの事情によって中断したと思われる。148・149は拳大の円礫の上端を打面にして正面を作業面としているが、剥片剥離作業が進行すると求心状の石核になると思われる。

150・159は単剥離面の打面を持ち、正面の作業面は打面から連続して剥がされている。しかし接合資料からは整った剥片は殆ど剥がされていないことがわかる。

145は下縁が潰れており、敲石として用いられたのかもしれない。

146は上面が凹面、下面が凸面である。側縁に下面を打面とした縦長の剥離面が連続して観察でき、上面によって切られている。大形石刃石核の打面再生剥片のようにみえるが、ネガとポジの関係は逆である。正面に上面を打面として剥離面があり、最終的な作業面と考えられる。

167は剥片素材の石核で、打面側を作業面に小形の横広剥片を作出している。上面に小形の剥片が接合するが、素材剥片の前後なのかは不明である。

168は板状礫を素材とし、両面から剥片を作出している。

147・169～172はガラス質黒色安山岩の石核である。147は表面の風化が進んでおり、細部は不明であるが、サイコロ状の石核である。171は正面と右側面を作業面とする大形の石核である。複数の縦長剥片・ナイフ形石器（第157・158図）が接合している。172は礫器状の石核で、横広の大形剥片（第166図）が接合している。

黒曜石接合資料（第98～140図）

黒曜石の接合資料は58例である。その内3点以上の接合例は26例、2点の接合は32例である。

Ob接合1（第98～100図、第141・142図）

剥片9点の接合資料である。剥片は単剥離面で長幅比は1に近い。自然面は、173～176は正面の右半分に大きく残し、177～181は端部に残している。

接合状況から、拳大より一回り大きい垂角礫を素材とし、上面の分節面を打面とし、連続的に剥片剥離が行われていることがわかる。側縁の鋭利な部分に、微細剥離が観察されるものが多く石刃等として使用されたと思われる。

分布は、環状ブロック群の西側に偏在しており、石器集中17と15から各3点とまとまり、北側の石器集中9とエリアⅡから各1点、南の石器集中14から1点出土している。

Ob接合2（第100・101図、第141・142図）

剥片4と石核1の接合資料である。接合によって、ほぼ原石の状態に戻っている。剥片は厚手で自然面を大きく残している。石核は剥片より小さく、最終的な凹面を有するものである。

分布は、石器集中17内で完結している。

Ob接合3（第101・102図、第141・142図）

剥片（188）にナイフ形石器（21）と碎片（187）が接合している。

分布は、石器集中11、14、15から各1点出土している。

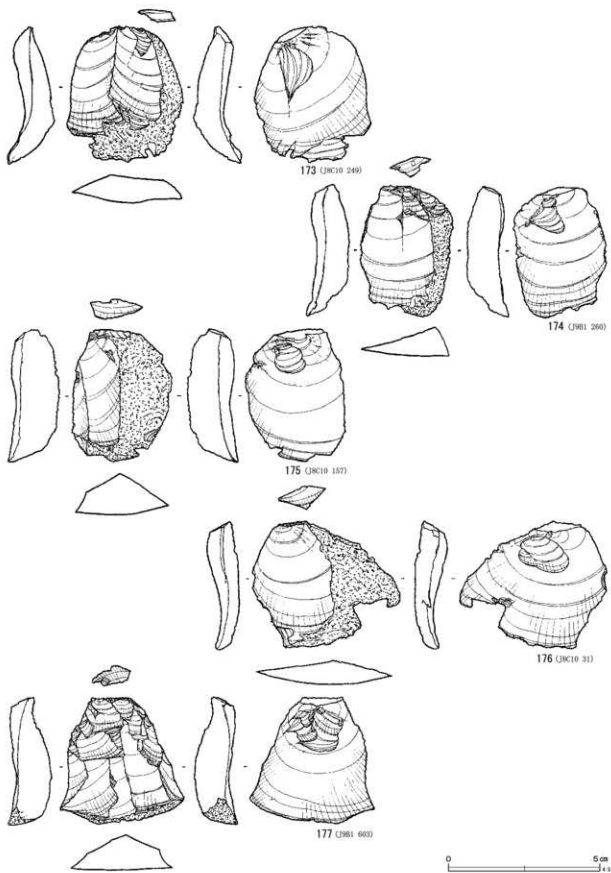
Ob接合4（第102・103図、第141・142図）

台形礫石器（44）と剥片4点、碎片1点の接合資料である。接合状況から垂角礫を素材とし、平坦面から交互に剥離している。剥片の打面は単剥離面又は自然面である。台形礫石器は左端から剥がされた不定形の剥片を素材としている。

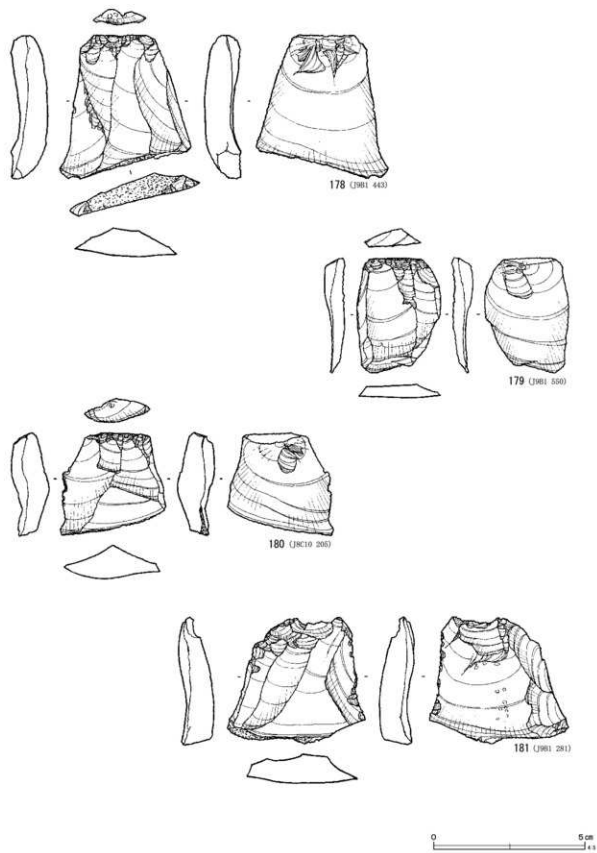
分布は、石器集中11に4点とまとまり、西側の石器集中17とエリアⅢからそれぞれ1点出土している。

Ob接合5（第103図、第141・142図）

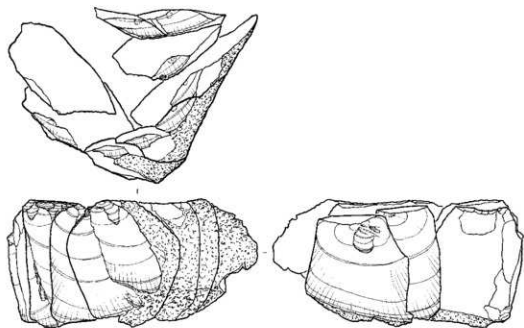
剥片と碎片4点の接合資料である。194～197へ連続的に剥片剥離されている。正面に自然面を大きく残している。打面は単剥離面である。



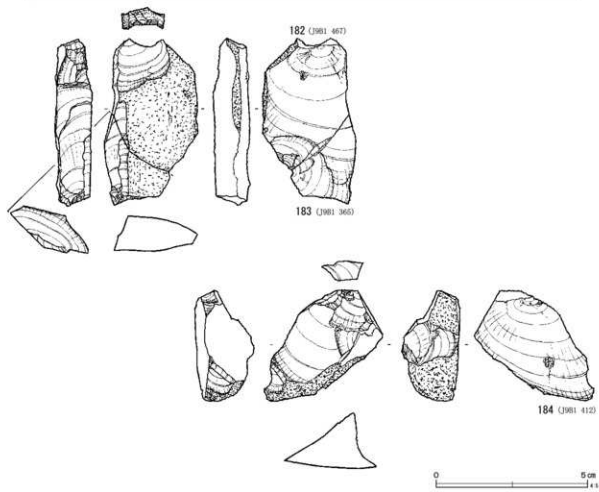
第98图 石器集中8~18捺合石器(1)



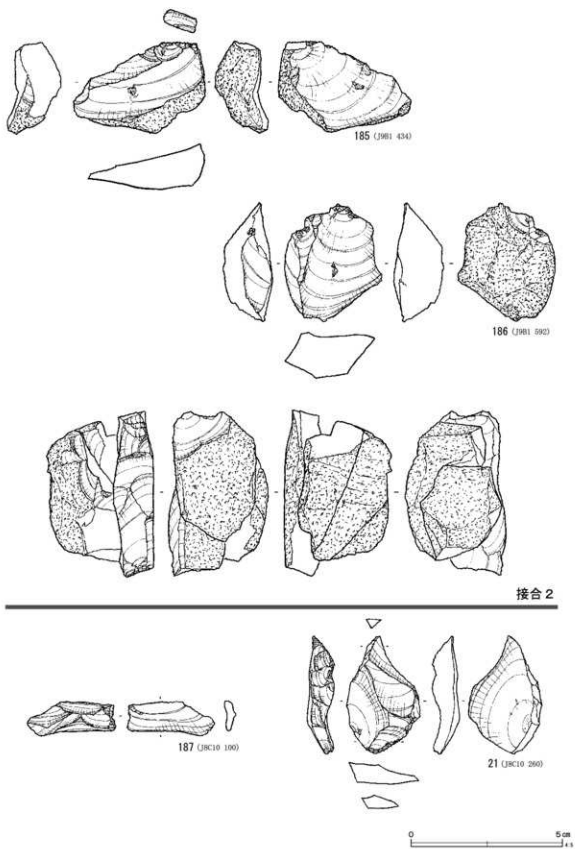
第99图 石器集中8~18接合石器(2)



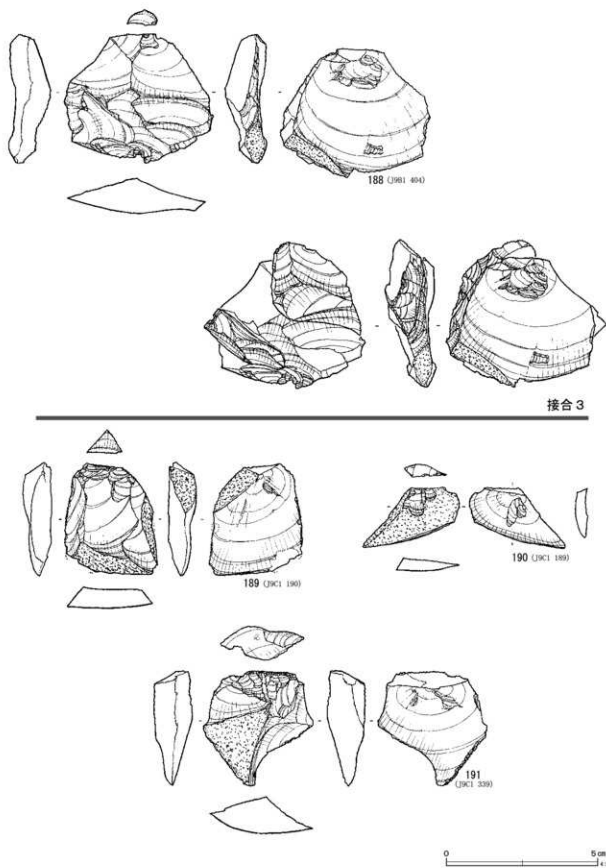
接合 1



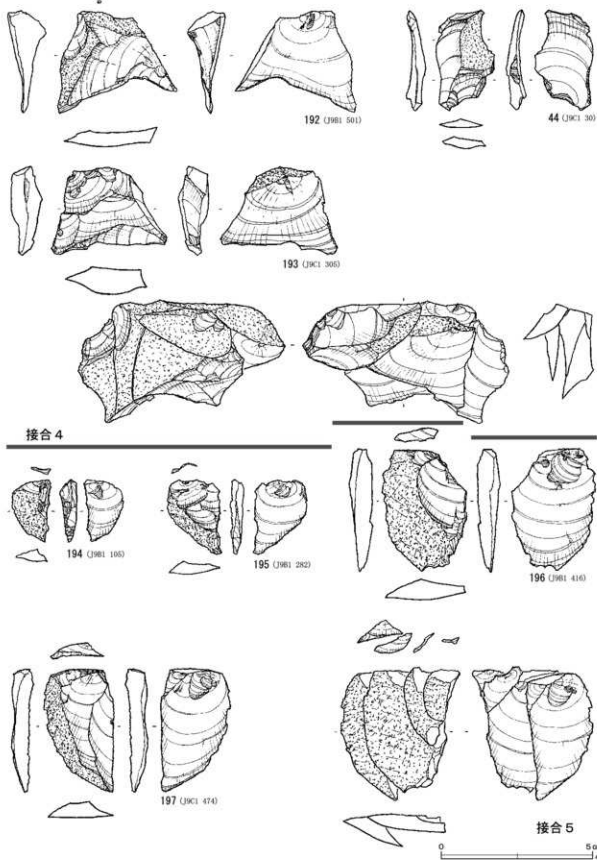
第100图 石器集中8~18接合石器(3)



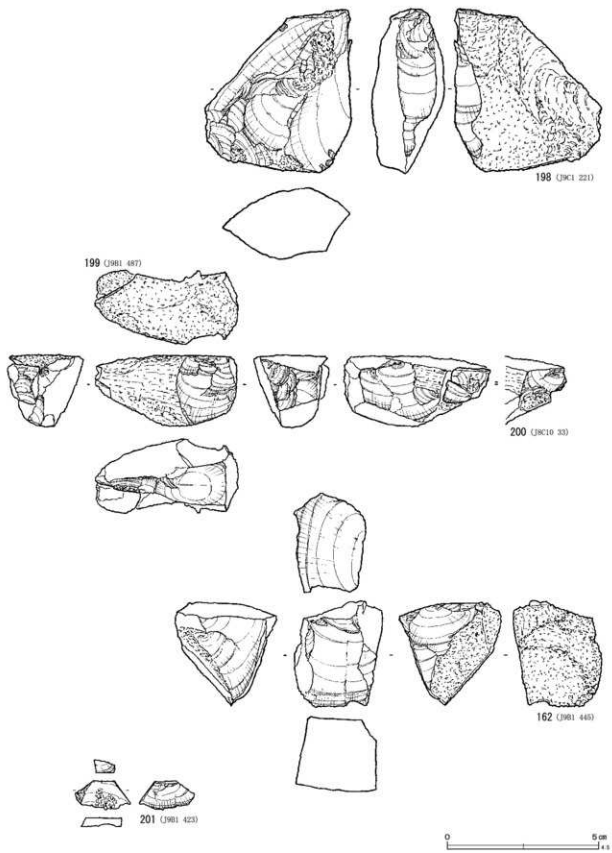
第101图 石器集中8~18接合石器(4)



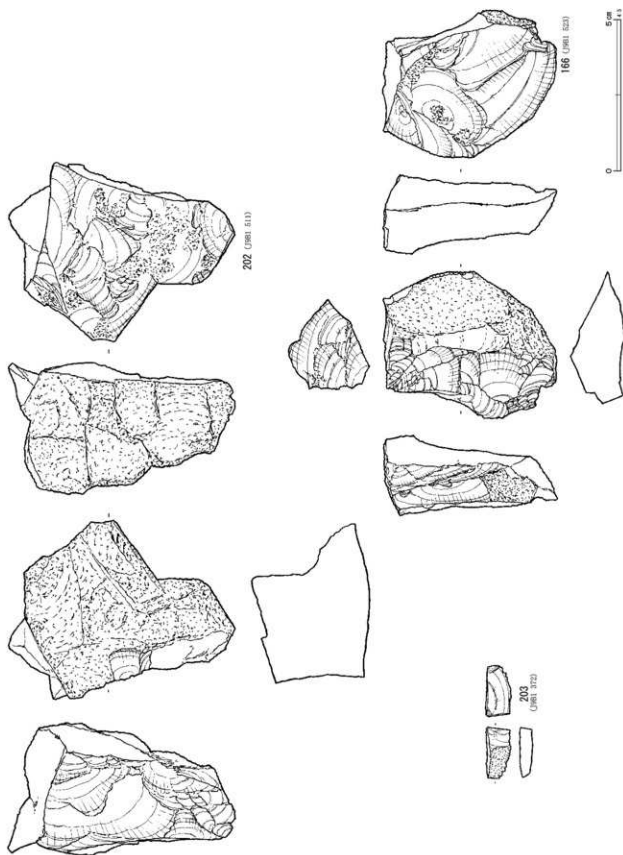
第102図 石器集中8～18接合石器(5)



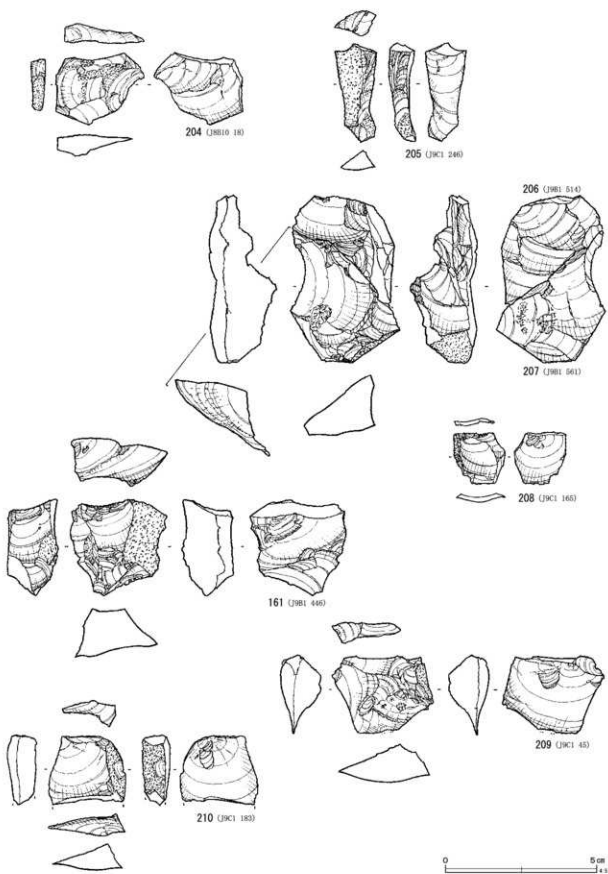
第103图 石器集中8~18接合石器(6)



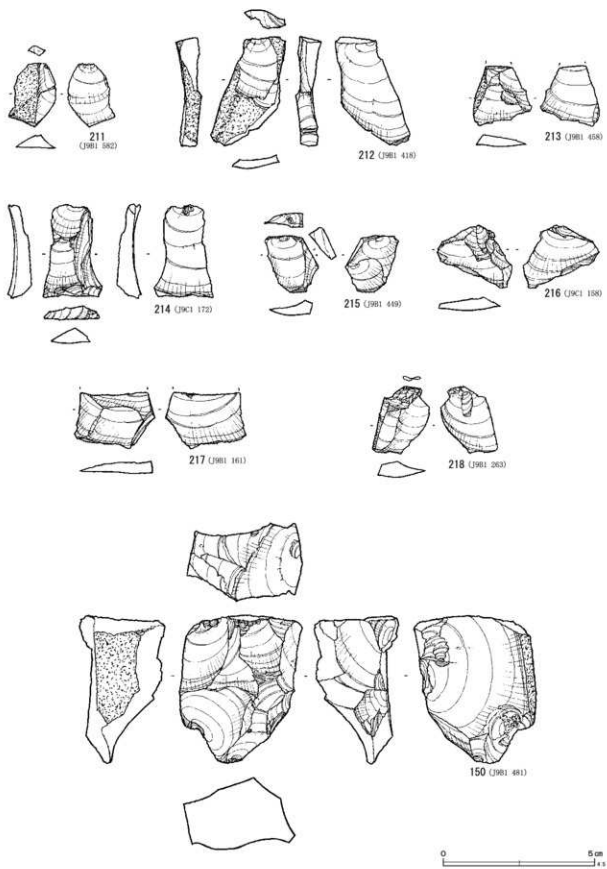
第104图 石器集中8-18接合石器(7)



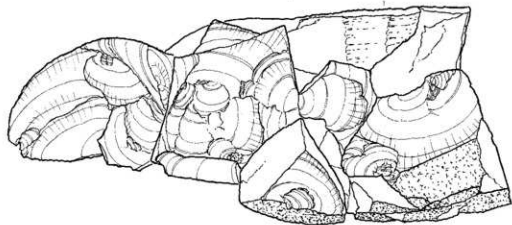
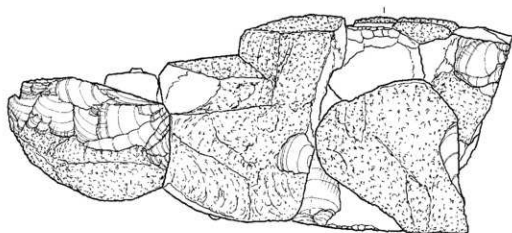
第105图 石器集中8~18接合石器(8)



第106图 石器集中8~18接合石器(9)



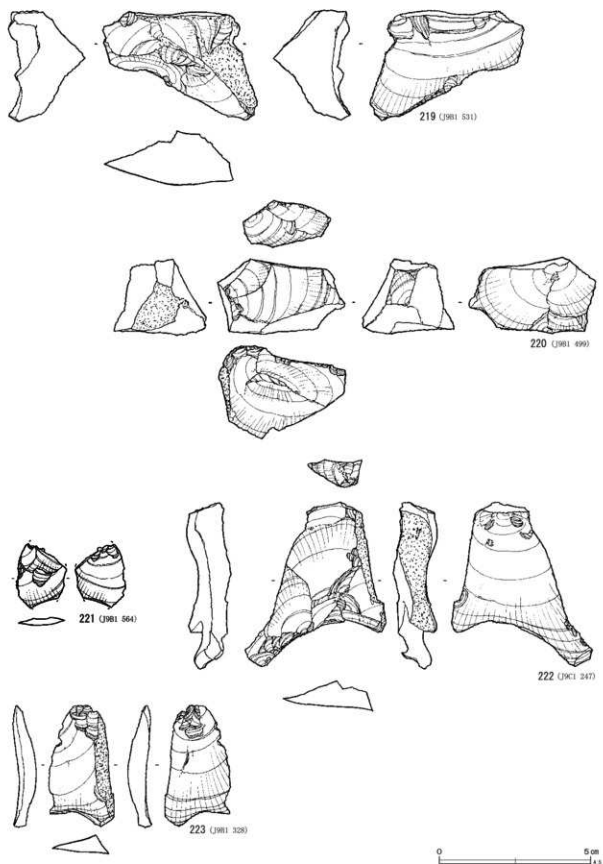
第107图 石器集中8~18接合石器(10)



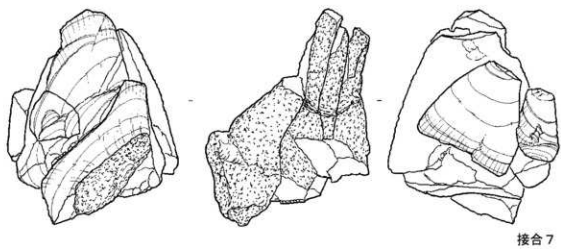
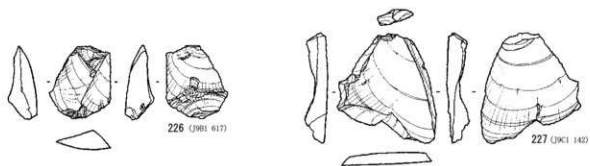
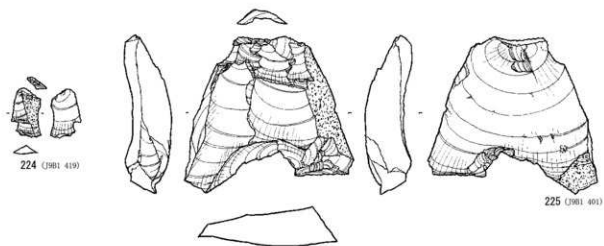
接合 6



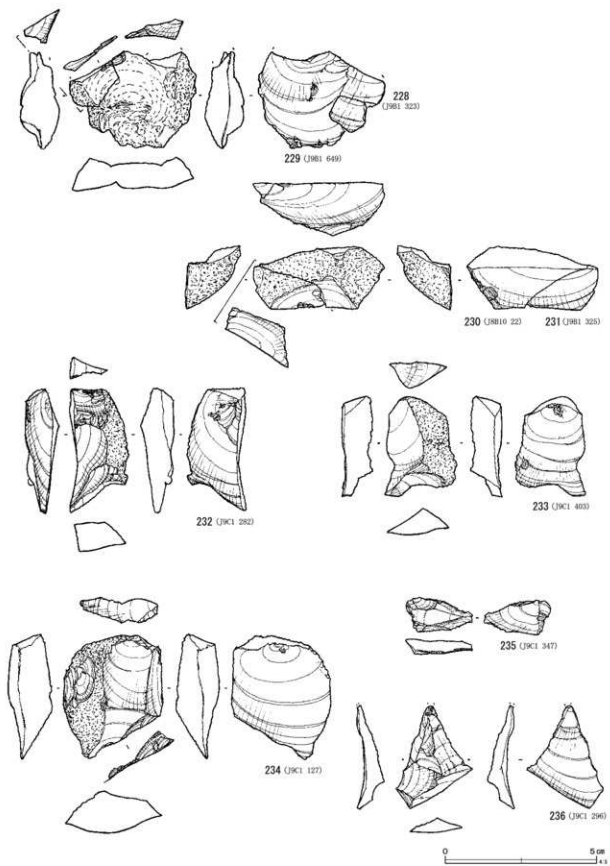
第108图 石器集中8-18接合石器(11)



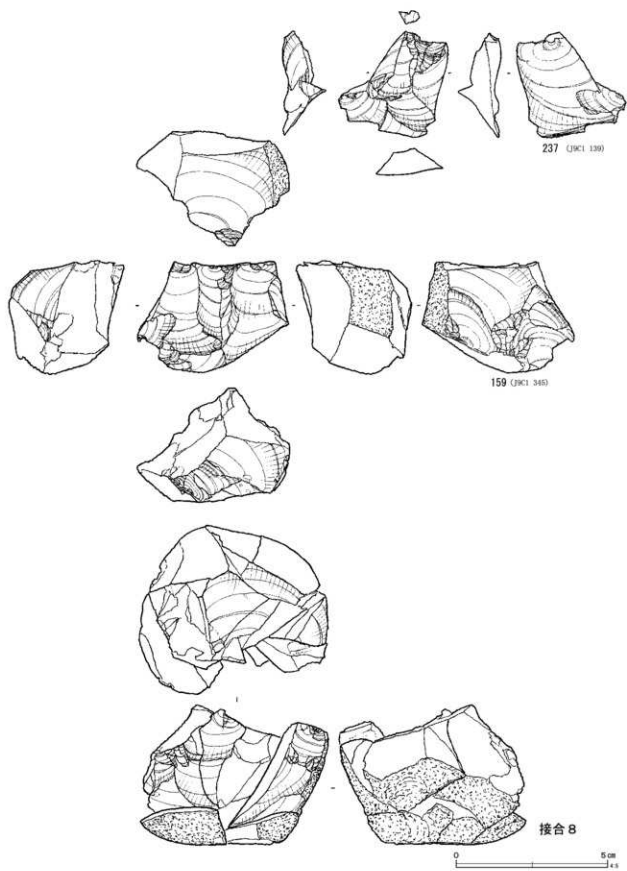
第109图 石器集中8~18接合石器(12)



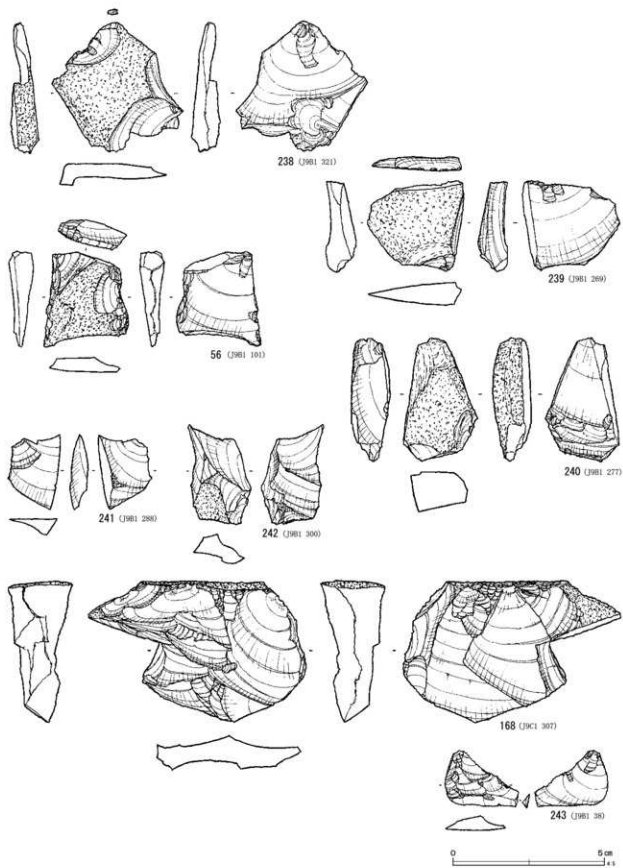
第110图 石器集中8~18接合石器(13)



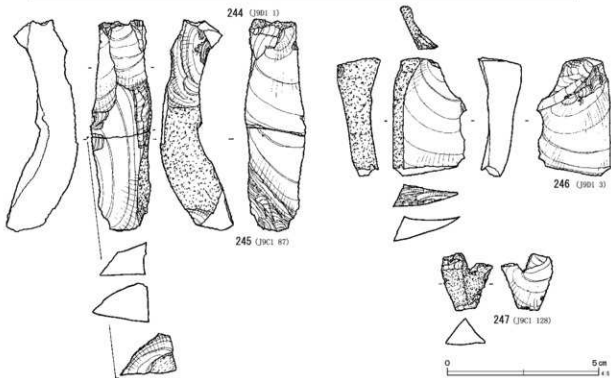
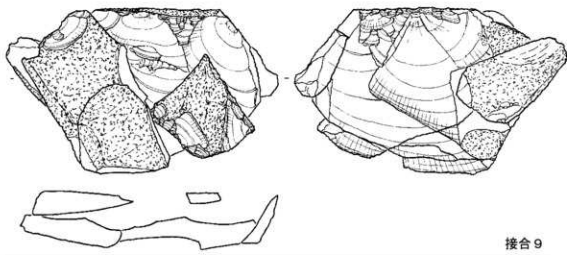
第111图 石器集中8~18接合石器(14)



第112图 石器集中8-18接合石器(15)



第113图 石器集中8~18接合石器(16)



第114図 石器集中8～18接合石器 (17)

分布は、石器集中9に2点、南側の石器集中17から2点出土している。

Ob接合6 (第104～108図、第143・144図)

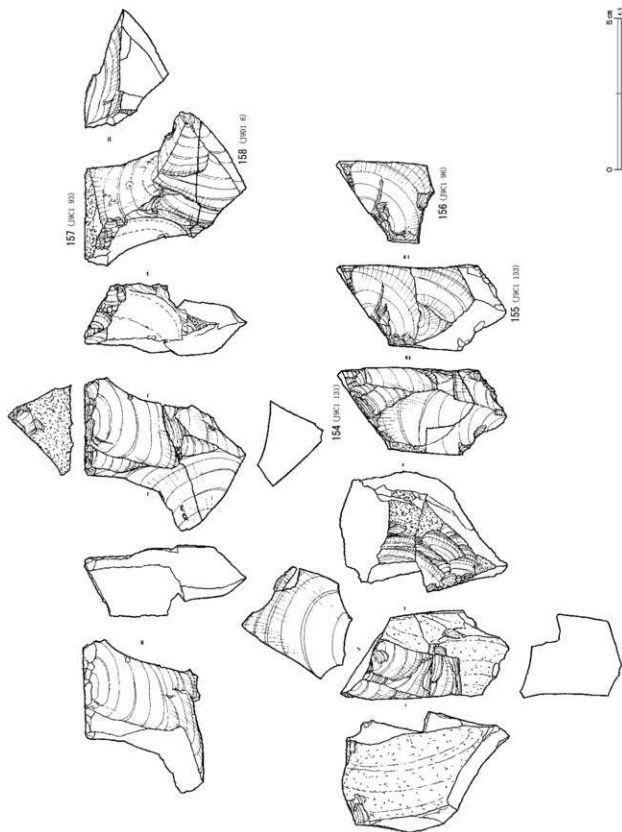
原石、石核、剥片類25点の接合資料である。石材は不純物が多く、他と比べてあまり良質ではない。接合状況は、大きく分割して芯に近い良質なものを持ち出しているようで、全体の1/3程度が欠落している。205のような不純物の多い部分は、

原石のままで廃棄されている。また、150の石核は小形の剥片が複数接合しており、遺跡内で剥片剥離が行われていたことが窺える。

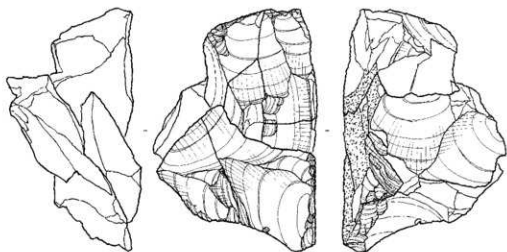
分布は、石器集中11の東側を中心に石器集中17、15、16、10及びエリアⅡ、Ⅲから出土している。

Ob接合7 (第109・110図、第145・146図)

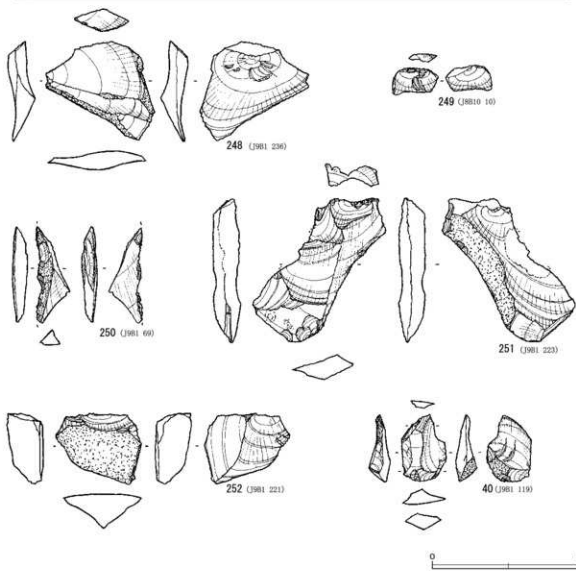
剥片類の9点の接合資料である。接合状況は、222～255の剥片が打点を後退するように剥離され



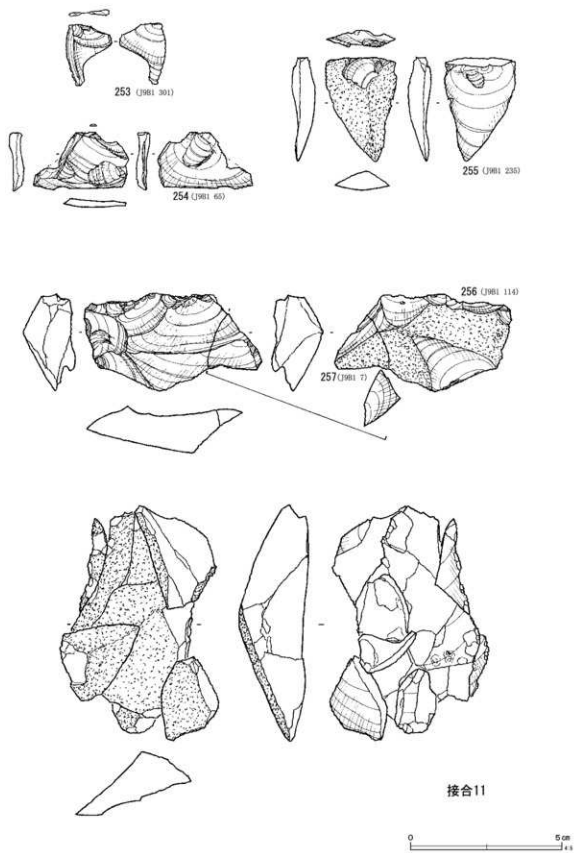
第115图 石器集中8~18接合石器(18)



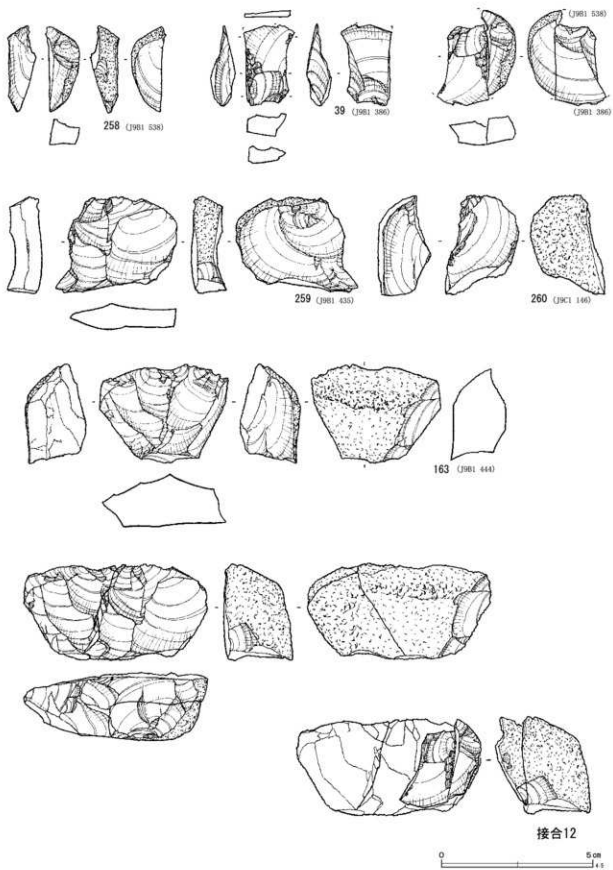
接合10



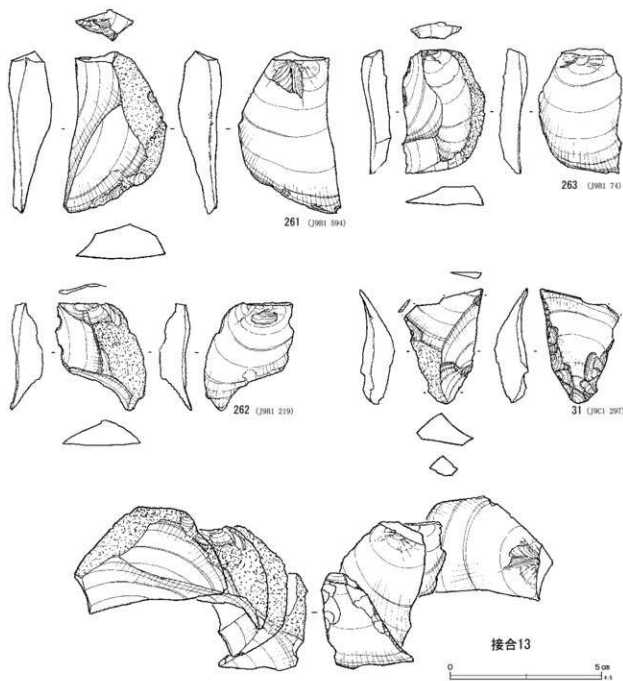
第116图 石器集中8~18接合石器(19)



第117图 石器集中8~18接合石器(20)



第118图 石器集中8-18接合石器(21)



第119図 石器集中8～18接合石器 (22)

ている。

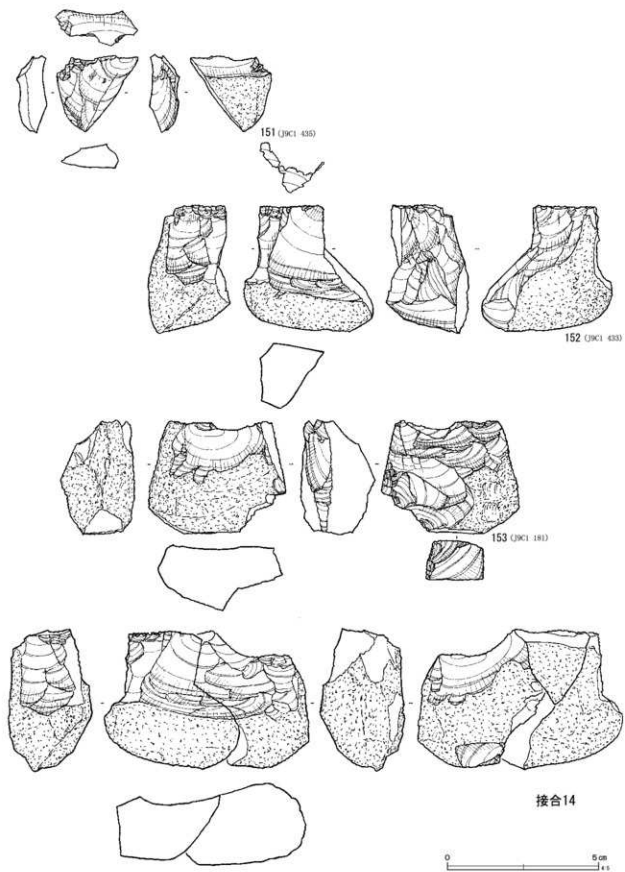
分布は、環状ブロック群の中央から東側の石器集中11から6点、石器集中10、9、17から各1点出土している。

Ob接合8 (第111・112図、第141・142図)

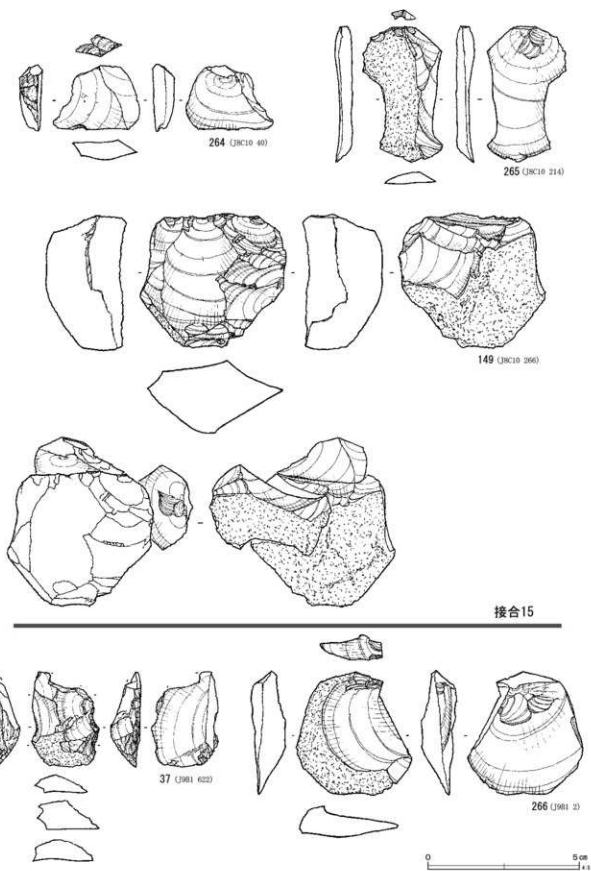
石核 (159) と剥片等11点の接合資料である。接合状況から、拳大の垂角礫を素材としている。

剥片剥離は表面の自然面を剥がす段階と、芯に近い部分から小形形の剥片を作出する段階に分かれる、228～232は前者に、235～237は後者に含まれる。

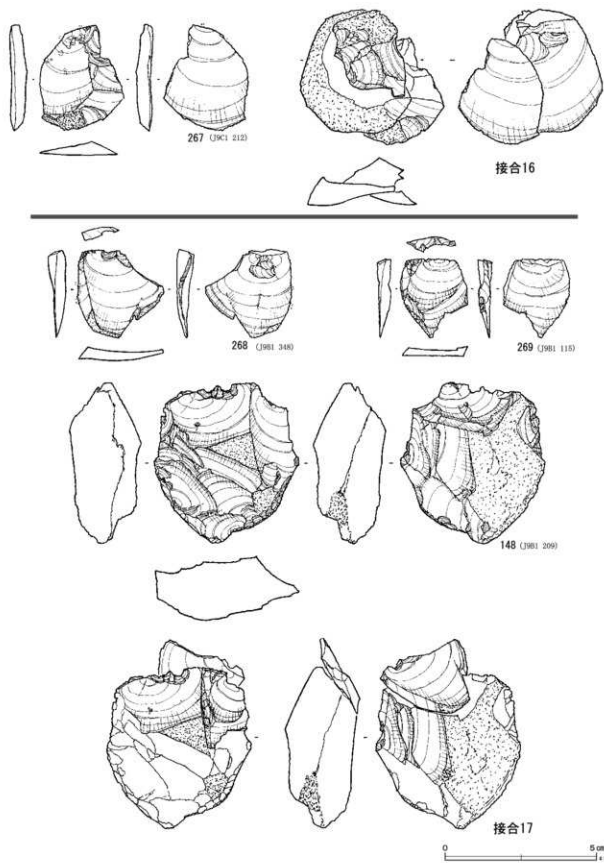
分布は石器集中16とその周辺のエリアⅢから5点出土し、東側の石器集中12から2点、北側の石器集中9から3点、エリアⅡから1点出土している。



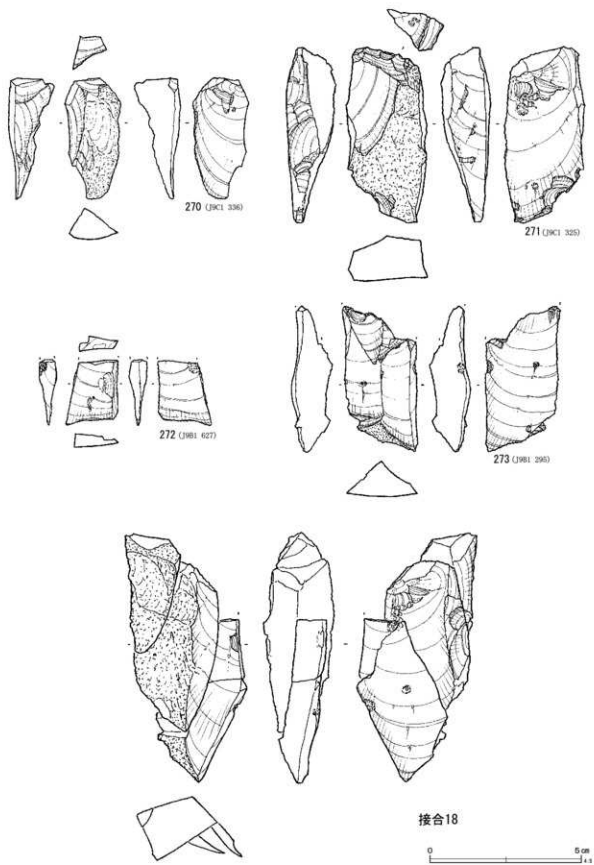
第120图 石器集中8-18接合石器(23)



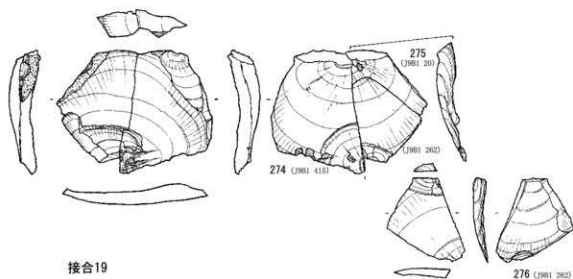
第121图 石器集中8~18接合石器(24)



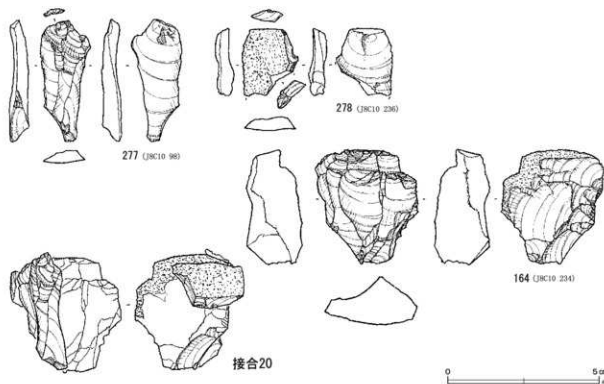
第122图 石器集中8-18接合石器(25)



第123图 石器集中8~18接合石器(26)



接合19



接合20

第124図 石器集中8～18接合石器(27)

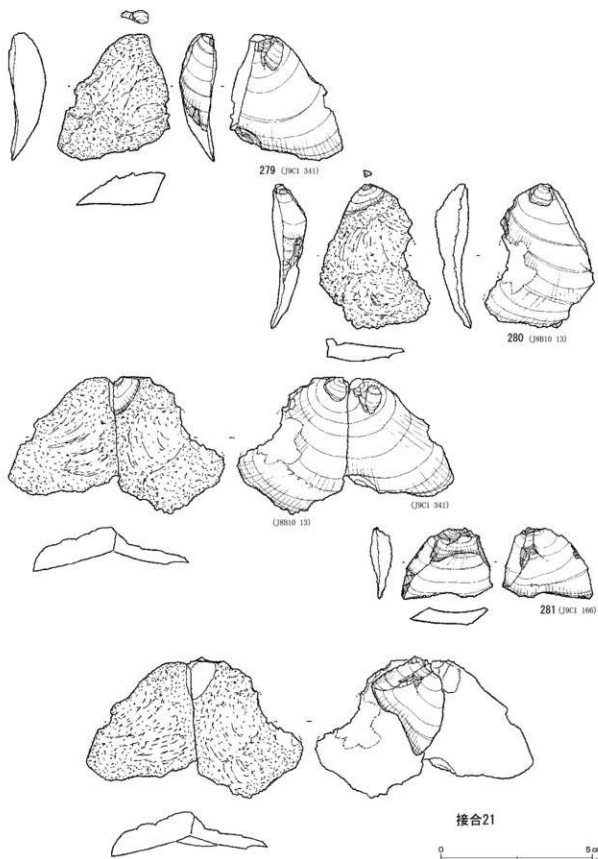
Ob接合9 (第113・114図、第145・146図)

石核と掻・削器、剥片類の8点の接合資料である。接合によって盤状の原石を素材に、両面から剥片剥離が施されている。剥離された剥片は、正面に自然面を大きく残している。56は両端を欠損する掻・削器であるが、238・239と同じ程度の大きさの縦長剥片になるとと思われる。

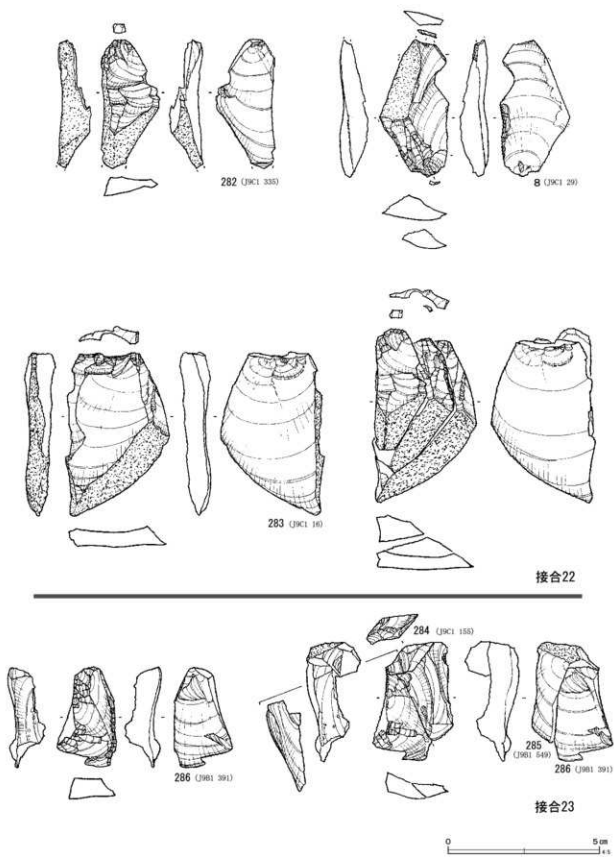
分布は、石器集中9の5点を中心に、北東のエリアIから2点、北側の石器集中17から1点出土している。

Ob接合10 (第114～116図、第151図)

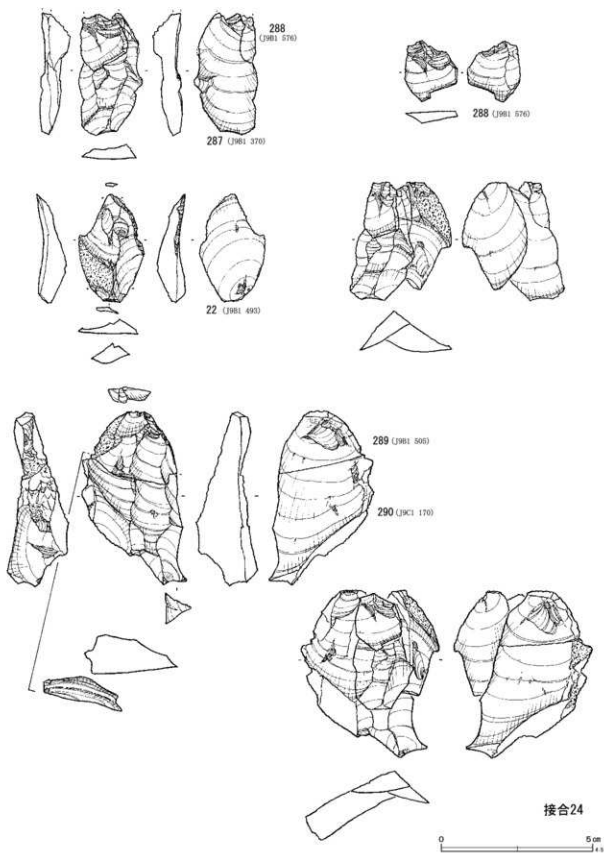
石核と剥片類の9点の接合資料である。石核は、大きく2つのグループに分かれ、接合している。分布は、石器集中13の中で完結している。



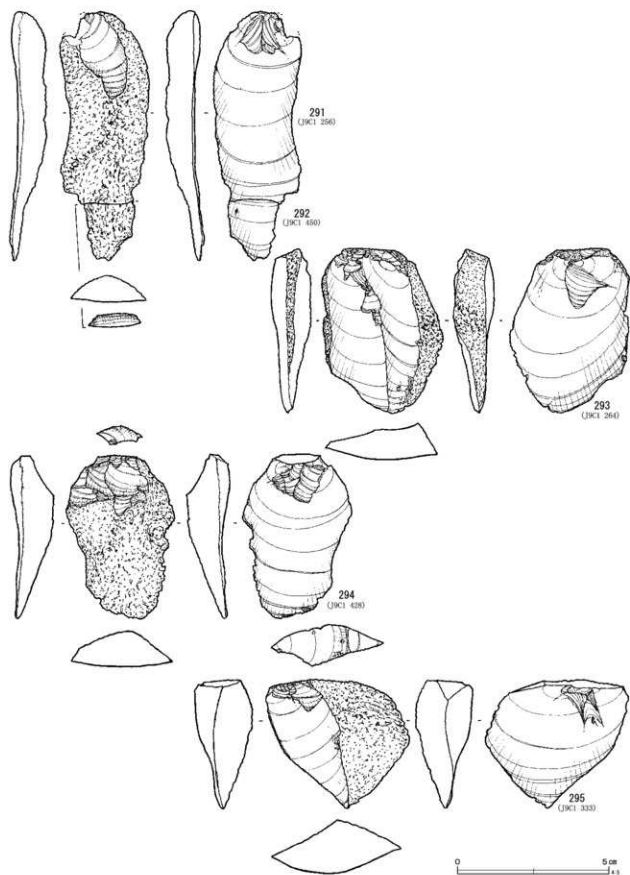
第125图 石器集中8~18接合石器(28)



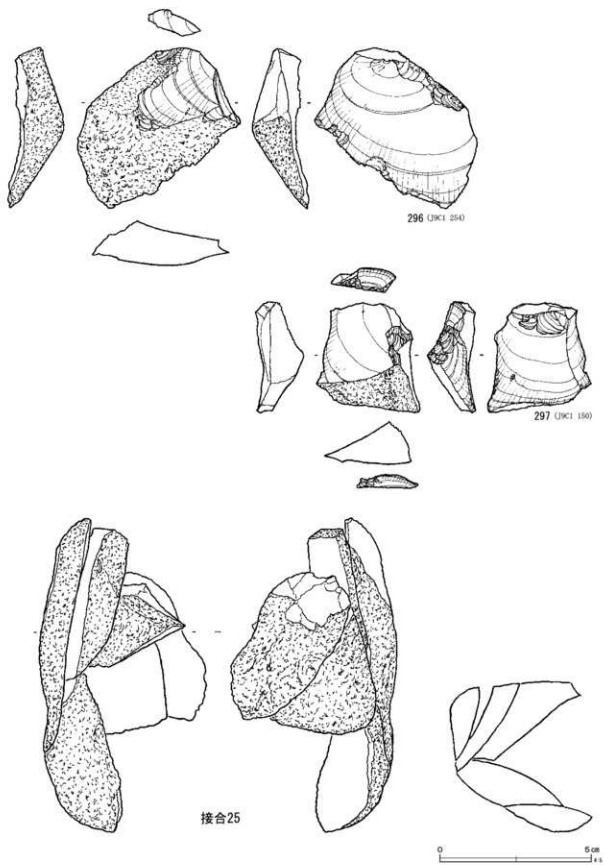
第126図 石器集中8～18接合石器(29)



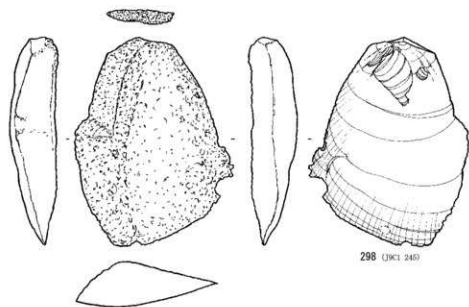
第127图 石器集中8~18接合石器 (30)



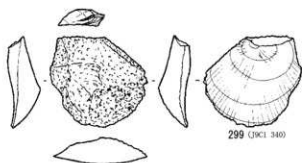
第128图 石器集中8-18接合石器(31)



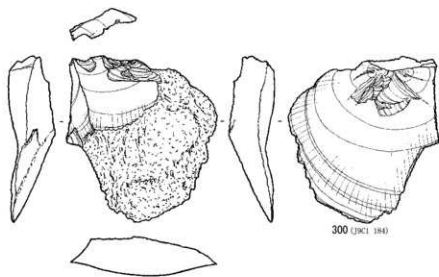
第129图 石器集中8~18接合石器(32)



298 (JNC1 243)



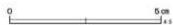
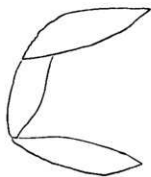
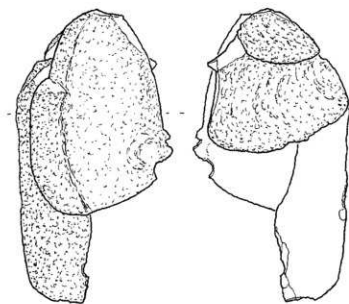
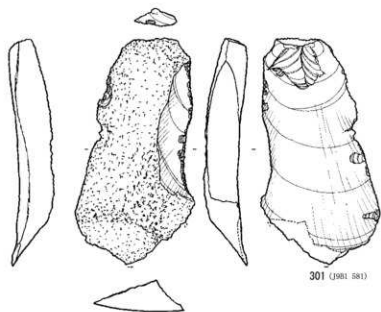
299 (JNC1 240)



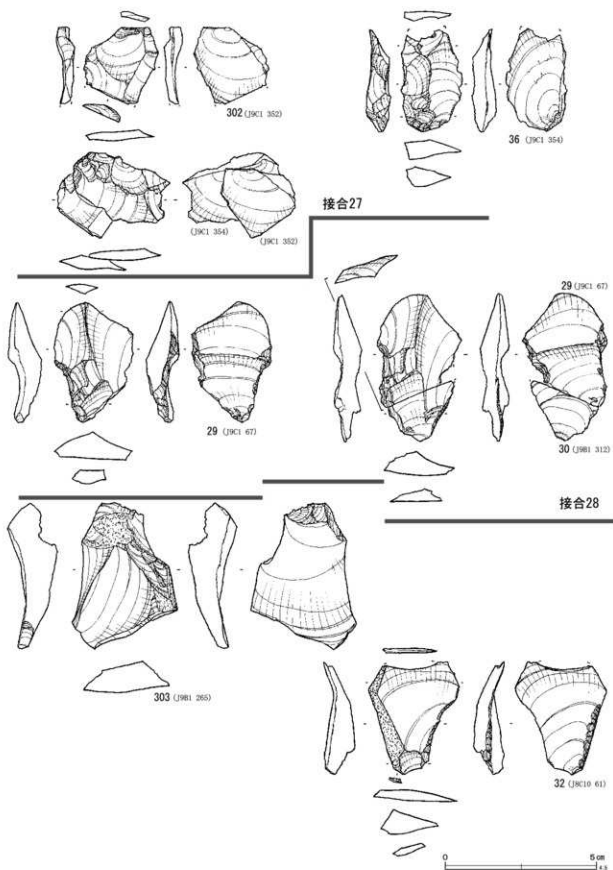
300 (JNC1 184)



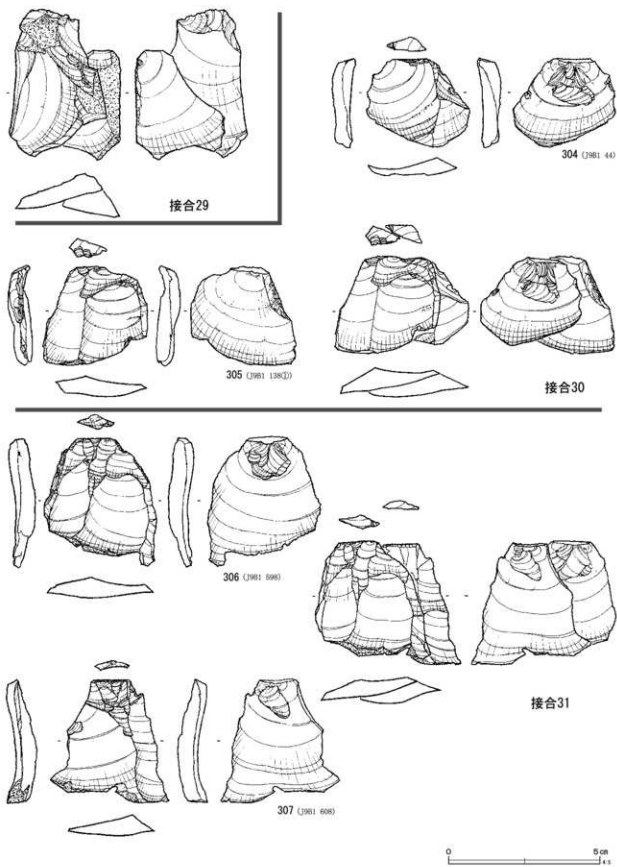
第130图 石器集中8-18接合石器(33)



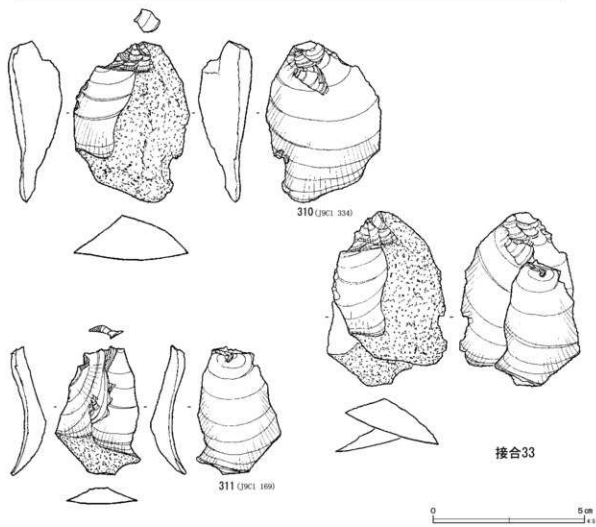
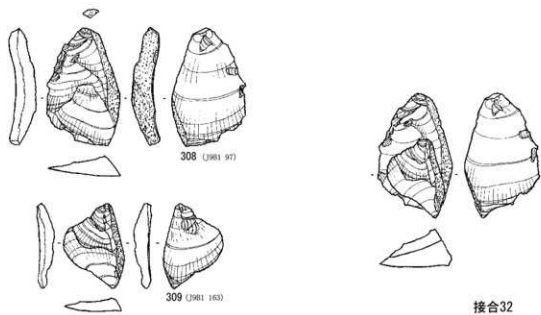
第131图 石器集中8~18接合石器(34)



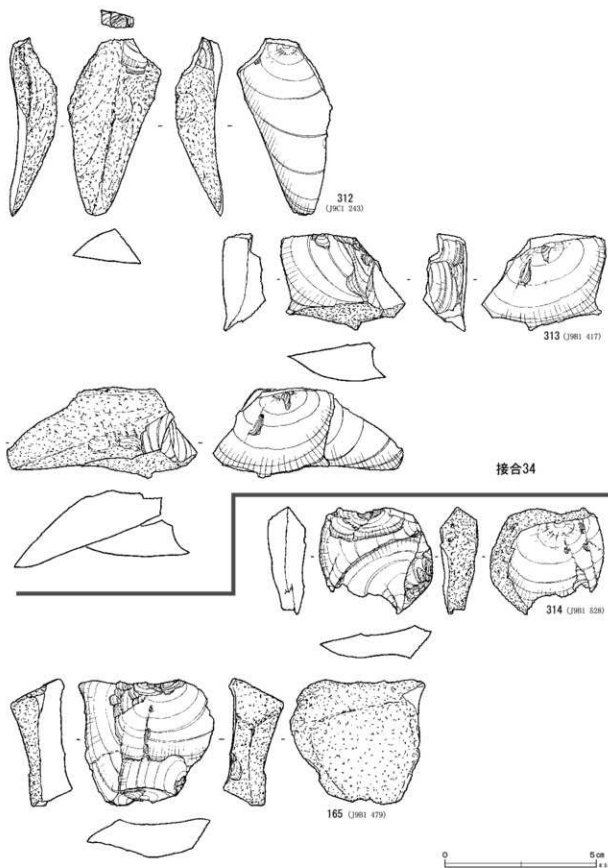
第132図 石器集中8～18接合石器(35)



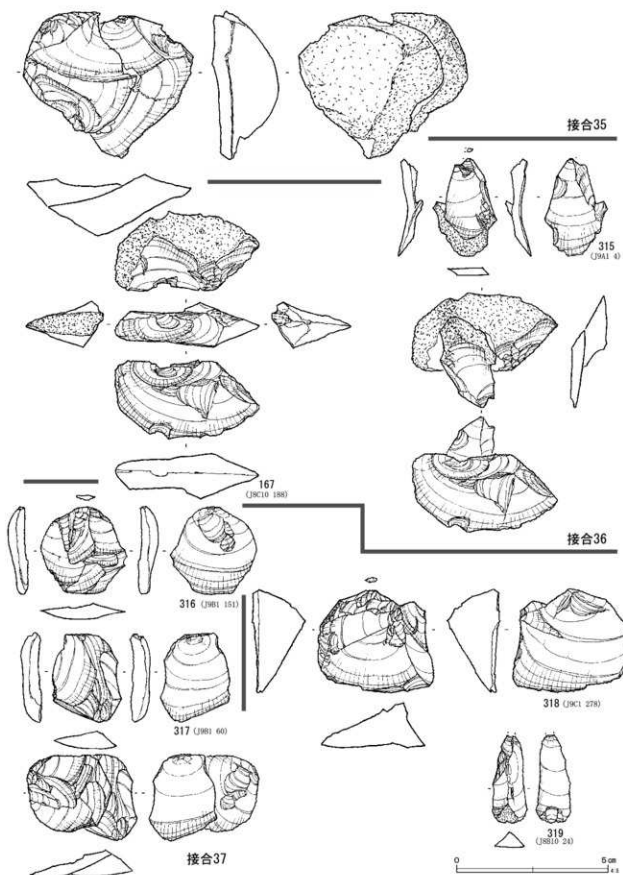
第133图 石器集中8~18接合石器(36)



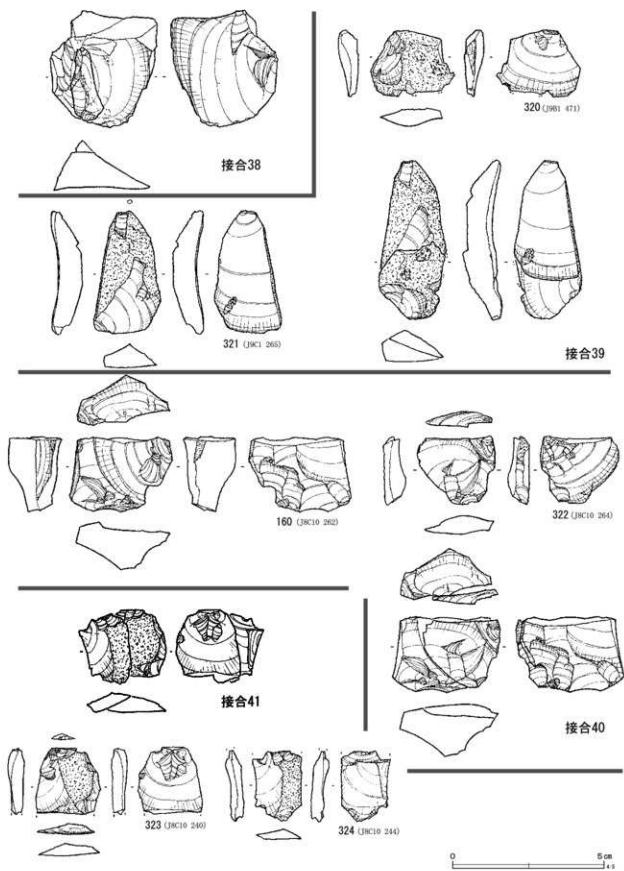
第134图 石器集中8-18接合石器(37)



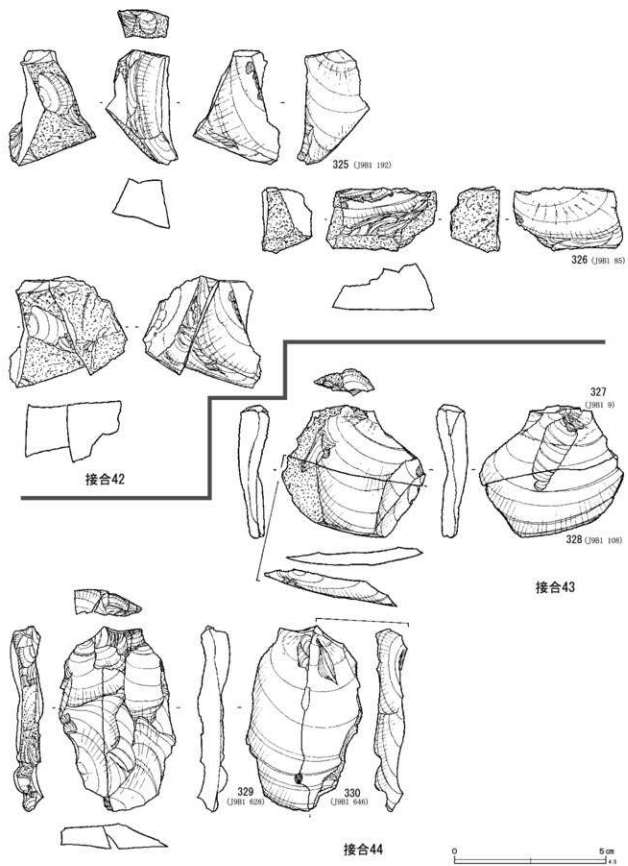
第135图 石器集中 8~18接合石器 (38)



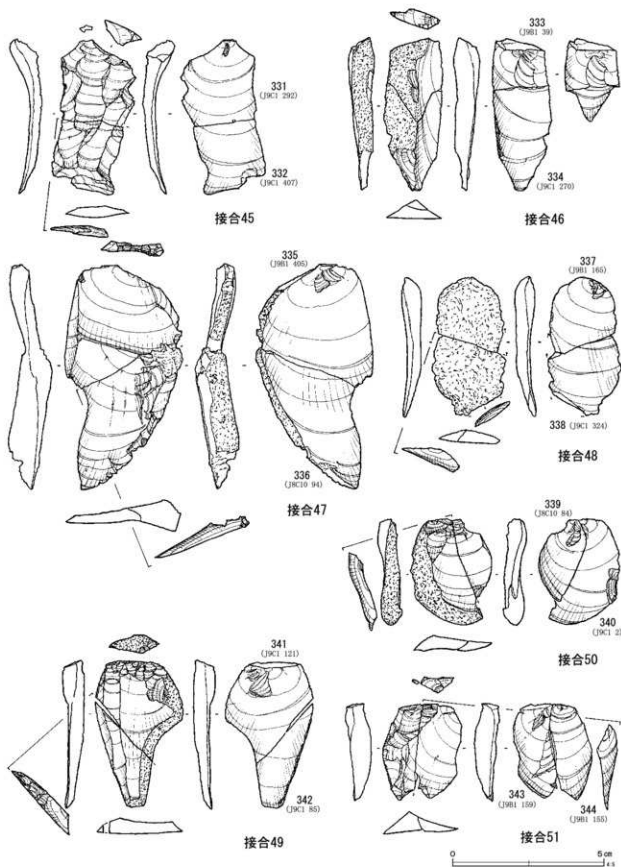
第136图 石器集中8-18接合石器(39)



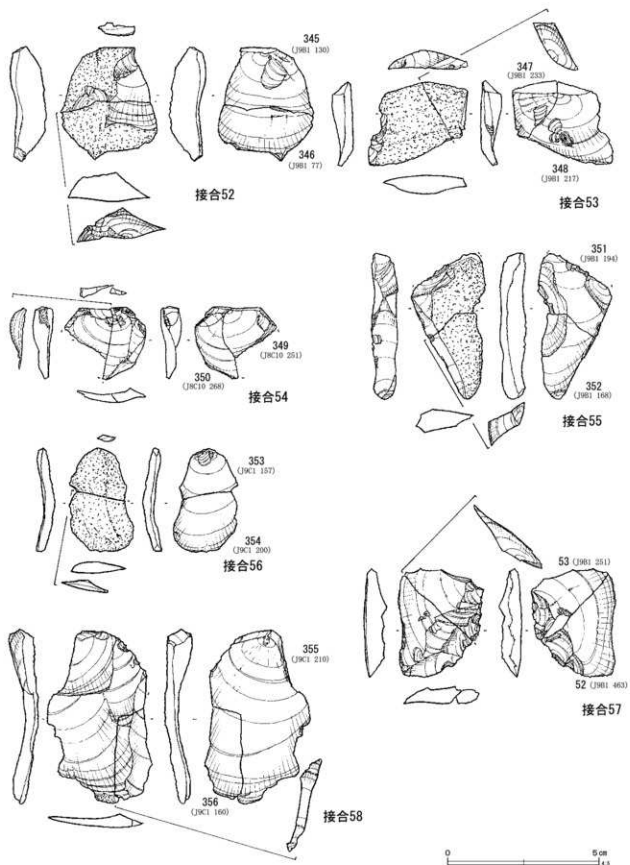
第137图 石器集中8~18接合石器(40)



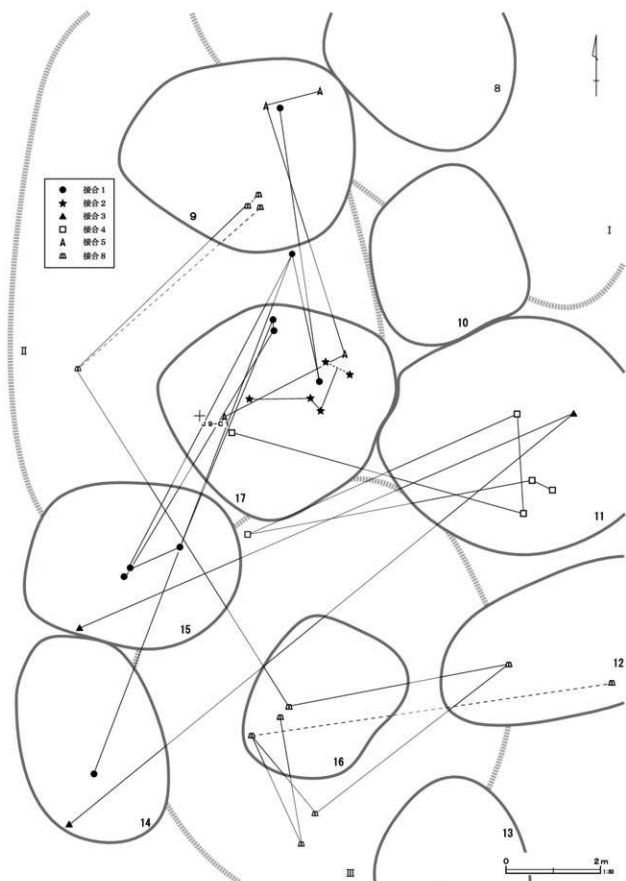
第138図 石器集中8～18接合石器(41)



第139图 石器集中8~18接合石器 (42)

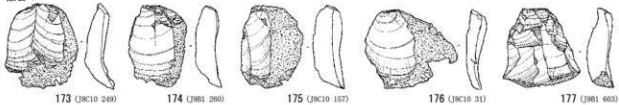


第140图 石器集中8-18接合石器(43)

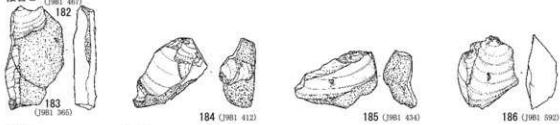


第141图 黑耀石接合分布图(1)

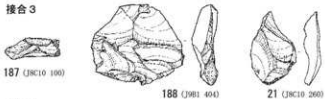
接合 1



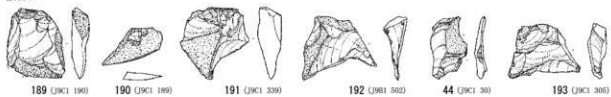
接合 2



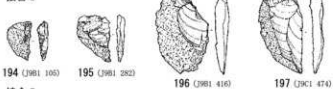
接合 3



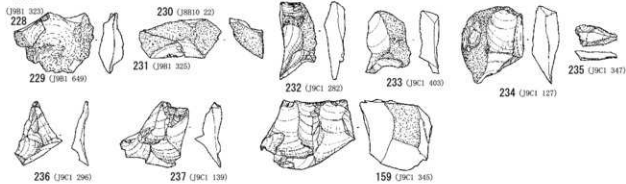
接合 4



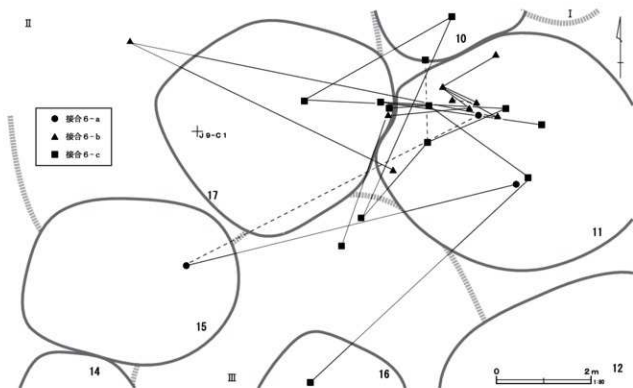
接合 5



接合 8



第142图 黑曜石接合石器 (1)



第143図 黒曜石接合分布図(2)

Ob接合11 (第116・117図、第145・146図)

石核とナイフ形石器、剥片類11点の接合資料である。接合によって、正面に自然面を残す、横断面三角形の大形縦長剥片を素材にしていることが分かった。剥片剥離は主要剥離面を打面とする、248・255と、主要剥離面を取り込むように剥離した250・252等がある。最終的には253・254等の小形不定形の剥片しか剥離することはできなかったようである。また、台形様石器(40)は主要剥離面を取り込んだ不定形剥片を素材としている。

分布は、環状ブロック群の北東側、石器集中8に9点がまとまり、西側の石器集中9から2点出土している。

Ob接合12 (第118図、第145・146図)

台形様石器と石核・剥片5点の接合資料である。接合によって、拳大より小形の垂角礫が1/4程度残された状況が分かった。上面から裏面は自然面のままで、正面に上面からの連続した剥離面が残されている。しかし、接合した剥片(259)は、

原石を輪切りにするようにしており、厚手である。台形様石器(39)は259と同じような厚手の剥片を折衝して作っている。

分布は、環状ブロック群中央の石器集中17に4点がまとまり、南側のエリアⅢから1点出土している。

Ob接合13 (第119図、第145・146図)

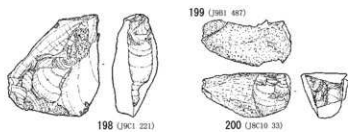
台形様石器と剥片4点の接合資料である。接合状況は、比較的大形の原石を素材に、自然面を残す外面に近い部分の剥片類の接合である。剥片剥離のスタートは261で打面を90度転位する形で262・263・31を剥がしているが、打面は異なっている。本接合資料では最後に剥がされた31は台形様石器に加工されている。

分布は、石器集中9から2点、石器集中12から1点、石器集中17から1点と広範囲から散発に出土している。

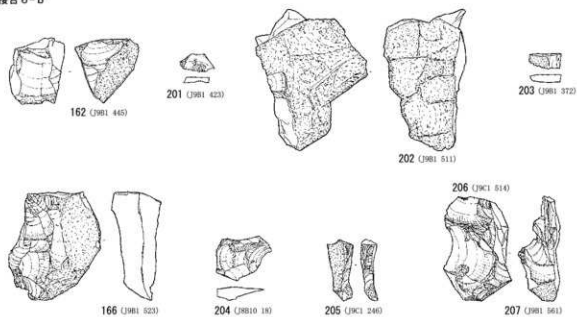
Ob接合14 (第120図、第147・148図)

石核2点と剥片1点の接合資料である。拳大の

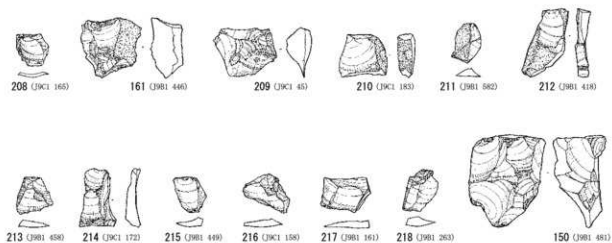
接合 6-a



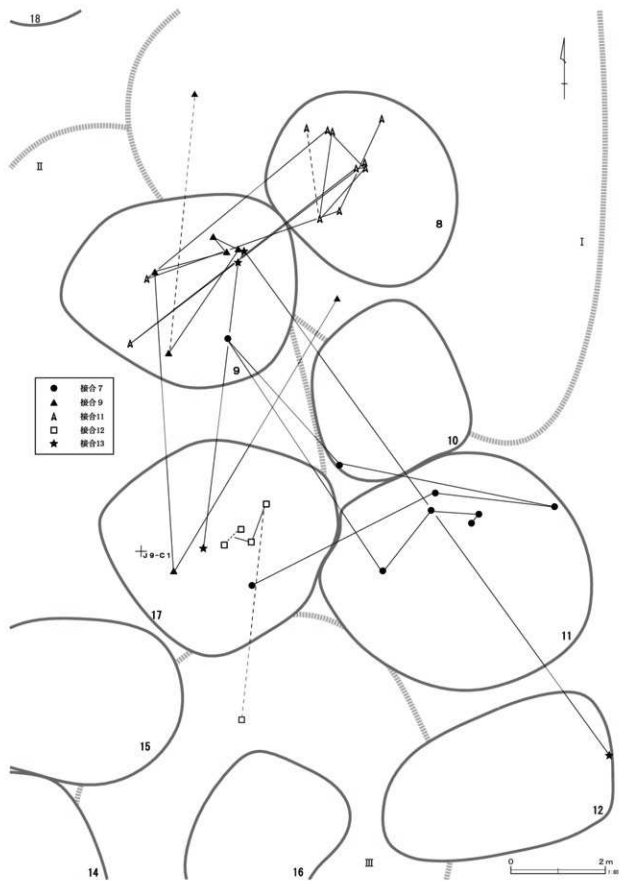
接合 6-b



接合 6-c

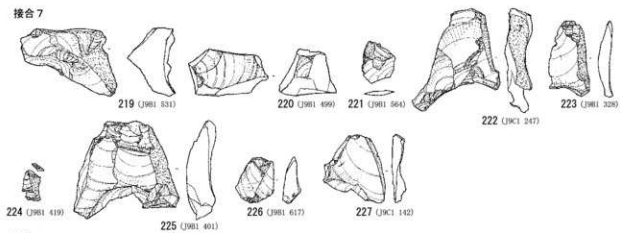


第144图 黑曜石接合石器(2)

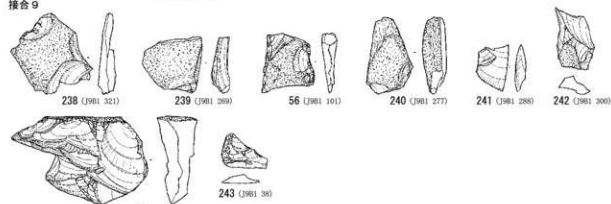


第145图 黑耀石接合分布图(3)

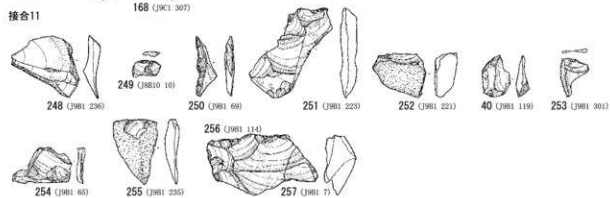
接合 7



接合 9



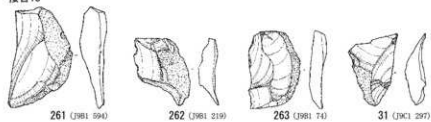
接合 11



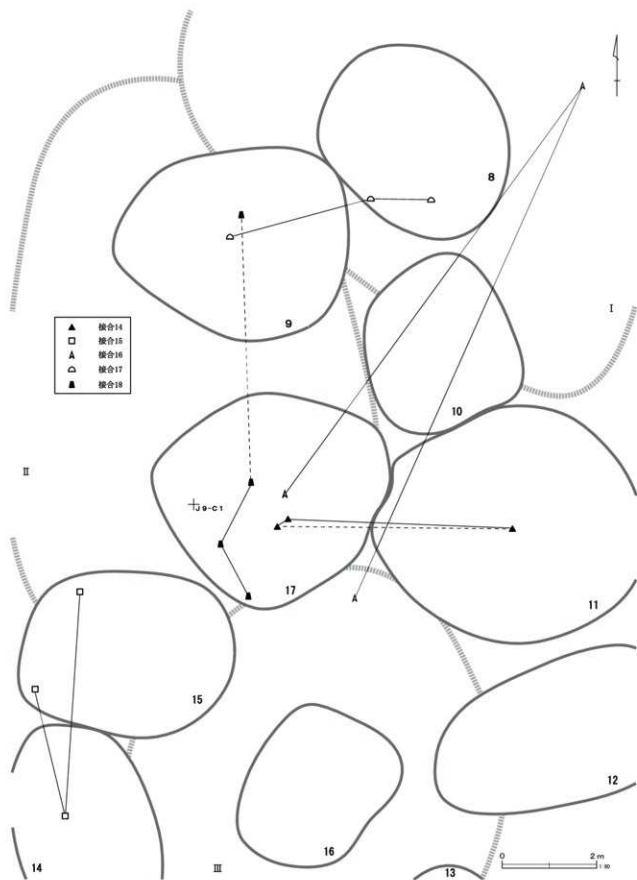
接合 12



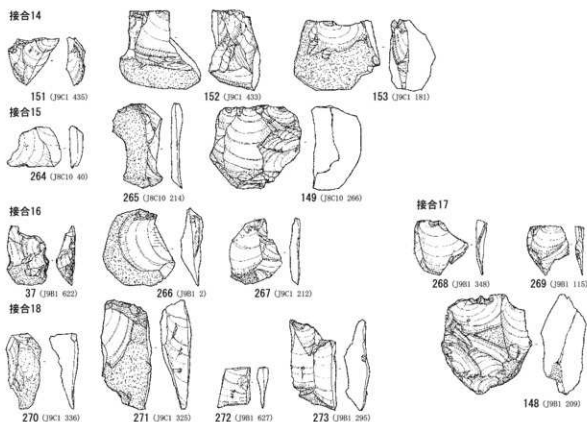
接合 13



第146图 黑曜石接合石器(3)



第147图 黑耀石接合分布图(4)



第148図 黒曜石接合石器 (4)

凹縁が用いられている。上面を分割し、それを打面に剥片剥離を行っているが、途中で石核本体が立て割れを起こしてしまった様である。

分布は、石器集中17から2点、石器集中11から1点出土している。

Ob接合15 (第121図、第147・148図)

石核1点と剥片2点の接合資料である。石核は正面を作業面としている。接合した剥片は、石核調整剥片と打面作出剥片である。

分布は、石器集中15から剥片2点、石器集中14から石核1点が出土している。

Ob接合16 (第121・122図、第147・148図)

台形礫石器と剥片の3点の接合資料である。外皮に近い部分の剥片で、台形礫石器 (37) と266の剥片は打面が異なっており、267は打面を欠損する為、連続した剥離かは不明である。

分布は、石器集中17から1点、エリアIから1

点、エリアIIIから1点と広範囲から出土している。

Ob接合17 (第122図、第147・148図)

石核と剥片の3点の接合資料である。Ob接合15と近似している。拳大の凹縁を素材に、上位から剥片剥離しているが、作業の進行によって求心状の石核になると思われる。接合する剥片は、268が打面作出剥片、269は石核から作出した剥片である。

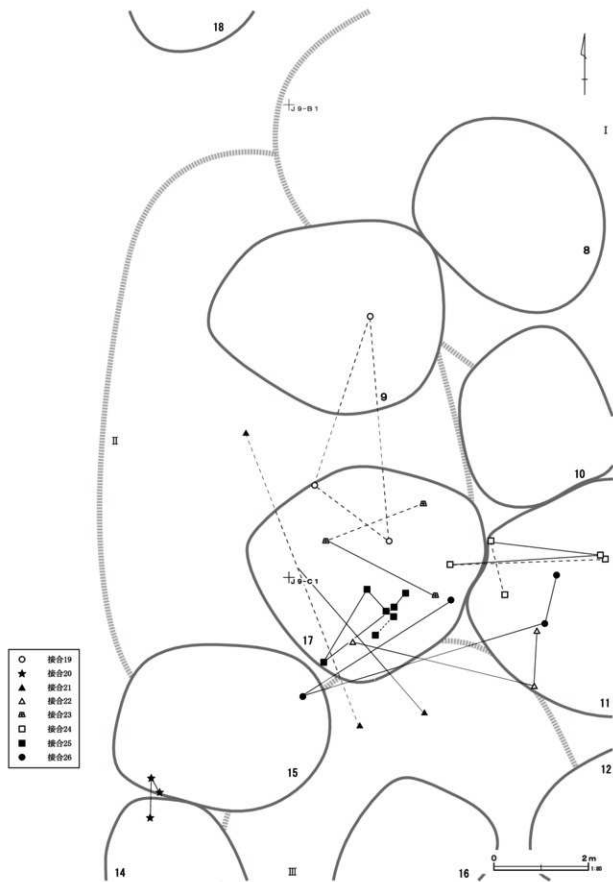
分布は、環状ブロック群北側の石器集中8から2点、石器集中9から1点出土している。

Ob接合18 (第123図、第147・148図)

剥片4点の接合資料である。分布は、石器集中17から3点、石器集中9から1点出土している。

Ob接合19 (第124図、第149・150図)

剥片が3点に折れた資料である。分布は、石器集中17から2点、石器集中9から1点出土している。



第149图 黑耀石接合分布图(5)

接合19

275 (JH1 20)



274 (JH1 415)



276 (JH1 262)

接合20

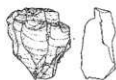
277 (JHC10 98)



277 (JHC10 98)



278 (JHC10 236)



164 (JHC10 234)

接合21



279 (JHC1 342)



280 (JH10 13)



281 (JHC1 166)

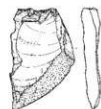
接合22



282 (JHC1 333)



8 (JHC1 29)



283 (JHC1 14)

接合23



284 (JHC1 153)

286 (JH1 391)



285 (JH1 549)

接合24



287 (JH1 370)



288 (JH1 576)



22 (JH1 493)

289 (JH1 565)



290 (JHC1 170)

接合25

291 (JHC1 256)



292 (JHC1 450)



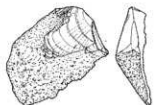
293 (JHC1 264)



294 (JHC1 420)



295 (JHC1 333)



296 (JHC1 254)



297 (JHC1 100)

接合26



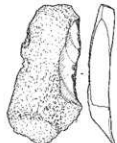
298 (JHC1 243)



299 (JHC1 340)

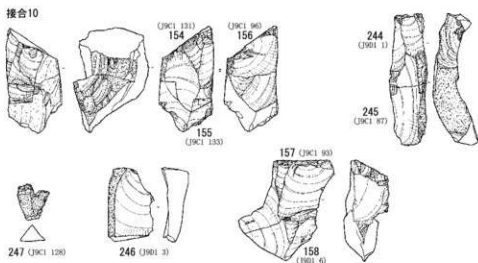
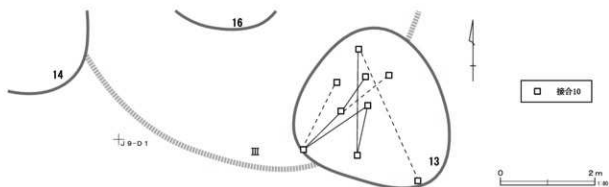


300 (JHC1 184)



301 (JH1 581)

第150图 黑曜石接合石器(5)



第154図 黒曜石接合分布図・石器（6）

Ob接合20（第124図、第149・150図）

石核と剥片が3点の接合資料である。石核は正面の作業面は、平坦な自然面を打面とし、縦長の小形剥片（277）を作出している。裏面は左側を打面に、何枚かの剥片を剥離しているが、278と同じように、正面に自然面を大きく残していると思われる。

分布は、石器集中15から2点、石器集中14から1点出土している。

Ob接合21（第125図、第149・150図）

剥片3点の接合資料である。279と280は1回の加撃で剥がされている。

分布は、石器集中には含まれず、エリアⅢから2点、エリアⅡから1点出土した。

Ob接合22（第126図、第149・150図）

ナイフ形石器（8）と剥片の3点の接合資料で

ある。打面は共通しており、連続して剥離されている。

分布は、石器集中11から2点、石器集中17から1点出土した。

Ob接合23（第126図、第149・150図）

285と286の折断と284の接合資料である。286は調整加工が施されている。石器集中17から3点出土した。

Ob接合24（第127図、第149・150図）

ナイフ形石器（22）と剥片類5点の接合資料である。石器集中11に4点、石器集中17から1点出土している。

Ob接合25（第128・129図、第149・150図）

剥片7点の接合資料である。剥片は、大形で正面に大きく自然面を残している。接合によって、拳大の楕円礫であることが明らかになった。

分布は、石器集中17から7点全て出土した。

Ob接合26 (第130・131図、第149・150図)

剥片4点の接合資料である。剥片は、大形で正面に大きく自然面を残している。接合によって、拳大の楕円礫が復元できた。接合25と共に、遺跡に持ち込まれている、原石の状況が分かる良好な資料である。

分布は、石器集中11から2点、石器集中15から1点、石器集中17から1点出土した。

Ob接合27 (第132図、第152・153図)

台形礫石器と剥片の接合資料である。石器集中12から出土している。

Ob接合28 (第132図、第152・153図)

台形礫石器の再生加工である。石器集中9と16から出土している。

Ob接合29 (第132・133図、第152・153図)

台形礫石器と剥片の接合資料である。石器集中15とエリアⅠから出土している。

Ob接合30 (第133図、第152・153図)

剥片2点の接合資料である。石器集中10から出土している。

Ob接合31 (第133図、第152・153図)

剥片2点の接合資料である。石器集中17から出土している。

Ob接合32 (第134図、第152・153図)

剥片2点の接合資料である。石器集中10と11から出土している。

Ob接合33 (第134図、第152・153図)

剥片2点の接合資料である。石器集中17と11から出土している。

Ob接合34 (第135図、第152・153図)

剥片2点の接合資料である。石器集中17から出土している。

Ob接合35 (第135・136図、第152・153図)

石核と剥片の接合資料である。石器集中11から出土している。

Ob接合36 (第136図、第152・153図)

石核と剥片の接合資料である。石器集中15とエリアⅠから出土している。

Ob接合37 (第136図、第152・153図)

剥片2点の接合資料である。石器集中10から出土している。

Ob接合38 (第136・137図、第152・153図)

剥片2点の接合資料である。石器集中17とエリアⅢから出土している。

Ob接合39 (第137図、第152・153図)

剥片2点の接合資料である。石器集中17から出土している。

Ob接合40 (第137図、第152・153図)

石核と剥片の接合資料である。石器集中14から出土している。

Ob接合41 (第137図、第152・153図)

小形剥片2点の接合資料である。石器集中14から出土している。

Ob接合42 (第138図、第152・153図)

剥片2点の接合資料である。エリアⅡから出土している。

Ob接合43 (第138図、第152・153図)

剥片が折断している。石器集中9とエリアⅠから出土している。

Ob接合44 (第138図、第152・153図)

剥片が長軸に折断している。石器集中17から出土している。

Ob接合45 (第138図、第152・153図)

剥片が折断している。石器集中12から出土している。

Ob接合46 (第139図、第152・153図)

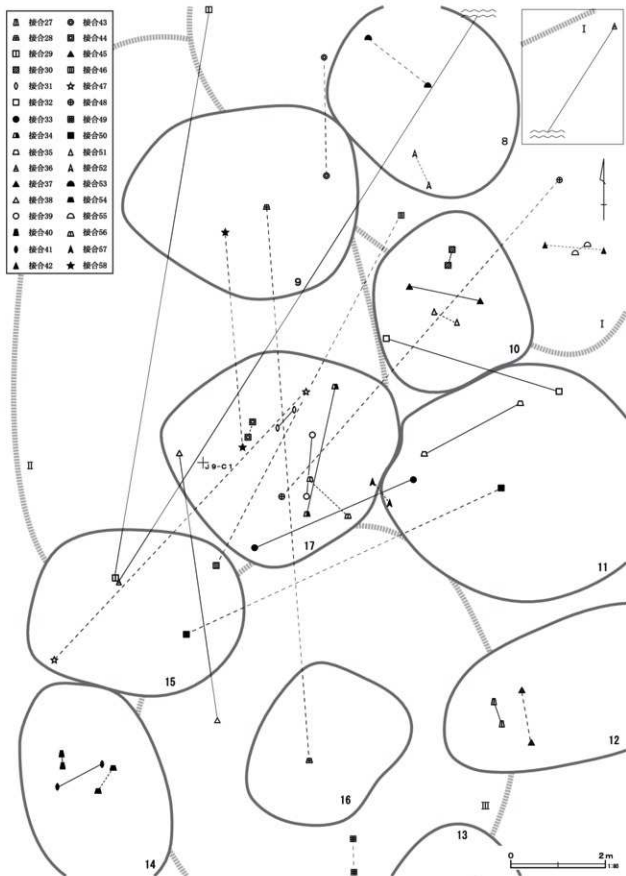
剥片が折断している。石器集中15とエリアⅠから出土している。

Ob接合47 (第139図、第152・153図)

剥片が折断している。石器集中15と17から出土している。

Ob接合48 (第139図、第152・153図)

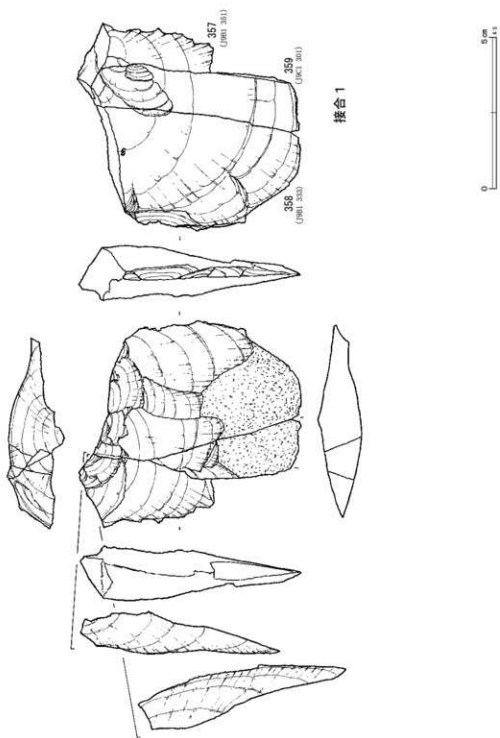
剥片が折断している。石器集中17とエリアⅠから



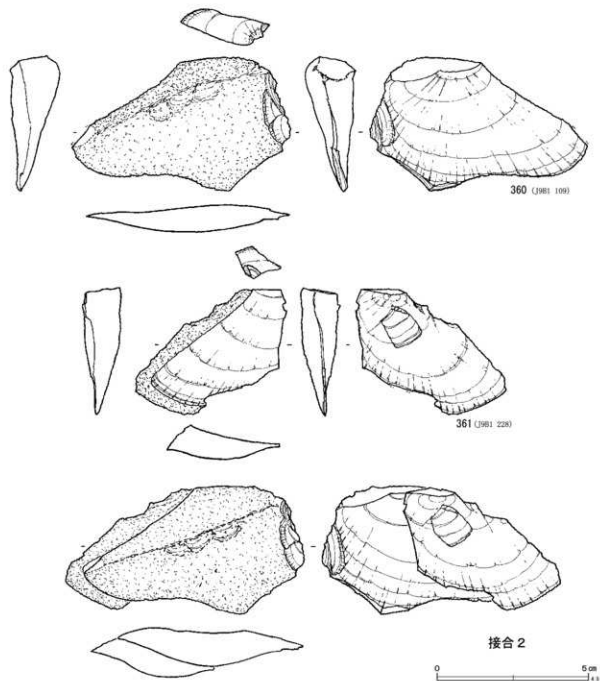
第152图 黑曜石接合分布图(7)



第153图 黑曜石接合石器(7)



第154图 石器集中8~18接合石器(44)



第155図 石器集中8～18接合石器(45)

ら出土している。

Ob接合49 (第139図、第152・153図)

剥片が折断している。341は調整加工が施されている。エリアⅢから出土している。

Ob接合50 (第139図、第152・153図)

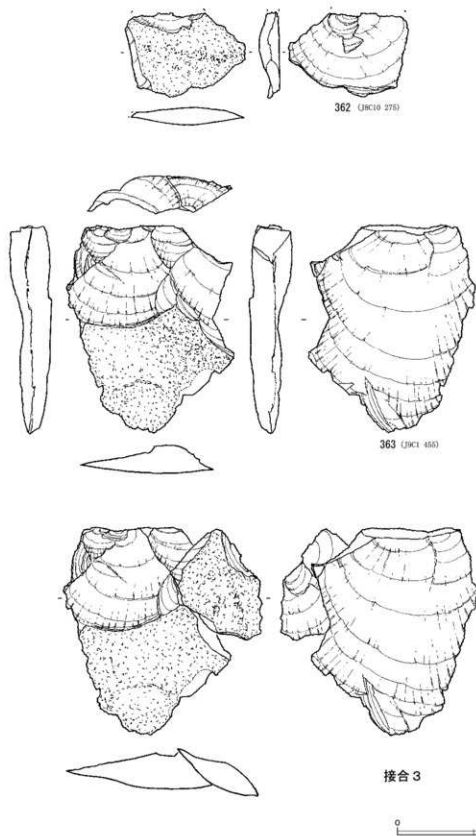
剥片が長軸に折断している。石器集中11と15から出土している。

Ob接合51 (第139図、第152・153図)

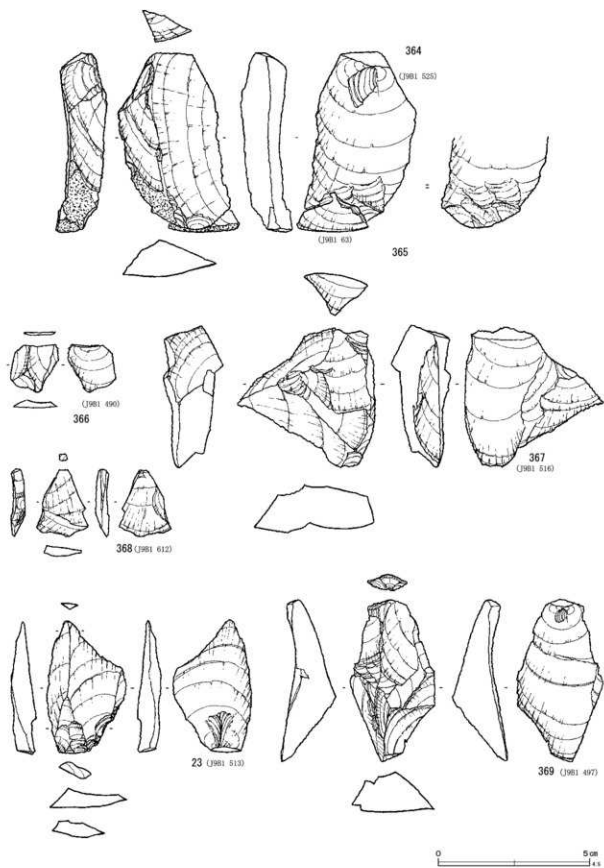
剥片が折断している。石器集中10から出土している。

Ob接合52 (第140図、第152・153図)

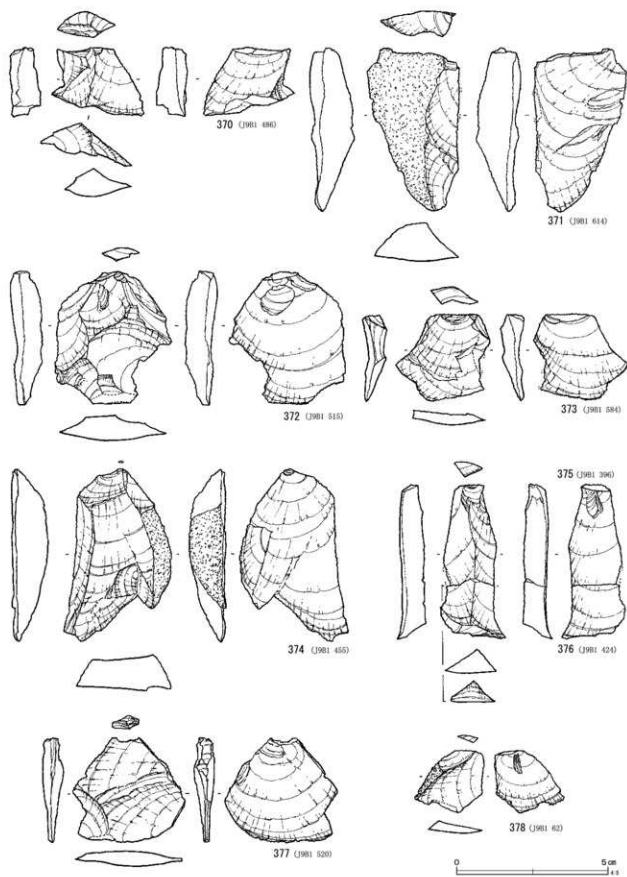
剥片が折断している。石器集中8とエリアⅠから出土している。



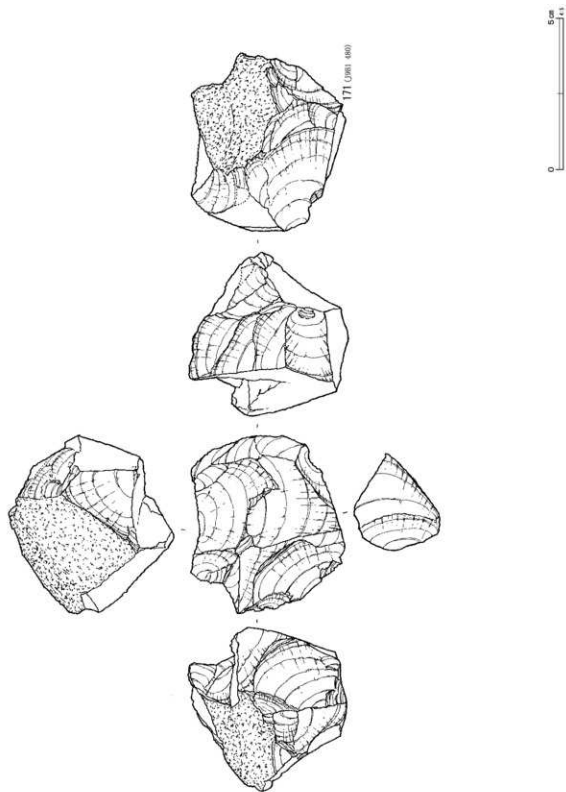
第156图 石器集中8~18接合石器(46)



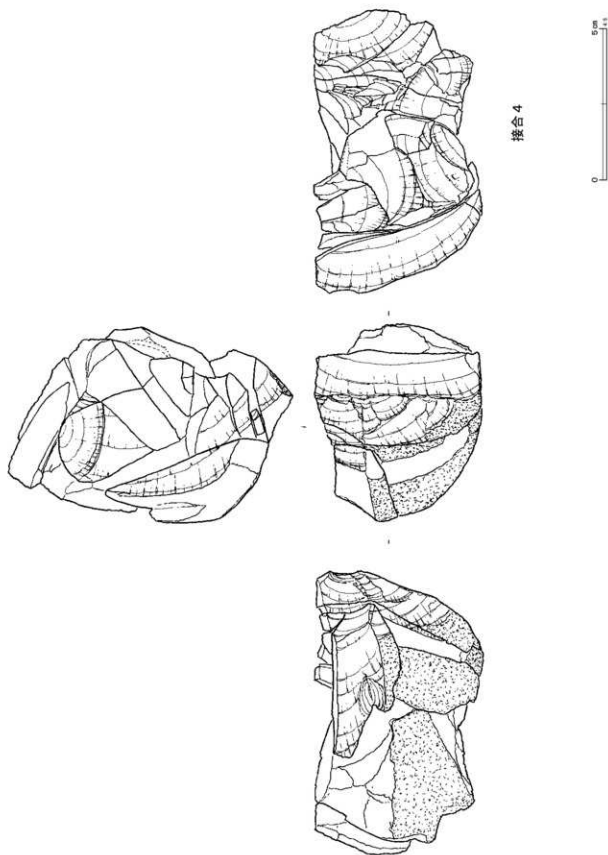
第157图 石器集中8-18接合石器(47)



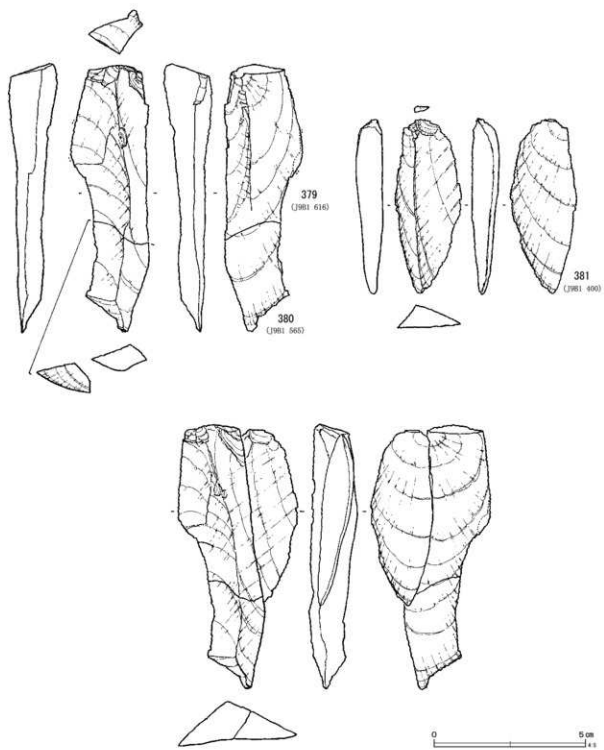
第158图 石器集中8~18接合石器(48)



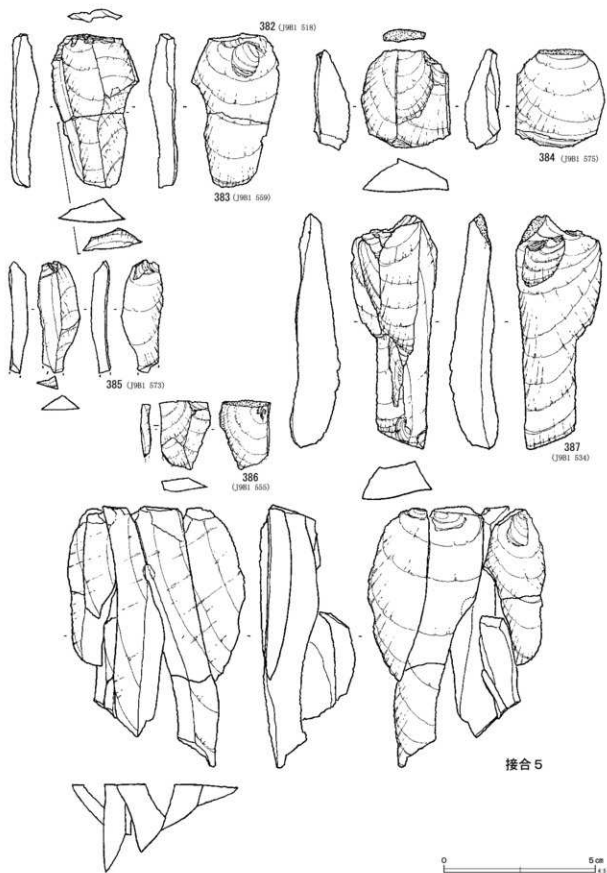
第159图 石器集中8-18接合石器(49)



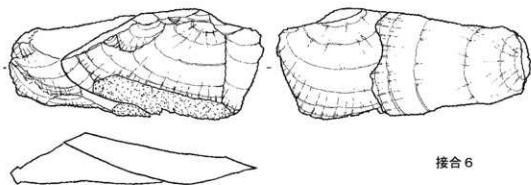
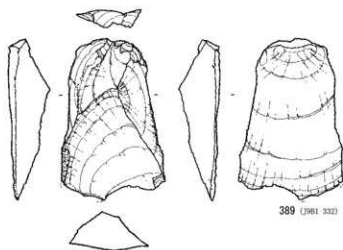
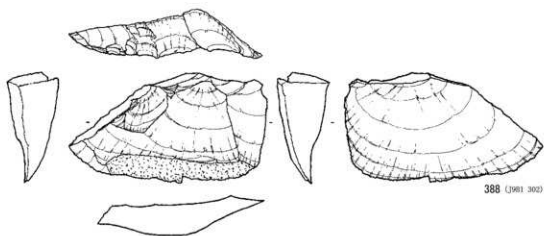
第160图 石器集中 8~18接合石器 (50)



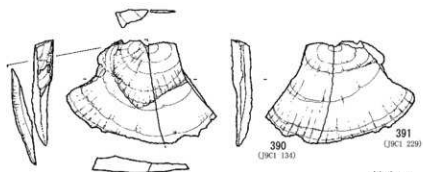
第161图 石器集中8~18接合石器 (51)



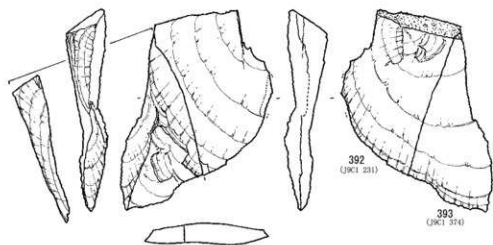
第162图 石器集中 8~18接合石器 (52)



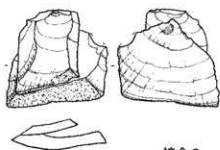
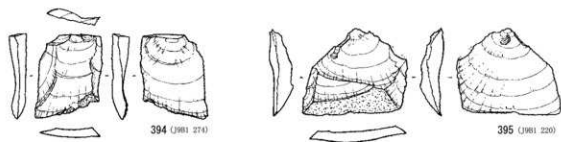
第163图 石器集中8-18接合石器(53)



接合 7



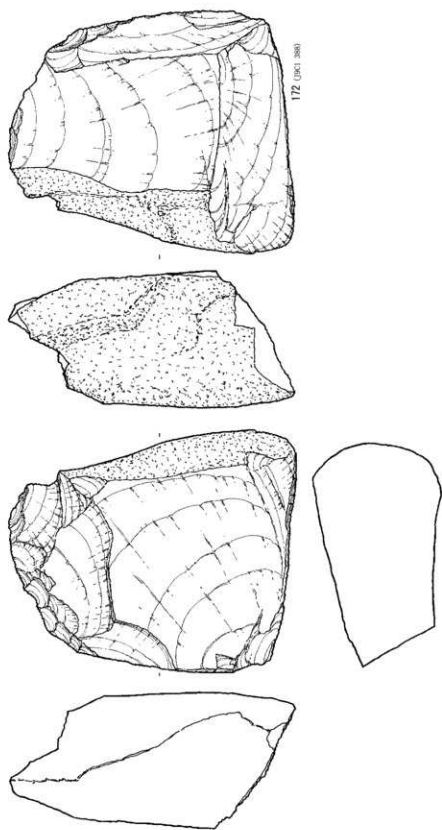
接合 8



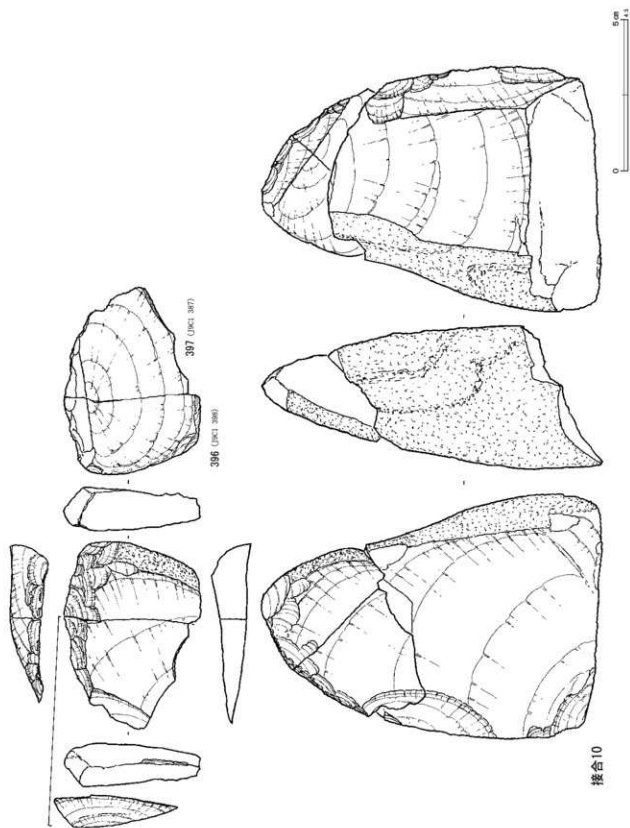
接合 9



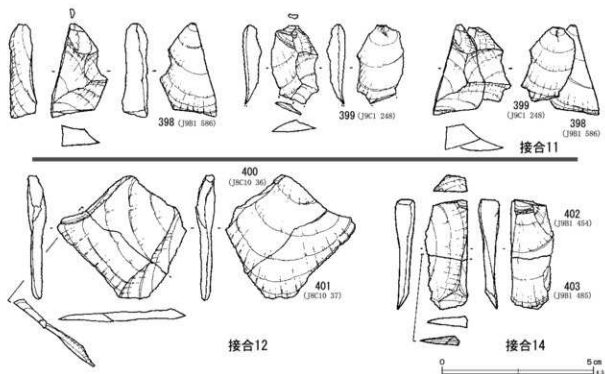
第164図 石器集中 8~18接合石器 (54)



第165圖 石器集中8-18接合石器(55)



第166図 石器集中8~18接合石器 (56)



第167図 石器集中8～18接合石器 (57)

Ob接合53 (第140図、第152・153図)

剥片が折断している。石器集中8とエリアⅠから出土している。

Ob接合54 (第140図、第152・153図)

剥片が折断している。石器集中14から出土している。

Ob接合55 (第140図、第152・153図)

剥片が折断している。エリアⅠから出土している。

Ob接合56 (第140図、第152・153図)

剥片が折断している。石器集中17から出土している。

Ob接合57 (第69・140図、第152・153図)

搔・刮器が折断した資料である。石器集中11と17から出土している。

Ob接合58 (第140図、第152・153図)

剥片が折断している。石器集中9と17から出土している。

ガラス質黒色安山岩接合資料 (第152～172図)

ガラス質黒色安山岩の接合資料は14例である。複数点が接合す5例、2点の接合は9例である。

GA接合1 (第154図、第169・170図)

大形の幅広い剥片が、打撃軸に沿って複数点に割れた内の3点の接合である。

分布は、エリアⅡから2点、エリアⅢから1点出土している。

GA接合2 (第155図、第169・170図)

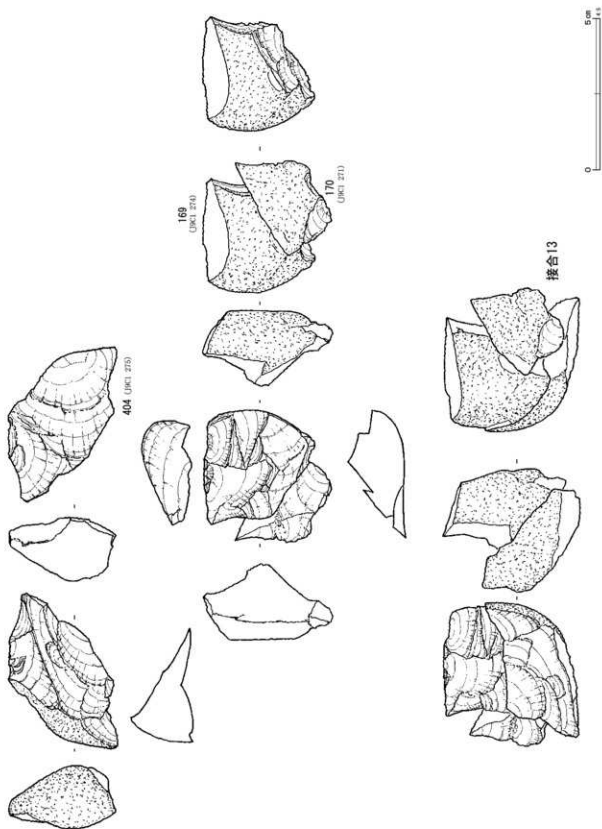
横広の剥片2点の接合資料である。石器集中9とエリアⅠから出土している。

GA接合3 (第156図、第169・170図)

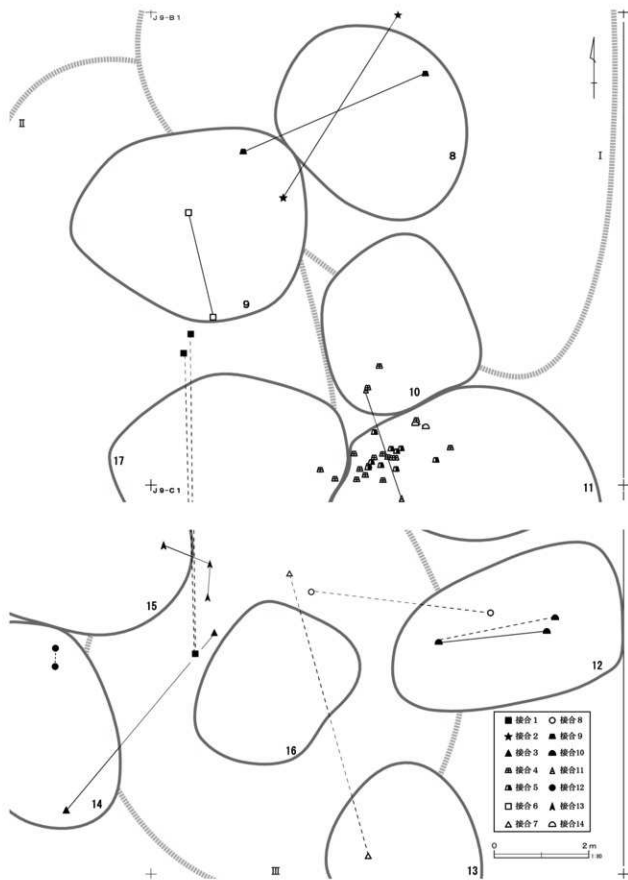
剥片2点の接合資料である。石器集中14とエリアⅢから出土している。

GA接合4 (第157～160図、第171図)

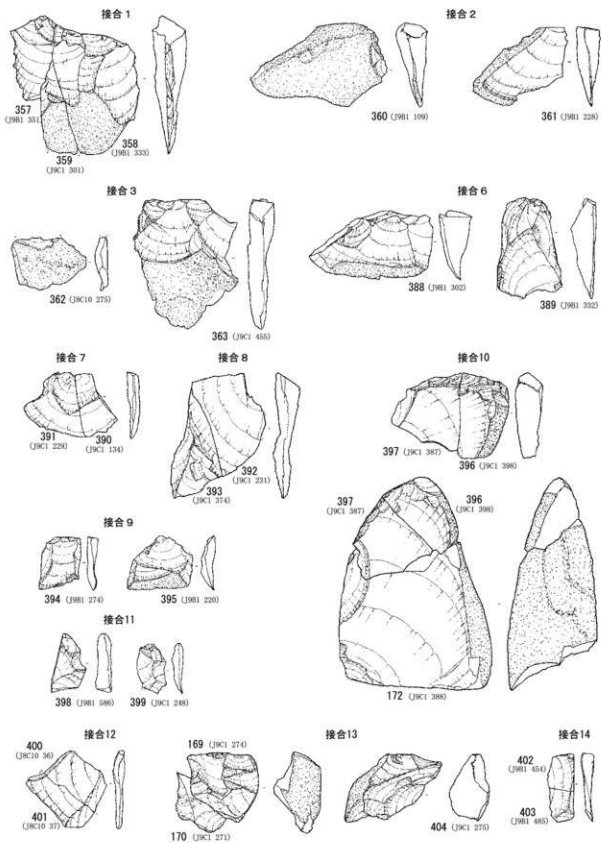
ナイフ形石器1点を含む、石核と剥片類17点の接合資料である。石核はサイコロ状に近いが、接合した状態では船底形に近い形状を呈する。364・365の剥片を稜先端とし、複数の縦長に近い



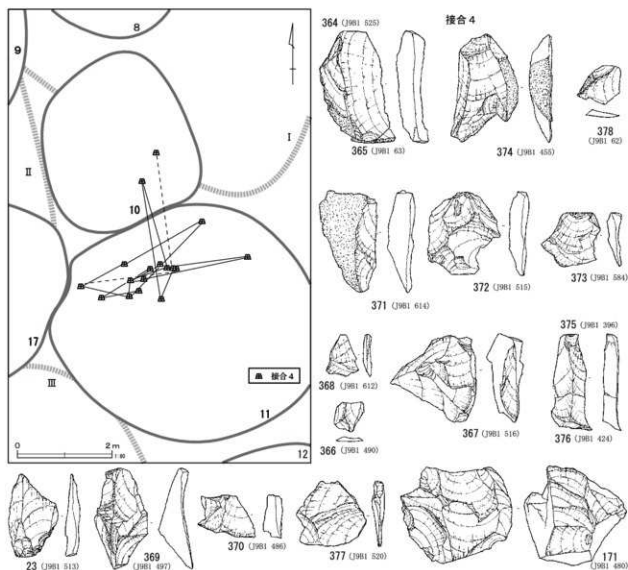
第168図 石器集中8~18接合石器 (58)



第169図 ガラス質黒色安山岩接合分布図 (1)



第170図 ガラス質黒色安山岩接合石器 (1)



第17図 ガラス質黒色安山岩接合分布図・接合石器（2）

剥片を作出している。

分布は、石器集中11を主に15点出土し、石器集中10から2点出土している。

GA接合5（第161・162図、第172図）

剥片9点の接合資料である。正面に石核の平坦面を残している。石核は無いが、大形の縦長剥片を連続的に作出している。状況が分かる。

分布は、石器集中11内で完結している。

GA接合6（第162図、第169・170図）

横広剥片と縦長剥片の接合資料である。石器集中9から出土している。

GA接合7（第164図、第169・170図）

剥片が折断している。石器集中13とエリアⅢから出土している。

GA接合8（第164図、第169・170図）

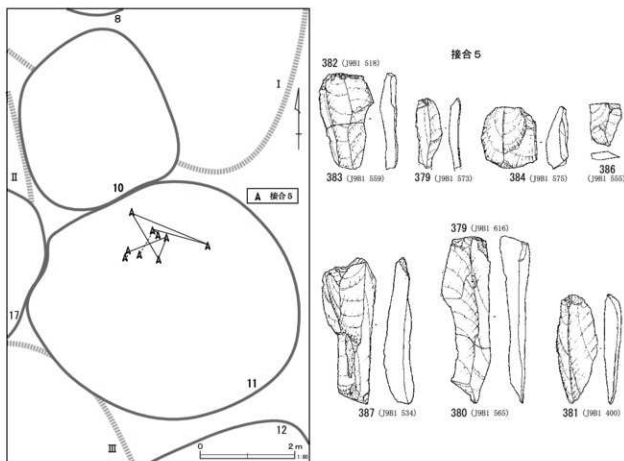
剥片が折断している。石器集中12とエリアⅢから出土している。

GA接合9（第164図、第169・170図）

剥片2点の接合資料である。石器集中8と9から出土している。

GA接合10（第165・166図、第169・170図）

石核と剥片3点の接合資料である。石核は、大



第172図 ガラス質黒色安山岩接合分布図・接合石器（3）

形の礫を幾つかに分割し、船底状にしている。剥片は横広の大形剥片で、石核の底面を取り込むように剥離している。2点に割れているのは剥離の際の加撃によるものと思われる。

分布は、石器集中12内で完結している。

GA接合11（第167図、第169・170図）

剥片2点の接合資料である。石器集中11と10から出土している。

GA接合12（第167図、第169・170図）

剥片が4折断している。石器集中14から出土している。

GA接合13（第168図、第169・170図）

石核と剥片3点の接合資料である。404の剥片は、石核作業面にかかるように接合しており、ほぼ原石の大きさが想定できる。404の剥片を剥離した後、上面の打面から小形楕円剥片を作成して

いる。

分布は、エリアⅢから2点、石器集中15から1点出土している。

GA接合14（第167図、第169・170図）

剥片が4折断している。石器集中11から出土している。

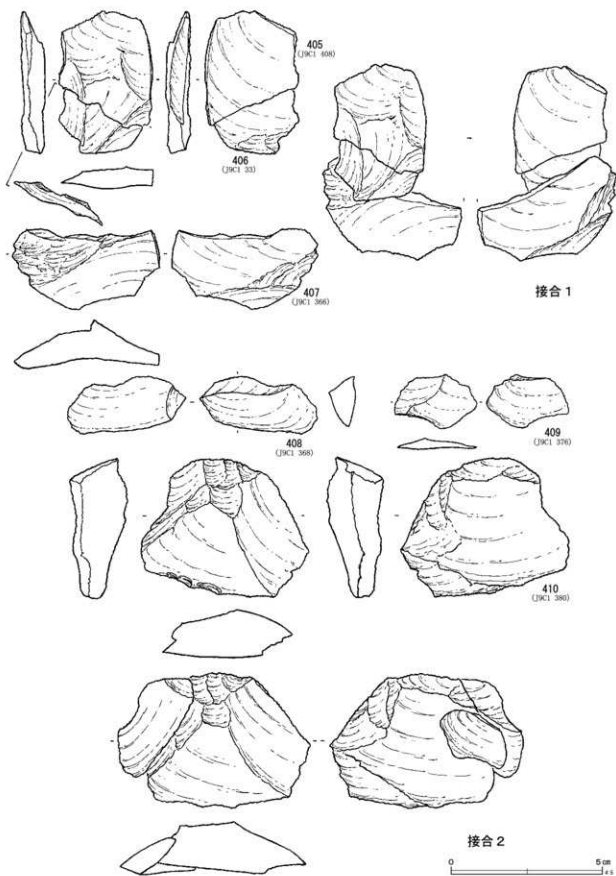
トロトロ石接合資料（第173～176図）

トロトロ石は表面の風化が非常に進んでおり、細部の観察は不可能であった。何点かは接合して剥片等の形状が定かになったものもある。接合資料は、剥片の折れたものが主体で6例である。

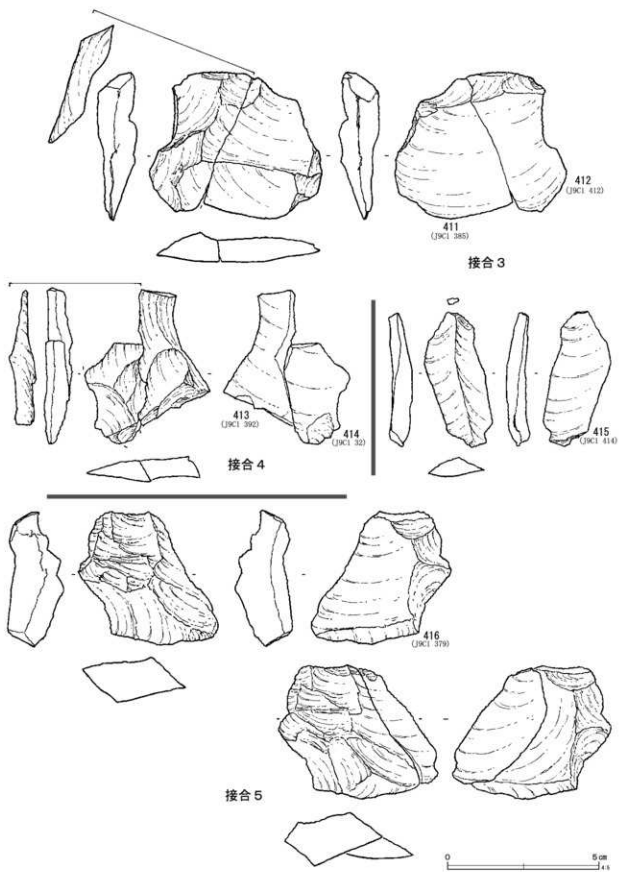
接合は、トロトロ石の分布範囲が限られているため、石器集中12内で完結している。

G. D a接合1（第173図、第176図）

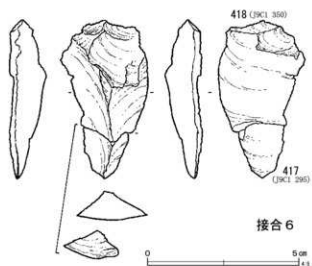
剥片3点の接合資料である。405と406は縦長剥



第173図 石器集中8-18接合石器(60)



第174图 石器集中 8~18接合石器 (61)



第175図 石器集中8～18接合石器 (62)

片が折れたもので、407と接合する。

G. Da接合2 (第173図、第176図)

剥片3点の接合資料である。412の横広剥片に410と411の剥片が接合している。

G. Da接合3 (第174図、第176図)

剥片の折断資料である。

G. Da接合4 (第174図、第176図)

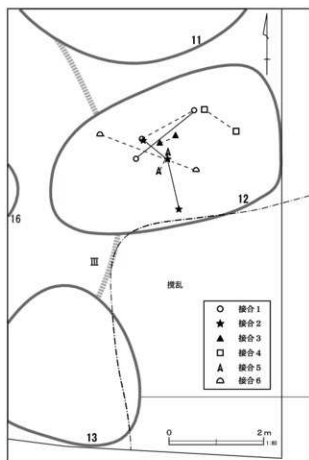
剥片の折断資料である。

G. Da接合5 (第174図、第176図)

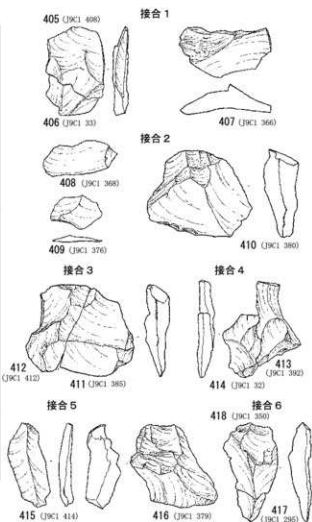
剥片の折断資料である。

G. Da接合6 (第175図、第176図)

剥片2点の接合資料である。



第176図 トロトロ石器接合分布図・接合石器



第4表 石器集中1出土石器観察表

No.	大グリッド	少グリッド	遺物No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然面	備考
1	H9-J5	25	18	75	57	16.475	Ⅲ	Po	Ob	(3.25)	1.20	0.60	2.10	×	0	
2	H9-A5	4	1	94	155	16.420	Ⅲ	T	Ch	(1.13)	0.62	0.15	0.30	×	0	
3	H9-A5	5	3	8	181	16.510	Ⅲ	P	S.S				11.20			
4	H9-J5	19	1	103	8	16.435	Ⅲ	T	Ob	(0.58)	0.98	0.09	—	×	0	
5	H9-J5	20	3	80	139	16.480	Ⅲ	P	S.S				56.50			赤化
6	H9-J5	20	4	128	132	16.534	Ⅲ	P	S.S				7.90			赤化
7	H9-J5	20	5	148	134	16.512	Ⅲ	P	Ch	11.49	5.67	4.83	436.30			
8	H9-J5	20	6	162	140	16.508	Ⅲ	P	S.S				86.10			赤化
9	H9-J5	20	7	147	146	16.470	Ⅲ	P	S.S				6.40			赤化
10	H9-J5	20	8	184	169	16.500	Ⅲ	P	S.S				18.10			赤化
11	H9-J5	20	9	148	42	16.474	Ⅲ	P	S.S				6.40			赤化
12	H9-J5	25	10	23	129	16.538	Ⅲ	P	S.S				1.80			赤化
13	H9-J5	25	11	13	81	16.540	Ⅲ	P	S.S				32.50			赤化

第5表 石器集中2出土石器観察表

No.	大グリッド	少グリッド	遺物No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然面	備考
1	H9-J3	16	1	43	24	16.25	Ⅲ	Kn	Ob	4.70	2.50	1.00	8.80	×	4	
2	H9-J3	22	41	21	197	16.23	Ⅳ	F	C.Sh	(3.10)	(4.40)	2.00	15.60	×	2	
3	H9-J3	17	8	34	156	16.29	Ⅲ~Ⅳ	F	Ho	5.50	(5.65)	1.60	46.90	単	4	
4	H9-J3	17	16	164	134	16.34	Ⅲ~Ⅳ	F	Ob	1.70	2.60	0.55	1.60	単	0	
5	H9-J3	17	47	90	191	16.20	Ⅳ	F	Ob	1.55	3.00	0.70	2.30	白	1	
6	H9-A3	2	2	22	199	16.23	Ⅳ	PT	An	7.00	4.55	3.60	140.30	×	0	
7	H9-J3	18	2	135	112	16.53	Ⅲ	T	Ob	(1.21)	(2.17)	0.37	0.70	単	3	
8	H9-J3	7	3	110	127	16.17	Ⅲ~Ⅳ	P	Ch				1.60			
9	H9-J3	7	4	153	151	16.22	Ⅲ~Ⅳ	P	Ch				44.20			
10	H9-J3	7	5	150	128	16.19	Ⅲ~Ⅳ	P	Ch				2.70			
11	H9-J3	7	6	147	94	16.22	Ⅲ~Ⅳ	P	S.S				9.30			赤化
12	H9-J3	12	7	159	88	16.31	Ⅲ~Ⅳ	P	S.S				3.10			赤化
13	H9-J3	17	9	38	170	16.26	Ⅲ~Ⅳ	P	An				5.60			
14	H9-J3	17	10	48	184	16.26	Ⅲ~Ⅳ	P	S.S				8.50			赤化
15	H9-J3	17	11	71	77	16.36	Ⅲ~Ⅳ	T	Ob	1.70	2.41	0.48	1.40	白	0	
16	H9-J3	17	12	82	194	16.29	Ⅲ~Ⅳ	F	Ob	(1.84)	(1.53)	(0.92)	2.00	×	0	
17	H9-J3	17	13	112	170	16.30	Ⅲ~Ⅳ	T	Ob	1.03	1.28	0.28	0.20	単	3	
18	H9-J3	17	14	116	183	16.32	Ⅲ~Ⅳ	T	Ob	1.20	1.52	0.25	0.40	単	3	
19	H9-J3	17	15	154	162	16.30	Ⅲ~Ⅳ	T	Ob	1.84	1.80	0.38	0.60	白	1	
20	H9-J3	22	17	48	119	16.34	Ⅲ~Ⅳ	T	Ch	(0.60)	(0.82)	0.13	—	天	0	
21	H9-J3	17	18	198	42	16.10	Ⅲ~Ⅳ	P	An				10.20			
22	H9-J3	22	19	15	16	16.24	Ⅲ~Ⅳ	P	An				8.00			
23	H9-J3	22	20	82	189	16.29	Ⅲ~Ⅳ	T	Ob	0.79	0.43	0.10	—	天	0	
24	H9-J3	22	21	72	42	16.14	Ⅲ~Ⅳ	P	An				3.40			
25	H9-J3	22	22	140	148	16.29	Ⅲ~Ⅳ	T	Ob	(0.55)	1.53	0.19	0.20	×	0	
26	H9-J3	23	24	71	184	16.37	Ⅲ~Ⅳ	T	Ob	(0.95)	1.39	0.26	0.30	白	0	
27	H9-J3	7	27	178	131	16.26	Ⅳ	P	S.S				33.40			赤化
28	H9-J3	12	28	183	125	16.33	Ⅳ	P	An				1.60			
29	H9-J3	12	29	186	137	16.30	Ⅳ	P	S.S				103.00			赤化
30	H9-J3	12	30	192	137	16.29	Ⅳ	P	S.S				66.80			赤化
31	H9-J3	12	31	196	138	16.31	Ⅳ	P	S.S				20.10			赤化
32	H9-J3	12	32	171	91	16.31	Ⅳ	P	S.S				54.90			赤化
33	H9-J3	12	33	195	84	16.41	Ⅳ	P	S.S				15.00			赤化

No	大グリッド	少グリッド	遺物 No	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然 面	備考
34	H9-J3	17	34	15	104	16.39	Ⅳ	P	S.S				11.70			赤化
35	H9-J3	17	35	78	186	16.25	Ⅳ	P	An				35.10			
36	H9-J3	17	36	88	188	16.27	Ⅳ	P	An				31.10			
37	H9-J3	17	37	84	164	16.29	Ⅳ	P	S.S				18.40			
38	H9-J3	17	38	112	198	16.17	Ⅳ	T	Ob	1.12	2.15	0.25	0.40	単	1	
39	H9-J3	16	39	125	2	16.25	Ⅳ	P	S.S				8.70			
40	H9-J3	22	40	13	196	16.27	Ⅳ	P	An				61.10			
41	H9-J3	22	42	34	165	16.29	Ⅳ	P	An				25.40			
42	H9-J3	21	43	32	10	16.26	Ⅳ	P	An				35.40			
43	H9-J3	21	44	43	16	16.24	Ⅳ	P	An				91.70			
44	H9-J3	17	48	20	105	16.31	Ⅳ	T	Ob	0.53	(0.89)	0.16	—	×	1	
45	I9-A3	2	1	90	105	16.35	Ⅲ-Ⅳ	T	GA	(1.38)	1.39	0.50	0.70	×	0	
46	I9-A3	5	3	189	130	16.14	Ⅳ	F	Ob	(2.90)	2.74	0.60	2.00	×	0	
47	I9-A4	1	1	160	152	16.51	Ⅲ	F	B.Sh	4.00	(4.35)	1.80	27.60	白	2	
48	I9-A4	1	2	155	104	16.53	Ⅲ	T	Ob	1.34	1.00	0.25	0.10	線	0	
49	I9-A4	1	3	120	61	16.01	V	T	Ob	(1.35)	1.73	0.17	0.30	×	0	
50	I9-A4	1	4	163	110	16.47	Ⅲ	T	Ob	(0.28)	0.69	0.10	—	×	0	
51	H9-J3	10	25	67	162	16.45	Ⅲ-Ⅳ	F	Ho	(2.40)	(3.70)	0.95	8.30	単	4	
52	H9-J3	25	26	82	37	16.47	Ⅲ-Ⅳ	T	Ob	1.45	1.51	0.23	0.30	天	0	

第6表 石器集中3出土石器観察表

No	大グリッド	少グリッド	遺物 No	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然 面	備考
1	I9-A5	8	8	86	26	15.64	Ⅳ-Ⅴ	S	AG	4.50	5.00	1.10	28.40	×	4	
2	I9-A5	15	38	66	16	15.72	Ⅳ-Ⅴ	F	Rhy	5.80	4.70	1.45	29.40	単	0	
3	I9-A5	14	28	116	24	15.63	Ⅳ-Ⅴ	F	Ag	(3.20)	2.20	1.20	9.60	単	0	
4	I9-A5	8	6	57	99	15.76	Ⅳ-Ⅴ	F	Rhy	3.70	2.80	1.10	5.50	単	0	
5	I9-A5	13	21	4	38	15.87	Ⅳ-Ⅴ	F	Rhy	(3.50)	2.20	0.75	4.10	単	0	
6	I9-A5	4	4	31	26	15.54	Ⅳ-Ⅴ	T	Rhy	1.40	2.80	0.95	2.00	単	0	
7	I9-A5	9	11	187	134	15.55	Ⅳ-Ⅴ	F	Rhy	(3.20)	1.15	0.75	1.60	×	1	
8	I9-A5	15	43	161	110	15.60	Ⅳ-Ⅴ	F	Rhy	(2.40)	(1.40)	0.65	2.30	×	0	
9	I9-A5	9	9	102	127	15.65	Ⅳ-Ⅴ	F	Ob	(3.10)	1.82	0.83	3.00	×	0	
10	I9-A5	10	19	192	149	15.54	Ⅳ-Ⅴ	F	AG	2.10	2.90	0.50	2.30	白	0	
11	I9-A5	9	12	164	106	15.81	Ⅳ-Ⅴ	F	AG	(2.50)	3.00	1.00	5.80	×	0	
12	I9-A5	4	5	186	81	15.72	Ⅳ-Ⅴ	F	Rhy	3.95	2.55	1.00	6.10	単	0	
13	I9-A5	15	48	10	131	15.89	Ⅳ-Ⅴ	T	Rhy	(0.87)	(0.85)	0.28	0.10	×	0	
14	I9-A5	8	7	86	44	16.00	Ⅳ-Ⅴ	T	Ob	(1.38)	1.91	0.21	0.40	×	0	
15	I9-A5	9	10	164	123	15.62	Ⅳ-Ⅴ	T	Rhy	(1.88)	1.68	0.43	0.90	天	0	
16	I9-A5	10	13	66	19	15.65	Ⅳ-Ⅴ	T	Rhy	(0.97)	1.40	0.28	0.30	×	0	
17	I9-A5	10	14	93	106	15.81	Ⅳ-Ⅴ	F	Ob	(1.60)	1.45	0.29	0.70	白	0	
18	I9-A5	10	16	196	69	15.58	Ⅳ-Ⅴ	T	Rhy	0.81	0.85	0.29	0.20	単	0	
19	I9-A5	10	17	190	181	15.88	Ⅳ-Ⅴ	F	AG	(1.74)	(1.29)	(0.70)	1.40	×	0	
20	I9-A5	10	18	188	161	15.60	Ⅳ-Ⅴ	T	AG	(0.60)	1.72	0.37	0.30	×	0	
21	I9-A5	10	20	200	88	15.51	Ⅳ-Ⅴ	T	AG	0.85	2.92	0.62	1.70	○	0	
22	I9-A5	13	23	173	16	15.90	Ⅳ-Ⅴ	T	Ch	(0.42)	(1.01)	(0.14)	0.10	×	0	
23	I9-A5	14	24	10	61	15.70	Ⅳ-Ⅴ	T	AG	0.54	0.70	0.15	—	単	0	
24	I9-A5	14	25	13	3	15.91	Ⅳ-Ⅴ	T	AG	(1.73)	2.30	0.20	0.60	×	0	
25	I9-A5	14	26	74	44	15.86	Ⅳ-Ⅴ	T	Rhy	(1.13)	1.26	0.27	0.30	×	0	
26	I9-A5	14	27	83	13	15.76	Ⅳ-Ⅴ	F	AG	(2.67)	(1.90)	0.54	2.10	×	1	
27	I9-A5	15	29	11	141	15.50	Ⅳ-Ⅴ	T	AG	1.03	1.25	0.20	0.30	×	0	
28	I9-A5	15	30	15	160	15.58	Ⅳ-Ⅴ	T	AG	(1.85)	(1.01)	0.28	0.30	単	0	

No.	大グリッド	少グリッド	遺物 No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然 面	備考
29	19-A5	15	31	13	132	15.56	Ⅵ~Ⅹ	T	Rhy	(1.80)	1.28	0.53	0.80	×	1	
30	19-A5	15	32	15	64	15.84	Ⅵ~Ⅹ	Co	Rhy	2.51	2.78	1.21	5.80	白	0	
31	19-A5	15	33	19	94	15.68	Ⅵ~Ⅹ	T	AG	1.72	1.42	0.36	0.60	単	4	
32	19-A5	15	34	28	39	15.58	Ⅵ~Ⅹ	T	Rhy	(2.38)	(1.58)	(0.60)	1.40	×	1	
33	19-A5	15	35	38	104	15.89	Ⅵ~Ⅹ	T	AG	(0.71)	1.31	0.63	0.40	×	1	
34	19-A5	15	36	44	122	15.57	Ⅵ~Ⅹ	T	Rhy	(1.11)	(0.62)	0.46	0.20	×	0	
35	19-A5	15	37	69	34	15.69	Ⅵ~Ⅹ	T	Rhy	(1.41)	1.07	0.15	0.20	×	0	
36	19-A5	15	39	88	85	15.59	Ⅵ~Ⅹ	T	Rhy	(0.73)	1.53	0.38	0.30	×	0	
37	19-A5	15	40	93	44	15.60	Ⅵ~Ⅹ	T	Rhy	(0.56)	1.26	0.17	—	×	0	
38	19-A5	15	41	119	103	15.65	Ⅵ~Ⅹ	F	AG	2.10	2.56	0.45	2.20	単	1	
39	19-A5	15	42	122	63	15.67	Ⅵ~Ⅹ	T	Rhy	1.98	1.25	0.51	0.90	単	0	
40	19-A5	15	44	162	84	15.55	Ⅵ~Ⅹ	F	Rhy	(2.35)	1.50	0.60	1.60	×	0	
41	19-A5	10	45	169	134	15.79	Ⅵ~Ⅹ	T	AG	1.10	1.46	0.15	0.20	線	0	
42	19-A5	10	46	193	178	15.94	Ⅵ~Ⅹ	T	AG	1.12	1.25	0.20	0.20	線	0	
43	19-A5	15	47	16	200	15.87	Ⅵ~Ⅹ	T	AG	(0.78)	0.79	0.18	—	×	0	

第7表 石器集中4出土石器観察表

No.	大グリッド	少グリッド	遺物 No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然 面	備考
15	H9-J5	5	13	144	71	15.59	Ⅵ~Ⅹ	F	Ag	(3.25)	1.70	0.60	0.90	単	0	※
16	H9-J5	5	14	134	46	15.62	Ⅵ~Ⅹ	F	Ag	(3.25)	1.70	0.60	1.70	×	0	※
17	H9-J5	9	16	125	9	15.87	Ⅵ~Ⅹ	F	GA	3.10	4.70	1.00	14.30	単	0	
18	H9-J5	5	12	135	194	15.62	Ⅵ~Ⅹ	F	Rhy	4.15	2.90	1.55	15.00	単	0	
19	H9-J5	10	15	40	140	15.54	Ⅵ~Ⅹ	Co	GA	1.25	4.10	1.10	3.20	×	2	
20	H9-J6	1	1	162	157	15.60	Ⅵ~Ⅹ	F	GA	5.00	4.70	1.60	38.50	複	0	
21	H9-J6	6	2	68	135	15.58	Ⅵ~Ⅹ	F	GA	2.00	2.75	0.70	3.50	単	1	
22	H9-J5	10	17	79	2	15.59	Ⅵ~Ⅹ	T	GA	1.62	2.20	0.65	1.90	単	0	

第8表 単出土石器観察表

No.	大グリッド	少グリッド	遺物 No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然 面	備考	
22-14	19-A5	1	2	126	176	15.71	Ⅵ~Ⅹ	F	Ag	4.90	2.65	0.80	8.20	単	1		
27-1									Kn	Ob	(3.20)	1.55	0.85	3.90	×	3	
	H9-J4	5	1	171	142	16.48	Ⅳ	F	B.SH	(3.11)	(2.18)	0.94	5.90	×	3		
	H9-J4	25	2	20	60	15.77	V	F	Ob	(0.78)	(1.99)	0.42	0.60	×	0		
	H9-J5	1	2	82	124	15.68	Ⅵ~Ⅹ	F	T	(1.47)	3.92	1.02	5.70	×	4		
	19-A4	1	5	149	70	15.57	Ⅵ~Ⅹ	T	Ob	1.44	2.17	0.35	0.90	単	0		

第9表 石器集中5出土石器観察表

No.	大グリッド	少グリッド	遺物 No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然 面	備考
1	19-J7	12	5	130	65	16.75	Ⅲ	Po	H.Sh	4.10	1.85	0.60	3.70	×	0	
2	19-J7	12	6	198	95	16.87	Ⅲ	Po	H.Sh	3.60	2.10	0.65	4.50	×	0	
3	19-J7	22	4	38	174	16.73	Ⅲ	Po	H.Sh	(2.65)	1.40	0.45	1.00	×	0	
4	19-J7	17	7	77	77	16.88	Ⅲ	F	H.Sh	(3.40)	2.90	1.05	4.90	×	0	
5	19-J7	23	2	161	98	16.84	Ⅲ	T	H.Sh	(0.95)	1.48	0.25	0.30	×	0	
6	19-J7	12	3	54	154	16.85	Ⅲ	T	H.Sh	1.43	0.83	0.11	0.10	単	0	
7	19-J7	17	9	122	62	16.67	Ⅲ	T	H.Sh	(1.80)	0.90	0.42	0.40	×	3	

第10表 石器集中6出土石器観察表

No.	大グリッド	少グリッド	遺物No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然面	備考
1	J9-B7	20	13	38	12	16.83	Ⅳ	Kn	H.Sh	3.60	1.55	0.60	2.30	×	0	
2	J9-B7	14	24	185	39	16.77	Ⅳ	Kn	Ob	(2.25)	1.35	0.45	0.80	×	0	
3	J9-B7	12	17	140	128	16.70	Ⅳ	F	Ob	3.20	2.25	0.85	3.90	単	3	
4	J9-B7	20	15	130	120	16.73	Ⅳ	F	Ob	(2.60)	2.20	0.55	2.20	×	1	
5	J9-B7	13	23	167	188	16.76	Ⅳ	F	Ob	(3.50)	2.10	1.15	7.40	×	3	
6	J9-B7	17	16	21	95	16.83	Ⅳ	F	Ob	(4.30)	(1.80)	1.85	4.70	×	3	
7	J9-B7	21	1	23	172	16.90	Ⅳ	T	Ob	(1.25)	0.97	0.28	0.20	×	4	
8	J9-B7	24	4	16	166	16.73	Ⅳ	T	Ob	(1.16)	0.83	0.20	0.20	×	2	
9	J9-B7	17	5	106	48	18.00	Ⅳ	T	Ob	(1.66)	0.87	0.22	0.30	×	0	
10	J9-B7	17	6	107	163	16.71	Ⅳ	T	Ob	0.90	0.68	0.09	—	×	1	
11	J9-B7	17	7	114	185	16.75	Ⅳ	T	Ob	(1.12)	0.69	0.28	0.20	×	0	
12	J9-B7	18	8	83	110	16.70	Ⅳ	T	Ob	0.82	0.84	0.26	—	複	0	
13	J9-B7	18	10	39	180	16.81	Ⅳ	T	Ob	(0.78)	0.70	0.20	—	×	0	
14	J9-B7	19	11	104	18	16.86	Ⅳ	T	Ob	1.14	0.56	0.18	0.10	単	1	
15	J9-B7	19	12	45	32	16.75	Ⅳ	T	Ob	(0.84)	1.55	0.20	0.20	×	3	
16	J9-B7	20	14	57	26	16.77	Ⅳ	T	Ob	(2.05)	1.62	0.55	1.00	×	4	
17	J9-B7	12	18	200	152	16.78	Ⅳ	T	Ob	(2.02)	0.65	0.22	0.30	×	1	
18	J9-B7	12	19	146	198	16.73	Ⅳ	T	Ob	(0.96)	0.77	0.12	—	×	0	
19	J9-B7	13	20	162	36	16.81	Ⅳ	T	Ob	(1.67)	1.29	0.65	0.90	×	2	
20	J9-B7	13	21	200	103	16.82	Ⅳ	T	Ob	(0.67)	0.59	0.18	—	×	1	
21	J9-B7	15	25	187	32	16.79	Ⅳ	T	Ob	(1.95)	(0.84)	0.39	0.30	×	0	
22	J9-B7	15	26	188	68	16.89	Ⅳ	F	Ob	(1.75)	2.01	0.48	1.40	×	0	
23	J9-B7	12	27	73	155	16.72	Ⅳ	T	Ob	(1.18)	1.10	0.21	0.20	×	1	
24	J9-B7	13	28	51	5	16.80	Ⅳ	T	Ob	1.29	1.22	0.34	0.40	×	1	
25	J9-B7	13	29	82	20	16.92	Ⅳ	F	Ob	1.75	2.29	0.38	0.90	自	2	
26	J9-B7	13	30	51	70	16.91	Ⅳ	T	Ob	1.05	0.84	0.26	0.20	×	3	
27	J9-B7	13	31	100	110	16.85	Ⅳ	T	Ob	(1.58)	1.21	0.31	0.30	×	2	
28	J9-B7	14	32	95	58	16.84	Ⅳ	T	Ob	1.50	1.28	0.28	0.30	自	4	
29	J9-B7	11	33	28	172	16.89	Ⅳ	F	Ob	2.05	1.63	0.25	0.70	単	3	
30	J9-B7	8	36	190	12	16.84	Ⅳ	T	Ob	1.20	1.30	0.31	0.40	単	1	
31	J9-B7	8	38	155	84	16.87	Ⅳ	F	Ob	(2.0)	(1.55)	0.43	1.00	×	0	
32	J9-B7	11	40	28	176	16.80	Ⅳ	F	Ob	2.14	1.17	0.37	0.60	単	1	
33	J9-B7	8	41	136	18	16.72	Ⅳ	F	Ob	(1.16)	(2.32)	0.42	1.00	×	1	

第11表 石器集中7出土石器観察表

No.	大グリッド	少グリッド	遺物No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然面	備考
1	J9-A1	13	3	170	103	16.13	Ⅳ下	Kn	Ob	3.80	1.40	0.75	3.20	×	0	
2	J8-A10	10	3	120	91	15.45	Ⅳ下	F	Ob	4.05	3.60	1.70	10.50	単	0	※
3	J8-A10	9	1	75	123	15.70	Ⅳ下	F	Ob	4.05	3.60	1.70	7.30	×	0	※
4	J8-A10	9	2	71	181	15.47	Ⅳ下	T	Ob	(0.60)	0.64	0.18	—	×	3	
5	J9-A1	7	1	171	117	16.16	Ⅳ下	T	Ob	1.28	2.43	0.34	0.70	単	0	
6	J9-A1	12	2	29	137	16.42	Ⅳ下	T	Ob	(0.63)	1.83	0.58	0.50	×	0	

第12表 8~18石器集中出土石器観察表

No.	大グリッド	少グリッド	石器集中	遺物No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然面	接合	備考
1	J9-C1	23	13	99	39	54	15.63	Ⅳ~Ⅴ	Kn	Ob	6.00	2.50	0.70	6.80	×	0		
2	J9-B1	2	8	229	77	190	15.45	Ⅳ~Ⅴ	Kn	Ob	5.90	3.10	1.05	11.40	単	1		
3	J9-C1	6	15	337	62	4	15.71	Ⅳ~Ⅴ	Kn	Ob	6.00	2.95	0.75	9.50	単	0		

No.	大グリフ	少グリフ	石器 集積	遺物 No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然 面	接合	備考
4	J8-B10	24	II	25	183	95	15.53	Ⅳ-Ⅰ	Kn	Ob	5.05	2.75	1.15	10.30	単	0		
5	J8-C10	20	14	253	30	84	15.57	Ⅳ-Ⅰ	Kn	Ob	4.98	2.39	0.79	8.80	単	0		
6	J9-C1	12	16	138	188	140	15.57	Ⅳ-Ⅰ	Kn	Ob	5.05	2.05	0.75	7.30	線	0		
7	J8-C10	20	14	255	28	53	15.44	Ⅳ-Ⅰ	Kn	Ob	5.25	3.10	1.15	10.80	単	1		
8	J9-C1	9	11	29	82	47	15.75	Ⅳ-Ⅰ	Kn	Ob	(4.50)	2.30	0.90	5.80	単	1	Ob22	
9	J9-B1	24	11	402	191	197	15.69	Ⅳ-Ⅰ	Kn	Ob	(3.55)	1.80	0.40	2.40	複	0		
10	J9-B1	14	I	164	70	42	15.73	Ⅳ-Ⅰ	Kn	Ob	4.30	2.40	0.55	4.50	複	2		
11	J9-C1	21	III	397	198	139	15.38	Ⅳ-Ⅰ	Kn	Ob	4.40	1.75	0.65	2.70	×	0		
12	J8-C10	14	15	207	14	195	15.51	Ⅳ-Ⅰ	Kn	Ob	(4.25)	2.80	0.70	5.60	×	0		
13	J9-B1	4	I	1	18	158	16.05	Ⅳ-Ⅰ	Kn	Ob	(3.55)	1.40	0.65	2.10	単	0		
14	J9-C1	13	12	113	52	184	15.43	Ⅳ-Ⅰ	Kn	Ob	4.88	1.56	0.50	2.80	複	0		
15	J9-C1	22	III	125	54	59	15.46	Ⅳ-Ⅰ	Kn	Ob	3.55	2.05	0.80	3.60	単	0		
16	J8-C10	10	15	88	3	106	15.62	Ⅳ-Ⅰ	Kn	Ob	(3.48)	1.87	0.68	3.20	×	1		
17	J9-C1	17	16	118	147	90	15.60	Ⅳ-Ⅰ	Kn	Ob	(3.60)	2.00	0.50	2.80	×	0		
18	J9-C1	15	12	389	56	73	15.69	Ⅳ-Ⅰ	Kn	Ob	3.80	3.10	0.85	7.60	×	0		
19	J9-C1	16	16	302	102	145	15.60	Ⅳ-Ⅰ	Kn	Ob	2.15	1.00	0.40	0.50	単	0		
20	J9-C1	1	17	312	52	97	15.77	Ⅳ-Ⅰ	Kn	Ob	(2.20)	1.85	0.65	2.30	白	0		
21	J8-C10	24	14	260	67	125	15.37	Ⅳ-Ⅰ	Kn	Ob	2.50	3.37	0.86	6.10	単	0	Ob3	
22	J9-B1	24	11	493	157	61	15.76	Ⅳ-Ⅰ	Kn	Ob	3.60	2.15	1.00	3.60	白	1	Ob24	
23	J9-B1	23	11	513	121	135	15.65	Ⅳ-Ⅰ	Kn	GA	4.40	2.65	0.75	6.50	単	0	GA4	
24	J8-C10	14	14	96	132	54	15.64	Ⅳ-Ⅰ	Kn	Ob	3.70	1.75	0.50	2.90	×	0		
25	J9-B1	2	8	10	160	198	16.01	Ⅳ-Ⅰ	Kn	Ob	2.25	1.55	0.40	1.00	×	0		
26	J9-C1	9	11	31	43	122	15.81	Ⅳ-Ⅰ	Kn	Ob	3.45	2.10	0.75	3.00	単	0		
27	J8-B10	15	9	7	20	96	15.72	Ⅳ-Ⅰ	Dk	Ob	4.40	2.35	0.60	5.50	単	0		
28	J8-B10	24	II	21	57	152	15.44	Ⅳ-Ⅰ	Dk	Ob	4.80	1.90	1.00	6.10	×	0		
29	J9-C1	17	16	67	30	26	15.60	Ⅳ-Ⅰ	Dk	Ob	3.95	2.65	1.10	6.10	×	0	Ob28	
30	J9-B1	11	9	312	63	136	15.58	Ⅳ-Ⅰ	Dk	Ob	(1.50)	2.40	0.95	1.30	×	0	Ob28	
31	J9-C1	15	12	297	32	195	16.03	Ⅳ-Ⅰ	Dk	Ob	3.80	2.60	1.15	4.70	×	1	Ob13	
32	J8-C10	10	15	61	44	14	15.83	Ⅳ-Ⅰ	Dk	Ob	3.80	2.91	0.83	4.70	×	1	Ob29	
33	J9-C1	4	11	1	5	8	15.98	Ⅳ-Ⅰ	Dk	Ob	4.45	2.65	0.85	4.80	複	3		
34	J9-B1	7	9	100	65	10	15.59	Ⅳ-Ⅰ	Dk	Ob	3.20	2.25	0.95	3.90	×	1		
35	J9-B1	11	9	317	82	184	15.68	Ⅳ-Ⅰ	Dk	Ob	(3.05)	1.60	0.65	3.00	×	0		
36	J9-C1	14	12	354	152	32	15.78	Ⅳ-Ⅰ	Dk	Ob	3.35	2.00	0.75	3.90	白	1	Ob27	
37	J9-B1	21	17	622	177	191	15.68	Ⅳ-Ⅰ	Dk	Ob	3.15	2.25	1.00	5.20	×	1	Ob16	
38	J9-B1	21	17	597	132	135	15.84	Ⅳ-Ⅰ	Dk	Ob	2.50	1.90	0.55	2.20	×	0		
39	J9-B1	22	17	386	156	14	15.79	Ⅳ-Ⅰ	Dk	Ob	2.65	1.70	0.75	2.20	×	4	Ob12	
40	J9-B1	8	8	119	80	20	15.59	Ⅳ-Ⅰ	Dk	Ob	2.20	1.10	0.70	1.30	単	1	Ob11	
41	J8-C10	10	15	21	96	35	15.92	Ⅳ-Ⅰ	Dk	Ob	3.45	2.65	0.80	5.50	×	1		
42	J9-B1	21	17	629	164	44	15.67	Ⅳ-Ⅰ	Dk	Ob	3.35	2.40	0.90	5.70	単	0		
43	J9-C1	1	17	437	60	184	15.70	Ⅳ-Ⅰ	Dk	Ob	3.40	2.90	0.85	5.60	×	0		
44	J9-C1	9	11	30	5	85	15.71	Ⅳ-Ⅰ	Dk	Ob	3.08	2.19	0.58	2.20	×	1	Ob4	
45	J8-C10	10	15	231	71	22	15.42	Ⅳ-Ⅰ	Dk	Ob	2.50	2.40	0.30	1.20	線	0		
46	J9-B1	13	8	203	12	46	15.45	Ⅳ-Ⅰ	Dr	Ob	2.00	2.90	0.90	3.50	単	1		
47	J9-C1	16	16	284	58	184	15.64	Ⅳ-Ⅰ	Dr	Ob	(1.20)	2.35	0.40	1.10	×	0		
48	J8-B10	19	II	12	178	150	15.61	Ⅳ-Ⅰ	Dr	Ob	(2.50)	2.25	0.60	2.20	×	2		
49	J9-B1	13	8	202	9	59	15.52	Ⅳ-Ⅰ	S.S	Ob	2.65	2.80	0.90	4.70	単	2		
50	J8-B10	20	II	15	80	30	15.97	Ⅳ-Ⅰ	S.S	Ob	(2.70)	2.20	0.75	3.80	×	3		
51	J8-C10	9	15	9	78	120	15.97	Ⅳ-Ⅰ	S.S	Ob	1.80	1.75	0.45	0.90	線	0		
52	J9-B1	21	17	463	168	84	16.30	Ⅳ-Ⅰ	S.S	Ob	3.60	2.80	0.70	4.00	×	0	Ob57	※
53	J9-B1	11	9	251	113	47	16.17	Ⅳ-Ⅰ	S.S	Ob	3.60	2.80	0.70	2.40	×	0	Ob57	※
54	J9-C1	14	12	383	61	169	15.59	Ⅳ-Ⅰ	S.S	Ob	3.90	2.00	0.95	6.10	×	0		

No	大ケリフ	少ケリフ	石器集中	遺物 No	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然面	接合	備考
55	J9-B1	17	Ⅱ	52	183	98	16.30	Ⅱ-Ⅰ	S.S	Ob	4.20	2.65	0.75	6.00	単	0		
56	J9-B1	7	9	101	160	6	15.68	Ⅱ-Ⅰ	S.S	Ob	(3.15)	2.80	0.85	5.50	×	3		Ob9
57	J8-A10	19	18	5	192	190	15.63	Ⅱ-Ⅰ	PT	Ho	12.40	5.25	4.10	351.40	×	0		
58	J8-A10	24	18	10	64	155	15.65	Ⅱ-Ⅰ	PT	Ho	17.50	3.98	4.10	505.70	×	0		
59	J9-C1	3	11	213	106	14	15.74	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	7.10	3.65	1.80	23.20	複	1		
60	J8-C10	25	14	276	55	95	15.31	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	6.00	3.70	1.65	22.50	白	0		
61	J8-C10	5	17	281	0	169	15.61	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	5.75	3.60	0.95	14.50	単	1		
62	J8-C10	15	14	107	171	13	15.62	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	5.70	3.50	1.45	18.60	複	1		
63	J9-C1	2	17	263	59	8	15.67	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	4.60	1.95	0.65	3.50	線	1		
64	J8-C10	9	15	11	87	86	15.78	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	7.20	2.40	1.75	14.80	白	2		
65	J9-B1	24	11	570	150	22	15.62	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	3.70	2.90	0.70	5.50	単	2		
66	J8-C10	10	15	127	92	34	15.61	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	4.75	3.35	0.90	7.20	単	1		
67	J8-B10	24	Ⅱ	20	28	105	15.58	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	5.90	3.45	1.10	16.70	単	1		
68	J9-B1	3	8	227	144	46	15.45	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	4.70	2.25	0.80	7.20	単	1		
69	J8-C10	5	15	183	193	41	15.58	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	8.45	5.05	1.40	45.50	白	3		
70	J9-C1	22	Ⅲ	123	2	14	15.44	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	5.20	2.90	1.40	17.80	単	1		
71	J9-B1	24	11	508	48	54	15.72	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	4.75	2.65	1.05	8.30	複	4		
72	J9-C1	13	16	58	144	16	15.61	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	5.20	3.05	1.20	8.40	複	1		
73	J8-C10	10	15	172	47	13	15.60	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	4.75	2.25	0.75	5.30	複	2		
74	J8-C10	14	14	230	181	116	15.49	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	4.35	2.40	1.30	8.30	複	1		
75	J9-B1	15	1	193	147	27	15.49	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	4.70	2.80	1.15	10.50	×	1		
76	J9-C1	14	12	402	173	86	15.69	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	5.80	2.80	1.05	11.80	白	1		
77	J8-C10	14	15	206	12	59	15.51	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	(3.75)	3.35	0.85	9.60	複	2		
78	J8-C10	15	Ⅲ	106	148	126	15.58	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	4.70	2.95	1.10	11.30	白	0		
79	J9-B1	24	11	571	28	71	15.59	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	6.80	3.80	1.20	12.40	×	2		
80	J9-C1	1	17	465	52	180	15.58	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	5.40	3.10	1.20	12.00	単	1		
81	J9-C1	13	16	57	169	2	15.55	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	4.90	3.10	0.95	9.30	単	0		
82	J8-B10	24	Ⅱ	17	50	184	15.71	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	6.50	3.75	1.60	25.30	白	1		
83	J9-B1	6	9	346	157	166	15.64	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	6.05	2.30	1.50	15.30	白	2		
84	J8-C10	14	15	233	62	153	15.37	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	4.50	4.55	1.45	16.00	単	1		
85	J9-B1	21	17	540	171	175	15.90	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	(5.85)	3.50	1.05	8.20	×	0		
86	J9-B1	22	17	466	108	23	15.67	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	(4.10)	2.30	1.15	11.40	単	2		
87	J9-C1	14	12	378	144	150	15.69	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	5.10	2.75	0.85	6.40	単	1		
88	J9-C1	15	12	393	4	138	15.68	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	6.30	3.85	1.00	15.80	×	3		
89	J8-C10	4	Ⅱ	39	92	60	15.70	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	5.20	2.80	1.60	15.20	単	0		
90	J9-C1	14	12	386	8	171	15.67	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	6.15	2.80	1.25	17.60	白	3		
91	J8-C10	20	Ⅲ	259	0	180	15.56	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	6.05	2.55	2.00	20.30	単	3		
92									F	Ob	4.35	3.00	1.35	10.00	単	1		
93	J9-A1	23	I	9	26	91	15.50	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	(4.40)	2.80	1.20	8.90	白	4		
94	J9-C1	22	Ⅲ	137	40	30	15.44	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	4.10	3.65	0.80	4.90	単	0		
95	J9-B1	22	17	395	150	200	15.83	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	(4.75)	2.95	1.15	9.50	×	1		
96	J9-B1	23	11	447	152	75	15.71	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	4.75	3.85	1.00	13.70	単	4		
97	J9-B1	21	17	600	146	169	15.76	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	3.55	2.70	0.75	4.30	単	1		
98	J9-C1	1	17	467	47	186	15.64	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	4.25	4.00	0.75	8.60	白	0		
99	J8-C10	10	15	178	62	73	15.57	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	3.85	3.60	1.05	9.90	単	2		
100	J8-C10	5	Ⅱ	1	110	30	15.88	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	(3.55)	1.35	0.50	1.70	×	1		
101	J8-C10	9	15	112	95	182	15.66	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	4.10	3.55	1.00	9.90	複	0		
102	J9-B1	23	11	93	184	52	15.79	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	3.45	3.15	0.70	4.20	単	1		
103	J9-A1	23	I	8	176	100	15.56	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	3.15	4.20	0.90	8.60	単	0		
104	J8-C10	9	15	115	113	171	15.64	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	4.55	3.55	1.10	8.80	複	1		
105	J9-D1	3	13	2	28	65	15.42	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	2.80	4.60	1.10	9.90	白	0		

No.	大グリッド	少グリッド	石器 集中	遺物 No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然 面	接合	備考
106	J9-B1	8	8	211	128	74	15.51	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.85	3.95	1.10	10.80	単	0		
107	J9-B1	21	17	587	58	7	15.68	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.40	3.85	0.90	7.20	複	0		
108	J9-C1	2	17	472	15	121	15.50	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.45	4.10	1.15	11.70	白	1		
109	J9-B1	18	10	160	125	38	15.60	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.95	4.60	1.20	6.60	単	1		
110	J9-B1	22	17	408	177	14	15.76	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(0.42)	0.38	0.06	—	×	0		
111	J9-B1	10	I	4	33	120	15.37	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	4.15	4.00	1.35	13.10	白	1		
112	J9-C1	18	Ⅲ	81	60	93	15.67	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	5.45	5.05	2.00	29.70	単	1		
113	J8-C10	10	15	173	114	36	15.55	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	5.30	5.15	1.80	30.80	単	4		
114	J8-C10	19	14	246	63	174	15.36	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	4.80	3.95	1.65	17.50	白	4		
115	J9-C1	4	11	21	183	162	15.73	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	5.40	4.65	1.70	29.00	単	2		
116	J9-B1	18	10	146	29	127	15.76	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.95	4.00	0.60	4.70	白	0		
117	J9-C1	2	17	198	32	18	15.80	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	2.70	3.50	0.65	3.80	線	0		
118	J9-C1	16	Ⅲ	281	0	2	15.65	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.25	3.10	0.70	5.30	単	0		
119	J8-B10	24	Ⅱ	16	101	145	15.84	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	2.85	3.00	0.75	4.50	単	1		
120	J9-C1	1	17	267	28	63	16.04	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.95	4.10	0.55	5.00	単	0		
121	J9-B1	18	10	141	12	141	15.71	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(3.70)	3.35	0.95	7.70	×	0		
122	J9-B1	1	I	270	53	121	15.64	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(3.70)	4.10	1.05	12.60	単	0		
123	J9-C1	11	Ⅲ	276	100	104	15.72	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	4.65	4.35	1.60	20.50	白	3		
124	J9-B1	18	10	535	192	77	15.59	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	4.45	3.85	1.50	20.40	×	1		
125	J8-A10	24	18	9	12	130	15.75	Ⅳ-Ⅰ	F	Jas	4.75	1.80	0.55	3.20	単	0		
126	J8-A10	19	18	4	94	107	15.60	Ⅳ-Ⅰ	F	Jas	5.00	4.80	0.80	16.70	単	3		
127	J9-B1	14	I	197	170	193	15.52	Ⅳ-Ⅰ	F	B.Sh	4.70	7.60	1.65	51.30	単	1		
128	J9-A1	22	I	6	196	175	15.49	Ⅳ-Ⅰ	F	S.S	(3.05)	3.70	0.65	7.50	単	0		
129	J9-C1	23	13	129	47	53	15.56	Ⅳ-Ⅰ	F	GA	5.30	6.50	1.90	51.00	複	1		
130	J9-C1	14	12	353	130	29	15.58	Ⅳ-Ⅰ	F	GA	5.45	3.85	1.70	15.70	複	1		
131	J8-C10	14	14	209	155	193	15.53	Ⅳ-Ⅰ	F	GA	7.40	7.20	1.30	46.80	単	1		
132	J8-C10	14	14	95	117	73	15.67	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	2.04	1.86	0.65	2.00	白	0		
133	J9-C1	14	12	359	173	72	15.64	Ⅳ-Ⅰ	F	GA	7.10	5.70	1.75	47.30	単	1		
134	J9-C1	14	12	411	46	125	15.66	Ⅳ-Ⅰ	F	GA	5.50	6.10	1.50	46.80	単	3		
135	J8-C10	19	14	274	187	59	15.24	Ⅳ-Ⅰ	F	GA	5.40	4.55	0.90	18.20	単	3		
136	J9-C1	14	12	413	58	171	15.58	Ⅳ-Ⅰ	F	GA	3.85	4.45	1.00	15.90	白	0		
137	J9-C1	4	11	220	55	104	15.59	Ⅳ-Ⅰ	F	GA	(4.70)	4.70	0.75	16.00	×	2		
138	J8-C10	10	15	161	114	13	15.61	Ⅳ-Ⅰ	Co	Ob	7.00	7.45	2.00	56.00	×	3		
139	J8-C10	9	15	52	118	100	15.64	Ⅳ-Ⅰ	Co	Ob	5.00	6.80	1.50	35.80	×	2		
140	J9-B1	7	9	102	160	16	15.64	Ⅳ-Ⅰ	Co	Ob	4.40	5.15	2.30	36.30	×	2		
141	J9-C1	21	Ⅲ	348	40	33	15.39	Ⅳ-Ⅰ	Co	Ob	4.30	4.15	1.60	18.00	×	2		
142	J8-B10	9	Ⅱ	2	193	110	15.58	Ⅳ-Ⅰ	Co	Ob	4.20	5.70	1.70	39.30	×	1		
143	J9-B1	22	17	431	157	3	15.67	Ⅳ-Ⅰ	Co	Ob	4.75	4.35	2.60	28.70	白	3		
144	J9-C1	15	12	391	9	76	15.64	Ⅳ-Ⅰ	Co	Ob	6.10	5.85	4.30	131.30	×	2		
145	J9-B1	8	8	210	179	68	15.53	Ⅳ-Ⅰ	Co	Ob	4.38	4.31	3.48	56.50	×	1		
146	J9-B1	21	17	602	55	136	15.70	Ⅳ-Ⅰ	Co	Ob	3.20	5.40	6.00	76.80	×	0		
147	J8-C10	19	14	271	114	47	15.26	Ⅳ-Ⅰ	Co	GA	3.35	4.75	4.55	71.20	×	1		
148	J9-B1	8	8	209	157	104	15.52	Ⅳ-Ⅰ	Co	Ob	5.30	4.70	2.35	52.90	×	2	Ob17	
149	J8-C10	19	14	296	60	128	15.35	Ⅳ-Ⅰ	Co	Ob	4.40	4.80	2.60	53.70	×	3	Ob15	
150	J9-B1	23	11	481	146	90	15.67	Ⅳ-Ⅰ	Co	Ob	4.90	4.05	2.65	48.10	×	1	Ob6	
151	J9-C1	1	17	435	30	199	15.61	Ⅳ-Ⅰ	Co	Ob	2.50	2.65	1.00	5.30	×	2	Ob14	
152	J9-C1	4	11	181	49	74	15.62	Ⅳ-Ⅰ	Co	Ob	3.70	4.50	2.25	39.40	×	3	Ob14	
153	J9-C1	1	17	433	46	177	15.74	Ⅳ-Ⅰ	Co	Ob	4.20	4.80	2.65	40.00	×	2	Ob14	
154	J9-C1	23	13	96	63	167	15.90	Ⅳ-Ⅰ	Co	Ob	5.55	2.85	4.00	21.00	×	1	Ob10	※
155	J9-C1	23	13	133	142	69	15.34	Ⅳ-Ⅰ	Co	Ob	5.55	2.85	4.00	18.00	×	2	Ob10	※
156	J9-C1	23	13	131	68	122	15.46	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	5.55	2.85	4.00	12.40	単	1	Ob10	※

No.	大ケリフ	少ケリフ	石器 集中	遺物 No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (g)	重さ (g)	打面	自然 面	接合	備考
157	J9-C1	23	13	93	13	107	15.56	Ⅱ-Ⅲ	Co	Ob	5.35	5.10	2.35	24.20	×	1	Ob10	※
158	J9-D1	4	13	6	88	31	15.41	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	5.35	5.10	2.35	6.60	×	1	Ob10	※
159	J9-C1	16	16	345	37	170	15.59	Ⅱ-Ⅲ	Co	Ob	3.20	5.05	3.85	57.20	×	1	Ob8	
160	J8-C10	19	14	262	18	100	15.40	Ⅱ-Ⅲ	Co	Ob	1.53	3.07	2.40	12.00	×	0	Ob40	
161	J9-B1	23	17	446	151	2	15.68	Ⅱ-Ⅲ	Co	Ob	3.20	3.20	1.65	13.50	×	2	Ob1	
162	J9-B1	23	17	445	168	1	15.76	Ⅱ-Ⅲ	Co	Ob	3.45	3.00	3.40	31.90	×	0	Ob1	
163	J9-B1	22	17	444	100	63	15.69	Ⅱ-Ⅲ	Co	Ob	3.25	4.25	2.00	23.60	×	4	Ob12	
164	J8-C10	14	14	234	132	39	15.43	Ⅱ-Ⅲ	Co	Ob	3.80	3.45	1.85	18.60	×	1	Ob20	
165	J9-B1	23	11	479	188	70	15.70	Ⅱ-Ⅲ	Co	Ob	4.15	4.45	1.95	23.80	×	4	Ob35	
166	J9-B1	24	11	523	171	36	15.60	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	5.70	4.80	2.70	56.90	単	4	Ob1	
167	J8-C10	10	15	188	52	21	15.56	Ⅱ-Ⅲ	Co	Ob	1.47	4.81	2.74	11.60	×	3	Ob36	
168	J9-C1	1	17	307	47	69	15.67	Ⅱ-Ⅲ	Co	Ob	4.65	7.15	2.15	38.70	×	1	Ob9	
169	J9-C1	6	Ⅲ	274	140	125	16.31	Ⅱ-Ⅲ	Co	GA	4.25	4.40	2.50	29.90	×	4	GA13	※
170	J9-C1	6	15	271	108	18	16.31	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	4.25	4.40	2.50	8.90	自	4	GA13	※
171	J9-B1	23	11	480	191	88	15.65	Ⅱ-Ⅲ	Co	GA	5.20	6.40	5.40	144.70	×	3	GA4	
172	J9-C1	15	12	388	60	57	15.64	Ⅱ-Ⅲ	Co	GA	9.45	8.00	4.60	357.70	×	1	GA10	
173	J8-C10	19	14	249	157	176	15.45	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	4.50	3.85	1.65	15.50	単	1	Ob1	
174	J9-B1	16	Ⅱ	260	58	195	15.93	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	4.35	3.05	1.95	10.20	単	1	Ob1	
175	J8-C10	10	15	157	125	52	15.65	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	4.40	3.30	1.80	18.50	単	3	Ob1	
176	J8-C10	10	15	31	78	158	15.75	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	4.20	4.90	1.05	12.20	単	2	Ob1	
177	J9-B1	16	17	603	199	151	15.70	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	4.19	4.10	1.30	16.70	単	1	Ob1	
178	J9-B1	22	17	443	123	53	15.67	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	4.70	4.30	1.20	17.90	単	1	Ob1	
179	J9-B1	21	17	550	20	154	15.81	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.80	2.80	0.65	6.10	単	0	Ob1	
180	J8-C10	10	15	205	140	40	15.52	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.35	3.50	1.25	9.60	単	1	Ob1	
181	J9-B1	6	9	281①	149	168	15.75	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(4.20)	4.60	1.20	19.60	×	1	Ob1	
182	J9-B1	22	17	467	85	66	15.60	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	4.42	2.81	1.23	14.90	複	3	Ob2	
183	J9-B1	22	17	365	111	119	16.01	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(3.03)	2.62	0.74	5.00	×	2	Ob2	
184	J9-B1	22	17	412	191	57	15.79	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.99	3.42	1.88	16.30	単	2	Ob2	
185	J9-B1	22	17	434	162	36	15.75	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.77	0.81	0.19	—	単	0	Ob2	
186	J9-B1	21	17	592	164	107	15.73	Ⅱ-Ⅲ	Co	Ob	3.65	3.25	1.38	14.80	×	4	Ob2	
187	J8-C10	14	15	100	50	145	15.59	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.06)	2.87	0.39	1.20	×	0	Ob3	
188	J9-B1	24	11	404	191	192	15.67	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	4.19	4.90	1.33	18.00	単	1	Ob3	
189	J9-C1	4	11	190	157	146	15.59	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.55	3.90	0.94	10.20	自	1	Ob4	
190	J9-C1	4	11	189	136	104	15.67	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	1.64	3.46	0.39	1.70	単	4	Ob4	
191	J9-C1	6	Ⅲ	339	50	102	15.76	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.78	3.59	1.20	10.10	単	2	Ob4	
192	J9-B1	24	11	501	195	71	15.67	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.47	3.87	1.18	7.30	自	1	Ob4	
193	J9-C1	1	17	305	34	70	15.69	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.73	3.80	0.88	6.90	自	0	Ob4	
194	J9-B1	7	9	105	110	55	15.66	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	2.02	1.24	0.55	0.90	単	3	Ob5	
195	J9-B1	6	9	282	148	141	15.75	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	2.56	1.72	0.37	1.30	天	1	Ob5	
196	J9-B1	22	17	416	66	107	15.75	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.99	3.95	0.77	6.80	単	3	Ob5	
197	J9-C1	1	17	474	3	56	15.74	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	4.10	3.00	1.18	9.00	単	1	Ob5	
198	J9-C1	4	11	221	112	75	15.50	Ⅱ-Ⅲ	Co	Ob	5.40	4.85	2.20	52.80	×	0	Ob6	
199	J9-B1	23	11	487	167	194	15.71	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.86)	(1.73)	0.53	1.10	単	0	Ob6	
200	J8-C10	10	15	33	85	177	15.84	Ⅱ-Ⅲ	Co	Ob	2.35	4.75	2.45	24.50	×	2	Ob6	
201	J9-B1	23	11	423	153	175	15.97	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.95	1.85	0.30	0.50	×	4	Ob6	
202	J9-B1	23	11	511	108	118	15.64	Ⅱ-Ⅲ	PC	Ob	7.50	5.95	4.60	164.70	×	0	Ob6	
203	J9-B1	24	11	372	40	32	16.26	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.85	1.70	0.45	0.60	単	2	Ob6	
204	J8-B10	25	Ⅱ	18	10	58	15.93	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.40	2.90	0.70	3.80	×	3	Ob6	
205	J9-C1	3	11	246	84	15	15.63	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(3.25)	1.40	0.90	2.40	×	3	Ob6	
206	J9-B1	23	11	514	135	139	15.63	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	5.50	4.15	2.35	9.10	単	0	Ob6	※
207	J9-B1	23	11	561	141	190	15.55	Ⅱ-Ⅲ	Co	Ob	5.50	4.15	2.35	18.30	×	0	Ob6	※

No.	大グリフ	少グリフ	石器 集積	遺物 No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然 面	接合	備考
208	J9-C1	7	■	165	42	106	15.86	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	1.70	1.70	0.25	0.80	単	0	Ob6	
209	J9-C1	12	16	45	130	41	15.88	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	2.60	3.85	1.35	7.80	単	1	Ob6	
210	J9-C1	4	11	183	99	100	15.69	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(2.30)	2.55	0.95	4.90	単	1	Ob6	
211	J9-B1	24	11	582	188	128	15.43	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	2.10	1.55	0.45	1.10	単	3	Ob6	
212	J9-B1	22	17	418	138	188	15.82	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(3.60)	2.45	0.80	4.10	単	2	Ob6	
213	J9-B1	24	11	458	154	52	15.82	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(2.00)	1.95	0.40	1.30	×	1	Ob6	
214	J9-C1	3	11	172	24	87	15.84	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(3.10)	1.95	0.85	2.80	×	0	Ob6	
215	J9-B1	23	11	449	50	82	15.87	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(1.85)	1.80	0.50	1.40	×	2	Ob6	
216	J9-C1	2	■	158	184	146	15.91	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(2.05)	2.45	0.45	1.80	×	1	Ob6	
217	J9-B1	18	10	161	138	42	15.76	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	1.85	2.56	0.45	1.70	単	1	Ob6	
218	J9-B1	22	17	263	136	27	16.29	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	2.20	1.90	0.50	1.60	単	1	Ob6	
219	J9-B1	24	11	531	140	98	15.56	Ⅳ-Ⅰ	PC	Ob	3.60	5.10	2.70	22.70	×	0	Ob7	
220	J9-B1	24	11	499	123	115	15.67	Ⅳ-Ⅰ	PC	Ob	2.35	4.25	3.05	24.90	×	0	Ob7	
221	J9-B1	24	11	564	114	13	15.55	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(2.25)	1.75	0.25	0.80	×	1	Ob7	
222	J9-C1	3	11	247	40	111	15.68	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	5.50	4.65	1.45	15.20	単	1	Ob7	
223	J9-B1	11	9	328	144	185	15.70	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	4.05	2.20	0.60	3.80	線	1	Ob7	
224	J9-B1	23	10	419	17	20	15.95	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	7.00	2.00	2.15	0.50	天	2	Ob7	
225	J9-B1	25	11	401	107	73	15.58	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	7.00	2.00	2.15	30.00	単	1	Ob7	
226	J9-B1	24	11	617	75	22	15.47	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	2.45	2.05	1.05	3.20	天	0	Ob7	
227	J9-C1	2	17	142	74	34	15.95	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.65	3.25	0.65	5.40	複	0	Ob7	
228	J9-B1	11	9	323	134	124	15.64	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(3.20)	4.20	1.25	1.20	×	2	Ob8	
229	J9-B1	11	9	649	158	102	15.48	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(3.20)	4.20	1.25	10.10	×	2	Ob8	
230	J8-B10	24	11	22	101	143	15.64	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(2.10)	4.40	1.85	8.70	×	3	Ob8	
231	J9-B1	11	9	325	161	128	15.80	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(2.10)	4.40	1.85	2.70	×	4	Ob8	
232	J9-C1	16	16	282	18	190	15.68	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	4.05	(1.95)	1.05	7.30	単	2	Ob8	
233	J9-C1	14	12	403	124	54	15.60	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.25	2.35	1.05	6.10	単	2	Ob8	
234	J9-C1	16	16	347	75	110	15.56	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(1.20)	2.20	0.50	0.80	×	0	Ob8	
235	J9-C1	22	11	127	106	17	15.40	Ⅳ-Ⅰ	S.S	Ob	4.10	3.30	1.35	14.50	単	2	Ob8	
236	J9-C1	15	12	296	166	71	16.19	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(3.40)	2.55	0.85	2.50	×	0	Ob8	
237	J9-C1	22	11	139	44	46	15.39	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.50	3.60	1.50	7.30	単	0	Ob8	
238	J9-B1	11	9	321	184	59	15.64	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	4.30	4.31	1.30	9.30	自	3	Ob9	
239	J9-B1	1	1	269	33	113	15.68	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(3.30)	(3.20)	0.95	7.60	×	4	Ob9	
240	J9-B1	6	9	288	166	181	15.81	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(2.50)	1.70	0.65	1.50	×	0	Ob9	
241	J9-B1	11	9	300	7	29	15.67	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(3.30)	2.10	1.00	4.30	×	1	Ob9	
242	J9-B1	6	9	277	138	151	15.66	Ⅳ-Ⅰ	PC	Ob	4.10	2.45	1.30	11.30	×	0	Ob9	
243	J9-B1	13	1	38	67	16	15.88	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(2.20)	2.35	0.45	1.40	×	0	Ob9	
244	J9-D1	2	13	1	20	190	15.33	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.95	2.10	1.32	9.90	単	1	Ob10	
245	J9-C1	23	13	87	80	62	15.55	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(3.87)	1.97	1.53	9.20	×	2	Ob10	
246	J9-D1	3	13	3	34	104	15.39	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.90	2.45	1.45	7.70	自	1	Ob10	
247	J9-C1	23	13	128	130	127	15.48	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	1.90	1.70	0.90	1.90	単	4	Ob10	
248	J9-B1	3	8	236	183	73	15.40	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.30	3.60	0.70	5.60	単	2	Ob11	
249	J8-B10	15	9	10	160	176	15.70	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	0.85	1.50	0.30	0.20	単	0	Ob11	
250	J9-B1	3	8	69	195	55	15.73	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(3.15)	1.10	0.50	1.00	×	4	Ob11	
251	J9-B1	3	8	223	186	74	15.48	Ⅳ-Ⅰ	Co	Ob	4.75	4.40	0.95	9.70	×	1	Ob11	
252	J9-B1	3	8	221	86	110	15.43	Ⅳ-Ⅰ	Co	Ob	2.30	2.85	1.20	5.70	×	2	Ob11	
253	J9-B1	11	9	301	23	12	15.69	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	2.05	1.50	0.20	0.50	天	0	Ob11	
254	J9-B1	2	8	65	109	196	15.80	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	1.90	3.15	0.50	1.50	単	0	Ob11	
255	J9-B1	3	8	235	110	4	15.38	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.45	2.35	0.75	4.50	単	4	Ob11	
256	J9-B1	7	8	114	100	176	15.60	Ⅳ-Ⅰ	Co	Ob	3.20	5.85	1.65	17.00	×	3	Ob11	
257	J9-B1	2	8	7	105	150	15.87	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	3.20	5.85	1.65	1.70	×	4	Ob11	
258	J9-B1	21	17	538	188	178	16.07	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	2.80	1.15	0.95	2.50	×	0	Ob12	

※ ※ ※ ※ ※ ※

No.	大ケリフ	少ケリフ	石器 集積	遺物 No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (mm)	重さ (g)	打面	自然 面	接合	備考
259	J9-B1	22	Ⅲ	435	182	33	15.70	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.15	4.00	1.00	11.70	白	1	Ob12	
260	J9-C1	7	Ⅲ	146	155	12	16.14	Ⅱ-Ⅲ	Co	Ob	3.30	2.45	1.70	10.90	×	3	Ob12	
261	J9-B1	21	Ⅲ	594	196	134	15.83	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	5.30	3.40	1.45	19.20	単	2	Ob13	
262	J9-B1	7	9	74	167	20	15.77	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	4.10	2.70	0.95	9.50	単	1	Ob13	
263	J9-B1	7	9	219	190	5	15.52	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.50	3.00	1.10	6.10	単	2	Ob13	
264	J8-C10	4	15	40	182	159	15.61	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.15	2.85	0.70	3.70	単	0	Ob15	
265	J8-C10	9	15	214	188	63	15.49	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	4.50	2.65	0.60	5.40	単	3	Ob15	
266	J9-B1	5	I	2	112	23	15.58	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	4.10	3.80	1.15	13.20	単	2	Ob16	
267	J9-C1	2	Ⅲ	212	198	139	15.65	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	3.50	2.80	0.60	3.80	×	1	Ob16	
268	J9-B1	11	9	348	34	76	15.73	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.85	2.85	0.60	2.70	単	1	Ob17	
269	J9-B1	7	8	115	154	174	15.65	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.60	2.20	0.50	1.20	複	0	Ob17	
270	J9-C1	1	17	336	197	116	15.96	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	4.00	1.90	1.55	6.60	複	3	Ob18	
271	J9-C1	1	17	325	85	56	15.63	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	5.80	2.70	1.60	25.60	単	2	Ob18	
272	J9-B1	6	9	295	188	101	15.75	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(4.80)	2.50	1.40	11.20	×	1	Ob18	
273	J9-B1	21	17	627	153	122	15.68	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.15)	1.70	0.60	1.60	×	0	Ob18	
274	J9-B1	7	9	20	108	16	15.91	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	4.10	5.00	1.00	4.10	単	1	Ob19	※
275	J9-B1	22	17	415	105	64	15.74	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	4.10	5.00	1.00	8.00	単	0	Ob19	※
276	J9-B1	16	Ⅱ	262	156	66	15.98	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.75)	(2.60)	0.40	1.90	×	0	Ob19	
277	J8-C10	14	14	98	170	58	15.62	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	4.00	1.65	0.65	2.80	自	0	Ob20	
278	J8-C10	19	14	236	36	36	15.58	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.20)	(1.85)	0.60	2.10	単	3	Ob20	
279	J9-C1	6	Ⅲ	341	188	187	15.74	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	4.20	3.70	1.15	12.20	単	4	Ob21	
280	J8-B10	20	Ⅱ	13	19	86	15.72	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	4.75	3.65	1.15	10.50	白	4	Ob21	
281	J9-C1	7	Ⅲ	166	159	157	15.86	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.35)	3.00	0.65	2.60	×	0	Ob21	
282	J9-C1	1	17	335	172	167	15.83	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	4.20	2.00	1.05	5.00	単	0	Ob22	
283	J9-C1	4	11	16	141	57	15.85	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	5.40	3.40	0.85	14.50	単	0	Ob22	
284	J9-B1	22	17	391	45	85	15.85	Ⅱ-Ⅲ	S.S	Ob	3.30	1.95	1.20	4.80	線	0	Ob23	
285	J9-C1	2	17	155	41	109	15.90	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	3.95	2.65	1.45	0.90	×	1	Ob23	※
286	J9-B1	21	17	549	123	78	15.89	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.95	2.65	1.45	3.70	白	0	Ob23	※
287	J9-B1	22	17	370	174	145	16.16	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(4.04)	2.07	0.90	3.70	×	1	Ob24	※
288	J9-B1	24	11	576	159	62	15.69	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(2.00)	1.75	0.40	1.10	×	0	Ob24	
289	J9-B1	23	11	505	124	26	15.65	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	5.70	3.50	2.45	4.90	複	0	Ob24	※
290	J9-C1	3	11	170	38	57	15.83	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	5.70	3.50	2.45	17.20	×	0	Ob24	※
291	J9-C1	2	17	256	83	18	15.74	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	8.20	2.95	1.20	18.90	白	3	Ob25	※
292	J9-C1	1	17	450	122	182	15.66	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	8.20	2.95	1.20	1.20	×	4	Ob25	※
293	J9-C1	2	17	264	71	6	15.67	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	5.45	4.00	1.35	20.70	白	1	Ob25	
294	J9-C1	1	17	428	24	165	15.77	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	4.20	4.70	1.95	22.20	単	2	Ob25	
295	J9-C1	1	17	333	179	73	15.85	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	5.35	3.60	1.45	18.70	単	3	Ob25	
296	J9-C1	2	17	254	66	20	15.67	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	5.30	5.40	1.80	27.40	単	3	Ob25	
297	J9-C1	2	17	150	33	45	15.86	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.65	3.40	1.65	12.40	×	2	Ob25	
298	J9-C1	3	11	245	60	26	15.71	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	6.90	5.25	1.15	44.10	白	4	Ob26	
299	J9-C1	6	15	340	115	36	15.63	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.05	3.20	1.05	7.10	単	4	Ob26	
300	J9-C1	4	11	184	122	77	15.67	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	5.50	5.00	1.55	32.30	単	3	Ob26	
301	J9-B1	24	11	581	194	106	15.52	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	7.55	3.95	1.45	30.00	単	3	Ob26	
302	J9-C1	14	12	352	105	15	15.71	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.55	2.50	0.65	2.20	単	0	Ob27	
303	J9-B1	1	I	265	41	14	15.83	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(4.87)	3.51	1.31	14.20	×	1	Ob29	
304	J9-B1	13	10	44	150	127	15.88	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.00	3.40	0.80	5.30	単	0	Ob30	
305	J9-B1	13	10	138 ^上	183	117	15.59	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.30	3.45	0.75	5.60	単	0	Ob30	
306	J9-B1	21	17	598	120	158	15.77	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	4.25	3.25	0.90	9.10	単	1	Ob31	
307	J9-B1	21	17	608	88	193	15.71	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	4.10	3.95	1.05	8.20	単	1	Ob31	
308	J9-B1	24	11	97	50	152	15.88	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(3.85)	2.40	0.90	5.30	単	1	Ob32	
309	J9-B1	17	10	163	138	186	15.71	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	2.80	2.00	0.60	1.70	天	1	Ob32	

No.	大グリッド	少グリッド	石器集中	遺物No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然面	接合	備考
310	J9-C1	1	17	334	180	110	15.70	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	5.28	3.83	1.61	23.80	単	3	Ob33	
311	J9-C1	3	11	169	35	43	15.83	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	4.21	2.77	1.10	5.60	単	1	Ob33	
312	J9-C1	2	17	243	110	19	15.67	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	5.85	3.10	1.55	16.30	複	4	Ob34	
313	J9-B1	22	17	417	41	78	15.68	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.20	4.15	1.45	12.60	単	1	Ob34	
314	J9-B1	24	11	528	76	70	15.67	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.55	3.75	1.25	10.50	白	1	ObP5	
315	J9-A1	15	1	4	200	70	15.56	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	3.23	2.10	0.44	2.10	単	1	Ob36	
316	J9-B1	18	10	151	26	39	15.68	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	2.90	2.85	0.65	3.70	単	0	Ob37	
317	J9-B1	18	10	60	55	187	15.97	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	2.90	2.25	0.65	3.70	白	0	Ob37	
318	J9-C1	11	Ⅲ	278	147	30	15.68	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.31	3.89	1.75	14.20	単	0	Ob38	
319	J8-B10	25	17	24	180	148	15.69	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(3.06)	1.14	0.66	1.50	×	1	Ob38	
320	J9-B1	22	17	471	142	31	15.66	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	2.36	2.67	0.61	3.10	×	3	Ob39	
321	J9-C1	2	17	265	66	20	15.67	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	4.05	2.25	1.00	6.20	天	3	Ob39	
322	J8-C10	19	14	264	40	102	15.27	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	2.15	2.53	0.61	3.00	複	0	Ob40	
323	J8-C10	19	14	240	87	93	15.41	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(2.16)	2.07	0.49	2.20	白	2	Ob41	
324	J8-C10	19	14	244	37	185	15.61	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(2.31)	1.60	0.43	1.50	×	2	Ob41	
325	J9-B1	15	I	192	151	46	15.43	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(3.53)	(2.70)	(2.07)	15.00	×	0	Ob42	
326	J9-B1	14	I	85	142	125	15.82	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	2.15	3.65	1.65	11.70	×	0	Ob42	
327	J9-B1	2	I	9	145	58	15.84	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	4.85	4.75	1.05	8.60	単	1	Ob43	※
328	J9-B1	7	9	108	195	61	15.69	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	4.85	4.75	1.05	6.00	×	1	Ob43	※
329	J9-B1	21	17	628	145	95	15.70	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	6.00	3.85	1.25	10.60	複	0	Ob44	※
330	J9-B1	21	17	646	115	104	15.64	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	6.00	3.85	1.25	9.30	複	0	Ob44	※
331	J9-C1	14	12	292	193	95	15.79	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	5.15	2.75	0.85	3.00	単	0	Ob45	※
332	J9-C1	14	12	407	82	75	15.64	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	5.15	2.75	0.85	1.70	×	0	Ob45	※
333	J9-B1	13	I	39	78	19	15.87	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	5.00	1.95	0.85	2.60	単	2	Ob46	※
334	J9-C1	6	15	270	19	28	16.19	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	5.00	1.95	0.85	2.80	×	2	Ob46	※
335	J9-B1	22	17	405	48	19	15.69	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	7.45	3.90	1.55	8.00	単	1	Ob47	※
336	J8-C10	14	15	94	18	123	15.70	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	7.45	3.90	1.55	12.30	×	1	Ob47	※
337	J9-B1	14	I	165	0	152	15.70	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	4.65	2.45	0.70	3.30	白	4	Ob48	※
338	J9-C1	1	17	324	71	166	15.76	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	4.65	2.45	0.70	3.20	×	4	Ob48	※
339	J8-C10	10	15	84	167	165	15.70	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.50	2.70	0.75	1.20	単	0	Ob50	※
340	J9-C1	4	11	2	54	29	15.84	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.50	2.70	0.75	3.50	天	2	Ob50	※
341	J9-C1	17	Ⅲ	121	198	118	15.49	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	4.85	2.90	0.75	5.20	白	1	Ob49	※
342	J9-C1	22	Ⅲ	85	68	118	15.60	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	4.85	2.90	0.75	1.70	×	1	Ob49	※
343	J9-B1	18	10	159	102	140	15.72	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.20	2.65	0.80	1.70	複	0	Ob51	※
344	J9-B1	18	10	155	82	91	15.66	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.20	2.65	0.80	2.20	単	0	Ob51	※
345	J9-B1	13	8	130	10	77	15.62	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.75	3.20	1.20	5.40	単	3	Ob52	※
346	J9-B1	8	8	77	148	47	15.82	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.75	3.20	1.20	5.30	×	3	Ob52	※
347	J9-B1	2	8	233	105	152	15.30	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	2.75	3.30	7.00	1.30	天	4	Ob53	※
348	J9-B1	8	8	217	3	78	15.47	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	2.75	3.30	7.00	3.60	単	4	Ob53	※
349	J8-C10	20	14	251	46	8	15.53	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	2.40	2.65	0.65	1.10	単	1	Ob54	※
350	J8-C10	19	14	288	95	176	15.31	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	2.40	2.65	0.65	1.20	×	0	Ob54	※
351	J9-B1	15	I	194	143	11	15.60	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(4.85)	2.45	0.90	4.60	×	3	Ob55	※
352	J9-B1	14	I	168	154	189	15.65	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(4.85)	2.45	0.90	2.40	×	2	Ob55	※
353	J9-C1	2	17	157	115	106	15.87	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.40	2.15	0.65	1.10	単	4	Ob56	※
354	J9-C1	2	17	200	36	27	15.81	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.40	2.15	0.65	1.80	×	4	Ob56	※
355	J9-C1	2	17	210	39	160	15.74	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	5.75	3.45	0.90	7.50	天	1	Ob58	※
356	J9-C1	2	11	160	84	194	15.86	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	5.75	3.45	0.90	1.90	×	0	Ob58	※
357	J9-B1	16	Ⅱ	351	125	75	15.63	Ⅳ-Ⅰ	F	GA	7.30	(6.85)	1.80	10.80	×	0	GA1	※
358	J9-B1	16	Ⅱ	333	75	80	15.66	Ⅳ-Ⅰ	Co	GA	7.30	(6.85)	1.80	49.10	×	0	GA1	※
359	J9-C1	11	Ⅲ	301	137	91	15.63	Ⅳ-Ⅰ	F	GA	7.30	(6.85)	1.80	14.80	白	0	GA1	※
360	J9-B1	7	9	109	194	78	15.65	Ⅳ-Ⅰ	F	GA	4.40	7.20	1.65	29.90	単	4	GA2	※

No.	大ケリフ	少ケリフ	石器 集中	遺物 No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (g)	重さ (g)	打面	自然 面	接合	備考
361	J9-B1	3	I	228	0	124	15.47	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	4.15	5.00	1.30	13.50	×	1	GA2	
362	J8-C10	25	14	275	66	18	15.36	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	(2.80)	4.00	0.65	6.90	×	3	GA3	
363	J9-C1	11	16	455	185	186	15.56	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	6.85	5.50	1.45	45.70	単	2	GA3	
364	J9-B1	24	11	525	130	43	15.65	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	5.80	3.70	1.45	26.40	単	1	GA4	
365	J9-B1	19	10	63	82	6	16.02	Ⅱ-Ⅰ	T	GA	(2.30)	(1.48)	0.73	1.70	×	2	GA4	
366	J9-B1	24	11	490	120	12	15.72	Ⅱ-Ⅰ	T	GA	(1.55)	1.55	0.30	0.70	×	0	GA4	
367	J9-B1	23	11	516	186	145	15.62	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	(5.15)	(4.10)	1.95	28.80	×	0	GA4	
368	J9-B1	23	11	612	151	176	15.59	Ⅱ-Ⅰ	T	GA	(2.25)	(1.25)	0.40	1.20	×	0	GA4	
369	J9-B1	24	11	497	29	99	15.68	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	5.35	2.80	1.70	15.10	複	0	GA4	
370	J9-B1	23	11	486	175	166	15.66	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	(2.30)	3.05	1.00	5.60	複	0	GA4	
371	J9-B1	24	11	614	127	26	15.63	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	(5.40)	3.05	1.45	19.60	×	3	GA4	
372	J9-B1	23	11	515	156	148	15.72	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	4.40	3.85	1.05	13.70	単	0	GA4	
373	J9-B1	24	11	584	103	195	15.50	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	2.80	2.95	0.70	4.60	複	0	GA4	
374	J9-B1	24	11	455	195	12	15.80	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	5.70	3.55	1.20	23.30	天	1	GA4	
375	J9-B1	23	11	396	165	44	15.93	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	(5.10)	2.10	0.85	4.50	単	0	GA4	
376	J9-B1	24	11	424	131	46	15.89	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	5.10	2.10	0.85	2.60	×	0	GA4	
377	J9-B1	23	11	520	130	189	15.65	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	3.45	3.70	0.60	6.10	複	0	GA4	
378	J9-B1	18	10	62	140	170	15.94	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	2.05	2.30	0.30	1.50	×	1	GA4	
379	J9-B1	24	11	616	106	35	15.54	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	8.80	2.60	1.55	18.40	単	0	GA5	※
380	J9-B1	24	11	565	147	7	15.56	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	8.80	2.60	1.55	5.00	×	0	GA5	※
381	J9-B1	24	11	400	111	48	15.96	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	5.20	(2.20)	0.85	8.30	白	0	GA5	※
382	J9-B1	23	11	518	141	181	15.64	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	5.05	2.90	0.95	6.90	単	0	GA5	※
383	J9-B1	23	11	559	149	177	15.64	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	5.05	2.90	0.95	3.40	×	0	GA5	※
384	J9-B1	24	11	575	161	47	15.65	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	3.20	3.00	1.20	11.00	白	0	GA5	※
385	J9-B1	24	11	573	104	60	15.54	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	3.70	1.40	0.60	2.50	天	0	GA5	※
386	J9-B1	23	11	555	59	191	15.59	Ⅱ-Ⅰ	T	GA	2.25	1.65	0.40	1.90	白	1	GA5	※
387	J9-B1	24	11	534	137	151	15.54	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	7.70	2.80	1.60	23.90	単	0	GA5	※
388	J9-B1	11	9	302	23	80	15.68	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	3.60	6.50	1.70	26.70	複	1	GA6	※
389	J9-B1	16	9	332	47	129	15.65	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	5.30	3.45	1.40	18.90	単	0	GA6	※
390	J9-C1	23	13	134	167	66	15.36	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	3.40	4.95	0.70	2.60	×	0	GA7	※
391	J9-C1	7	Ⅲ	229	167	95	15.61	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	3.40	4.95	0.70	6.10	天	0	GA7	※
392	J9-C1	12	Ⅲ	231	3	146	15.65	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	6.60	5.00	1.40	16.60	白	0	GA8	※
393	J9-C1	14	12	374	171	122	15.53	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	6.60	5.00	1.40	11.30	白	0	GA8	※
394	J9-B1	6	9	274	91	197	15.72	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	2.80	1.25	0.55	3.10	単	1	GA9	※
395	J9-B1	3	8	220	132	180	15.55	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	2.90	3.45	0.75	5.60	天	1	GA9	※
396	J9-C1	14	12	398	109	11	15.60	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	4.50	6.20	1.35	19.40	複	2	GA10	※
397	J9-C1	15	12	387	85	33	15.66	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	4.50	6.20	1.35	14.00	複	4	GA10	※
398	J9-B1	23	10	586	4	52	15.55	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	3.10	(1.9)	0.85	4.10	単	0	GA11	※
399	J9-C1	3	11	248	30	128	15.67	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	2.60	1.60	0.60	1.70	天	0	GA11	※
400	J8-C10	14	14	36	122	199	15.90	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	4.10	4.20	0.60	3.60	単	0	GA12	※
401	J8-C10	14	14	37.1	164	198	15.81	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	4.10	4.20	0.60	2.60	×	0	GA12	※
402	J9-B1	23	11	454	80	169	15.82	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	3.60	1.40	0.70	2.10	単	0	GA14	※
403	J9-B1	23	11	485	81	174	15.81	Ⅱ-Ⅰ	T	GA	3.60	1.40	0.70	0.90	×	0	GA14	※
404	J9-C1	11	Ⅲ	275	18	118	16.21	Ⅱ-Ⅰ	F	GA	3.60	5.10	2.10	25.20	白	1	GA13	※
405	J9-C1	10	12	33	188	10	15.80	Ⅱ-Ⅰ	F	G.Da	(4.70)	3.10	0.85	3.40	×	0	G.Da1	※
406	J9-C1	14	12	408	48	99	15.59	Ⅱ-Ⅰ	F	G.Da	(4.70)	3.10	0.85	10.70	×	0	G.Da1	※
407	J9-C1	14	12	366	90	86	15.72	Ⅱ-Ⅰ	F	G.Da	(2.65)	4.80	1.60	15.90	×	0	G.Da1	※
408	J9-C1	14	12	368	51	102	15.75	Ⅱ-Ⅰ	F	G.Da	(1.90)	3.90	0.90	6.00	×	0	G.Da2	※
409	J9-C1	14	12	376	198	177	15.55	Ⅱ-Ⅰ	T	G.Da	(1.80)	2.70	0.35	1.70	×	0	G.Da2	※
410	J9-C1	14	12	380	116	171	15.67	Ⅱ-Ⅰ	F	G.Da	4.60	5.50	1.90	40.90	単	0	G.Da2	※
411	J9-C1	14	12	385	41	170	15.60	Ⅱ-Ⅰ	F	G.Da	4.85	5.70	1.35	18.20	複	0	G.Da3	※

No.	大グリッド	少グリッド	石器集中	遺物No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然面	接合	備考
412	J9-C1	14	12	412	57	136	15.63	Ⅱ-Ⅲ	F	G.Da	4.85	5.70	1.35	14.90	複	0	G.Da3	※
413	J9-C1	15	12	392	32	98	15.59	Ⅱ-Ⅲ	F	G.Da	(5.00)	(4.15)	0.90	7.60	×	0	G.Da4	※
414	J9-C1	10	12	32	185	31	15.76	Ⅱ-Ⅲ	F	G.Da	(5.00)	(4.15)	0.90	5.30	×	0	G.Da4	※
415	J9-C1	14	12	414	77	155	15.59	Ⅱ-Ⅲ	F	G.Da	(4.45)	2.20	0.80	5.40	×	0	G.Da5	
416	J9-C1	14	12	379	116	135	15.64	Ⅱ-Ⅲ	F	G.Da	4.40	4.60	2.00	29.30	×	0	G.Da5	
417	J9-C1	15	12	295	112	13	15.78	Ⅱ-Ⅲ	T	G.Da	5.20	2.85	1.30	1.30	×	0	G.Da6	※
418	J9-C1	14	12	350	37	9	15.57	Ⅱ-Ⅲ	F	G.Da	5.20	2.85	1.30	10.40	×	0	G.Da6	※
419	J9-B1	9	8	3	35	35	15.77	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.47	2.31	0.23	0.80	×	0		
420	J9-B1	2	8	5	102	115	16.01	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.44)	(2.27)	0.61	1.40	白	4		
421	J9-B1	2	8	6	80	160	15.89	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	(3.30)	(1.40)	0.51	2.10	×	1		
422	J9-B1	2	8	8	108	160	15.96	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.07)	2.73	0.51	2.30	単	0		
423	J9-B1	2	8	11	188	187	15.86	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.91	1.24	0.34	0.70	単	1		
424	J9-B1	3	8	12	113	75	15.94	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.16)	(0.72)	(0.07)	—	×	0		
425	J9-B1	7	8	13	25	123	15.83	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.94)	0.70	0.23	—	×	0		
426	J9-B1	7	8	14	9	141	15.99	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.29	2.49	0.95	8.70	単	1		
427	J9-B1	7	8	15	30	187	15.89	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.12)	0.50	0.17	—	×	2		
428	J9-B1	7	8	16	10	105	15.84	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(2.07)	1.20	0.23	0.50	×	0		
429	J9-B1	7	8	17	74	135	15.88	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.09	0.62	0.13	—	×	0		
430	J9-B1	7	8	18	50	100	15.91	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.52)	1.01	0.16	—	×	0		
431	J9-B1	8	8	25	30	63	15.85	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.69)	(0.77)	0.27	—	×	0		
432	J9-B1	8	8	26	130	2	15.88	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	4.30	2.87	1.19	6.60	単	0		
433	J9-B1	8	8	27	160	84	16.14	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	(1.99)	1.72	0.39	0.80	×	1		
434	J9-B1	8	8	28	174	148	15.89	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.78)	1.05	0.10	—	×	0		
435	J9-B1	13	8	42	10	165	15.97	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.02	1.30	0.27	0.20	白	4		
436	J9-B1	2	8	66	174	156	15.69	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.00)	2.52	0.75	2.40	×	0		
437	J9-B1	3	8	67	102	148	15.68	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.35	0.55	0.38	0.10	線	0		
438	J9-B1	3	8	68	150	64	15.68	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(2.00)	0.91	0.28	0.40	×	2		
439	J9-B1	8	8	70	13	52	15.70	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.84	0.68	0.43	0.40	天	0		
440	J9-B1	7	8	71	80	149	15.77	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.96)	(1.05)	0.65	1.20	×	0		
441	J9-B1	7	8	72	97	161	15.74	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.89)	1.39	0.31	0.70	×	0		
442	J9-B1	7	8	75	142	194	15.74	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.44)	1.95	1.04	1.70	×	0		
443	J9-B1	8	8	76	105	83	15.73	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(2.09)	1.63	0.51	1.30	×	1		
444	J9-B1	3	8	98	111	64	15.55	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(4.39)	3.03	1.37	13.60	×	4		
445	J9-B1	3	8	99	144	177	15.62	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.07	0.92	0.54	0.30	×	3		
446	J9-B1	7	8	103	62	73	15.64	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	3.72	3.40	0.82	9.30	単	0		
447	J9-B1	7	8	113	85	164	15.67	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.56)	1.21	0.16	—	×	2		
448	J9-B1	7	8	116	174	180	15.64	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.02)	0.61	0.18	0.10	×	0		
449	J9-B1	8	8	117	124	13	15.67	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.59)	1.09	0.28	0.40	×	0		
450	J9-B1	8	8	118	131	28	15.57	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.21)	0.97	0.43	0.30	×	0		
451	J9-B1	8	8	120	93	32	15.56	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	(3.20)	2.67	0.36	2.70	×	1		
452	J9-B1	8	8	121	133	195	15.62	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.23)	1.26	0.15	0.20	×	0		
453	J9-B1	8	8	122	101	48	15.59	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.56)	1.25	0.15	0.20	×	0		
454	J9-B1	8	8	123	160	67	15.62	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.99	(2.39)	0.91	3.70	単	3		
455	J9-B1	8	8	124	79	97	15.64	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.83)	(1.46)	0.30	0.20	×	0		
456	J9-B1	8	8	125	94	119	15.59	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.73)	(0.60)	0.20	0.10	×	0		
457	J9-B1	8	8	126	100	154	15.61	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.71)	(0.54)	0.23	—	×	0		
458	J9-B1	13	8	177	33	130	15.64	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.03)	0.71	0.13	—	×	0		
459	J9-B1	8	8	206	106	152	15.44	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.95	-1.20	0.39	0.70	単	0		
460	J9-B1	8	8	207	118	108	15.54	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.85	2.65	0.78	3.40	単	0		
461	J9-B1	8	8	208	140	98	15.55	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.53	1.33	0.30	0.50	単	0		
462	J9-B1	8	8	212	123	17	15.43	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.38)	(1.65)	(0.24)	—	×	0		

No.	大ケリフ	少ケリフ	石器集中	遺物No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (g)	重さ (g)	打面	自然面	接合	備考
463	J9-B1	8	8	213	66	129	15.57	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.47)	0.57	0.21	0.10	×	0		
464	J9-B1	8	8	214	55	108	15.46	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	4.30	4.50	3.55	3.70	白	1		
465	J9-B1	8	8	215	7	113	15.34	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.53)	0.72	0.40	0.30	×	0		
466	J9-B1	8	8	216	21	95	15.38	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.40)	1.02	0.36	0.40	×	2		
467	J9-B1	8	8	218	45	5	15.44	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.46	2.87	0.49	2.00	単	1		
468	J9-B1	3	8	222	56	81	15.48	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.66	2.90	1.25	6.20	×	4		
469	J9-B1	3	8	224	171	57	15.46	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.90	2.57	0.50	0.80	単	0		
470	J9-B1	3	8	225	160	25	15.43	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.83	(1.02)	0.58	0.70	単	2		
471	J9-B1	3	8	226	134	76	15.49	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.67	1.92	0.48	2.50	白	4		
472	J9-B1	2	8	234	186	195	15.32	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.39)	1.46	0.49	0.70	×	1		
473	J9-B1	8	8	237	10	93	15.37	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	2.18	1.34	0.40	1.20	単	1		
474	J9-B1	8	8	238	48	105	15.38	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.38	0.96	0.13	0.10	×	0		
475	J9-B1	8	8	239	190	77	15.39	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.71	(1.08)	(0.73)	0.20	×	0		
476	J8-B10	10	9	3	112	144	15.82	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(3.63)	2.20	1.28	7.80	×	4		
477	J8-B10	10	9	4	180	150	16.20	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	1.83	2.01	0.41	1.60	単	0		
478	J8-B10	15	9	8	74	55	15.98	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.70	1.39	0.31	0.70	天	0		
479	J8-B10	15	9	9	87	141	15.56	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(3.07)	(1.90)	0.51	1.00	×	2		
480	J9-B1	7	9	19	110	64	15.98	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.03)	(0.14)	0.35	0.30	×	0		
481	J9-B1	7	9	21	109	36	15.90	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.15)	(0.60)	0.13	—	×	0		
482	J9-B1	7	9	22	148	31	15.98	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.62	0.95	0.15	0.10	×	0		
483	J9-B1	7	9	23	140	40	15.84	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	(1.90)	(0.87)	0.30	0.40	×	0		
484	J9-B1	7	9	24	122	68	15.88	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.63)	(1.58)	0.47	0.30	×	0		
485	J9-B1	12	9	29	20	81	15.88	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.27)	(1.52)	0.20	0.20	×	0		
486	J9-B1	12	9	30	35	63	15.97	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.24	0.71	0.14	—	天	0		
487	J9-B1	12	9	31	75	55	15.99	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.00	(0.80)	0.12	0.10	線	0		
488	J9-B1	12	9	32	118	56	15.92	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.31)	(0.93)	0.17	0.10	×	0		
489	J9-B1	12	9	33	145	26	16.05	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.69)	(0.63)	0.20	0.30	×	1		
490	J9-B1	12	9	34	135	46	15.88	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.95	0.75	0.07	—	天	0		
491	J9-B1	12	9	35	137	83	16.13	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.72)	0.14	0.14	—	×	0		
492	J9-B1	12	9	36	152	81	16.11	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.90)	1.28	0.13	0.20	×	0		
493	J9-B1	12	9	37	170	65	15.90	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.28)	3.24	0.74	2.70	×	0		
494	J9-B1	7	9	73	130	13	15.77	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	(1.45)	1.25	0.42	0.60	×	1		
495	J9-B1	12	9	78	18	18	15.77	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.98)	0.77	0.40	0.50	×	0		
496	J9-B1	12	9	79	30	85	15.78	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.45)	0.94	0.07	—	×	0		
497	J9-B1	12	9	80	137	42	15.81	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.75	1.04	0.32	0.50	線	0		
498	J9-B1	7	9	104	85	69	15.64	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	(4.95)	4.47	2.35	32.70	×	1		
499	J9-B1	7	9	106	171	55	15.59	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.01)	1.01	0.36	0.30	×	2		
500	J9-B1	7	9	107	185	54	15.65	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.62)	0.94	0.21	0.20	×	0		
501	J9-B1	7	9	110	192	82	15.65	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	0.63	0.38	0.15	—	×	0		
502	J9-B1	7	9	111	180	80	15.58	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.47)	1.39	0.22	0.40	×	0		
503	J9-B1	7	9	112	145	100	15.60	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	(1.24)	1.40	0.37	0.50	×	0		
504	J9-B1	12	9	127	155	13	15.67	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.64	(1.68)	0.53	0.90	白	0		
505	J9-B1	12	9	128.1	46	42	15.65	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.83)	(0.56)	1.13	—	×	0		
506	J9-B1	12	9	128.2	46	42	15.65	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.45	0.53	0.03	—	天	0		
507	J9-B1	12	9	204	57	60	15.47	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.03)	1.23	0.13	—	単	0		
508	J9-B1	12	9	205	29	49	15.47	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	(0.71)	(1.13)	0.29	0.20	×	0		
509	J9-B1	6	9	249	140	36	16.14	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.16	0.97	0.21	0.20	線	3		
510	J9-B1	11	9	250	71	23	16.17	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.15)	1.19	0.51	0.60	×	0		
511	J9-B1	11	9	252	182	31	16.13	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.25)	0.74	0.28	0.20	×	0		
512	J9-B1	16	9	253	25	42	16.10	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.02)	0.86	0.10	—	×	0		
513	J9-B1	11	9	257	73	180	16.19	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(2.15)	1.05	0.40	0.50	×	0		

No.	大グリッド	少グリッド	石器集中	遺物No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然面	接合	備考
514	J9-B1	11	9	258	74	170	16.18	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(1.36)	1.16	0.25	0.30	×	0		
515	J9-B1	11	9	259	140	154	16.14	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	2.02	3.17	0.56	3.50	単	1		
516	J9-B1	6	9	272	106	78	15.74	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(0.66)	0.25	0.14	—	×	0		
517	J9-B1	6	9	273	124	43	15.74	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	1.85	1.60	0.21	0.40	天	0		
518	J9-B1	6	9	275	108	197	15.79	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(0.42)	(0.83)	0.29	—	×	0		
519	J9-B1	6	9	276	131	180	15.77	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(0.94)	(0.69)	(0.34)	—	×	2		
520	J9-B1	6	9	278	138	94	15.75	Ⅳ-Ⅰ	T	GA	(0.65)	(1.75)	0.30	0.20	×	0		
521	J9-B1	6	9	279	142	116	15.70	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(0.93)	0.80	0.09	—	×	0		
522	J9-B1	6	9	280	151	156	15.81	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(0.70)	(0.80)	0.11	—	×	0		
523	J9-B1	6	9	281.2	149	168	15.75	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.08	2.25	0.57	3.20	白	0		
524	J9-B1	6	9	283	105	160	15.50	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	1.52	1.86	0.31	0.80	天	0		
525	J9-B1	6	9	284	146	183	15.71	Ⅳ-Ⅰ	T	GA	2.02	0.85	0.32	0.50	線	0		
526	J9-B1	6	9	285	108	145	15.75	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	1.03	(1.60)	0.25	0.30	単	0		
527	J9-B1	6	9	286	160	42	15.73	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	2.95	2.83	0.66	4.30	白	0		
528	J9-B1	6	9	289	168	129	15.75	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(2.45)	1.67	0.30	1.00	×	0		
529	J9-B1	6	9	290	174	28	15.79	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	4.15	2.31	0.62	5.10	白	2		
530	J9-B1	11	9	291	72	26	15.73	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.58	1.07	0.78	1.50	単	0		
531	J9-B1	6	9	292	153	196	15.77	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(1.78)	(2.42)	0.23	0.80	×	1		
532	J9-B1	6	9	293	177	127	15.75	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(1.05)	(1.02)	0.15	—	×	0		
533	J9-B1	6	9	294	185	76	15.70	Ⅳ-Ⅰ	T	GA	(1.17)	1.00	0.29	0.50	×	0		
534	J9-B1	6	9	296	189	125	15.79	Ⅳ-Ⅰ	T	GA	(1.00)	0.92	0.21	0.20	×	0		
535	J9-B1	6	9	297	189	144	15.69	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(0.71)	1.00	0.25	0.10	×	0		
536	J9-B1	6	9	298	181	167	15.68	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.20	1.62	0.51	2.50	白	0		
537	J9-B1	6	9	299	188	191	15.72	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(2.42)	(2.13)	0.44	1.20	単	1		
538	J9-B1	11	9	303	28	103	15.82	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(1.02)	1.44	0.30	0.10	×	0		
539	J9-B1	11	9	304	4	125	15.74	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	0.62	0.54	0.11	—	天	0		
540	J9-B1	11	9	305	35	83	15.75	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	1.28	1.34	0.28	0.40	単	1		
541	J9-B1	11	9	306	17	127	15.69	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(1.92)	1.01	0.18	0.30	×	0		
542	J9-B1	11	9	307	12	172	15.50	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	0.79	0.74	0.35	0.20	単	1		
543	J9-B1	11	9	308	9	187	15.59	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	1.41	1.33	0.15	0.40	線	0		
544	J9-B1	11	9	309	104	32	15.63	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	1.73	1.93	0.37	0.90	天	2		
545	J9-B1	11	9	310.1	33	193	15.60	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	-1.00	0.52	0.14	—	×	2		
546	J9-B1	11	9	310.2	33	193	15.60	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(0.30)	0.39	0.09	—	×	0		
547	J9-B1	11	9	311	54	96	15.73	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	1.67	1.86	0.24	0.90	単	2		
548	J9-B1	11	9	313	75	139	15.67	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(1.18)	(0.66)	0.33	0.20	×	0		
549	J9-B1	11	9	314	62	192	15.84	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(0.97)	2.50	0.49	0.70	×	4		
550	J9-B1	11	9	315	74	95	15.71	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	0.55	0.67	0.12	—	単	0		
551	J9-B1	11	9	316	119	12	15.77	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(1.03)	(1.68)	0.26	0.30	×	0		
552	J9-B1	11	9	318	103	195	15.87	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	1.03	1.26	0.16	—	天	3		
553	J9-B1	11	9	319	39	110	15.74	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	0.55	0.25	0.05	—	天	0		
554	J9-B1	11	9	320	180	47	15.73	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	0.50	0.13	0.17	—	線	2		
555	J9-B1	11	9	322	108	123	15.65	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(1.68)	2.44	0.29	1.00	×	0		
556	J9-B1	11	9	324	177	103	15.68	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(1.51)	1.74	0.31	0.80	白	0		
557	J9-B1	11	9	326	104	162	15.80	Ⅳ-Ⅰ	F	GA	(1.14)	(2.93)	0.52	1.80	×	0		
558	J9-B1	11	9	327	98	149	15.79	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(1.52)	(0.96)	0.42	0.30	×	0		
559	J9-B1	11	9	329	98	171	15.60	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	1.10	0.70	0.17	—	線	0		
560	J9-B1	11	9	330.1	50	185	15.61	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(1.00)	0.89	0.29	0.20	×	0		
561	J9-B1	11	9	330.2	50	185	15.61	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(0.77)	0.50	0.26	0.10	×	0		
562	J9-B1	7	9	335	166	0	15.78	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	1.54	0.63	0.12	—	線	0		
563	J9-B1	12	9	336	22	0	15.67	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	0.35	0.61	0.07	—	天	0		
564	J9-B1	12	9	337	62	1	15.66	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(0.70)	0.65	0.82	—	×	0		

No.	大ケリフ	少ケリフ	石器集中	遺物 No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然面	接合	備考
565	J9-B1	12	9	338	68	1	15.66	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.63	(0.32)	0.07	—	×	0		
566	J9-B1	6	9	340	141	97	15.68	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.48	0.71	0.08	—	×	0		
567	J9-B1	6	9	341	130	133	15.59	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	(0.92)	1.39	0.13	0.20	×	0		
568	J9-B1	6	9	342	127	152	15.57	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.92	1.09	0.10	0.10	単	0		
569	J9-B1	6	9	343	158	120	15.71	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.20)	1.28	0.24	0.30	×	0		
570	J9-B1	6	9	344	152	150	15.75	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	(2.79)	2.82	0.51	3.30	単	0		
571	J9-B1	6	9	345	144	163	15.57	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.21)	0.97	0.41	0.40	×	2		
572	J9-B1	6	9	347	153	190	15.74	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.25	1.08	0.38	0.40	自	4		
573	J9-B1	11	9	349	34	151	15.58	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.80	0.71	0.13	—	天	0		
574	J9-B1	11	9	350	40	190	15.58	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.89)	0.67	0.15	—	×	0		
575	J9-B1	6	9	352	136	100	15.56	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.36	1.30	0.35	0.50	単	0		
576	J9-B1	6	9	353	155	118	15.57	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.95	0.72	0.33	0.30	天	0		
577	J9-B1	6	9	354	153	150	15.76	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.34	0.39	0.17	—	線	4		
578	J9-B1	11	9	355	32	75	15.59	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.74	0.12	0.10	—	天	0		
579	J9-B1	6	9	356	146	146	15.57	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.01	1.73	0.34	—	単	0		
580	J9-B1	6	9	357	155	146	15.67	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	(0.90)	(1.04)	0.20	0.20	×	0		
581	J9-B1	11	9	358	40	77	15.59	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.41	0.72	0.10	—	天	0		
582	J9-B1	6	9	359	161	145	15.64	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.64)	0.84	0.12	—	×	1		
583	J9-B1	6	9	648	177	110	15.46	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.79)	2.11	0.83	3.30	複	0		
584	J9-B1	13	10	41	169	6	16.00	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.99	1.87	0.21	0.90	単	0		
585	J9-B1	13	10	43	165	106	16.00	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.22)	(1.42)	0.10	0.10	×	0		
586	J9-B1	13	10	45	185	133	15.94	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.95)	(1.48)	0.36	0.30	×	0		
587	J9-B1	18	10	54	20	104	16.10	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.82)	0.92	0.22	0.40	×	0		
588	J9-B1	18	10	56	100	59	15.98	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.14)	0.40	0.97	0.20	×	1		
589	J9-B1	18	10	57	35	149	16.00	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.38)	0.58	0.20	—	×	1		
590	J9-B1	18	10	58	85	101	16.03	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.23	0.92	0.20	0.10	天	0		
591	J9-B1	18	10	59	85	111	16.03	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.06)	0.55	0.18	—	×	0		
592	J9-B1	18	10	61	127	107	16.02	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.78	2.92	0.50	2.70	自	0		
593	J9-B1	19	10	64	155	11	16.05	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.43)	(3.46)	(0.44)	1.30	×	0		
594	J9-B1	13	10	83	173	89	15.94	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	2.44	1.18	0.38	0.80	×	0		
595	J9-B1	23	10	89	20	102	15.83	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(2.15)	(0.78)	0.23	0.20	×	2		
596	J9-B1	13	10	129	90	151	15.63	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.64)	1.15	0.33	0.40	×	0		
597	J9-B1	13	10	131	179	18	15.68	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(2.89)	(1.24)	(0.48)	0.70	×	0		
598	J9-B1	13	10	133	93	97	15.77	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.62)	0.84	0.23	0.20	×	1		
599	J9-B1	13	10	134	197	109	15.67	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.43)	0.56	0.02	—	×	0		
600	J9-B1	13	10	135	160	140	15.72	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.99)	(2.71)	0.79	4.40	×	1		
601	J9-B1	13	10	136	173	134	15.73	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.23)	0.37	0.27	0.10	×	0		
602	J9-B1	13	10	138.2	183	117	15.59	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.29)	(2.35)	0.35	1.60	×	0		
603	J9-B1	18	10	140	10	134	15.72	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.41)	0.71	0.10	—	天	0		
604	J9-B1	18	10	142	17	164	15.66	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.85	0.57	0.09	—	天	0		
605	J9-B1	18	10	143	16	164	15.66	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.24	0.79	0.18	0.20	線	0		
606	J9-B1	18	10	144	18	175	15.71	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.39)	0.87	0.38	0.20	×	0		
607	J9-B1	18	10	145	26	146	15.72	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.40)	0.41	0.05	—	×	0		
608	J9-B1	18	10	147	40	140	15.77	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.43	2.17	0.42	0.90	自	0		
609	J9-B1	18	10	149	37	114	15.74	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.52	0.80	0.09	—	×	0		
610	J9-B1	18	10	150	55	143	15.66	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.19	1.16	0.23	0.20	×	0		
611	J9-B1	18	10	152	26	54	15.61	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.59)	0.98	0.28	0.30	×	0		
612	J9-B1	18	10	153	26	67	15.66	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(2.18)	1.43	0.38	0.60	×	0		
613	J9-B1	18	10	154	61	93	15.45	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.53)	(1.31)	0.40	0.60	×	0		
614	J9-B1	18	10	156	109	82	15.71	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.20	1.21	0.32	0.40	線	3		
615	J9-B1	18	10	157	85	168	15.75	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.97)	1.72	0.48	1.00	×	1		

No.	大グリッド	サブ リッド	石器 集中	遺物 No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然 面	接合	備考
616	J9-B1	18	10	158	100	156	15.66	Ⅱ-D	T	Ob	(1.52)	1.97	0.40	0.60	×	0		
617	J9-B1	18	10	162	151	102	15.76	Ⅱ-D	T	Ob	(0.95)	(1.92)	0.16	0.30	×	0		
618	J9-B1	19	10	169	65	26	15.76	Ⅱ-D	T	Ob	(1.85)	-0.86	0.32	0.50	×	4		
619	J9-B1	19	10	170	137	77	15.66	Ⅱ-D	F	Ob	(2.25)	1.25	0.43	1.10	単	3		
620	J9-B1	13	10	175	161	137	15.61	Ⅱ-D	T	Ob	1.47	(0.73)	0.12	0.10	単	0		
621	J9-B1	13	10	176	165	146	15.61	Ⅱ-D	T	Ob	0.74	(0.30)	0.08	—	単	0		
622	J9-B1	18	10	178	134	44	15.68	Ⅱ-D	T	Ob	(1.28)	(1.50)	0.26	0.30	×	0		
623	J9-B1	18	10	179	15	179	15.62	Ⅱ-D	T	Ob	(1.61)	(1.21)	0.27	0.40	×	0		
624	J9-B1	19	10	182	73	46	15.50	Ⅱ-D	T	GA	(1.40)	1.75	0.34	0.90	×	0		
625	J9-B1	19	10	183	163	18	15.59	Ⅱ-D	T	Ob	(1.80)	(0.93)	0.24	0.30	×	1		
626	J9-B1	18	10	184	17	189	15.57	Ⅱ-D	T	Ob	(0.61)	-0.88	0.22	0.10	×	0		
627	J9-B1	18	10	185	8	181	15.47	Ⅱ-D	F	Ob	(1.92)	1.01	0.30	0.60	×	0		
628	J9-B1	18	10	186	42	155	15.54	Ⅱ-D	T	Ob	-1.10	1.29	0.42	0.50	×	0		
629	J9-B1	18	10	187.1	57	140	15.54	Ⅱ-D	T	Ob	(1.24)	(1.22)	0.28	0.20	×	0		
630	J9-B1	18	10	187.2	57	140	15.54	Ⅱ-D	T	Ob	(0.63)	0.47	0.07	—	×	0		
631	J9-B1	18	10	188	45	140	15.65	Ⅱ-D	T	Ob	(0.25)	(0.38)	0.10	—	×	0		
632	J9-B1	18	10	189	39	134	15.64	Ⅱ-D	T	Ob	(0.63)	0.93	0.12	—	×	0		
633	J9-B1	18	10	190	22	131	15.56	Ⅱ-D	T	Ob	(0.83)	0.60	0.05	—	×	0		
634	J9-B1	13	10	200	196	137	15.55	Ⅱ-D	T	Ob	0.68	0.49	0.07	—	天	1		
635	J9-B1	13	10	201	165	121	15.58	Ⅱ-D	T	Ob	0.75	0.86	0.18	0.10	複	0		
636	J9-B1	13	10	232	197	131	15.54	Ⅱ-D	T	Ob	(0.75)	0.86	0.21	—	×	0		
637	J9-B1	13	10	240.1	125	163	15.43	Ⅱ-D	T	Ob	(0.38)	0.44	0.09	—	単	4		
638	J9-B1	13	10	240.2	125	163	15.43	Ⅱ-D	T	Ob	(0.65)	0.35	0.17	—	×	0		
639	J9-B1	13	10	241	192	139	15.55	Ⅱ-D	T	Ob	1.06	0.58	0.13	—	天	1		
640	J9-B1	18	10	242	20	120	15.49	Ⅱ-D	F	Ob	2.64	1.57	0.48	1.80	×	4		
641	J9-B1	18	10	243	44	61	15.54	Ⅱ-D	T	Ob	(1.84)	1.00	0.55	0.70	×	0		
642	J9-B1	18	10	244	40	136	15.64	Ⅱ-D	T	Ob	1.12	1.30	0.40	0.40	単	0		
643	J9-B1	18	10	245	125	75	15.49	Ⅱ-D	T	Ob	1.79	2.14	0.44	1.30	単	1		
644	J9-B1	18	10	246	139	120	15.50	Ⅱ-D	T	Ob	0.77	0.82	0.16	—	単	0		
645	J9-B1	19	10	247	142	3	15.45	Ⅱ-D	T	Ob	(1.50)	1.25	0.19	0.40	×	4		
646	J9-B1	23	10	398	8	12	16.03	Ⅱ-D	T	Ob	(0.85)	1.07	0.25	0.20	天	0		
647	J9-B1	23	10	506	10	58	15.73	Ⅱ-D	T	Ob	(1.57)	1.76	0.32	0.80	×	0		
648	J9-B1	23	11	90	82	106	16.01	Ⅱ-D	F	Ob	(2.95)	(1.52)	0.73	1.90	×	1		
649	J9-B1	23	11	91	98	102	15.93	Ⅱ-D	T	Ob	(2.65)	(1.10)	0.23	0.30	×	2		
650	J9-B1	23	11	92	95	127	15.80	Ⅱ-D	T	Ob	(1.57)	0.84	0.15	0.20	×	0		
651	J9-B1	23	11	94	180	130	15.86	Ⅱ-D	T	Ob	(0.88)	(1.92)	0.47	0.60	×	4		
652	J9-B1	23	11	95	141	170	15.82	Ⅱ-D	T	Ob	(1.41)	(1.03)	0.35	0.30	×	0		
653	J9-B1	24	11	96	157	3	15.87	Ⅱ-D	T	Ob	(1.00)	(0.86)	0.13	0.10	天	0		
654	J9-B1	23	11	371	95	92	16.13	Ⅱ-D	F	GA	2.81	(1.89)	0.60	2.80	単	0		
655	J9-B1	23	11	397	164	75	15.91	Ⅱ-D	T	Ob	(1.16)	0.62	0.38	—	×	0		
656	J9-B1	23	11	399	110	177	16.08	Ⅱ-D	T	Ob	1.35	1.58	0.22	0.20	線	0		
657	J9-B1	24	11	403	148	169	15.59	Ⅱ-D	T	Ob	1.38	1.10	0.67	0.90	単	4		
658	J9-B1	23	11	420	77	181	15.97	Ⅱ-D	F	Ob	(1.77)	2.05	0.47	1.20	×	0		
659	J9-B1	23	11	421	124	175	15.96	Ⅱ-D	T	Ob	0.68	0.78	0.12	—	天	0		
660	J9-B1	23	11	422	138	196	15.95	Ⅱ-D	T	Ob	(2.16)	1.99	0.36	1.30	×	3		
661	J9-B1	24	11	425	57	63	15.90	Ⅱ-D	T	Ob	1.46	0.78	0.42	0.40	自	2		
662	J9-B1	24	11	426	124	124	15.96	Ⅱ-D	T	Ob	(1.42)	0.58	0.54	0.30	×	4		
663	J9-B1	23	11	448	120	102	15.82	Ⅱ-D	T	Ob	0.71	1.02	0.28	0.10	天	0		
664	J9-B1	23	11	450	187	150	15.82	Ⅱ-D	T	Ob	1.13	1.37	0.25	0.30	天	0		
665	J9-B1	23	11	451	153	143	15.82	Ⅱ-D	T	Ob	1.04	1.65	0.51	0.70	×	3		
666	J9-B1	23	11	452	190	193	15.77	Ⅱ-D	T	Ob	(1.20)	(0.93)	0.15	0.30	×	1		

No.	大ケリフ	少ケリフ	石器 集中	遺物 No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然 面	接合	備考
667	J9-B1	23	11	453	160	165	15.77	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.82)	(1.99)	0.71	5.10	白	1		
668	J9-B1	24	11	456	79	15	15.86	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.91)	0.72	0.13	—	×	0		
669	J9-B1	24	11	457	101	30	15.81	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.74	1.52	0.68	1.00	天	1		
670	J9-B1	24	11	459	142	101	15.73	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.02)	1.55	0.33	0.40	×	0		
671	J9-B1	24	11	460	19	82	15.87	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	(2.09)	(3.21)	0.61	3.80	単	0		
672	J9-B1	24	11	461	188	140	15.82	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.59	0.68	0.22	0.20	天	0		
673	J9-B1	24	11	462	199	193	15.54	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	4.00	1.83	0.40	3.30	単	0		
674	J9-B1	23	11	482	155	121	15.70	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.13)	1.20	0.28	0.40	×	0		
675	J9-B1	23	11	483	150	147	15.74	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	(0.50)	(0.98)	0.35	—	×	0		
676	J9-B1	23	11	484	80	112	15.72	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.55)	1.95	0.41	—	×	0		
677	J9-B1	23	11	488	107	197	15.73	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	1.92	3.15	0.58	3.10	単	2		
678	J9-B1	24	11	489	158	11	15.78	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.30	2.95	0.47	2.10	単	1		
679	J9-B1	24	11	491	171	42	15.76	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.83)	(1.49)	0.52	0.50	×	0		
680	J9-B1	24	11	492	172	62	15.80	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.11)	0.62	0.15	—	×	0		
681	J9-B1	24	11	494	7	30	15.76	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.28	1.10	0.22	0.20	白	0		
682	J9-B1	24	11	495	24	63	15.73	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.36)	0.55	0.45	0.20	×	1		
683	J9-B1	24	11	496	1	86	15.74	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.18)	0.99	0.56	0.50	×	4		
684	J9-B1	24	11	498	76	120	15.72	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.31)	-1.65	0.45	0.70	×	4		
685	J9-B1	24	11	500	182	86	15.74	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	(1.82)	1.35	0.69	1.40	×	1		
686	J9-B1	24	11	502	193	116	15.75	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.47	0.84	0.33	0.20	白	0		
687	J9-B1	24	11	503	182	139	15.79	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.62	0.57	0.12	—	単	0		
688	J9-B1	24	11	504	159	154	15.68	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.33	1.05	0.21	0.40	×	0		
689	J9-B1	24	11	507	132	137	15.63	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	(2.44)	(3.12)	0.54	3.20	×	0		
690	J9-B1	23	11	510	194	50	15.70	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.22	1.28	0.38	0.40	白	0		
691	J9-B1	23	11	512	88	133	15.61	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.63)	1.10	0.19	—	×	0		
692	J9-B1	23	11	517	174	159	15.64	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.22)	(0.44)	0.15	—	×	0		
693	J9-B1	23	11	519	114	173	15.67	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	(0.57)	1.28	0.50	0.30	×	0		
694	J9-B1	24	11	521	170	7	15.61	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.95)	0.90	0.42	0.30	×	0		
695	J9-B1	24	11	522	136	7	15.66	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.53)	0.54	0.28	0.20	×	2		
696	J9-B1	24	11	524	125	31	15.70	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.47	1.60	0.38	0.80	天	1		
697	J9-B1	24	11	526	165	53	15.73	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.00	1.31	0.30	0.30	複	2		
698	J9-B1	24	11	527	109	60	15.57	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.10	1.28	0.29	0.90	単	0		
699	J9-B1	24	11	529	154	78	15.61	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.43)	(0.17)	0.06	—	×	0		
700	J9-B1	24	11	530	134	83	15.64	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(3.18)	1.87	0.75	2.70	×	0		
701	J9-B1	24	11	532	174	108	15.60	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	(1.38)	(2.34)	0.23	0.70	×	4		
702	J9-B1	24	11	533	197	145	15.65	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.67)	2.35	0.66	2.80	×	0		
703	J9-B1	23	11	552	127	140	15.65	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.59	0.92	0.18	—	天	0		
704	J9-B1	23	11	553	126	157	15.58	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.00	1.20	0.52	0.30	線	1		
705	J9-B1	23	11	554	191	164	15.57	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.40	1.57	0.37	0.50	天	4		
706	J9-B1	23	11	556	81	195	15.60	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	1.09	1.40	0.50	0.50	単	0		
707	J9-B1	23	11	557	94	192	15.59	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.92)	1.25	0.18	0.20	×	0		
708	J9-B1	23	11	558	112	175	15.61	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.72)	(0.38)	0.13	—	×	0		
709	J9-B1	23	11	560	120	192	15.54	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.62)	0.86	0.41	0.40	×	0		
710	J9-B1	23	11	562	166	193	15.61	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	2.21	1.24	0.31	0.70	天	0		
711	J9-B1	24	11	563	76	16	15.60	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.88)	(1.13)	(0.45)	0.30	×	0		
712	J9-B1	24	11	566	143	15	15.61	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.53)	(0.98)	(0.02)	0.10	×	0		
713	J9-B1	24	11	567	70	34	15.59	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.53)	0.44	0.23	—	×	0		
714	J9-B1	24	11	568	113	23	15.61	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	4.89	3.09	1.34	14.50	複	2		
715	J9-B1	24	11	569	129	33	15.68	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.78)	(0.37)	0.20	—	×	0		
716	J9-B1	24	11	572	88	65	15.66	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.64)	0.49	0.24	—	×	0		
717	J9-B1	24	11	574	135	63	15.51	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.84	1.30	0.24	0.10	白	0		

No.	大グリッド	少グリッド	石器 集中	遺物 No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然 面	接合	備考
718	J9-B1	24	11	577	179	57	15.56	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.64)	0.47	0.28	—	×	2		
719	J9-B1	24	11	578	153	76	15.58	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	3.16	1.68	0.67	2.30	自	0		
720	J9-B1	24	11	579	170	86	15.51	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.54)	1.42	0.11	—	×	0		
721	J9-B1	24	11	580	197	81	15.57	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.10)	(1.25)	0.21	0.20	×	4		
722	J9-B1	24	11	583.1	141	141	15.54	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.51)	2.00	0.78	2.60	複	3		
723	J9-B1	24	11	583.2	141	141	15.54	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.92	0.96	0.30	0.20	×	3		
724	J9-B1	23	11	585	108	65	15.62	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.66)	1.82	0.49	1.20	自	1		
725	J9-B1	23	11	613	155	195	15.52	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.25	1.22	0.12	—	天	0		
726	J9-B1	24	11	615	108	20	15.58	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	(0.40)	1.01	0.09	—	×	0		
727	J9-B1	24	11	618	156	65	15.52	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.23)	1.37	0.82	2.20	×	1		
728	J9-B1	24	11	637	158	70	15.50	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.57)	0.88	0.16	—	×	0		
729	J9-B1	24	11	638	124	28	15.56	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.92)	0.79	0.18	—	×	0		
730	J9-C1	4	11	3	22	48	15.84	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.24)	(0.89)	0.41	0.20	×	0		
731	J9-C1	4	11	4	37	48	15.83	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.94	0.98	0.14	—	線	0		
732	J9-C1	4	11	5	57	59	16.00	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	(1.92)	2.80	0.77	4.20	線	2		
733	J9-C1	4	11	6	44	79	15.84	Ⅱ-Ⅲ	T	Jas	(1.61)	1.50	0.31	0.50	×	0		
734	J9-C1	4	11	7	5	100	16.04	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	(2.84)	1.90	0.52	2.60	×	0		
735	J9-C1	4	11	8	70	60	15.78	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.85	1.36	0.26	0.40	天	0		
736	J9-C1	4	11	9	82	15	15.76	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	1.55	2.56	0.97	2.90	複	3		
737	J9-C1	4	11	10	122	18	16.00	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.35)	1.02	0.41	1.50	×	0		
738	J9-C1	4	11	11	145	31	15.91	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.96	1.34	0.19	0.20	線	0		
739	J9-C1	4	11	12	152	20	15.90	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.48	0.73	0.31	0.20	天	3		
740	J9-C1	4	11	13	110	59	15.70	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	(4.07)	2.74	0.94	8.20	×	0		
741	J9-C1	4	11	14	94	78	15.79	Ⅱ-Ⅲ	F	Jas	(1.84)	2.04	0.46	1.20	準	0		
742	J9-C1	4	11	15	122	53	15.79	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.38)	0.78	0.20	0.20	天	0		
743	J9-C1	4	11	17	133	67	15.75	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.53)	(0.53)	0.06	—	×	0		
744	J9-C1	4	11	18	132	80	15.81	Ⅱ-Ⅲ	T	Jas	(0.78)	1.51	0.14	0.10	×	0		
745	J9-C1	4	11	19	120	92	15.72	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	0.40	(0.78)	0.33	0.20	×	0		
746	J9-C1	4	11	20	176	98	15.84	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	(1.55)	1.05	0.35	0.40	×	0		
747	J9-C1	4	11	22	162	183	16.10	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.47	2.33	0.71	4.60	×	1		
748	J9-C1	4	11	23	177	2	15.93	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.70)	(0.60)	0.07	—	×	0		
749	J9-C1	5	11	24	56	46	15.74	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.03	0.98	0.17	0.10	線	0		
750	J9-C1	5	11	25	45	77	15.86	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.43)	1.28	0.34	0.60	×	0		
751	J9-C1	5	11	26	143	130	15.73	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.23)	1.70	0.89	1.40	×	0		
752	J9-C1	9	11	27	7	3	16.01	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(2.03)	(1.90)	0.23	0.50	×	0		
753	J9-C1	9	11	28	42	52	15.78	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.07)	0.69	0.33	—	×	1		
754	J9-C1	3	11	144	192	164	16.24	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	1.99	2.76	0.93	2.40	複	0		
755	J9-C1	2	11	159	69	196	15.85	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.49	1.45	0.57	0.70	線	1		
756	J9-C1	3	11	167	96	13	15.85	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.24)	(1.97)	0.37	0.40	×	2		
757	J9-C1	3	11	168	116	10	15.87	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.38	2.72	1.10	5.10	天	4		
758	J9-C1	3	11	171.1	54	71	15.97	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.98)	1.88	0.41	0.40	×	4		
759	J9-C1	3	11	171.2	54	71	15.97	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.21)	(0.80)	(0.50)	0.20	×	0		
760	J9-C1	3	11	173	65	161	15.98	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.75	3.45	1.58	15.40	準	2		
761	J9-C1	3	11	174	128	188	15.87	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.63	1.76	0.59	1.70	準	0		
762	J9-C1	4	11	175	122	4	15.94	Ⅱ-Ⅲ	T	B.Sh	(0.70)	0.94	0.16	—	×	0		
763	J9-C1	4	11	176	99	17	15.86	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	2.75	2.54	0.92	6.30	準	0		
764	J9-C1	4	11	177	18	56	15.66	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	(0.65)	0.82	0.12	—	×	0		
765	J9-C1	4	11	178	33	43	15.72	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.78	0.96	0.13	—	線	0		
766	J9-C1	4	11	179	31	80	15.51	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.92	0.77	0.08	—	×	0		
767	J9-C1	4	11	180	52	46	15.96	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(0.99)	(1.88)	0.33	0.50	複	2		
768	J9-C1	4	11	182	49	102	15.66	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.57	1.25	0.61	0.70	×	1		

No.	大ケリフ	少ケリフ	石器 集積	遺物 No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (mm)	重さ (g)	打面	自然 面	接合	備考
769	J9-C1	4	11	185	116	97	15.69	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.87)	0.77	0.53	0.10	×	1		
770	J9-C1	4	11	186	109	134	15.70	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	(0.98)	1.58	0.38	0.50	×	2		
771	J9-C1	4	11	187	147	57	15.80	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	1.15	1.73	0.50	0.70	自	3		
772	J9-C1	4	11	188	130	79	15.80	Ⅱ-Ⅲ	T	Jas	(1.25)	1.08	0.10	0.20	×	0		
773	J9-C1	9	11	191	9	21	15.68	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.82)	0.73	0.08	—	×	0		
774	J9-C1	9	11	192	54	119	15.80	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	2.26	1.19	0.41	0.70	天	0		
775	J9-C1	9	11	193	60	165	15.66	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.19)	(0.60)	0.52	0.30	×	0		
776	J9-C1	5	11	194	133	19	15.57	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.96	2.68	0.33	0.90	単	0		
777	J9-C1	3	11	214	146	29	15.79	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.97	2.50	0.30	3.40	×	1		
778	J9-C1	3	11	215	80	117	15.83	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	(1.05)	1.62	0.45	0.30	×	0		
779	J9-C1	3	11	216	22	170	15.77	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(2.17)	1.64	0.37	0.80	×	0		
780	J9-C1	3	11	217	45	183	15.78	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.68)	0.60	0.17	—	×	0		
781	J9-C1	3	11	218	198	163	15.67	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.25)	0.44	0.16	—	×	0		
782	J9-C1	4	11	219	150	15	15.81	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	(1.70)	1.98	0.28	0.90	×	0		
783	J9-C1	4	11	222	125	109	15.61	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	2.42	(1.48)	0.84	1.60	攪	0		
784	J9-C1	4	11	223	140	75	15.62	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.17)	(0.92)	0.17	0.40	×	0		
785	J9-C1	4	11	224	119	130	15.60	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.27)	1.98	0.38	0.40	×	2		
786	J9-C1	3	11	249	155	166	15.67	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.37)	1.21	0.48	1.00	天	1		
787	J9-C1	3	11	251	19	186	15.72	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	5.54	4.28	1.09	13.30	自	0		
788	J9-C1	4	11	252	147	8	15.80	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.83	0.99	0.02	—	×	3		
789	J9-C1	4	11	253	125	150	15.47	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.79	0.69	0.16	0.10	線	0		
790	J9-C1	4	11	261	147	9	15.71	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.13	1.41	0.24	0.20	×	0		
791	J9-C1	4	11	262	48	132	15.46	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	3.10	4.20	0.80	8.80	単	0		
792	J9-C1	13	12	62	126	165	15.78	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.14	2.59	0.76	5.80	自	4		
793	J9-C1	13	12	63	48	191	15.70	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	(2.90)	(2.51)	1.09	6.10	×	0		
794	J9-C1	13	12	64	165	167	15.63	Ⅱ-Ⅲ	F	G.Da	3.61	2.87	0.51	4.70	×	0		
795	J9-C1	18	12	82	20	137	15.81	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.15	0.75	0.32	—	自	0		
796	J9-C1	18	12	83	29	177	15.75	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.10	1.95	0.31	0.80	×	0		
797	J9-C1	10	12	195	116	79	15.69	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.52	2.04	0.62	1.70	自	4		
798	J9-C1	14	12	288	27	174	15.82	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.80)	1.15	0.25	0.30	×	0		
799	J9-C1	14	12	289	58	138	15.82	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	(1.79)	1.46	0.78	1.50	×	0		
800	J9-C1	14	12	290	187	22	15.90	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.20	2.72	0.60	4.80	単	3		
801	J9-C1	14	12	291	160	129	15.96	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.02)	1.02	1.04	1.00	×	1		
802	J9-C1	15	12	293	30	59	16.00	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	2.28	1.55	0.50	1.40	単	1		
803	J9-C1	15	12	294	72	33	15.91	Ⅱ-Ⅲ	T	G.Da	(1.30)	1.66	0.34	0.80	×	0		
804	J9-C1	14	12	349	3	38	15.79	Ⅱ-Ⅲ	T	G.Da	(1.20)	1.72	0.28	0.70	×	0		
805	J9-C1	14	12	351	53	15	15.73	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.76)	0.26	0.04	—	×	0		
806	J9-C1	14	12	355	161	35	15.65	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.26	1.43	0.44	0.80	単	0		
807	J9-C1	14	12	356	197	9	15.59	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.32)	2.08	0.54	1.20	×	0		
808	J9-C1	14	12	357	196	25	15.80	Ⅱ-Ⅲ	F	G.Da	3.60	4.38	1.06	18.80	単	0		
809	J9-C1	14	12	358	191	76	15.67	Ⅱ-Ⅲ	F	G.Da	(2.79)	4.22	0.59	3.90	×	4		
810	J9-C1	14	12	360	189	95	15.74	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.37	0.16	0.13	—	自	0		
811	J9-C1	14	12	361	180	90	15.74	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.97	0.92	0.30	0.20	天	0		
812	J9-C1	14	12	362	146	62	15.62	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.64)	1.13	0.19	0.40	×	0		
813	J9-C1	14	12	363	118	57	15.61	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.70)	0.48	0.20	—	×	0		
814	J9-C1	14	12	365	114	88	15.59	Ⅱ-Ⅲ	T	G.Da	(0.87)	1.60	0.22	0.40	×	0		
815	J9-C1	14	12	367	58	87	15.74	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	(3.52)	1.98	0.57	3.30	×	0		
816	J9-C1	14	12	369	35	97	15.54	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.21	1.15	0.31	0.60	天	0		
817	J9-C1	14	12	370	34	114	15.67	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	(1.57)	2.08	2.45	2.00	自	1		
818	J9-C1	14	12	371	48	119	15.73	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.35)	2.20	0.92	1.90	×	0		
819	J9-C1	14	12	372	92	113	15.77	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.73	0.54	0.10	—	×	0		

No.	大グリッド	少グリッド	石器 集中	遺物 No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然 面	接合	備考
820	J9-C1	14	12	373	190	110	15.57	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.86	0.35	0.14	—	単			0
821	J9-C1	14	12	375	178	135	15.56	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.77)	(1.09)	0.53	0.70	×			3
822	J9-C1	14	12	377	162	193	15.60	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.98)	1.44	0.38	1.30	×			0
823	J9-C1	14	12	381	91	153	15.62	Ⅱ-Ⅲ	F	G.Da	(2.98)	4.09	1.20	13.30	単			0
824	J9-C1	14	12	382	88	165	15.57	Ⅱ-Ⅲ	T	G.Da	1.15	1.63	0.29	0.50	×			0
825	J9-C1	14	12	384	54	148	15.65	Ⅱ-Ⅲ	T	G.Da	(2.32)	1.62	0.69	2.70	×			0
826	J9-C1	15	12	390	27	80	15.67	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.08)	2.08	0.35	1.30	×			0
827	J9-C1	15	12	394	157	182	15.73	Ⅱ-Ⅲ	T	G.Da	1.20	2.09	0.37	1.10	×			0
828	J9-C1	14	12	400	186	78	15.65	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.08	0.76	0.13	—	天			0
829	J9-C1	14	12	401	197	94	15.70	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	1.88	1.59	0.22	0.40	×			0
830	J9-C1	14	12	404	110	80	15.53	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.58	0.56	0.19	—	線			3
831	J9-C1	14	12	405	95	79	15.65	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.48)	1.53	0.31	0.60	×			0
832	J9-C1	14	12	406	81	85	15.67	Ⅱ-Ⅲ	T	G.Da	1.58	1.41	0.70	1.30	×			0
833	J9-C1	14	12	409	34	106	15.51	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	(1.33)	0.64	0.12	—	×			0
834	J9-C1	14	12	410	26	118	15.52	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.09)	2.00	0.62	3.10	白			4
835	J9-C1	14	12	415	74	146	15.60	Ⅱ-Ⅲ	F	G.Da	(0.90)	2.31	0.47	0.90	×			0
836	J9-C1	14	12	416	89	121	15.63	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	(2.36)	1.37	0.56	1.80	×			0
837	J9-C1	14	12	417	150	146	15.54	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.30	1.08	0.14	—	×			0
838	J9-C1	14	12	418	167	188	15.54	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.39)	1.78	0.42	0.60	×			0
839	J9-C1	15	12	419	144	186	15.77	Ⅱ-Ⅲ	T	G.Da	(1.17)	(1.55)	0.52	0.90	×			0
840	J9-C1	14	12	420	181	75	15.65	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.71	0.15	0.07	—	×			2
841	J9-C1	14	12	460	134	83	15.42	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.98	0.69	0.31	0.40	白			0
842	J9-C1	18	13	84	191	175	15.61	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.11)	2.63	0.30	1.60	×			4
843	J9-C1	23	13	86	94	60	15.88	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.15)	1.71	0.55	1.00	×			0
844	J9-C1	23	13	88	57	68	15.90	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.05)	(1.25)	0.15	0.10	×			0
845	J9-C1	23	13	89	107	63	15.55	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.93	0.63	0.13	—	単			0
846	J9-C1	23	13	90	109	92	15.66	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.94)	1.25	0.45	1.00	×			4
847	J9-C1	23	13	91	87	104	15.67	Ⅱ-Ⅲ	PC	Ob	2.65	1.69	0.73	3.20	×			0
848	J9-C1	23	13	92	105	121	15.58	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.84	1.35	0.59	0.20	天			1
849	J9-C1	23	13	94	102	142	15.55	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.72)	1.05	0.52	0.50	×			2
850	J9-C1	23	13	95	115	142	15.58	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	5.40	7.00	1.40	33.10	単			0
851	J9-C1	23	13	97	88	167	15.92	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.20	0.65	0.13	—	線			0
852	J9-C1	23	13	98	195	166	15.60	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.70	1.11	0.23	0.30	白			0
853	J9-C1	23	13	130	60	122	15.46	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.47	0.51	0.12	—	天			4
854	J9-C1	23	13	132	123	67	15.34	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.10)	2.37	0.44	3.20	×			1
855	J9-C1	23	13	135	127	158	15.81	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.43	0.86	0.18	0.20	天			0
856	J9-C1	23	13	136	177	163	15.53	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.18)	1.47	0.20	0.10	×			1
857	J9-D1	4	13	4	40	25	15.69	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.58)	1.05	0.46	0.40	×			0
858	J9-D1	4	13	5	68	24	15.70	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.18)	2.36	0.41	1.60	単			0
859	J8-C10	14	14	37.2	164	198	15.81	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	2.01	2.25	0.48	2.10	単			4
860	J8-C10	14	14	38	180	102	15.86	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.25	2.77	0.64	4.10	単			0
861	J8-C10	14	14	97	148	50	15.62	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.05)	(1.37)	0.15	0.10	×			0
862	J8-C10	14	14	101	123	113	15.60	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	(1.08)	0.99	0.20	0.10	×			0
863	J8-C10	14	14	208	186	67	15.53	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	2.64	4.00	0.92	8.90	白			2
864	J8-C10	14	14	229	84	104	15.47	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.86	1.13	0.13	—	×			0
865	J8-C10	19	14	235	10	46	15.51	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	1.45	(1.83)	0.35	0.90	×			0
866	J8-C10	19	14	237	49	54	15.71	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.29)	(1.79)	0.50	1.00	×			0
867	J8-C10	19	14	238	125	66	15.56	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	1.63	2.59	0.40	2.10	単			0
868	J8-C10	19	14	239	146	48	15.45	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(3.13)	2.18	0.50	2.50	×			0
869	J8-C10	19	14	241	95	91	15.46	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.83	1.68	0.48	1.70	天			0
870	J8-C10	19	14	242	10	187	15.75	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.36	2.13	0.35	1.70	線			0

No.	大ケリ	少ケリ	石器集中	遺物No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (mm)	重さ (g)	打面	自然面	接合	備考
871	J8-C10	19	14	243	40	192	15.62	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.56)	1.20	0.26	—	×	0		
872	J8-C10	19	14	245	65	184	15.41	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.40	2.55	0.46	3.80	×	4		
873	J8-C10	19	14	247	100	169	15.39	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.08)	(0.67)	0.29	—	×	0		
874	J8-C10	19	14	248	100	123	15.46	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	(3.04)	2.37	0.56	3.20	×	0		
875	J8-C10	19	14	250	195	196	15.66	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	1.84	2.08	0.47	1.70	Ⅱ	Ⅱ	0	
876	J8-C10	20	14	252	84	12	15.42	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	6.44	5.16	2.13	59.50	Ⅱ	Ⅱ	0	
877	J8-C10	20	14	254	70	30	15.39	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.11	2.06	0.37	1.40	Ⅱ	Ⅱ	0	
878	J8-C10	20	14	256	47	97	15.52	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.83	1.27	0.62	2.00	Ⅱ	Ⅱ	2	
879	J8-C10	20	14	257	85	74	15.69	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.73	1.24	0.40	0.60	Ⅱ	Ⅱ	1	
880	J8-C10	25	14	261	40	10	15.58	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	1.43	2.28	0.25	1.00	×	0		
881	J8-C10	19	14	263	13	117	15.28	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	2.46	3.44	0.63	5.40	×	0		
882	J8-C10	19	14	267	59	152	15.28	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	2.09	1.41	0.36	0.60	Ⅱ	Ⅱ	0	
883	J8-C10	19	14	269	87	52	15.32	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	4.65	2.41	0.41	3.20	線	Ⅱ	1	
884	J8-C10	19	14	270	113	86	15.31	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.43	1.72	0.40	1.10	Ⅱ	Ⅱ	1	
885	J8-C10	19	14	272	140	68	15.37	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.75)	2.17	0.36	1.10	×	3		
886	J8-C10	19	14	273	160	113	15.30	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.51	1.21	0.25	0.40	×	0		
887	J8-C10	24	14	280	16	65	15.19	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	(2.50)	2.36	0.71	4.10	Ⅱ	Ⅱ	0	
888	J8-C10	5	15	3	196	193	15.78	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.56)	1.90	0.29	0.90	×	0		
889	J8-C10	9	15	4	19	155	15.87	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.50	2.49	1.37	0.60	Ⅱ	Ⅱ	4	
890	J8-C10	9	15	5	8	145	15.80	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	1.28	2.44	0.23	0.60	×	3		
891	J8-C10	9	15	6	82	180	15.83	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.58	0.83	0.05	—	天	Ⅱ	0	
892	J8-C10	9	15	7	80	169	15.85	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.18)	1.12	0.20	0.10	×	0		
893	J8-C10	9	15	8	82	156	15.86	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.78)	1.07	1.29	1.70	×	0		
894	J8-C10	9	15	10.1	102	178	15.97	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.32	1.68	0.14	0.30	線	Ⅱ	0	
895	J8-C10	9	15	10.2	102	178	15.97	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.22	1.44	0.20	0.20	天	Ⅱ	0	
896	J8-C10	9	15	12	120	165	15.97	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(3.23)	(2.05)	0.41	2.30	Ⅱ	Ⅱ	0	
897	J8-C10	9	15	13	142	140	15.81	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.92	1.62	0.74	2.30	Ⅱ	Ⅱ	2	
898	J8-C10	9	15	14	172	196	15.86	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.55	1.45	0.09	0.20	天	Ⅱ	0	
899	J8-C10	9	15	15.1	182	152	15.85	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(3.44)	2.00	1.06	5.50	×	1		
900	J8-C10	9	15	15.2	182	152	15.85	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.73)	0.92	0.28	0.50	×	0		
901	J8-C10	9	15	16	178	100	15.95	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	4.33	1.43	0.12	2.80	×	1		
902	J8-C10	10	15	17	52	8	15.91	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.43	3.00	0.54	3.20	Ⅱ	Ⅱ	0	
903	J8-C10	10	15	18	82	10	15.90	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.50	1.24	0.37	0.60	Ⅱ	Ⅱ	0	
904	J8-C10	10	15	19.1	127	2	16.00	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.43	2.92	0.68	3.90	Ⅱ	Ⅱ	1	
905	J8-C10	10	15	19.2	127	2	16.00	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.89	0.97	0.13	—	Ⅱ	Ⅱ	0	
906	J8-C10	10	15	20	78	42	15.78	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	1.58	2.86	0.55	2.00	Ⅱ	Ⅱ	2	
907	J8-C10	10	15	22	116	48	15.90	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.90	1.46	0.16	—	線	Ⅱ	0	
908	J8-C10	10	15	23.1	144	33	15.95	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.53	(1.52)	0.32	0.30	天	Ⅱ	0	
909	J8-C10	10	15	23.2	144	33	15.95	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.98)	(1.38)	(0.32)	0.20	×	0		
910	J8-C10	10	15	23.3	144	33	15.95	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.47	0.52	0.17	—	線	Ⅱ	0	
911	J8-C10	10	15	23.4	144	33	15.95	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.42	(0.87)	0.20	—	×	0		
912	J8-C10	10	15	24	174	65	15.93	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(3.50)	(2.18)	0.43	0.90	×	0		
913	J8-C10	10	15	25	166	101	15.88	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	1.54	2.13	0.54	1.10	Ⅱ	Ⅱ	0	
914	J8-C10	10	15	26	138	136	15.88	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	1.48	2.22	0.41	0.90	Ⅱ	Ⅱ	0	
915	J8-C10	10	15	27	100	80	15.84	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.08	0.68	0.17	0.10	Ⅱ	Ⅱ	0	
916	J8-C10	10	15	28	70	105	15.87	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.08)	(2.33)	0.41	1.20	Ⅱ	Ⅱ	1	
917	J8-C10	10	15	29	85	130	15.80	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.49	0.49	0.13	—	線	Ⅱ	0	
918	J8-C10	10	15	30.1	70	142	15.82	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.97)	0.73	0.25	0.20	×	0		
919	J8-C10	10	15	30.2	70	142	15.82	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.18	0.55	0.26	0.20	Ⅱ	Ⅱ	0	
920	J8-C10	10	15	30.3	70	142	15.82	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.53)	0.43	0.25	—	×	0		
921	J8-C10	10	15	30.4	70	142	15.82	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.65)	0.25	0.11	—	×	2		

No.	大グリフ	少グ リフ	石器 集中	遺物 No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然 面	接合	備考
922	J8-C10	10	15	32	96	166	15.77	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.45	2.57	0.52	3.80	線	0		
923	J8-C10	10	15	34	10	146	16.23	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.09)	0.86	0.20	0.10	×	0		
924	J8-C10	14	15	35	32	154	15.81	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.92)	1.64	0.40	0.40	×	0		
925	J8-C10	9	15	43	19	81	15.68	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.37)	(1.51)	0.56	0.80	×	0		
926	J8-C10	9	15	44	45	82	15.64	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.52)	2.88	0.51	2.50	白	1		
927	J8-C10	9	15	45	26	153	15.66	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.44	1.09	0.27	0.30	単	0		
928	J8-C10	9	15	46	60	148	15.67	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.62)	(2.62)	0.47	1.40	単	0		
929	J8-C10	9	15	47	27	189	15.70	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(3.15)	1.16	0.41	0.80	×	0		
930	J8-C10	9	15	48	97	81	15.68	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.04	1.45	0.22	0.30	×	0		
931	J8-C10	9	15	50	108	102	15.73	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.78	3.15	0.52	2.40	複	0		
932	J8-C10	9	15	51	107	106	15.74	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.41	0.54	0.90	—	単	0		
933	J8-C10	9	15	53	100	176	15.91	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.40)	(1.65)	0.18	0.30	×	0		
934	J8-C10	9	15	54	109	191	15.78	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.60)	(1.78)	0.57	1.90	×	1		
935	J8-C10	9	15	55	113	174	15.69	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	2.05	1.20	0.42	0.80	白	2		
936	J8-C10	9	15	56	122	162	15.66	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.53	1.25	0.40	1.10	単	0		
937	J8-C10	9	15	57	135	147	15.64	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.36	1.20	0.13	0.20	×	0		
938	J8-C10	9	15	58	137	184	15.68	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.00)	0.68	0.12	—	単	0		
939	J8-C10	9	15	59	144	187	15.66	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.82	1.12	0.21	1.50	単	0		
940	J8-C10	9	15	60	152	186	15.66	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	1.42	1.34	0.25	0.30	線	0		
941	J8-C10	10	15	62	99	0	15.76	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.93)	3.38	0.52	1.90	×	2		
942	J8-C10	10	15	63	95	14	15.82	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.53)	0.84	0.13	—	×	1		
943	J8-C10	10	15	64	96	28	15.75	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.03	1.18	0.23	0.10	天	0		
944	J8-C10	10	15	65	116	27	15.69	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.82)	1.11	0.35	0.80	単	0		
945	J8-C10	10	15	66	135	13	15.67	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.98	1.55	0.20	0.40	×	0		
946	J8-C10	10	15	68	105	45	15.68	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.84	1.31	0.33	0.70	複	4		
947	J8-C10	10	15	69	136	47	15.69	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.75)	0.78	0.14	—	×	0		
948	J8-C10	10	15	70	135	58	15.70	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.15	0.94	0.20	0.20	×	0		
949	J8-C10	10	15	71	155	50	15.69	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.90)	0.95	0.20	—	×	4		
950	J8-C10	10	15	72	171	55	15.62	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.00	1.32	0.13	0.10	複	0		
951	J8-C10	10	15	73	106	71	15.67	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.52)	0.97	0.12	—	×	0		
952	J8-C10	10	15	74	135	72	15.67	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.54)	1.19	0.68	1.20	×	0		
953	J8-C10	10	15	75	145	85	15.65	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.72	1.36	0.22	—	天	0		
954	J8-C10	10	15	76	172	77	15.64	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.58	0.65	0.21	0.20	白	0		
955	J8-C10	10	15	78	131	94	15.73	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(3.10)	1.21	0.41	1.10	×	0		
956	J8-C10	10	15	79	117	96	15.72	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.38	0.18	0.08	—	天	0		
957	J8-C10	10	15	80	119	111	15.73	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.66)	0.30	0.22	—	×	4		
958	J8-C10	10	15	81	126	126	15.73	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.81	1.42	0.69	2.00	単	2		
959	J8-C10	10	15	82	115	154	15.73	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.62)	(0.62)	0.07	—	×	0		
960	J8-C10	10	15	83	174	137	15.71	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.31	1.70	0.45	1.30	単	0		
961	J8-C10	10	15	85	45	55	15.71	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.53	0.67	0.12	—	単	0		
962	J8-C10	10	15	86	60	68	15.72	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.26	2.90	0.90	3.80	単	0		
963	J8-C10	10	15	87	30	90	15.72	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.48)	1.03	0.13	0.20	×	0		
964	J8-C10	10	15	89	60	110	15.69	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.23)	(2.53)	0.54	2.40	×	1		
965	J8-C10	10	15	90	53	128	15.66	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.75	2.30	0.49	2.60	複	0		
966	J8-C10	10	15	91	73	98	15.70	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.20)	0.79	0.25	0.20	×	0		
967	J8-C10	10	15	92	77	144	15.70	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.80)	1.19	0.31	0.20	線	4		
968	J8-C10	10	15	93	72	118	15.61	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.30	2.19	0.46	2.80	単	2		
969	J8-C10	14	15	99	44	172	15.66	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	1.21	1.23	0.20	0.20	天	2		
970	J8-C10	14	15	102	13	98	15.68	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.50)	1.20	0.21	0.20	複	0		
971	J8-C10	15	15	103	4	163	15.68	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.82)	1.19	0.20	0.10	×	0		
972	J8-C10	15	15	105	89	111	15.60	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	3.55	4.07	0.82	9.90	×	0		

No.	大ケリフ	少ケリフ	石器 集中	遺物 No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然 面	接合	備考
973	J8-C10	15	15	108	27	102	15.63	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.53	1.92	0.49	1.70	線	0		0
974	J8-C10	9	15	109	20	150	15.63	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.71	0.60	0.15	—	線	0		0
975	J8-C10	9	15	110	25	186	15.66	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.99	0.76	0.15	0.30	単	0		0
976	J8-C10	9	15	111.1	65	149	15.64	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.46)	0.60	0.10	—	単	0		0
977	J8-C10	9	15	111.2	65	149	15.64	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.82)	0.55	0.15	—	×	2		0
978	J8-C10	9	15	113	120	175	15.66	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.11)	(0.53)	0.15	—	×	0		0
979	J8-C10	9	15	114	134	190	15.66	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.57	0.42	0.08	—	天	1		0
980	J8-C10	9	15	116	152	183	15.58	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.57	0.72	0.13	—	天	0		0
981	J8-C10	10	15	117	13	70	15.56	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.11)	0.67	0.14	—	×	0		0
982	J8-C10	10	15	118	48	21	15.72	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.36	0.35	0.01	—	天	0		0
983	J8-C10	10	15	119	47	52	15.68	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.25	1.23	0.37	0.30	単	0		0
984	J8-C10	10	15	120	47	74	15.61	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.25)	0.61	0.20	—	×	0		0
985	J8-C10	10	15	121	100	11	15.79	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.52)	0.54	0.11	—	線	0		0
986	J8-C10	10	15	122	116	1	15.66	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.73)	0.81	0.14	—	×	1		0
987	J8-C10	10	15	123	129	7	15.63	Ⅱ-Ⅲ	T	S.S	(0.85)	0.61	0.17	—	×	0		0
988	J8-C10	10	15	124	146	8	15.58	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.68	0.91	0.31	—	複	0		0
989	J8-C10	10	15	125	145	24	15.65	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.66	0.74	0.15	—	線	0		0
990	J8-C10	10	15	126	90	30	15.64	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.64)	(2.10)	(0.40)	0.40	×	4		0
991	J8-C10	10	15	128	106	44	15.65	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.98	3.07	0.43	3.90	単	1		0
992	J8-C10	10	15	129	103	66	15.63	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.43)	0.72	0.18	—	×	0		0
993	J8-C10	10	15	130	115	58	15.64	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.51	0.38	0.07	—	天	0		0
994	J8-C10	10	15	131	123	60	15.67	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.95	0.78	0.19	—	線	0		0
995	J8-C10	10	15	132	130	63	15.67	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.92)	0.45	0.19	—	×	0		0
996	J8-C10	10	15	133	149	50	15.64	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.70	0.24	0.11	—	単	0		0
997	J8-C10	10	15	134	157	60	15.59	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.39	1.26	0.39	0.40	白	0		0
998	J8-C10	10	15	135	160	65	15.58	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.45	0.39	0.06	—	×	0		0
999	J8-C10	10	15	136	155	82	15.61	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.91	0.17	0.21	—	×	0		0
1000	J8-C10	10	15	137	135	78	15.62	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.50	0.40	0.08	—	線	0		0
1001	J8-C10	10	15	138	149	100	15.61	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.92	0.89	0.20	—	白	0		0
1002	J8-C10	10	15	139	150	112	15.65	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.78)	0.27	0.13	—	×	2		0
1003	J8-C10	10	15	140	110	151	15.73	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.20)	0.60	0.13	—	×	0		0
1004	J8-C10	10	15	141	80	112	15.59	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.85)	0.61	0.16	—	×	0		0
1005	J8-C10	10	15	142	80	136	15.67	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.79)	1.56	0.39	0.30	×	0		0
1006	J8-C10	9	15	144	30	153	15.59	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.56)	0.74	0.16	—	×	0		0
1007	J8-C10	9	15	145	29	190	15.57	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.79	1.68	0.51	0.80	×	1		0
1008	J8-C10	9	15	146	84	184	15.54	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.30)	0.70	0.06	—	×	0		0
1009	J8-C10	9	15	147	113	188	15.69	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.80	0.43	0.13	—	単	1		0
1010	J8-C10	9	15	148	126	185	15.62	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.49	1.31	0.33	0.60	単	0		0
1011	J8-C10	9	15	149	137	195	15.65	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.51)	1.76	0.50	0.70	×	0		0
1012	J8-C10	10	15	150	137	99	15.64	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.30)	0.73	0.17	—	×	0		0
1013	J8-C10	10	15	151	154	66	15.58	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.53	1.54	0.35	0.70	単	3		0
1014	J8-C10	10	15	152	118	67	15.58	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.67	1.32	0.22	0.30	単	1		0
1015	J8-C10	10	15	153	108	69	15.59	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.21	2.10	0.29	1.20	単	0		0
1016	J8-C10	10	15	154.1	94	70	15.59	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.27	0.44	0.07	—	天	4		0
1017	J8-C10	10	15	154.2	94	70	15.59	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.49)	0.50	0.04	—	×	0		0
1018	J8-C10	10	15	155	107	58	15.60	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.44)	0.62	0.06	—	×	0		0
1019	J8-C10	10	15	156	109	49	15.63	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.00	1.83	0.38	1.40	×	0		0
1020	J8-C10	10	15	158	108	35	15.56	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.89)	0.78	0.18	—	×	0		0
1021	J8-C10	10	15	159	105	27	15.68	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.03	0.97	0.37	0.20	白	1		0
1022	J8-C10	10	15	160	108	19	15.62	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.52	1.43	0.23	0.50	単	0		0
1023	J8-C10	10	15	162	107	3	15.53	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.60	1.12	0.21	—	線	0		0

No.	大グリフ	少グ リフ	石器 集	遺物 No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然 面	接合	備考
1024	J8-C10	10	15	163.1	134	25	15.57	Ⅱ-D	T	Ob	1.29	1.17	0.38	0.30	単	4		
1025	J8-C10	10	15	163.2	134	25	15.57	Ⅱ-D	T	Ob	(0.13)	1.32	0.09	—	×	0		
1026	J8-C10	10	15	164	142	28	15.60	Ⅱ-D	T	S.S	0.82	1.17	0.25	0.10	単	0		
1027	J8-C10	10	15	165	141	48	15.60	Ⅱ-D	T	Ob	(0.38)	0.40	0.10	—	×	0		
1028	J8-C10	10	15	166	48	17	15.62	Ⅱ-D	T	Ob	(0.40)	0.69	0.21	—	×	0		
1029	J8-C10	10	15	167	31	31	15.56	Ⅱ-D	T	Ob	1.40	0.71	0.17	—	天	0		
1030	J8-C10	10	15	168	51	85	15.59	Ⅱ-D	T	Ob	1.04	1.19	0.13	0.10	単	0		
1031	J8-C10	10	15	169	67	103	15.58	Ⅱ-D	F	Ob	(2.70)	(2.69)	0.20	1.10	×	0		
1032	J8-C10	10	15	170	74	140	15.63	Ⅱ-D	F	Ob	3.83	2.74	0.70	6.80	白	1		
1033	J8-C10	10	15	171	130	101	15.69	Ⅱ-D	T	Ob	(0.78)	0.31	0.10	—	×	0		
1034	J8-C10	10	15	174	142	48	15.60	Ⅱ-D	T	Ob	0.88	1.56	0.28	0.30	単	0		
1035	J8-C10	10	15	175	122	22	15.55	Ⅱ-D	F	Ob	1.64	2.06	0.36	0.60	単	0		
1036	J8-C10	10	15	176	95	82	15.57	Ⅱ-D	T	Ob	1.37	0.96	0.23	0.20	天	0		
1037	J8-C10	10	15	177	89	78	15.58	Ⅱ-D	T	Ob	1.04	1.57	0.37	0.60	×	0		
1038	J8-C10	10	15	179	106	43	15.56	Ⅱ-D	F	Ob	1.71	1.46	0.39	0.70	天	0		
1039	J8-C10	9	15	180	82	181	15.55	Ⅱ-D	T	Ob	0.70	0.65	0.07	—	×	0		
1040	J8-C10	4	15	181	196	182	15.60	Ⅱ-D	T	Ob	1.34	0.88	0.19	0.20	単	0		
1041	J8-C10	5	15	182	75	64	15.63	Ⅱ-D	T	Ob	1.65	1.73	0.45	0.80	白	4		
1042	J8-C10	9	15	184	94	156	15.56	Ⅱ-D	T	Ob	0.63	0.44	0.25	—	白	2		
1043	J8-C10	9	15	185	100	168	15.58	Ⅱ-D	T	Ob	1.18	0.78	0.20	0.20	線	0		
1044	J8-C10	9	15	186	85	177	15.55	Ⅱ-D	T	Ob	(1.86)	1.69	0.15	0.40	×	0		
1045	J8-C10	10	15	187	13	2	15.59	Ⅱ-D	F	Ob	(1.77)	(0.93)	0.21	0.40	×	0		
1046	J8-C10	10	15	189	90	40	15.59	Ⅱ-D	T	Ob	(1.52)	0.93	0.23	0.20	×	0		
1047	J8-C10	10	15	190	102	36	15.59	Ⅱ-D	T	Ob	(0.60)	0.90	0.09	—	×	0		
1048	J8-C10	10	15	191	123	24	15.55	Ⅱ-D	T	Ob	0.84	1.27	0.24	0.20	線	2		
1049	J8-C10	10	15	192	120	40	15.58	Ⅱ-D	T	Ob	0.42	0.58	0.08	—	線	0		
1050	J8-C10	10	15	193	90	60	15.57	Ⅱ-D	F	Ob	(2.39)	2.88	0.65	2.30	白	2		
1051	J8-C10	10	15	194	91	91	15.55	Ⅱ-D	T	Ob	(0.99)	0.71	0.14	—	×	0		
1052	J8-C10	10	15	195	112	81	15.56	Ⅱ-D	T	Ob	1.22	0.18	0.25	0.10	線	0		
1053	J8-C10	10	15	196	104	103	15.55	Ⅱ-D	T	Ob	1.05	1.36	0.23	0.30	単	0		
1054	J8-C10	10	15	197	80	159	15.53	Ⅱ-D	T	Ob	1.41	0.62	0.22	—	×	0		
1055	J8-C10	10	15	198	95	164	15.53	Ⅱ-D	T	Ob	1.08	0.65	0.13	—	単	0		
1056	J8-C10	10	15	199	127	131	15.56	Ⅱ-D	T	Ob	0.78	1.21	0.23	0.20	線	0		
1057	J8-C10	10	15	200	136	98	15.55	Ⅱ-D	T	Ob	1.38	0.50	0.14	—	線	0		
1058	J8-C10	10	15	201	160	104	15.52	Ⅱ-D	T	Ob	0.93	0.72	0.15	—	単	0		
1059	J8-C10	10	15	202	162	80	15.55	Ⅱ-D	F	Ob	1.95	2.89	0.62	2.00	線	2		
1060	J8-C10	10	15	203	165	61	15.51	Ⅱ-D	T	Ob	1.54	1.05	0.28	0.40	線	0		
1061	J8-C10	10	15	204	138	49	15.57	Ⅱ-D	T	Ob	0.46	0.48	0.09	—	単	0		
1062	J8-C10	10	15	210	16	161	15.56	Ⅱ-D	T	GA	(1.95)	0.69	0.41	0.60	×	0		
1063	J8-C10	9	15	211	127	81	15.46	Ⅱ-D	T	Ob	0.82	1.05	0.16	—	単	1		
1064	J8-C10	9	15	212.1	155	92	15.52	Ⅱ-D	T	Ob	1.26	0.65	0.16	—	単	0		
1065	J8-C10	9	15	212.2	155	92	15.52	Ⅱ-D	T	Ob	(0.70)	0.90	0.14	—	×	0		
1066	J8-C10	9	15	213	168	82	15.50	Ⅱ-D	F	Ob	2.09	2.18	0.07	3.50	単	2		
1067	J8-C10	10	15	215	65	33	15.50	Ⅱ-D	T	Ob	(1.02)	0.96	0.12	—	×	0		
1068	J8-C10	10	15	216	74	38	15.50	Ⅱ-D	T	Ob	(1.48)	1.39	0.18	0.20	×	0		
1069	J8-C10	10	15	217	90	38	15.53	Ⅱ-D	T	Ob	1.26	0.81	0.15	0.10	線	0		
1070	J8-C10	10	15	218	110	93	15.54	Ⅱ-D	T	Ob	(0.86)	1.05	0.09	—	×	0		
1071	J8-C10	10	15	219	125	84	15.53	Ⅱ-D	T	Ob	0.87	1.44	0.25	0.30	白	0		
1072	J8-C10	10	15	220	122	89	15.53	Ⅱ-D	T	Ob	1.29	1.13	0.16	0.10	線	0		
1073	J8-C10	10	15	221	125	97	15.53	Ⅱ-D	T	Ob	(1.08)	1.01	0.14	—	×	0		
1074	J8-C10	10	15	222	124	87	15.53	Ⅱ-D	T	Ob	1.26	1.10	0.38	0.30	白	0		

No.	大ケリフ	少ケリフ	石器 集中	遺物 No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然 面	接合	備考
1075	J8-C10	10	15	223	121	64	15.48	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.67)	(0.65)	0.22	—	×	2		
1076	J8-C10	10	15	224	133	74	15.52	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.16	1.39	0.38	0.60	線	1		
1077	J8-C10	10	15	225	141	54	15.54	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.25)	1.13	0.41	0.50	×	2		
1078	J8-C10	10	15	226	138	49	15.51	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.36	1.75	0.32	0.70	線	0		
1079	J8-C10	10	15	227	164	82	15.52	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.35)	0.86	0.06	—	×	0		
1080	J8-C10	10	15	232	140	3	15.46	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.34	1.15	0.30	0.40	天	0		
1081	J8-C10	9	15	278	150	190	16.34	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.39	1.26	0.22	0.10	単	2		
1082	J8-C10	10	15	279	185	39	15.35	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.67	1.28	0.29	0.40	単	0		
1083	J9-C1	6	15	272	123	42	16.02	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.55)	1.70	0.33	0.50	×	0		
1084	J9-C1	6	15	273	124	65	16.35	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	1.90	4.23	1.16	8.30	自	0		
1085	J9-C1	6	15	338	88	56	15.78	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(3.83)	2.60	1.15	11.00	×	3		
1086	J9-C1	12	16	34	38	41	15.82	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.01)	1.86	0.64	1.90	×	2		
1087	J9-C1	12	16	35	59	37	15.73	Ⅱ-Ⅲ	F	Jas	4.60	4.04	1.18	16.10	複	0		
1088	J9-C1	12	16	36	105	82	15.75	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.45)	0.51	0.07	—	×	0		
1089	J9-C1	12	16	37	114	84	15.71	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.99)	1.83	0.17	0.50	×	0		
1090	J9-C1	12	16	38	80	104	15.68	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.28	0.89	0.33	0.40	単	0		
1091	J9-C1	12	16	39	118	114	15.65	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.65)	(0.66)	0.13	—	×	0		
1092	J9-C1	12	16	41	106	139	15.57	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.67)	0.42	0.15	—	×	1		
1093	J9-C1	12	16	42	136	142	15.76	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.47	0.55	0.12	—	×	0		
1094	J9-C1	12	16	43	124	15	15.61	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	2.15	1.47	0.33	0.50	天	0		
1095	J9-C1	12	16	44	148	15	15.72	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	2.91	(1.91)	0.41	1.50	複	0		
1096	J9-C1	12	16	46	168	47	15.83	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.53)	1.60	0.27	0.80	単	0		
1097	J9-C1	12	16	47	161	55	15.79	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.90)	1.01	0.22	0.20	×	0		
1098	J9-C1	12	16	48	137	66	15.80	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.39)	0.58	0.24	—	×	0		
1099	J9-C1	12	16	49	181	95	15.85	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	1.59	2.29	0.72	1.90	自	0		
1100	J9-C1	12	16	50	191	103	15.75	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.66)	1.20	0.22	0.20	単	0		
1101	J9-C1	12	16	51	162	100	15.58	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.40)	1.69	0.16	0.40	単	0		
1102	J9-C1	12	16	52	194	126	15.75	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.82	0.74	0.12	—	単	0		
1103	J9-C1	12	16	53	187	129	15.65	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.82	0.92	0.17	0.30	天	0		
1104	J9-C1	12	16	54	182	146	15.83	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.58)	1.27	0.31	0.50	複	0		
1105	J9-C1	12	16	55	174	155	15.78	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.37)	1.06	0.15	0.10	×	0		
1106	J9-C1	12	16	56	196	7	15.87	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.79	1.25	0.16	—	単	0		
1107	J9-C1	17	16	65	36	19	15.63	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.33	1.29	0.60	0.70	×	0		
1108	J9-C1	17	16	66	45	20	15.51	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.30)	0.58	0.10	0.10	×	0		
1109	J9-C1	17	16	68	8	50	15.51	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.02)	0.96	0.24	0.20	単	0		
1110	J9-C1	17	16	69	16	50	15.51	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.19	2.00	0.43	1.80	線	1		
1111	J9-C1	17	16	70	34	51	16.03	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.12)	0.84	0.60	1.00	×	0		
1112	J9-C1	17	16	71	35	73	15.76	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.20	1.41	0.54	0.50	複	0		
1113	J9-C1	17	16	72	21	95	15.61	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.86	1.32	0.22	0.20	線	4		
1114	J9-C1	17	16	73	26	126	15.56	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.94	0.14	0.17	0.20	単	3		
1115	J9-C1	17	16	74	6	150	15.75	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.60)	1.75	0.42	1.10	単	0		
1116	J9-C1	17	16	75	67	130	15.72	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.44)	0.74	0.21	—	×	0		
1117	J9-C1	17	16	76	146	7	15.61	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.68	1.03	0.36	0.70	自	1		
1118	J9-C1	17	16	77	140	84	15.67	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.65)	0.50	0.21	—	×	4		
1119	J9-C1	17	16	79	21	193	15.69	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	1.73	2.09	0.29	0.40	単	0		
1120	J9-C1	18	16	80	10	3	15.74	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.20	0.88	0.37	0.30	単	0		
1121	J9-C1	12	16	101	140	26	15.46	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.52	0.76	0.28	—	単	0		
1122	J9-C1	12	16	102	144	43	15.61	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.81)	1.07	0.17	0.20	×	0		
1123	J9-C1	12	16	103	142	48	15.62	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.26	1.67	0.21	0.20	単	4		
1124	J9-C1	12	16	104	148	60	15.72	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.29)	1.14	0.67	1.00	×	1		
1125	J9-C1	12	16	105	142	74	15.69	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.30	0.87	0.17	0.20	単	0		

No.	大グリッド	サブ グリッド	石器 集積	遺物 No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然 面	接合	備考
1126	J9-C1	12	16	106	163	86	15.50	Ⅱ-D	T	Ob	(0.81)	0.39	0.18	—	×	0		
1127	J9-C1	12	16	107	173	72	15.48	Ⅱ-D	F	Ob	(1.29)	1.66	0.37	0.40	縦	0		
1128	J9-C1	12	16	108	183	148	15.66	Ⅱ-D	T	Ob	(0.93)	0.42	0.11	—	×	2		
1129	J9-C1	12	16	109	175	85	15.51	Ⅱ-D	T	Ob	(1.03)	1.07	0.17	—	×	0		
1130	J9-C1	12	16	110	179	163	15.50	Ⅱ-D	T	Ob	1.20	1.21	0.39	0.30	単	1		
1131	J9-C1	12	16	111	194	79	15.36	Ⅱ-D	F	Ob	2.54	1.01	0.29	0.60	単	0		
1132	J9-C1	12	16	112	191	123	15.54	Ⅱ-D	T	Ob	0.88	1.43	0.22	—	天	0		
1133	J9-C1	17	16	115	20	76	15.41	Ⅱ-D	F	Ob	2.61	1.58	0.48	1.60	単	0		
1134	J9-C1	17	16	116	4	145	15.61	Ⅱ-D	T	Ob	(1.15)	0.67	0.19	0.10	×	0		
1135	J9-C1	18	16	122	8	12	15.49	Ⅱ-D	T	Ob	1.02	1.34	0.21	0.30	天	0		
1136	J9-C1	16	16	283	32	145	15.61	Ⅱ-D	F	Ob	(0.98)	(1.84)	(0.33)	0.40	×	1		
1137	J9-C1	16	16	285	100	133	15.86	Ⅱ-D	T	Ob	(1.23)	(0.95)	0.23	0.20	×	0		
1138	J9-C1	16	16	286	101	107	15.74	Ⅱ-D	T	Ob	0.75	1.20	0.26	0.20	縦	0		
1139	J9-C1	16	16	287	110	147	15.78	Ⅱ-D	T	Ob	(1.41)	0.66	0.48	0.30	×	1		
1140	J9-C1	11	16	342	140	152	15.57	Ⅱ-D	F	Ob	(2.88)	1.75	0.95	1.60	×	0		
1141	J9-C1	11	16	343	87	184	15.57	Ⅱ-D	T	GA	(0.60)	(1.03)	(0.15)	—	×	0		
1142	J9-C1	16	16	344	15	176	15.55	Ⅱ-D	F	Ob	(1.00)	1.52	0.24	0.30	×	4		
1143	J9-C1	16	16	346	60	172	15.49	Ⅱ-D	T	Ob	(1.25)	1.02	0.70	0.30	×	0		
1144	J9-C1	16	16	456	9	179	15.57	Ⅱ-D	F	Ob	1.71	2.33	0.53	1.80	白	4		
1145	J9-C1	16	16	457	12	178	15.57	Ⅱ-D	T	Ob	0.65	0.61	0.07	—	天	0		
1146	J9-C1	16	16	458	16	191	15.58	Ⅱ-D	T	Ob	0.73	0.93	0.12	—	天	0		
1147	J9-C1	16	16	459	26	159	15.46	Ⅱ-D	F	Ob	2.50	3.68	1.04	8.70	縦	1		
1148	J8-B10	25	17	19	165	121	15.82	Ⅱ-D	T	Ob	2.00	0.18	0.40	0.40	縦	0		
1149	J8-B10	25	17	23	142	141	15.69	Ⅱ-D	T	Ob	1.58	1.64	0.31	0.50	白	0		
1150	J9-B1	22	17	86	128	102	15.84	Ⅱ-D	F	Ob	3.43	(3.10)	0.53	3.30	単	1		
1151	J9-B1	22	17	87	150	131	15.80	Ⅱ-D	T	Ob	(1.90)	(0.87)	0.52	0.80	×	4		
1152	J9-B1	22	17	88	88	167	15.89	Ⅱ-D	T	Ob	0.93	1.10	0.13	0.10	天	0		
1153	J9-B1	22	17	264	151	108	16.22	Ⅱ-D	F	Ob	2.37	2.61	0.56	3.10	×	3		
1154	J9-B1	22	17	360	45	28	16.03	Ⅱ-D	T	Ob	1.08	1.90	0.38	0.40	白	1		
1155	J9-B1	22	17	361	47	72	16.00	Ⅱ-D	T	Ob	1.03	1.34	0.16	0.20	天	0		
1156	J9-B1	22	17	362	109	36	15.96	Ⅱ-D	T	Ob	(1.54)	0.13	0.30	0.30	×	1		
1157	J9-B1	22	17	363	100	82	16.30	Ⅱ-D	Co	Ob	2.68	2.19	1.71	4.70	×	2		
1158	J9-B1	22	17	364	98	113	16.12	Ⅱ-D	T	Ob	(0.40)	0.78	0.11	—	×	0		
1159	J9-B1	22	17	366	125	70	16.07	Ⅱ-D	T	Ob	(1.67)	0.59	0.37	0.20	天	0		
1160	J9-B1	22	17	367	145	53	15.99	Ⅱ-D	T	Ob	(1.13)	-1.28	0.17	—	×	0		
1161	J9-B1	22	17	368	156	79	15.95	Ⅱ-D	F	Ob	(2.20)	1.23	0.41	1.00	×	1		
1162	J9-B1	22	17	369	158	94	16.00	Ⅱ-D	T	Ob	(1.43)	0.95	0.15	0.10	×	0		
1163	J9-B1	22	17	373	77	72	15.95	Ⅱ-D	T	Ob	(1.63)	(1.37)	0.16	0.40	単	0		
1164	J9-B1	22	17	374	110	70	16.02	Ⅱ-D	T	Ob	1.61	1.42	0.67	1.00	単	2		
1165	J9-B1	22	17	375	177	153	16.03	Ⅱ-D	T	Ob	(0.77)	0.32	0.17	—	×	1		
1166	J9-B1	22	17	376	157	25	15.90	Ⅱ-D	T	Ob	(1.70)	1.03	0.20	0.40	×	1		
1167	J9-B1	22	17	377	184	45	15.83	Ⅱ-D	F	Ob	(2.22)	1.95	0.57	1.10	×	0		
1168	J9-B1	22	17	378	166	76	15.84	Ⅱ-D	T	Ob	1.75	1.08	0.43	0.70	縦	0		
1169	J9-B1	22	17	379	129	92	15.91	Ⅱ-D	F	Ob	2.93	1.78	0.50	2.30	白	4		
1170	J9-B1	22	17	380	80	42	15.89	Ⅱ-D	T	Ob	0.82	1.72	0.71	0.80	×	0		
1171	J9-B1	22	17	381	41	36	15.84	Ⅱ-D	T	Ob	0.87	1.32	0.24	—	白	0		
1172	J9-B1	22	17	382	59	82	15.94	Ⅱ-D	T	Ob	(1.82)	1.10	0.43	0.30	×	1		
1173	J9-B1	22	17	383	33	112	15.95	Ⅱ-D	T	Ob	(2.02)	(1.21)	0.42	0.90	天	1		
1174	J9-B1	22	17	384	114	14	15.79	Ⅱ-D	T	Ob	0.93	1.90	0.33	0.50	単	0		
1175	J9-B1	22	17	385	140	16	15.77	Ⅱ-D	T	Ob	(7.70)	1.26	0.18	—	×	0		
1176	J9-B1	22	17	387	185	30	15.78	Ⅱ-D	T	Ob	0.47	0.41	0.13	—	単	0		

No.	大ケリ	少ケリ	石器集中	遺物No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (g)	重さ (g)	打面	自然面	接合	備考
1177	J9-B1	22	17	388	189	57	15.84	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.94)	2.25	0.64	3.00	単	0		
1178	J9-B1	22	17	389	163	58	15.82	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.68	0.98	0.37	0.20	白	0		
1179	J9-B1	22	17	390	128	82	15.84	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.75)	(1.73)	(0.72)	2.00	×	1		
1180	J9-B1	22	17	392	197	106	15.72	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.06	0.80	0.86	0.10	白	2		
1181	J9-B1	22	17	393	170	165	15.85	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.82	1.63	0.51	1.60	白	0		
1182	J9-B1	22	17	394	85	167	15.87	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.93)	1.84	0.72	1.90	×	1		
1183	J9-B1	22	17	406	110	37	15.77	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.66)	1.63	0.34	0.30	×	1		
1184	J9-B1	22	17	407	135	43	15.73	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.80)	0.68	0.24	—	×	2		
1185	J9-B1	22	17	409	176	32	15.75	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.28)	(0.37)	0.20	—	×	0		
1186	J9-B1	22	17	410	163	54	15.72	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.80)	0.39	0.22	—	×	0		
1187	J9-B1	22	17	411	186	57	15.80	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	-1.12	1.03	0.08	—	×	0		
1188	J9-B1	22	17	413	188	80	15.74	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(3.05)	(1.63)	0.48	1.70	単	0		
1189	J9-B1	22	17	414	127	70	15.74	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.98	1.62	0.18	0.20	線	0		
1190	J9-B1	22	17	427	53	29	15.69	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.65	(0.46)	0.09	—	単	0		
1191	J9-B1	22	17	428	135	2	16.00	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(0.70)	2.08	0.21	0.30	×	0		
1192	J9-B1	22	17	429	137	1	15.88	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.99	1.45	0.21	0.50	天	1		
1193	J9-B1	22	17	430	126	17	15.62	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.15	1.71	0.28	0.40	天	1		
1194	J9-B1	22	17	432	166	20	15.71	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.15)	(1.53)	(0.51)	0.80	単	0		
1195	J9-B1	22	17	433	136	42	15.71	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.49)	(0.87)	0.12	—	×	4		
1196	J9-B1	22	17	436	196	41	15.66	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.07)	0.95	0.22	0.20	×	2		
1197	J9-B1	22	17	437	178	59	15.76	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.27	0.93	0.22	0.20	単	1		
1198	J9-B1	22	17	438	195	63	15.75	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.58)	(0.77)	0.16	—	×	0		
1199	J9-B1	22	17	439	168	83	15.66	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.84)	(0.50)	0.05	—	×	0		
1200	J9-B1	22	17	440	127	71	15.73	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.81	1.28	0.31	0.20	×	0		
1201	J9-B1	22	17	441	100	25	15.69	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.85	1.78	0.23	0.70	×	1		
1202	J9-B1	22	17	442	97	49	15.62	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.07)	(2.23)	(0.27)	0.30	×	0		
1203	J9-B1	21	17	464	84	0	15.98	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.16)	(1.51)	0.39	0.60	×	0		
1204	J9-B1	22	17	465	80	18	15.58	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.66	0.62	0.13	—	単	0		
1205	J9-B1	22	17	468	102	71	15.67	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.99	(0.94)	0.20	0.20	複	4		
1206	J9-B1	22	17	469.1	133	43	15.65	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.58	2.37	0.87	3.50	天	1		
1207	J9-B1	22	17	469.2	133	43	15.65	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.05)	(0.78)	0.55	0.20	×	4		
1208	J9-B1	22	17	470.1	147	22	15.69	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.53	1.04	0.91	0.20	線	0		
1209	J9-B1	22	17	470.2	147	22	15.69	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.50)	(0.53)	0.13	0.10	×	0		
1210	J9-B1	22	17	470.3	147	22	15.69	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.32)	(0.78)	0.08	—	×	0		
1211	J9-B1	22	17	472	178	25	15.71	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.91	0.42	0.13	—	複	0		
1212	J9-B1	22	17	473	176	8	15.63	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.18	1.07	0.32	0.20	単	0		
1213	J9-B1	22	17	474	136	22	15.69	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.13)	(0.63)	0.25	—	×	2		
1214	J9-B1	22	17	475	185	162	15.69	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.04)	1.08	0.23	0.20	×	1		
1215	J9-B1	22	17	476	148	107	15.63	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.65)	0.93	0.28	0.30	×	0		
1216	J9-B1	22	17	477	148	21	15.66	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.20	0.42	0.04	—	天	0		
1217	J9-B1	22	17	478	170	10	15.60	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.88)	(0.80)	0.15	—	×	1		
1218	J9-B1	22	17	509	175	37	15.57	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.78)	0.69	0.23	0.10	×	1		
1219	J9-B1	21	17	536	189	198	15.90	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.68	0.41	0.08	—	天	0		
1220	J9-B1	21	17	537	177	196	15.91	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.90	0.95	0.30	0.10	線	0		
1221	J9-B1	21	17	539	190	144	16.06	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.05)	2.30	0.61	2.10	×	2		
1222	J9-B1	21	17	541	187	127	15.99	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.98	1.56	0.23	0.30	白	0		
1223	J9-B1	21	17	542	160	87	16.00	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.17	1.18	0.22	0.20	天	0		
1224	J9-B1	21	17	543	177	93	16.16	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.97	0.65	0.17	—	天	0		
1225	J9-B1	21	17	544	200	134	15.58	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.94	(1.03)	0.13	—	単	0		
1226	J9-B1	21	17	545	165	62	16.04	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	2.19	1.52	0.33	0.80	単	1		
1227	J9-B1	21	17	546	103	173	15.90	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.97	0.95	0.43	0.50	複	0		

No.	大グリフ	少グリフ	石器 集中	遺物 No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然 面	接合	備考
1228	J9-B1	21	17	547	149	68	15.94	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	1.18	1.20	0.23	0.30	単	0		
1229	J9-B1	21	17	548	158	27	16.12	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(0.52)	(1.36)	0.26	—	×	0		
1230	J9-B1	21	17	551	50	10	15.79	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(0.67)	(1.12)	0.25	0.10	×	0		
1231	J9-B1	21	17	588	150	54	15.86	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	1.78	2.02	0.54	0.90	天	0		
1232	J9-B1	21	17	589	151	70	15.75	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	1.08	1.31	0.23	0.30	天	1		
1233	J9-B1	21	17	590	192	72	15.84	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	3.98	2.78	0.48	5.00	複	0		
1234	J9-B1	21	17	591	200	104	15.75	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	0.91	1.45	0.44	0.30	白	0		
1235	J9-B1	21	17	593	199	116	15.82	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	1.86	1.62	0.63	1.00	白	0		
1236	J9-B1	21	17	595	177	145	15.77	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	1.00	1.25	0.23	0.20	縁	0		
1237	J9-B1	21	17	596	155	127	15.86	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	1.03	1.10	0.27	0.30	複	0		
1238	J9-B1	21	17	599	127	165	15.73	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(4.54)	1.10	1.21	8.70	複	2		
1239	J9-B1	21	17	601	171	164	15.87	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	0.68	1.12	0.42	0.20	天	0		
1240	J9-B1	21	17	604	187	172	15.86	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	1.61	2.10	0.28	0.80	単	3		
1241	J9-B1	21	17	605	171	185	15.69	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	1.77	1.94	0.55	0.90	単	1		
1242	J9-B1	21	17	606	193	192	15.73	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	1.74	2.39	0.72	1.20	天	0		
1243	J9-B1	21	17	607	101	195	15.69	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(1.81)	1.30	0.59	1.20	×	0		
1244	J9-B1	22	17	609	145	95	15.55	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	0.71	1.08	0.03	—	縁	0		
1245	J9-B1	22	17	610	129	88	15.57	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(0.74)	(0.63)	0.10	—	×	0		
1246	J9-B1	22	17	611	48	149	15.54	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	2.80	1.82	0.74	2.40	白	0		
1247	J9-B1	21	17	619	186	199	15.68	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(1.53)	(1.30)	(0.25)	0.20	×	0		
1248	J9-B1	21	17	620	200	166	15.60	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(1.73)	1.25	0.32	0.40	×	0		
1249	J9-B1	21	17	621	193	146	15.80	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	0.92	1.48	0.34	0.50	天	0		
1250	J9-B1	21	17	623	176	177	15.72	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	1.65	1.99	1.20	2.70	複	0		
1251	J9-B1	21	17	624	175	143	15.66	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	0.93	1.06	0.36	0.20	単	0		
1252	J9-B1	21	17	625	146	158	15.73	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(1.25)	1.16	0.12	0.20	×	0		
1253	J9-B1	21	17	626	154	133	15.83	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	0.80	0.62	0.07	—	縁	0		
1254	J9-B1	21	17	630	135	192	15.65	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(1.13)	(1.11)	0.16	—	×	1		
1255	J9-B1	21	17	631	132	177	15.67	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(1.18)	0.74	0.29	0.10	×	2		
1256	J9-B1	21	17	632	127	166	15.73	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	0.33	(0.48)	0.08	—	縁	0		
1257	J9-B1	21	17	633	113	118	15.68	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	1.03	-1.53	0.19	0.20	単	0		
1258	J9-B1	21	17	634	71	177	15.67	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	0.89	0.68	0.13	—	×	0		
1259	J9-B1	21	17	635.1	50	128	15.70	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(1.47)	(2.75)	(0.32)	0.80	×	4		
1260	J9-B1	21	17	635.2	50	128	15.70	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	1.38	0.90	0.30	0.30	天	2		
1261	J9-B1	21	17	636	9	116	15.63	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	1.63	2.07	0.37	0.80	白	0		
1262	J9-B1	22	17	639	109	63	15.53	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	-0.87	1.00	0.35	0.20	×	0		
1263	J9-B1	22	17	640	130	58	15.53	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	1.26	1.67	0.29	0.50	白	0		
1264	J9-B1	22	17	641	142	132	15.79	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(1.57)	(1.40)	0.29	0.60	×	0		
1265	J9-B1	22	17	642	75	25	15.48	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(1.52)	1.38	0.40	0.40	×	0		
1266	J9-B1	21	17	643	152	63	15.45	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	(1.57)	(1.98)	(0.37)	0.80	×	1		
1267	J9-B1	21	17	644	200	143	15.79	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	0.71	1.47	0.29	0.20	単	0		
1268	J9-B1	21	17	645	192	151	15.74	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	1.98	1.32	0.77	0.90	白	0		
1269	J9-B1	21	17	647	153	153	15.60	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	0.65	0.72	0.10	—	天	0		
1270	J9-B1	22	17	650	148	70	15.43	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(0.90)	1.34	0.28	0.30	×	4		
1271	J9-B1	21	17	651	193	42	15.82	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(0.92)	1.84	0.31	0.20	単	0		
1272	J9-C1	2	17	140	15	109	15.95	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(1.32)	1.56	0.38	0.70	×	0		
1273	J9-C1	2	17	141	75	69	15.97	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	1.16	(0.64)	0.20	0.10	白	0		
1274	J9-C1	2	17	149	27	33	15.88	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(1.28)	1.13	0.46	0.40	×	0		
1275	J9-C1	2	17	151	36	65	15.87	Ⅳ-Ⅰ	F	Ob	2.25	2.92	0.67	3.40	複	0		
1276	J9-C1	2	17	152	50	79	15.84	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(0.66)	0.51	0.05	—	×	0		
1277	J9-C1	2	17	153	79	79	15.85	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(0.60)	0.64	0.16	—	×	0		
1278	J9-C1	2	17	154	95	72	15.82	Ⅳ-Ⅰ	T	Ob	(0.98)	1.15	0.12	—	×	0		

No.	大ケリフ	少ケリフ	石器 集中	遺物 No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然 面	接合	備考
1279	J9-C1	2	17	156	71	93	15.86	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.20	1.50	0.13	0.10	天	0		
1280	J9-C1	2	17	196	45	44	15.83	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.44	0.45	0.32	—	線	0		
1281	J9-C1	2	17	197	8	30	15.83	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.52	0.94	0.23	0.30	線	0		
1282	J9-C1	2	17	199	32	26	15.81	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.02)	1.80	0.18	0.20	×	0		
1283	J9-C1	2	17	201	48	23	15.84	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.41	0.30	0.07	—	天	0		
1284	J9-C1	2	17	202.1	65	6	15.87	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.95)	0.41	0.12	—	×	0		
1285	J9-C1	2	17	202.2	65	6	15.87	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.60)	0.39	0.12	—	×	0		
1286	J9-C1	2	17	203	99	28	15.83	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.60	0.90	0.14	—	線	0		
1287	J9-C1	2	17	204	162	23	15.82	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.05)	0.98	0.27	—	×	0		
1288	J9-C1	2	17	205	153	42	15.81	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	2.98	2.21	0.68	2.60	白	0		
1289	J9-C1	2	17	206	15	62	15.81	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.70	0.82	0.17	—	×	0		
1290	J9-C1	2	17	207	46	63	15.77	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	1.68	2.13	0.56	1.40	単	1		
1291	J9-C1	2	17	208	47	66	15.77	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	0.38	0.58	0.12	—	天	0		
1292	J9-C1	2	17	209	64	100	15.79	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.84	2.50	0.61	4.10	単	3		
1293	J9-C1	2	17	235	8	28	15.74	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(4.27)	1.16	0.44	1.40	×	2		
1294	J9-C1	2	17	236	40	11	15.78	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.19)	0.88	0.17	0.10	×	0		
1295	J9-C1	2	17	237	40	51	15.72	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.97)	0.42	0.15	—	×	0		
1296	J9-C1	2	17	238	34	75	15.66	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.38)	1.32	0.33	0.60	単	0		
1297	J9-C1	2	17	239	56	26	15.76	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.57)	2.40	0.34	0.70	×	0		
1298	J9-C1	2	17	240	72	19	15.80	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.64	1.16	0.35	0.40	単	0		
1299	J9-C1	2	17	241	92	37	15.77	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.55	1.59	0.20	0.40	白	0		
1300	J9-C1	2	17	242	70	74	15.64	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.13	2.56	0.43	3.00	単	1		
1301	J9-C1	2	17	244	151	45	15.72	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.33)	0.84	0.18	0.20	×	2		
1302	J9-C1	2	17	255	77	18	15.73	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.33)	1.73	0.89	2.40	単	0		
1303	J9-C1	2	17	257.1	80	19	15.68	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.95)	(1.06)	0.13	0.10	線	1		
1304	J9-C1	2	17	257.2	80	19	15.68	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.52)	(0.74)	0.52	—	×	0		
1305	J9-C1	2	17	258	93	30	15.72	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.73	2.97	1.15	0.30	白	3		
1306	J9-C1	2	17	259	51	77	15.65	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.20	1.22	0.10	0.20	線	0		
1307	J9-C1	2	17	260	76	77	15.64	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.36	0.65	0.23	—	単	1		
1308	J9-C1	2	17	266	88	12	15.59	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.78	(0.55)	0.21	—	×	0		
1309	J9-C1	1	17	268	29	125	16.01	Ⅱ-Ⅲ	Co	Ob	3.92	1.28	1.79	4.60	×	0		
1310	J9-C1	1	17	269	40	182	16.07	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.13)	1.38	0.41	0.50	×	1		
1311	J9-C1	2	17	298	48	48	15.43	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.58	0.72	0.14	—	×	1		
1312	J9-C1	1	17	299	39	110	15.99	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(2.71)	1.31	0.93	2.50	×	0		
1313	J9-C1	1	17	303	27	167	16.00	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.50	0.63	0.14	—	天	0		
1314	J9-C1	1	17	304	29	93	15.97	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.01)	1.54	0.19	0.30	白	0		
1315	J9-C1	1	17	306	37	50	15.66	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.75	0.40	0.14	—	天	0		
1316	J9-C1	1	17	308	26	159	15.98	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.98)	1.21	0.13	—	×	1		
1317	J9-C1	1	17	309	29	172	15.93	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.09)	(0.92)	0.15	0.10	×	0		
1318	J9-C1	1	17	310	21	190	15.83	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.11	2.38	0.46	1.60	単	0		
1319	J9-C1	1	17	311	35	192	15.95	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.86	1.27	0.18	0.20	単	0		
1320	J9-C1	1	17	313	48	120	15.81	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(2.80)	0.95	0.34	0.60	×	1		
1321	J9-C1	1	17	314	45	134	15.94	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.80)	0.92	0.22	—	×	0		
1322	J9-C1	1	17	315	50	145	15.91	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.98)	0.88	0.12	—	×	0		
1323	J9-C1	1	17	317	53	173	15.85	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.18	2.60	0.82	4.40	×	0		
1324	J9-C1	1	17	318	62	177	15.74	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.43	0.82	0.17	0.20	×	0		
1325	J9-C1	1	17	319	54	187	15.84	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.56)	1.32	0.21	0.10	×	3		
1326	J9-C1	1	17	320	69	102	15.90	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.36)	0.64	0.30	0.20	×	2		
1327	J9-C1	1	17	321	69	120	15.74	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.79)	(0.79)	0.12	—	×	0		
1328	J9-C1	1	17	322	75	150	15.88	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.80)	(0.32)	0.15	—	×	0		
1329	J9-C1	1	17	323	75	160	15.87	Ⅱ-Ⅲ	PC	Ob	1.50	1.63	0.55	1.40	×	0		

No.	大グリッド	少グ リッド	石器 集中	遺物 No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然 面	接合	備考
1330	J9-C1	1	17	326	108	118	15.90	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.82)	(1.88)	0.54	0.50	×	0		
1331	J9-C1	1	17	327	93	144	15.78	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	1.98	1.88	0.29	0.90	白	0		
1332	J9-C1	1	17	328	92	170	15.87	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.30)	0.80	0.25	0.20	×	0		
1333	J9-C1	1	17	329	117	148	15.89	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.33	0.80	0.15	—	天	0		
1334	J9-C1	1	17	330	116	182	15.86	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.40	0.60	0.12	—	單	0		
1335	J9-C1	1	17	331	131	186	15.98	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.46	1.35	0.35	0.30	單	0		
1336	J9-C1	1	17	332	150	140	15.65	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.68	1.06	0.32	0.40	單	0		
1337	J9-C1	1	17	421	23	90	15.62	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.98)	0.38	0.16	—	×	0		
1338	J9-C1	1	17	422	22	109	15.76	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	0.93	1.84	0.65	1.20	天	0		
1339	J9-C1	1	17	423	57	102	15.62	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.51)	0.35	0.09	—	×	2		
1340	J9-C1	1	17	424	57	114	15.65	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.57	(1.78)	0.67	3.20	白	0		
1341	J9-C1	1	17	425	68	130	15.65	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.69)	0.47	0.17	—	天	0		
1342	J9-C1	1	17	426	33	131	15.65	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	1.05	2.32	0.90	1.60	天	0		
1343	J9-C1	1	17	427	41	133	15.85	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.92	1.00	0.56	1.00	天	0		
1344	J9-C1	1	17	429	20	176	15.69	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	1.54	1.57	0.33	0.70	白	0		
1345	J9-C1	1	17	430	38	172	15.77	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.75)	0.49	0.14	—	×	0		
1346	J9-C1	1	17	431	51	162	15.84	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.48	(0.69)	0.10	—	天	0		
1347	J9-C1	1	17	432	49	169	15.77	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.79	0.61	0.42	0.10	縦	0		
1348	J9-C1	1	17	434	17	194	15.73	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.80	3.87	1.42	13.90	白	2		
1349	J9-C1	1	17	436	52	192	15.73	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.62)	(0.84)	0.31	—	×	0		
1350	J9-C1	1	17	438	62	192	15.71	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.82)	1.09	0.14	—	×	0		
1351	J9-C1	1	17	439	73	192	15.62	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.66)	0.58	0.32	0.10	×	0		
1352	J9-C1	1	17	440	62	165	15.61	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.17	1.54	0.50	0.50	單	0		
1353	J9-C1	1	17	441	71	155	15.59	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.46	0.47	0.10	—	天	0		
1354	J9-C1	1	17	442	73	167	15.60	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.20)	1.15	0.43	0.80	×	2		
1355	J9-C1	1	17	443	88	180	15.76	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.25)	2.02	0.49	1.30	×	0		
1356	J9-C1	1	17	444	90	185	15.65	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.49)	1.43	0.40	0.30	×	2		
1357	J9-C1	1	17	445	90	136	15.55	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.45	1.15	0.22	0.20	白	0		
1358	J9-C1	1	17	446	120	112	15.54	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.29	1.52	0.33	0.50	天	0		
1359	J9-C1	1	17	447	110	146	15.62	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.79	1.03	0.32	0.20	單	0		
1360	J9-C1	1	17	448	113	161	15.61	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.52)	0.70	0.44	—	×	0		
1361	J9-C1	1	17	449	134	153	15.58	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	2.61	1.18	0.49	1.10	縦	1		
1362	J9-C1	1	17	451	117	196	15.66	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.14	0.86	0.15	0.10	縦	0		
1363	J9-C1	1	17	452	194	133	15.59	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.33)	0.84	0.25	0.30	×	3		
1364	J9-C1	6	17	453	2	129	15.60	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.17	1.84	0.53	1.40	單	0		
1365	J9-C1	6	17	454	8	145	15.57	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(0.90)	(1.86)	0.20	0.20	×	0		
1366	J9-C1	1	17	461	38	121	15.31	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.38)	0.26	0.11	—	×	0		
1367	J9-C1	1	17	462	43	153	15.56	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.70	0.72	0.23	—	天	1		
1368	J9-C1	1	17	463	16	159	15.72	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.73	1.88	0.62	2.60	單	3		
1369	J9-C1	1	17	464	44	161	15.63	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(4.01)	1.95	0.44	2.50	×	0		
1370	J9-C1	1	17	466	22	193	15.57	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.04	0.58	0.18	0.10	白	0		
1371	J9-C1	1	17	468.1	74	127	15.55	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.49	0.71	0.12	—	單	0		
1372	J9-C1	1	17	468.2	74	127	15.55	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.41)	0.55	0.06	—	×	0		
1373	J9-C1	1	17	469.1	64	169	15.51	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.01	0.45	0.15	—	單	0		
1374	J9-C1	1	17	469.2	64	169	15.51	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.33)	0.58	0.09	—	×	0		
1375	J9-C1	1	17	469.3	64	169	15.51	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.62	0.58	0.13	—	天	0		
1376	J9-C1	1	17	470	114	197	15.58	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.36	0.59	0.20	—	單	0		
1377	J9-C1	2	17	471	7	16	15.74	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.41	0.83	0.20	—	×	0		
1378	J9-C1	1	17	473	7	90	15.92	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(3.11)	(2.00)	0.27	1.20	×	0		
1379	J8-A10	20	18	6	72	70	15.56	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.60)	1.45	0.26	0.60	×	1		
1380	J8-A10	20	18	7.1	146	73	15.75	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.11	1.96	0.73	4.00	單	0		

No.	大ケリフ	少ケリフ	石器 集中	遺物 No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (mm)	重さ (g)	打面	自然 面	接合	備考
1381	J8-A10	20	18	7.2	146	73	15.75	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	0.78	0.84	0.21	—	白	0		
1382	J8-A10	20	18	7.3	146	73	15.75	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	(0.65)	0.89	0.15	—	×	0		
1383	J8-A10	20	18	8	157	123	15.52	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	(0.45)	0.70	0.10	—	×	0		
1384	J9-A1	23	I	7	187	48	15.47	Ⅱ-Ⅰ	PC	Ob	(2.79)	(2.63)	2.65	9.70	×	0		
1385	J9-B1	13	I	40	103	5	16.14	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	(1.98)	(1.08)	0.42	0.90	×	1		
1386	J9-B1	14	I	46	42	8	16.04	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	(1.66)	1.09	0.26	0.50	×	0		
1387	J9-B1	14	I	47	117	113	16.23	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	1.52	2.15	0.44	1.00	白	0		
1388	J9-B1	14	I	48	125	164	16.00	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	1.45	1.78	0.22	0.70	天	0		
1389	J9-B1	13	I	81	100	18	15.90	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	1.79	2.42	0.46	1.00	×	0		
1390	J9-B1	13	I	82	77	63	15.81	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	(1.39)	1.15	0.43	0.70	単	2		
1391	J9-B1	14	I	84	91	82	15.84	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	(0.89)	0.36	0.08	—	×	3		
1392	J9-B1	13	I	132	80	77	15.77	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	(1.37)	1.79	0.31	0.50	×	0		
1393	J9-B1	14	I	139	167	167	15.66	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	(1.17)	(2.00)	0.21	0.60	×	0		
1394	J9-B1	14	I	166	116	116	15.68	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	(1.45)	1.12	1.15	2.10	×	0		
1395	J9-B1	14	I	167	127	131	15.60	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	(2.88)	(3.20)	1.47	12.10	×	4		
1396	J9-B1	19	I	171	145	178	15.66	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	(1.97)	1.25	0.67	1.30	×	3		
1397	J9-B1	15	I	172	149	25	15.73	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	(1.47)	(0.82)	0.26	0.20	×	1		
1398	J9-B1	15	I	173	163	51	15.67	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	0.78	(0.69)	0.22	—	天	2		
1399	J9-B1	2	I	174	47	61	15.90	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	0.41	0.73	0.13	—	天	2		
1400	J9-B1	20	I	180	47	61	15.52	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	(2.24)	(1.49)	0.46	1.40	×	1		
1401	J9-B1	19	I	181	50	121	15.59	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	(1.33)	1.61	0.30	0.60	×	4		
1402	J9-B1	15	I	195	135	11	15.43	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	(0.91)	1.22	0.16	—	×	0		
1403	J9-B1	14	I	196	189	198	15.58	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	(0.90)	0.63	0.50	0.30	×	2		
1404	J9-B1	14	I	198	157	195	15.38	Ⅱ-Ⅰ	T	B.Sh	(1.22)	(1.73)	0.38	0.70	×	0		
1405	J9-B1	14	I	199	151	123	15.50	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	1.75	1.40	0.62	0.90	単	3		
1406	J9-B1	2	I	230	138	48	15.51	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	(1.90)	1.68	0.64	2.00	単	4		
1407	J9-B1	2	I	231	132	23	15.47	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	0.98	2.15	1.80	1.10	白	4		
1408	J9-B1	15	I	248	137	14	15.42	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	1.50	1.87	0.55	1.00	天	4		
1409	J9-B1	6	I	254	14	28	15.90	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	1.26	0.70	0.30	0.30	単	2		
1410	J9-B1	6	I	255	18	138	16.04	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	(1.09)	1.71	0.57	0.80	×	2		
1411	J9-B1	2	I	256.1	151	2	15.90	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	1.58	1.95	0.34	1.00	天	0		
1412	J9-B1	2	I	256.2	151	2	15.90	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	(2.12)	(1.03)	0.43	0.50	×	0		
1413	J9-B1	1	I	267	87	129	15.66	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	2.31	0.93	0.29	0.50	単	1		
1414	J9-B1	1	I	268	23	147	15.75	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	(0.85)	1.12	0.23	0.10	×	0		
1415	J9-B1	6	I	271	43	70	15.58	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	1.34	1.90	0.33	0.70	天	0		
1416	J9-B1	1	I	339	140	108	15.51	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	—	—	—	—	—	—		
1417	J8-B10	4	Ⅱ	1	180	200	15.54	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	4.25	2.30	2.62	15.10	白	2		
1418	J8-B10	14	Ⅱ	5	46	164	15.77	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	3.28	3.07	0.64	5.00	単	3		
1419	J8-B10	14	Ⅱ	6	200	172	16.10	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	1.05	0.46	0.44	0.10	線	0		
1420	J8-B10	19	Ⅱ	11	196	128	15.62	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	2.10	3.03	1.46	9.20	白	1		
1421	J8-B10	20	Ⅱ	14	62	147	15.71	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	(2.71)	1.24	0.78	1.90	×	1		
1422	J8-B10	24	Ⅱ	26	175	100	15.48	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	0.62	0.72	0.09	—	天	0		
1423	J8-C10	5	Ⅱ	2	132	58	15.80	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	4.57	(3.14)	1.06	12.90	白	4		
1424	J8-C10	5	Ⅱ	41	100	74	15.70	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	(2.88)	2.05	0.50	2.00	単	0		
1425	J8-C10	5	Ⅱ	42	146	179	15.70	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	(2.30)	1.36	0.45	1.30	白	0		
1426	J8-C10	5	Ⅱ	143	0	47	15.62	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	(1.22)	0.45	0.14	—	×	0		
1427	J9-B1	17	Ⅱ	50	90	65	16.13	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	(0.84)	0.37	0.18	—	×	2		
1428	J9-B1	17	Ⅱ	51	110	25	16.15	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	(1.20)	0.78	0.24	0.20	×	0		
1429	J9-B1	17	Ⅱ	53	191	114	15.93	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	(0.72)	(0.46)	0.16	—	×	0		
1430	J9-B1	17	Ⅱ	191	138	65	15.59	Ⅱ-Ⅰ	T	Ob	(1.00)	(1.17)	0.21	—	×	0		
1431	J9-B1	16	Ⅱ	261	109	179	15.93	Ⅱ-Ⅰ	F	Ob	3.30	2.64	0.79	5.00	単	4		

No.	大グリッド	少グリッド	石器 集中	遺物 No.	北-南 (cm)	東-西 (cm)	標高 (m)	層位	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面	自然 面	接合	備考
1432	J9-B1	16	II	331	56	14	15.62	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	2.82	2.52	0.42	1.90	線	1		
1433	J9-B1	16	II	334	122	80	15.67	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(3.01)	3.05	0.60	4.00	×	1		
1434	J8-C10	20	III	258	110	155	15.57	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(3.02)	3.09	1.53	13.80	×	3		
1435	J8-C10	20	III	277.1	150	190	15.39	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.64	1.04	0.22	—	天	1		
1436	J8-C10	20	III	277.2	150	190	15.39	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.65	0.78	0.13	—	天	1		
1437	J8-C10	20	III	277.3	150	190	15.39	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.64)	0.80	0.11	—	×	1		
1438	J8-C10	20	III	277.4	150	190	15.39	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.51	0.74	0.16	—	白	0		
1439	J8-C10	20	III	277.5	150	190	15.39	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.47	0.46	0.08	—	天	1		
1440	J8-C10	20	III	277.6	150	190	15.39	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.35)	(0.22)	0.14	—	×	0		
1441	J8-C10	20	III	277.7	150	190	15.39	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.06	3.01	1.28	9.60	単	4		
1442	J9-C1	12	III	40	36	129	15.53	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	(2.06)	1.95	0.35	0.60	×	0		
1443	J9-C1	13	III	59	59	34	15.79	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.18)	1.21	0.18	0.30	×	0		
1444	J9-C1	13	III	61	136	79	15.72	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(1.48)	1.63	0.22	0.60	0	0		
1445	J9-C1	17	III	78	98	164	15.59	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.32)	2.41	0.43	1.50	×	0		
1446	J9-C1	12	III	100	36	158	15.49	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	0.78	1.13	0.23	0.20	0	0		
1447	J9-C1	13	III	114	22	127	15.42	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	(0.52)	0.69	0.15	—	×	0		
1448	J9-C1	17	III	117	72	198	15.50	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.68)	(1.10)	0.14	—	×	0		
1449	J9-C1	17	III	119	185	16	15.41	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.93)	0.93	0.12	—	×	0		
1450	J9-C1	17	III	120	183	51	15.38	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.88)	1.27	0.27	0.30	×	0		
1451	J9-C1	22	III	124	38	29	15.48	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.38	0.62	0.12	—	線	0		
1452	J9-C1	22	III	126	78	14	15.50	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	3.43	1.74	0.31	1.40	線	0		
1453	J9-C1	2	III	143	191	145	16.06	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	(1.84)	1.37	0.48	1.00	×	0		
1454	J9-C1	7	III	145	34	112	16.16	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.63	2.02	0.58	0.90	複	0		
1455	J9-C1	8	III	147	6	35	16.11	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	(0.34)	0.72	0.21	—	×	0		
1456	J9-C1	8	III	148	8	36	16.10	Ⅱ-Ⅲ	F	B.Sh	2.89	2.64	0.80	3.70	×	0		
1457	J9-C1	7	III	161	0	187	15.91	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.34	1.92	0.42	0.60	線	0		
1458	J9-C1	7	III	162	4	60	15.95	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.68)	2.79	0.73	4.00	×	0		
1459	J9-C1	7	III	163	9	66	15.93	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(1.15)	0.45	0.17	—	×	2		
1460	J9-C1	7	III	164	66	29	15.94	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.39)	3.57	0.50	3.10	複	2		
1461	J9-C1	2	III	211	188	116	15.67	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.54	1.15	0.13	0.20	線	0		
1462	J9-C1	7	III	225	20	160	15.69	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	(0.95)	0.76	0.29	0.20	単	0		
1463	J9-C1	7	III	226	4	30	15.86	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.57	0.68	0.10	—	天	0		
1464	J9-C1	7	III	227	48	115	15.70	Ⅱ-Ⅲ	T	Jas	(1.51)	2.39	0.48	5.50	×	0		
1465	J9-C1	7	III	228	171	108	15.70	Ⅱ-Ⅲ	F	GA	4.85	2.07	0.96	5.40	単	2		
1466	J9-C1	12	III	230	5	23	15.79	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.43	1.70	0.39	0.60	複	0		
1467	J9-C1	8	III	232	180	42	15.73	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	0.35	0.63	0.10	—	×	0		
1468	J9-C1	8	III	233	89	30	15.80	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	2.79	1.43	0.34	1.40	×	0		
1469	J9-C1	8	III	234	156	105	15.71	Ⅱ-Ⅲ	T	GA	(2.09)	2.05	0.21	1.00	×	0		
1470	J9-C1	11	III	277	126	84	15.97	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	2.45	1.23	0.54	1.00	単	4		
1471	J9-C1	11	III	279	160	64	15.93	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	1.05	1.74	0.33	0.40	天	0		
1472	J9-C1	11	III	280	169	24	15.86	Ⅱ-Ⅲ	T	Ob	2.28	1.06	0.41	0.70	天	2		
1473	J9-C1	6	III	300	103	120	16.25	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	1.99	1.37	0.28	0.60	単	0		
1474	J9-C1	21	III	395	94	157	15.30	Ⅱ-Ⅲ	Co	Ob	4.33	3.17	2.57	34.40	×	0		
1475	J9-C1	21	III	396	155	140	15.34	Ⅱ-Ⅲ	F	Ob	(2.40)	2.71	0.67	5.60	×	3		

備考に※印がある石器は接合状態で大きさを計測、一印は計測不能

3. 縄文時代の遺構と遺物

(1) 炉穴

炉穴は第2・3地点の南側斜面の縁に沿うように分布しており、25基検出された。

第1号炉穴 (第177図)

J9・E7グリッドに位置する。炉床部が残存するもので、近接する第2・3号炉穴と群を構成していたと考えられる。長径5.60m、短径4.90m、深さ0.23mである。

第2号炉穴 (第177図)

J9・E7グリッドに位置する。炉床の一部が残存するもので、近接する第1・3号炉穴と群を構成していたと考えられる。長径0.40m、短径0.28m、深さ0.08mである。

第3号炉穴 (第177図)

J9・E7グリッドに位置する。炉床部が残存するもので、近接する第1・2号炉穴と群を構成していたと考えられる。長径0.46m、短径0.35m、深さ0.10mである。

第4号炉穴 (第177図)

J9・D8グリッドに位置する。第14号溝跡と重複している。炉床は遺構の北側に位置する。長径1.80m、短径1.20m、深さ0.46mである。

第5・11号炉穴 (第177図)

J9・D6グリッドに位置する。遺構の西側部分が、第18号溝跡と重複する。炉床は2か所検出され、西側の炉床を伴う炉穴を第5号、東側の炉床を伴う炉穴を第11号としたが、2基を明確に分けることはできなかった。2基を合わせた長径1.70m、短径0.62m、深さ0.35mである。

第6・7・8・9号炉穴 (第177・180図)

J9・C6、C7、D6、D7グリッドに位置する。4基の炉穴が重複して検出された。第6号炉穴は南側で第8号炉穴と重複している。炉床は遺構の北側で検出された。長径1.40m、短径1.08m、深さ0.53mである。第7号炉穴は、北側で第8号炉穴と重複している。炉床部のみが残存して

いる。長径0.84m、短径0.58m、深さ0.41mである。第8号炉穴は炉穴群の中央に位置し、北側6、9号炉穴、南側に第7号炉穴と重複している。炉床は遺構の西側に位置している。長径1.96m、短径1.02m、深さ0.56mである。第9号炉穴は南側で第8号炉穴と重複している。北西側が第18号溝跡と重複している。炉床は北側に位置する。長径1.35m、短径0.92m、深さ0.28mである。

第180図1～3は出土した早期後葉の条痕文系土器である。1・2は炉穴群から一括して検出された土器である。1は口縁部の破片で、口唇部には絡条体片状文を施している。2は胴部の破片である。1・2ともに内外面に条痕を施文している。3は第8号炉穴から検出された土器で、外面には絡条体片状文を斜めや横方向に施文している。内面には条痕文を施している。

第10・13号炉穴 (第177図)

J9・D6、E6グリッドに位置する。2基が東西方向に重複して検出された。南側に第14号炉穴が近接している。第10号炉穴は西側に位置し、炉床は東側から検出された。長径1.47m、短径0.70m、深さ0.12mである。第13号炉穴は東側に位置し、炉床は中央から検出された。長径1.33m、短径1.05m、深さ0.18mである。

第12号炉穴 (第178図)

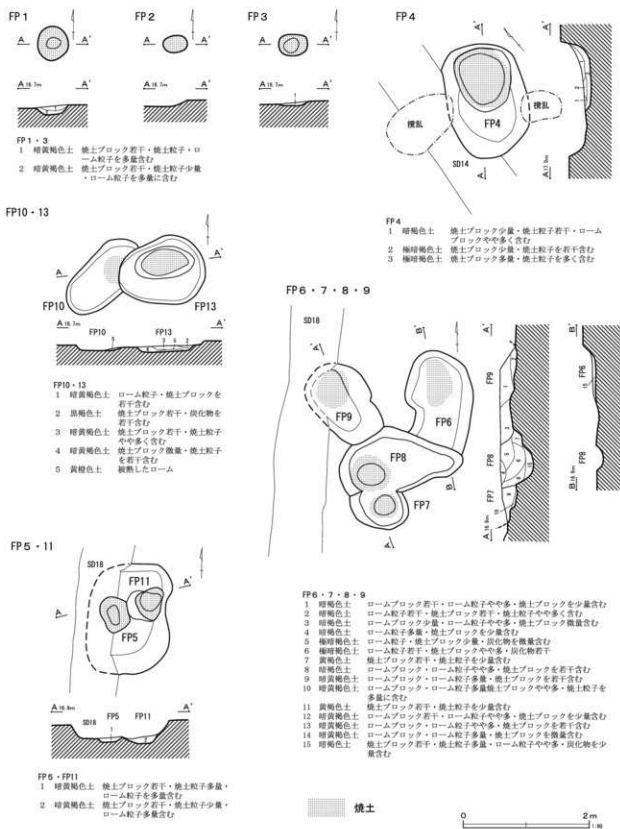
J9・C7、C8グリッドに位置する。1基としたが、形状から2基の炉穴が重複していたと考えられる。炉床は遺構の南側から検出された。長径1.85m、短径0.90m、深さ0.19mである。

第14号炉穴 (第178図)

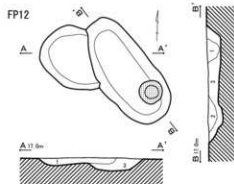
J9・E6グリッドに位置する。北側に第10・13号炉穴が近接している。炉床は中央に位置し、長径1.08m、短径1.03m、深さ0.39mである。

第15・16・17号炉穴 (第178図)

J9・D4グリッドに位置する。3基が重複し

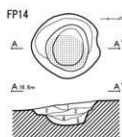


第177図 炉穴(1)



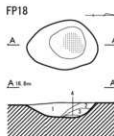
FP12

- 1 暗褐色土 ローム粒子やや多く含む
- 2 暗黄褐色土 焼土ブロック若干・焼土粒子多量、ローム粒子を多量に含む
- 3 暗黄褐色土 焼土ブロック少量・炭化物を微量含む



FP14

- 1 暗褐色土 ローム粒子若干・焼土ブロックを少量含む
- 2 暗黄褐色土 ローム粒子多量・焼土ブロックを極少量含む
- 3 暗褐色土 ローム粒子若干・焼土ブロック若干・焼土粒子をやや多く含む
- 4 赤褐色土 ローム粒子多量・焼土ブロック少量・焼土粒子を多く含む
- 5 暗黄褐色土 ローム粒子多量・焼土ブロック少量・焼土粒子を少量含む

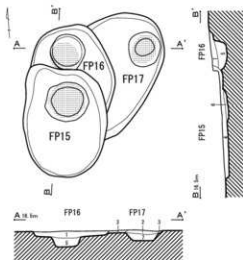


FP18

FP18

- 1 暗褐色土 焼土ブロック少量・焼土粒子含む・ローム粒子を少量含む、粘性しりりあり
- 2 褐色土 焼土粒子若干・ローム粒子を少量含む、粘性しりりあり
- 3 暗褐色土 焼土ブロック若干・焼土粒子多量・炭化物粒子・ローム粒子含む、粘性しりりあり
- 4 赤褐色土 焼土ブロック

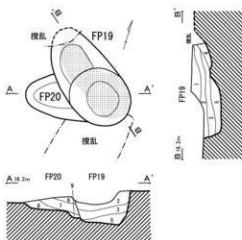
FP15・16・17



FP15・16・17

- 1 暗褐色土 焼土粒子多量・焼土ブロック若干含む、粘性しりりややあり
- 2 暗褐色土 焼土粒子若干・炭化物粒子若干・ローム粒子若干含む、粘性しりりややあり
- 3 褐色土 焼土粒子若干・焼土粒子多量に含む、粘性しりりややあり
- 4 暗褐色土 焼土粒子若干・ローム粒子多量に含む、粘性しりりややあり
- 5 暗赤褐色土 炭化物・焼土粒子多量・焼土ブロックを含む・硬化ブロックの残存状況は悪い、粘性しりりややあり
- 6 暗赤褐色土 炭化物・焼土粒子多量・焼土ブロック少量含む・硬化ブロックの残存状況は悪い、粘性しりりなし
- 7 暗赤褐色土 炭化物・焼土粒子多量・焼土ブロック多量に含む、しりりややあり

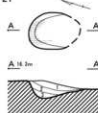
FP19・20



FP19・FP20

- 1 褐色土 焼土粒微量、粘性しりり弱い
- 2 黄褐色土 焼土粒少量、粘性しりり弱い
- 3 褐色土 焼土粒・焼土ブロックを少量含む
- 4 赤褐色土 焼土粒やや多・焼土ブロックを少量含む
- 5 赤褐色土 焼土層
- 6 暗褐色土 焼土粒微量含む、粘性弱く、しりりあり
- 7 暗褐色土 焼土粒少量・ロームブロックを少量含む、粘性弱く、しりりあり
- 8 褐色土 焼土粒やや多く含む、粘性弱く、しりりあり
- 9 暗褐色土 焼土粒・焼土ブロックを少量含む、粘性弱く、しりりあり

FP21



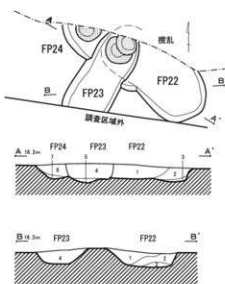
FP21

- 1 暗褐色土 焼土粒少量、粘性弱く、しりりあり
- 2 暗褐色土 焼土粒微量・ロームブロック少量、粘性弱く、しりりあり
- 3 暗褐色土 黒色層ロームブロック含む、粘性弱く、しりりあり

焼土



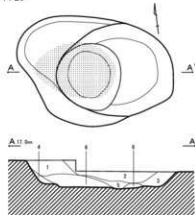
FP22・23・24



FP22・23・24

- 1 暗黄褐色土 粘土粒少量・炭化物、粘性しまり層
- 2 暗黄褐色土 粘土粒多量・焼土ブロック少量、粘性弱しまり層
- 3 暗褐色土 粘土粒少量、粘性しまり弱
- 4 褐色土 粘土粒中多・焼土ブロック微量、粘性しまりや中強
- 5 褐色土 粘土粒微量・ロームブロック含む、粘性やや強、しまり弱
- 6 褐色土 粘土粒・焼土ブロックやや多、粘性しまり弱
- 7 暗褐色土 粘土粒微量、粘性弱

FP25



FP25

- 1 暗黄褐色土 ロームブロック多・焼土ブロック少・炭化物
- 2 暗黄褐色土 ロームブロック多・焼土ブロック少・炭化物
- 3 暗黄褐色土 ロームブロック多・炭化物
- 4 黄褐色土 ロームブロック多・焼土ブロック・炭化物
- 5 暗褐色土 ロームブロック多・焼土ブロック少・炭化物
- 6 赤褐色土 焼土ブロック



第179図 炉穴(3)

て検出された。第15号炉穴は北側で第16号炉穴、東側で第17号炉穴と重複している。炉床は遺構の北側に位置している。長径1.68m、短径1.31m、深さ0.15mである。第16号炉穴は南側で第15号炉穴、東側で第17号炉穴と重複している。炉床は北側に位置する。残存する長径1.27m、短径0.71m、深さ0.23mである。第17号炉穴は重複する第15・16号炉穴の東側に位置する。炉床は北東側から検出された。残存する長径1.37m、短径1.06m、深さ0.09mである。

第18号炉穴(第17遺洞)

J 9・D 5グリッドに位置する。第17号溝跡と重複する。炉床部分と考えられ、長径1.10m、短径0.77m、深さ0.25mである。

第19・20号炉穴(第17遺洞)

J 8・C 10、J 9・C 1に位置する。2基が重複して検出された。北側に第21号炉穴が近接する。第19号炉穴は南側に炉床が位置する。長径1.70m、短径0.86m、深さ0.47mである。第20号炉穴は第19号炉穴によって、大部分が失われている。残存

FP-6・7・8・9(1・2)



FP-21(4・5)



FP-8(3)



第180図 炉穴出土遺物



する長径0.68m、短径0.60m、深さ0.42mである。

第21号炉穴 (第178・180図)

J 8・C10、J 9・C1に位置する。南側に第19・20号炉穴が近接する。炉床の一部と考えられ、長径0.83m、短径0.52m、深さ0.29mである。

第180図4・5は検出された遺物である。早期後葉の条痕文系土器の胴部の破片で、内外面に条痕文を施している。

第22・23・24号炉穴 (第179図)

J 9・C1、C2グリッドに位置する。3基が重複しており、東から西へ第22・23・24号炉穴である。北半部を掘乱のため失っている。第22号炉

穴は、西側に炉床が位置するもので、残存する長径1.28m、短径0.81m、深さ0.25mである。第23号炉穴は炉床が北側部分から第22号炉穴の炉床と重複して検出された。残存する長径1.34m、短径0.70m、深さ0.30mである。第24号炉穴は、炉床は西側に位置する。残存する長径0.64m、短径0.50m、深さ0.23mである。

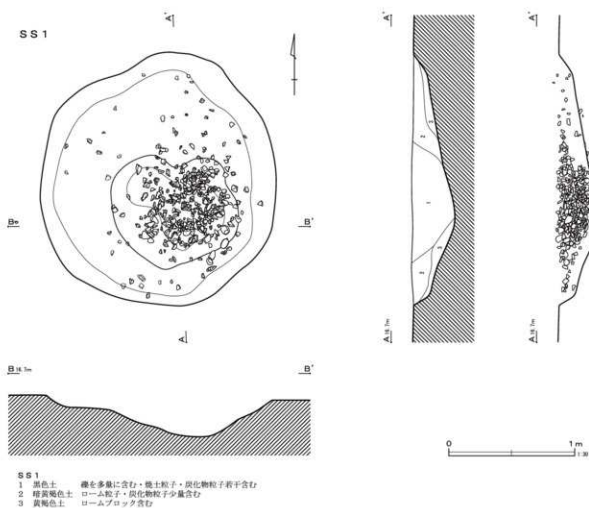
第25号炉穴 (第179図)

J 9・E10、J 10・E1グリッドに位置する。中央に炉床が位置する。長径2.57m、短径1.72m、深さ0.43mである。

(2) 集石土壌

今回の調査においては、第2地点の西端から1

基が検出されたのみである。



第181図 集石土壌

第1号集石土壌 (第181図)

J9・A1グリッドに位置する。遺構の上部は、削平により失われている。残存している平面形は、円形に近い。規模は長径2.01m、短径1.87mで、深さは0.33mである。

集石土壌は、底面の中央が深く掘り込まれているもので、そのため底面はゆるやかな段差を持っている。

また、遺構内の壁面や底面には、明確な被熱の痕跡は認められなかった。

礫は、土壌の中央に集中して検出されている。

(3) 土壌

縄文時代の土壌は第1地点から2基、第2地点から3基が検出されている。

第4号土壌 (第182・183図)

第1地点から検出された。I9・A3グリッドに位置する。西側には縄文時代の土壌である第14号土壌が近接して検出されている。平面形は円形に近い。規模は長径0.96m、短径0.82mで、深さは0.56mである。土器の出土状況から、遺構は埋葬として使用されていたと考えられる。また、土器の上部が失われていることから、遺構の上部は削平されたと考えられる。

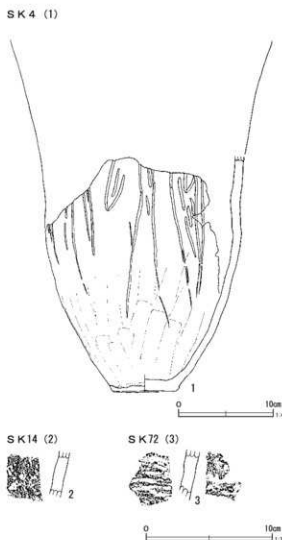
第182図1は出土した深鉢形土器である。胴上部を欠損する。残存部から胴部中央で緩く括れ、口縁部が緩く開く器形であると考えられる。底径は7cmである。胴部には2本1組の沈線で文様を施文するが、残存部には、軸状の細かなJ字状文が施文されるが、モチーフは崩れており全体の文様構成は不明である。また文様を施文する沈線が細く浅くなっていることも、文様の判別を困難にしている。文様内を充填する列点も崩れており、短沈線状となっている。器面は全体的に丁寧に磨き状の調整が施されているが、胴下半にはヘラ削り状の痕跡が認められた。時期は後期初頭の称名寺式終末と考えられる。

土層の第1層内に、礫の分布のほとんどが集中している。使用後の焼燥を、集石土壌の中央の窪み部分に、まとめて埋設、あるいは廃棄したものと考えられる。

遺物は、土器や礫に転用された石器についても検出されなかった。

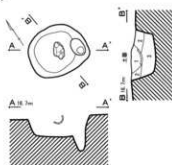
検出された礫は比較的小型で、そのほとんどが破砕された礫であった。礫の総点数414点、総重量10273.2gである。

時期を特定できる遺物が検出されなかったため、詳細な時期については不明である。



第182図 土壌出土遺物

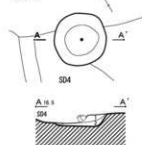
SK 4



SK 4

- 1 暗褐色土 炭化物粒子多量・粘土粒子若干・ローム粒子少量、粘性しまりあり
- 2 褐色土 炭化物粒子若干・ローム粒子少量・粘性しまりあり
- 3 暗褐色土 粘土粒子若干・炭化物粒子含む、ローム粒子多量・ロームブロック若干、粘性しまりあり

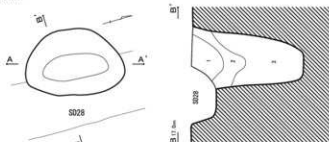
SK14



SK14

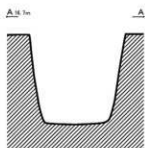
- 1 暗褐色土 ローム粒子少量・炭化物粒子少量含む・しまりなし
- 2 暗褐色土 ローム粒子少量・ロームブロック少量・炭化物粒子微量含む、粘性しまりあり

SK71

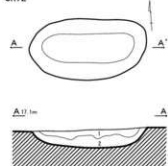


SK71

- 1 黒褐色土 ローム粒子少量・炭化物粒子若干含む、粘性しまりなし
- 2 暗褐色土 ローム粒子少量含む 粘性ありしまりなし
- 3 暗褐色土 ロームブロック多量を含む、粘性ややありしまりなし



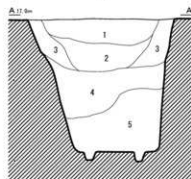
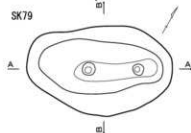
SK72



SK72

- 1 暗褐色土 ローム粒子多量・粘土粒子若干・炭化物少量を含む
- 2 暗黄褐色土 ローム粒子極多・炭化物少量を含む

SK79



SK79

- 1 黒褐色土 ロームブロック少量・ローム粒子若干含む
- 2 黒褐色土 ロームブロック少量・ローム粒子やや多く含む
- 3 黒褐色土 ロームブロック少量・ローム粒子やや多く含む
- 4 暗黄褐色土 ロームブロックやや多、ローム粒子やや多く含む
- 5 暗黄褐色土 再堆積ローム・黒色土ブロック少量含む・固くしまっている



第183図 土層 (1)

第14号土壙 (第182・183図)

第1地点から検出された。I 9・A 3グリッドに位置する。東側には第4号土壙が近接している。平面形は円形に近い。規模は長径0.83m、短径0.82mで、深さは0.22mである。

第182図1は、出土した早期後葉の条痕文系土器と考えられる胴部の破片である。小破片のため、出土遺物から土壙の時期は確定できなかった。

第71号土壙 (第183図)

第2地点から検出された。I 9・J 4グリッドに位置する。第28号溝跡と重複している。平面形は楕円形で、底面からほぼ垂直に立ち上がる形状で、落とし穴状遺構と考えられる。同様に落とし穴状遺構と考えられる第79号土壙と、東西方向に並列して検出された。規模は長径1.55m、短径1.02mで、深さは1.78mである。長径方向の方位はN-18°-Eである。

第72号土壙 (第182・183図)

第2地点から検出された。J 9・B 8グリッド

に位置する。平面形は楕円形である。規模は長径1.83m、短径0.99mで、深さは0.32mである。長径方向の方位はN-86°-Wである。

第182図3は出土した土器である。早期後葉の条痕文系土器の胴部の破片で、内外面に条痕文が施されている。小破片のため、出土遺物から土壙の時期は確定できなかった。

第79号土壙 (第183図)

第2地点から検出された。I 9・J 4グリッドに位置する。平面形は楕円形である。底面からほぼ垂直に立ちあがり上部で開く、漏斗状の形状に掘削されるもので、落とし穴状遺構と考えられる。幅状の底面には、長径方向に2基のピット状の小穴が検出された。落とし穴状遺構と考えられる第71号土壙と、東西方向に並列して検出された。規模は長径2.37m、短径1.44mで、深さは2.10mである。長径方向の方位はN-60°-Eである。西側の小穴の径0.20m、深さ0.13m、東側の小穴の径0.18m、深さ0.16mである。

(4) グリッド出土遺物

グリッド出土土器 (第184図～第188図)

第I群土器 (第184・185図)

早期の土器群を一括する。

第184図1・2は、早期前半の撚糸文系土器群である。胴部の破片で、原体は1が撚糸文L、2が撚糸文Rである。

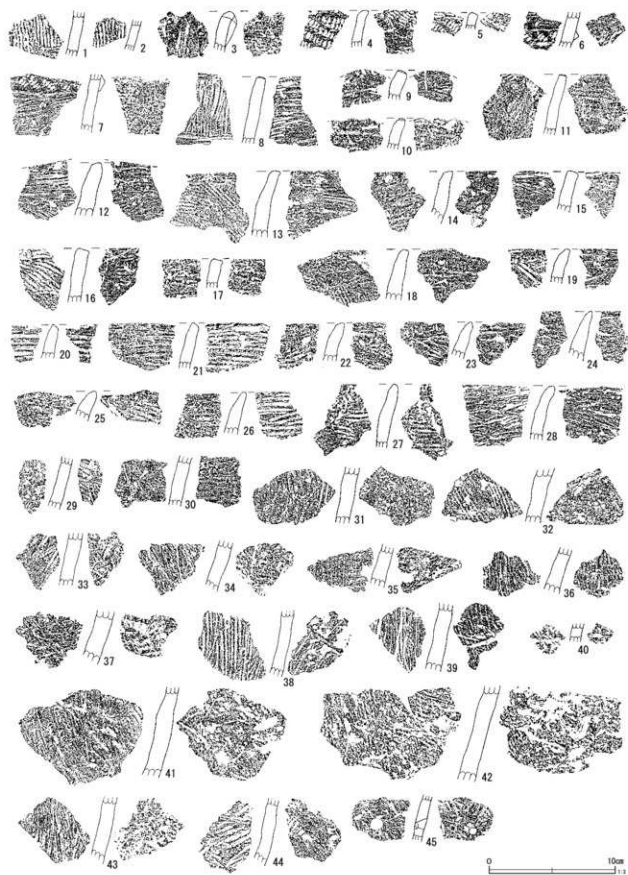
第184図3～45、第185図46～69は早期後葉の条痕文系土器群である。有文の口縁部は下沿部式と考えられることから、茅山上層直後以降の土器群と考えられる。

3～11は有文の口縁部の破片である。3は隆帯を貼付するもので、口唇上から交互に押捺を加えている。4・5は口縁部に絡糸体瓦痕文を斜めに施文している。4は口唇から内面にも、絡糸体瓦痕文を施文する。5は口唇部に絡糸体瓦痕文を刻み状に施文し、一部回転を加えている。6・7は、

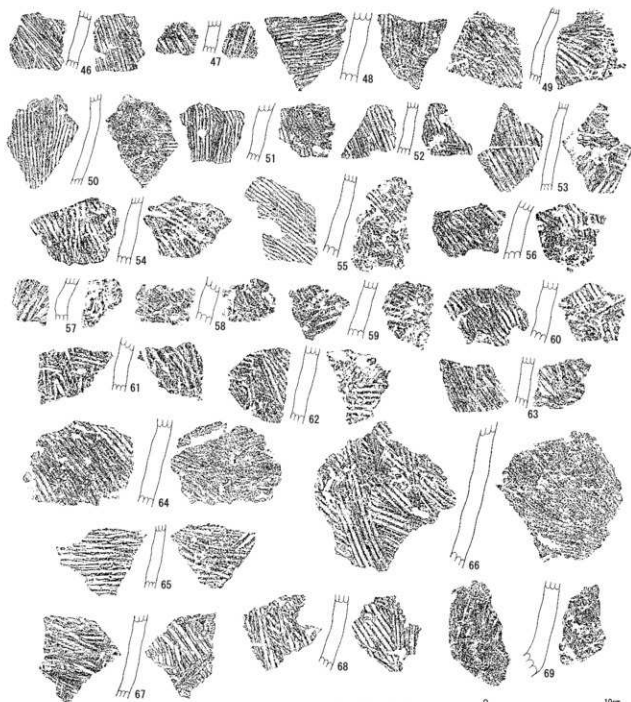
口縁部を巡る隆帯上に絡糸体瓦痕文を施文している。8～11は口唇上に刻みを施文している。

12～28は条痕文のみを施文する口縁部の破片である。12は波状口縁で、内外面に条痕文を施文している。13～19は角頭状の口唇部を持つものである。13、15～18は内外面に条痕文を施文している。14、19は内面が割痕状の整形を施文している。20～26は口唇部が先細り状となるものである。20～23、25・26は内外面に条痕文を施文している。24の外表面は擦痕状に整形され、内面には条痕文を施文している。27・28は口唇部が丸頭状となるもので、内外面に条痕文を施文している。

29～68は条痕文のみを施文する胴部の破片である。29・30、34～37、39は外面が割痕状に整形され、内面は条痕文が施されている。31～33、42は外面に条痕文を施文し、内面は擦痕状に整形され



第184図 グリッド出土遺物 (1)



第185図 グリッド出土遺物 (2)

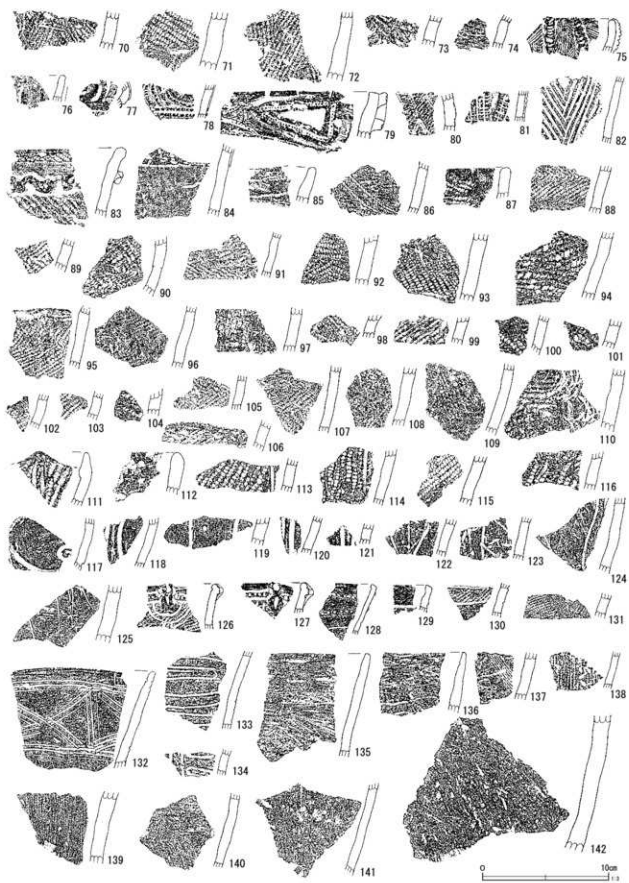
ている。41は内外面を擦痕状に整形している。38、40、43～68は内外面に条痕文を施している。45は器面に補修孔が残存している。孔は外面側からの、一方向のみで貫通している。しかし内面には、他に2か所の円孔状の凹みが残存しており、内外面の両方向から穿たれていた孔の貫通が2回失敗したのと考えられる。

69は底部の破片である。尖底となるもので、内外面は擦痕状に整形が施されている。

第Ⅱ群土器 (第186図)

前期の土器群を一括する。

第186図70～74は前期初頭の花積下層式土器である。70～72は半節RとL Rの縄文を交互に施文して、羽状縄文としている。73・74は小破片で、



第186図 グリッド出土遺物(3)



第187図 グリッド出土遺物(4)

無節Rの縄文を横方向に施文している。

第186図75は、前期後葉の諸磯c式土器の口縁部の破片である。口縁部に結節貼付文を2本垂下させ、貼付文の両側には刺突列を施している。

第186図76～109は前期末葉の十三菩提式土器群である。

76～78は浮線文が施される土器である。76は浮線文を口縁部に垂下させる。77は浮線文と結節沈線文を施文する。78は結節浮線文を施文する。

79～81は結節沈線文を施文する土器である。79は口縁部の破片で、三角形穴に貼付した隆帯上にも結節沈線文を施文している。80は鋸歯状に結節沈線文を施文する土器で、地文は単節L Rの縄文を施文する。

82は沈線文を施文する土器である。平行沈線を複数施文して文様を描いており、三角印刻が認められる。

83～86は原体側面王痕文を施文する土器である。83・84は口縁を巡る隆帯上に、側面王痕文を施文する。83は隆帯の上下から交互に押捺を加えている。地文は単節R Lの縄文である。84は器面にも側面王痕文を施文する。85・86は器面に単節L Rの側面王痕文を施している。

87～109は地文である縄文のみを施文する土器である。88～90は結束単節羽状縄文を施文する胴部の破片である。91～94は羽状縄文を施文する胴部の破片で、91は無節、92・93は単節、94は0段多条の縄文である。87、95～104は斜縄文を施文する土器である。95・96、99、102・103は単節L Rの縄文、87、98、100、104は単節R Lの縄文、97、101は無節Rの縄文を地文としている。105～109は結節縄文を施文する土器である。

第186図110は興津系の土器である。貝殻によるロッキング文様を施している。また、地文として無節Rの縄文が施文されている。

第Ⅲ群土器(第186図)

中期の土器群を一括する。

第186図111～116は、中期後葉の加曾利EⅢ式土器である。いずれも深鉢形土器の破片である。111は波状口縁部の破片である。単節R Lの縄文を地文としている。112は無文の口縁部で、胴部とは沈線を巡らして区画している。113・114は胴部の破片で、間を磨り消す沈線文を垂下させている。地文は単節R Lの縄文を縦方向に施文している。115・116は、単節R Lの縄文を地文としている。

第Ⅳ群土器(第186・187図)

後期の土器群を一括する。

第186図117～125は、後期初頭の称名寺終末の土器である。第4号土城の時期に相当する。沈線によって文様を施文するもので、地文は施文されない。117～121は沈線文を明確に施文するが、122～125は沈線文が細く浅くなっている。119は文様内に列点を充填している。

第186図126～142、第187図143・144は後期前葉の堀之内式土器である。大部分が堀之内2式土器である。

126～134は朝顔形の深鉢形土器である。126～128は口縁部に横位の隆帯を巡らせるもので、126・127は8の字状貼付を施し、器面全体に縄文を施文する。129は沈線文を口縁部に巡らしている。130・131は沈線文間に縄文を充填している。132・133は縄文を施さない沈線文のみを施文する。134は器面全体に縄文を施文し、その上に沈線文

を施すものである。

135～142は粗製の深鉢形土器である。135・136、139～142は無文、137・138は櫛歯状工具によって、条線文を施文している。

143・144は浅鉢形土器の破片である。

第187図145は後期後葉の安行式土器の、紐線文土器の口縁部の破片である。

第187図146・147は底部の破片を一括した。

グリッド出土石器 (第188図)

第188図148～150は石錐である。いずれも無茎である。148は側縁がやや外湾するもので、基部にはごく浅い抉りが入っている。長さ2.0cm、幅1.5cm、厚さ0.4cm、重さ0.8gで、石材はチャートである。149は、先端部と右脚部の一部を欠損する。基部には逆V字状の深い抉りが入る。長さ2.0cm、幅1.5cm、厚さ0.4cm、重さ0.5gで、石材は黒曜石である。150は基部に逆V字状の浅い抉りが入る。長さ2.6cm、幅2.2cm、厚さ0.4cm、重さ1.3gで、石材はガラス質黒色安山岩である。

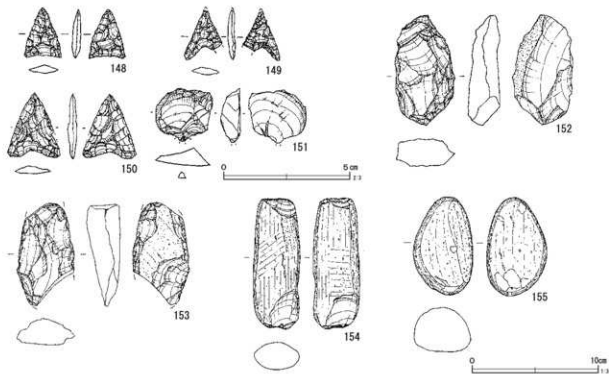
第188図151は石錐である。錐部の先端を欠損す

る。表面側のみ調整を施し、裏面には第一次剥離面が残存している。長さ2.1cm、幅2.2cm、厚さ0.8cm、重さ2.8gで、石材は黒曜石である。

第188図152・153は打製石斧である。外湾する側縁部に最大幅を持つものである。152は、表面側のみ細かい調整を施し、形状を整えている。長さ8.75cm、幅4.75cm、厚さ2.5cm、重さ109.1gで、石材はホルンフェルスである。153は基部と刃部を欠損する。長さ8.2cm、幅4.5cm、厚さ2.6cm、重さ94.5gで、石材は頁岩である。

第188図154は敲石である。扁平な棒状礫を利用するもので、上下端部を使用している。両端部には剥離が認められる。器面全体は丁寧に磨かれており、磨製石斧の転用とも考えられる。長さ10.3cm、幅3.7cm、厚さ2.3cm、重さ139.4gで、石材は緑色岩である。

第188図155は磨石である。肉厚な素材を利用している。裏面は平坦面を持ち、器面全体を磨面として使用している。長さ7.7cm、幅4.7cm、厚さ3.6cm、重さ150.1gで、石材は安山岩である。



第188図 グリッド出土石器 (5)

4. 中世以降の遺構と遺物

(1) 掘立柱建物跡

清可寺前原遺跡からは、第2地点から掘立柱建物跡1棟が検出されている。

第1号掘立柱建物跡 (第189図)

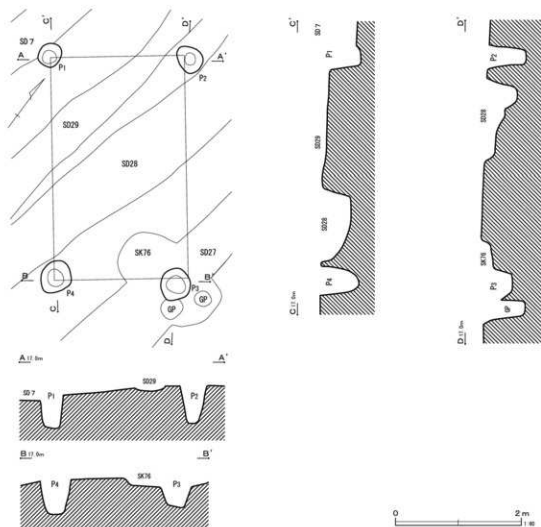
調査区中央西寄りのJ9・B3、J9・C3グリッドに位置する。第7・27～29号溝跡と重複するが新田は不明である。

桁行1間(3.55m)、梁行1間(2.13m)、面積

7.56㎡である。主軸方位は、N-38°-Wである。

柱穴はP1が径38cm、深さ52cmで円形、P2が45×38cm、深さ61cmの不整形円形、P3が56×48cm、深さ33cmの不整形円形、P4が51×48cm、深さ65cmの不整形円形である。柱穴の覆土は確認できなかった。

遺物は出土しなかった。



第189図 第1号掘立柱建物跡

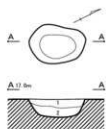
(2) 土壌

土壌は第1地点から16基、第2地点から63基、第3地点から2基検出されている。

第4・14・71・72・79号土壌は縄文時代のもの

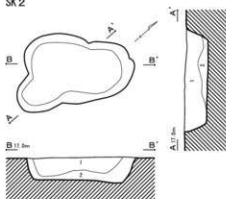
である。それ以外のものは出土遺物、覆土から近世以降のものと考えられる。

SK 1



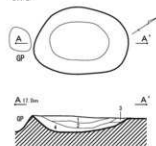
- SK 1
1 暗褐色土 ローム粒子少
2 褐色土 ローム粒子少

SK 2



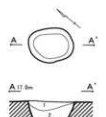
- SK 2
1 暗褐色土 ローム粒子少
2 褐色土 ローム粒子少

SK 3



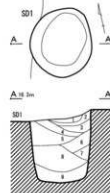
- SK 3
1 暗褐色土 ローム粒子・ロームブロック・炭化物
粒子微量
2 暗褐色土 ローム粒子・炭化物粒子少
3 褐色土 ローム粒子少・ロームブロック多
4 褐色土 ローム粒子・ロームブロック多・炭化
物粒子少

SK 5



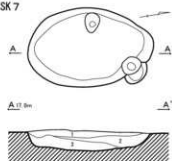
- SK 5
1 暗褐色土 ローム粒子少
2 暗褐色土 ローム粒子少

SK 6



- SK 6
1 暗褐色土 ローム粒子・ロームブロック
2 暗褐色土 ローム粒子・ロームブロック
3 褐色土 ローム粒子・ロームブロック
4 暗褐色土 ローム粒子少
5 褐色土 ローム粒子・ロームブロック
6 暗黄褐色土 ローム粒子・ロームブロック
壁の崩落土か
7 褐色土 ローム粒子少量
8 暗褐色土 ローム粒子・ロームブロック
9 褐色土 ロームブロック多

SK 7



- SK 7
1 暗褐色土 黒色土と層に少量含む、炭化物
粒子若干、粘りしまりあり
2 褐色土 ロームブロック多塊に含む
3 暗黄褐色土 ローム粒子多塊に含む、粘りしま
りあり

SK 8



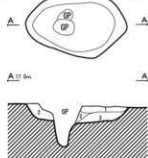
- SK 8
1 暗褐色土 ロームブロック多
2 暗褐色土 ローム粒子

SK 9



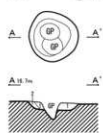
- SK 9
1 暗褐色土 炭化物粒子・
ローム粒子少
2 褐色土 ローム粒子多

SK 10

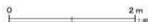


- SK 10
1 暗褐色土 ローム粒子少
2 褐色土 ローム粒子多
3 暗黄褐色土

SK 11

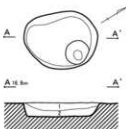


- SK 11
1 暗褐色土 ローム粒子・ロームブロック
2 暗黄褐色土 ローム粒子



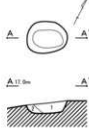
第190図 土壌 (1)

SK12



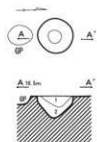
- SK12
1 暗褐色土 ローム粒子
2 暗褐色土 ローム粒子・ロームブロック

SK13



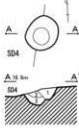
- SK13
1 暗褐色土 ローム粒子・ロームブロック
2 暗褐色土 ローム粒子多量

SK15



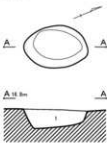
- SK15
1 暗褐色土 ローム粒子・ロームブロック、高褐色土粒子・炭化物粒子
2 暗褐色土 ローム粒子・ロームブロック、炭化物粒子

SK16



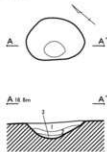
- SK16
1 暗褐色土 ローム粒子
2 暗褐色土 ローム粒子少量、ロームブロック少量、炭化物粒子微量含む
3 暗褐色土 ローム粒子多量、ロームブロック多量、炭化物粒子微量含む

SK17



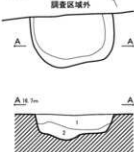
- SK17
1 暗褐色土 ローム粒子

SK18



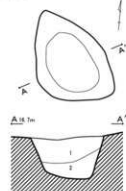
- SK18
1 暗褐色土
2 黄褐色土 ロームブロック多
3 暗褐色土

SK19



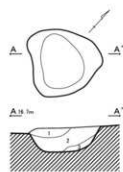
- SK19
1 暗褐色土
2 黄褐色土 ロームブロック

SK20



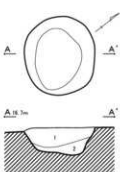
- SK20
1 暗褐色土
2 黄褐色土 ロームブロック多

SK21



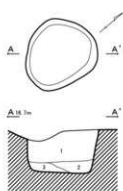
- SK21
1 黄褐色土 ロームブロック
2 暗褐色土
3 黄褐色土 ロームブロック

SK22



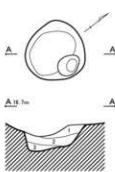
- SK22
1 暗褐色土
2 黄褐色土 ロームブロック

SK23



- SK23
1 暗褐色土
2 暗褐色土 ロームブロック
3 黄褐色土 ロームブロック多

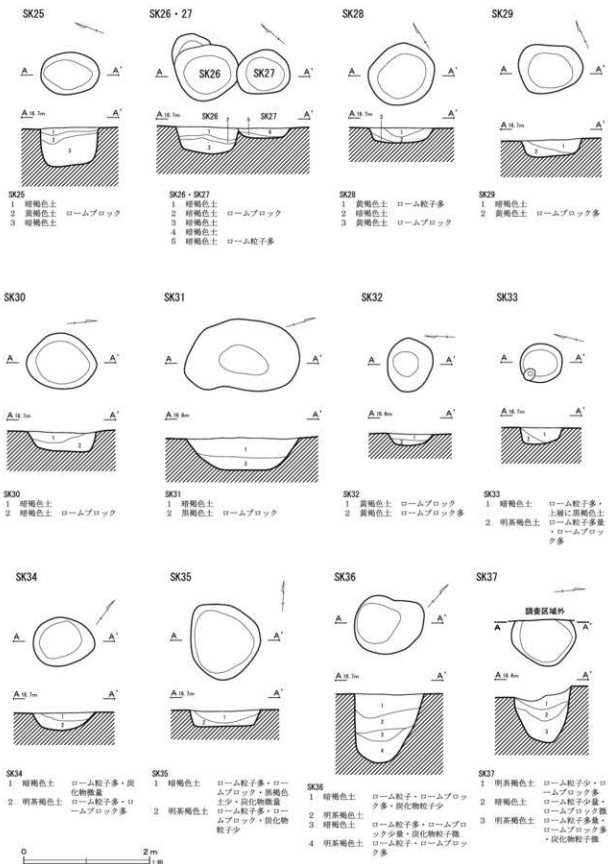
SK24



- SK24
1 黄褐色土
2 暗褐色土
3 暗褐色土

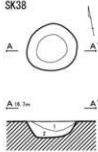


第191図 土横(2)



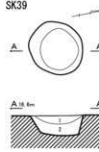
第192図 土壌 (3)

SK38



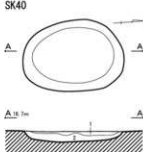
- SK38
 1 黒褐色土 ローム粒子多・ロームブロック少
 2 黄褐色土 ローム粒子多・ロームブロック少・黒色土

SK39



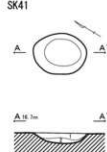
- SK39
 1 暗褐色土 ローム粒子少、粘性しりあり
 2 明茶褐色土 ローム粒子多

SK40



- SK40
 1 暗茶褐色土 ローム粒子多・ロームブロック少量
 2 明茶褐色土 ローム粒子・黒色土ブロック・炭化物粒子少量

SK41



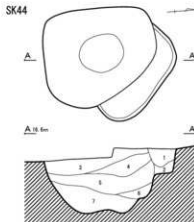
- SK41
 1 暗茶褐色土 ローム粒子多・ロームブロック少量
 2 黄褐色土 ローム粒子・ロームブロック多

SK42



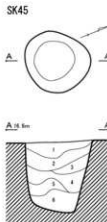
- SK42
 1 暗茶褐色土 ローム粒子少・ロームブロック・黒色土ブロック少量
 2 明茶褐色土 ローム粒子多・ロームブロック少

SK44



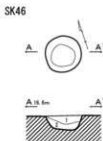
- SK44
 1 明茶褐色土 ローム粒子多・ロームブロック少
 2 暗茶褐色土 ローム粒子多・ロームブロック・黒色土ブロック少
 3 暗茶褐色土 ローム粒子多・ロームブロック少
 4 暗茶褐色土 ローム粒子少・ロームブロック・黒色土ブロック少量
 5 明茶褐色土 ローム粒子・ロームブロック多
 6 暗茶褐色土 ローム粒子多・ロームブロック少
 7 明茶褐色土 ローム粒子・ロームブロック多

SK45



- SK45
 1 暗茶褐色土 ローム粒子多・ロームブロック少
 2 黒茶褐色土 ローム粒子少・ロームブロック少量・黒色土粒子少
 3 暗茶褐色土 ローム粒子少
 4 明茶褐色土 ローム粒子・ロームブロック多・黒色土粒子少量
 5 黒茶褐色土 ローム粒子多
 6 明茶褐色土 ローム粒子・ロームブロック多

SK46



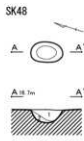
- SK46
 1 黒茶褐色土 ローム粒子多・ロームブロック少量・黒色土ブロック・炭化物粒子少
 2 明茶褐色土 ローム粒子多・ロームブロック・黒色土粒子少

SK47



- SK47
 1 暗茶褐色土 ローム粒子多・炭化物粒子少、粘土粒子少量
 2 暗褐色土 ローム粒子少・ロームブロック少量
 3 明茶褐色土 ローム粒子多・ロームブロック少・黒茶褐色土ブロック少量

SK48



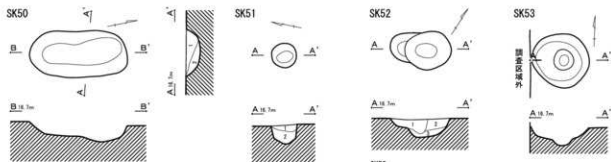
- SK48
 1 暗茶褐色土 ローム粒子多・ロームブロック・炭化物粒子少・黒茶褐色土ブロック少量
 2 黄褐色土 ローム粒子多・ロームブロック・炭化物粒子少

SK49



- SK49
 1 暗茶褐色土 ローム粒子少・ロームブロック少量・炭化物粒子少
 2 黄褐色土 ローム粒子・ロームブロック多・炭化物粒子少量

0 2 m 100



SK50

- 1 暗茶褐色土 ローム粒子少・ロームブロック
微量・黒色土粒子多・黒色土
ブロック少
- 2 明茶褐色土 ローム粒子多・ロームブロッ
ク少・黒色土粒子微量

SK51

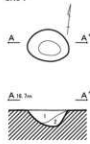
- 1 暗茶褐色土 ローム粒子・黒色土
粒子多
- 2 明茶褐色土 ローム粒子多・ローム
ブロック・黒色土
粒子少

SK52

- 1 黒茶褐色土 ローム粒子多・ローム
ブロック・黒色土ブ
ロック少
- 2 暗茶褐色土 ローム粒子多・ローム
ブロック微量・黒色土
粒子少
- 3 黄褐色土
ローム粒子・ロームブ
ロック多・黒色土粒
子微量

SK53

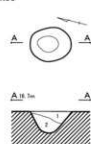
SK54



SK54

- 1 暗茶褐色土 ローム粒子・黒色土
ブロック少
- 2 暗茶褐色土 ローム粒子多・黒色
土ブロック少

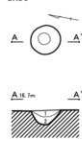
SK55



SK55

- 1 暗茶褐色土 ローム粒子・黒色
土粒子多
- 2 黄褐色土 ローム粒子・ローム
ブロック多・黒色
土粒子微量

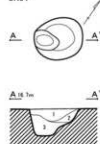
SK56



SK56

- 1 黒茶褐色土 ローム粒子少・黒色
土ブロック多
- 2 暗茶褐色土 ローム粒子多・ローム
ブロック・黒色
土ブロック微量

SK57



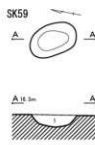
SK57

- 1 黒茶褐色土 ローム粒子少量・ローム
ブロック微量・黒色
土ブロック多量・炭化
物粒子多
- 2 暗茶褐色土 ローム粒子多量・黒色
土粒子少
- 3 暗茶褐色土 ローム粒子・ロームブ
ロック多量・黒色土粒
子少量



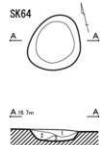
SK58

- 1 暗茶褐色土 ローム粒子少・ローム
ブロック微量・黒色
土粒子少
- 2 黒茶褐色土 ローム粒子多量・ローム
ブロック微量・黒色
土粒子多量
- 3 黄褐色土
ローム粒子・ローム
ブロック多量・黒色
土粒子微量



SK59

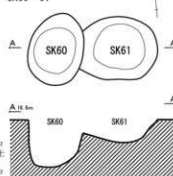
- 1 黒褐色土 ローム粒子多



SK64

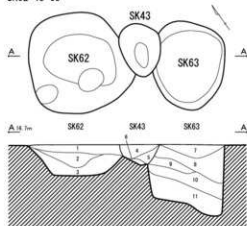
- 1 暗茶褐色土 ロームブロック少・ローム
粒子若干・黒色土
ブロック若干
- 2 暗褐色土 ロームブロック少・ローム
粒子若干
- 3 黄褐色土 ロームブロック・黒色
土粒子微量

SK60・61

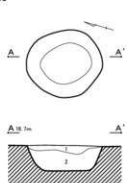


第194図 土壌(5)

SK62-43-63

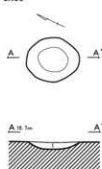


SK65



SK62・SK43・SK63
 1 埴輪色土
 2 埴黄褐色土
 3 埴黄褐色土
 4 埴輪色土
 5 埴黄褐色土
 6 埴黄褐色土
 7 埴輪色土
 8 埴輪色土
 9 埴輪色土
 10 埴輪色土
 11 埴輪色土

SK69



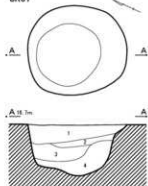
SK65

1 黒褐色土 ローム粒子少
 2 埴黄褐色土 炭化物粒子若干

SK69

1 埴輪色土 ロームブロック黒色土
 ブロック若干・ローム
 粒子多

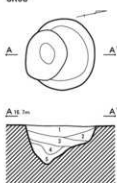
SK67



SK67

1 黒褐色土 ローム粒子多
 2 埴黄褐色土 黒色土・ローム粒子多
 3 埴輪色土 ロームブロック・ローム粒子多
 4 黒褐色土 褐色ロームブロック若干

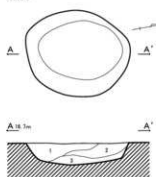
SK68



SK68

1 埴輪色土 ロームブロック若干・ローム粒子少
 2 埴黄褐色土 黒色土ブロック若干
 3 埴輪色土 ロームブロック多
 4 埴輪色土 ローム粒子少
 5 埴黄褐色土

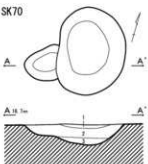
SK66



SK66

1 黒褐色土 ローム粒子少・炭化物粒子
 若干
 2 黒褐色土 ローム粒子多
 3 埴輪色土 ローム粒子多

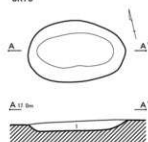
SK70



SK70

1 埴輪色土 ローム粒子若干
 2 埴輪色土 ロームブロック・黒色土
 ブロック若干・ローム粒
 子少
 3 埴黄褐色土 黒色土粒子若干

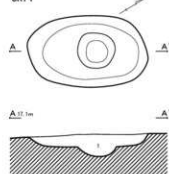
SK73



SK73

1 埴輪色土 ローム粒子少・黒土粒子・炭
 化物粒子若干

SK74

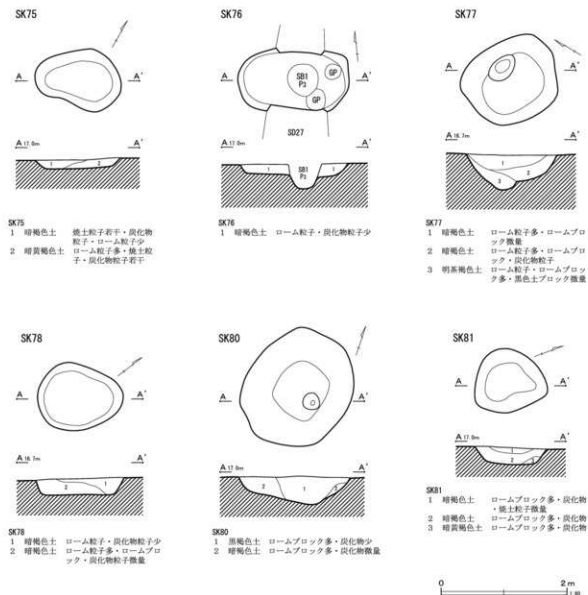


SK74

1 褐色土 ローム粒子少

0 2 m
 1 m

第195図 土横(6)



第196図 土壌 (7)

(第1地点)

第1地点の土壌群は調査区の東側と南西隅を中心に分布している(第8図)。第1号土壌を除いて、遺物は出土しなかった。

第1号土壌 (第190図)

H9・G6グリッドに位置する。南西側に第2号土壌が並んでいた。軸方位はN-26°-Eで、楕円形である。規模は長軸0.90m、短軸0.60m、深さは0.30mである。底面は平坦である。覆土は

自然堆積である。

遺物は僅少で、かわらけの小破片、鉄滓が出土している。

第2号土壌 (第190図)

H9・G5、H9・H5グリッドに位置する。北東側に第1号土壌が並んでいた。軸方位はN-40°-Eで、南側が突出した不整な楕円形である。規模は長軸1.74m、短軸1.10m、深さは0.37mである。底面は平坦である。覆土は自然堆積である。

第3号土壌 (第190図)

H9・I4グリッドに位置する。西側に第2号溝跡が平行に並んでいた。軸方位はN-33°-Eで、やや不整な楕円形である。規模は長軸1.48m、短軸1.05m、深さは0.27mである。底面は舟底状である。覆土は自然堆積である。

第5号土壌 (第190図)

H9・H5グリッドに位置する。北側の第1・2号土壌と南側の第7・9・11号土壌の中間に位置する。東側にはピット群が分布していた。軸方位はN-39°-Wで、やや不整な楕円形である。規模は長軸0.72m、短軸0.55mで、深さは0.31mである。底面は平坦である。覆土は自然堆積である。

第6号土壌 (第190図)

調査区南西隅のI9・A3グリッドに位置する。第1号溝跡と重複し、本遺構の方が新しい。軸方位はN-12°-Eで、やや南北に長い不整な円形である。規模は長軸1.10m、短軸0.98m、深さは1.10mである。底面は平坦である。覆土はロームブロックを多く含み、埋め戻しの可能性がある。

第7号土壌 (第190図)

調査区東側中央のH9・I6グリッドに位置する。第9号土壌が南西側に、第10号土壌が南側に近接していた。軸方位はN-10°-Eで、不整な楕円形である。規模は長軸2.00m、短軸1.27m、深さは0.29mである。底面はやや凹凸がある。覆土はロームブロックを多く含み、埋め戻しの可能性がある。

第8号土壌 (第190図)

I9・A3グリッドに位置する。第3号溝跡と重複し、本遺構の方が新しい。軸方位はN-65°-Wで、やや不整な円形である。規模は長軸0.53m、短軸0.51m、深さは0.34mである。底面は西側が急に深くなる。覆土はロームブロックを多く含み、埋め戻しの可能性がある。

第9号土壌 (第190図)

調査区東側中央のH9・I5、H9・I6グリ

ッドに位置する。周辺には土壌が密集しており、東側に第7・10号土壌が、西側に第11号土壌、南側に第12号土壌がある。軸方位はN-30°-Eで、不整な楕円形である。規模は長軸0.80m、短軸0.60m、深さは0.20mである。底面は平坦である。覆土は自然堆積である。

第10号土壌 (第190図)

調査区東側中央のH9・I6グリッドに位置する。周辺には土壌が密集しており、北側に第7号土壌が、西側に第9号土壌、南西側に第12号土壌がある。グリッドピットと重複し、本遺構の方が古い。軸方位は南北方向で、南側がやや張り出す不整な楕円形である。規模は長軸1.62m、短軸1.00m、深さは0.68mである。底面は平坦である。覆土は自然堆積である。

第11号土壌 (第190図)

調査区東側中央のH9・I5グリッドに位置する。周辺には土壌が密集しており、東側に第7・9・10号土壌が、南東側に第12号土壌がある。グリッドピットと重複し、本遺構の方が古い。軸方位はN-2°-Eで、不整な円形である。規模は長軸0.78m、短軸0.42m、深さは0.42mである。底面は平坦である。覆土は自然堆積である。

第12号土壌 (第191図)

調査区東側中央のH9・J5グリッドに位置する。周辺には土壌が密集しており、北側に第7・9～11号土壌が、南東側6mに第12号土壌がある。軸方位はN-32°-Eで、不整な楕円形である。規模は長軸1.18m、短軸0.91m、深さは0.24mである。底面東側に径0.25m、深さ0.24mの円形の凹みがある。覆土は自然堆積である。

第13号土壌 (第191図)

調査区東側中央やや南寄りのH9・J6グリッドに位置する。北側に第7・9・10～12号土壌がある。軸方位はN-63°-Eで、不整な円形である。規模は長軸0.64m、短軸0.50m、深さは0.20mである。底面は平坦である。覆土はロームブロッ

クを多く含み、埋め戻しの可能性がある。

第15号土壌 (第19I図)

調査区南西側のI 9・A 3グリッドに位置する。第2号溝跡と重複するが新旧は不明である。南側に第16号土壌がある。軸方位は $N-3^{\circ}-E$ で、不整な円形である。規模は長軸0.57m、短軸0.55m、深さは0.37mである。底面は舟底状である。覆土はロームブロック、炭化物を多く含み、埋め戻しの可能性がある。

第16号土壌 (第19I図)

調査区南西側のI 9・A 3グリッドに位置する。第2号溝跡と重複するが新旧は不明である。北側に第15号土壌がある。軸方位は $N-16^{\circ}-E$ で、不整な円形である。規模は長軸0.56m、短軸0.50m、深さは0.24mである。底面は舟底状である。覆土はロームブロック、炭化物を多く含み、埋め戻しの可能性がある。

(第2地点)

近世以降の土壌は、調査区の西側にほとんどが分布している。大部分の性格は不明だが、一部に地下式墳やムロの可能性のあるものがみられる。遺物は、第17・22・55・61号土壌から出土している。

第17号土壌 (第19I図)

調査区北側中央のI 9・H 2グリッドに位置する。

西側には第18～32号土壌が密集している。軸方位は $N-24^{\circ}-E$ で、不整な楕円形である。規模は長軸1.00m、短軸0.50m、深さは0.30mである。底面は南にやや傾いている。覆土は自然堆積である。かわらけの小破片が出土している。

第18号土壌 (第19I図)

調査区北西端のI 9・H 2グリッドに位置する。周辺には土壌(第18～32号)が密集しており、本遺構はその東端になる。軸方位は $N-40^{\circ}-W$ で、不整な楕円形である。規模は長軸0.92m、短軸

0.65m、深さは0.33mである。底面は舟底状である。覆土は自然堆積である。

第19号土壌 (第19I図)

調査区北西端のI 9・H 1グリッドに位置する。遺構の北側は調査区域外に延びる。周辺には土壌(第18～32号)が密集しており、本遺構はその北端になる。軸方位は $N-70^{\circ}-W$ で、不整な方形である。規模は長軸1.30m、短軸は調査区内で0.80m、深さは0.35mである。底面は凹凸がある。覆土は自然堆積である。

第20号土壌 (第19I図)

調査区北西端のI 9・G 1、I 9・H 1グリッドに位置する。周辺には土壌(第18～32号)が密集しており、本遺構はその北端になる。軸方位は $N-36^{\circ}-W$ で、不整な楕円形である。規模は長軸1.64m、短軸1.13m、深さは0.70mである。底面は平坦で東側にやや傾いている。覆土は自然堆積である。

第21号土壌 (第19I図)

調査区北西端のI 9・H 1グリッドに位置する。周辺には土壌(第18～32号)が密集しており、本遺構はその北側になる。軸方位は $N-48^{\circ}-E$ で、不整な円形である。規模は長軸1.10m、短軸1.07m、深さは0.38mである。底面は平坦である。覆土はロームブロックを多く含み、埋め戻しの可能性がある。

第22号土壌 (第19I図)

調査区北西端のI 9・H 1グリッドに位置する。周辺には土壌(第18～32号)が密集しており、本遺構はその北側になる。軸方位は $N-52^{\circ}-W$ で、不整な円形である。規模は長軸1.24m、短軸1.12m、深さは0.40mである。底面はやや凹凸がある。覆土は自然堆積である。在地産陶器の破片が出土している。

第23号土壌 (第19I図)

調査区北西端のI 9・H 1グリッドに位置する。周辺には土壌(第18～32号)が密集しており、本

遺構はその北側になる。軸方位は南北方向で、不整な楕円形である。規模は長軸1.18m、短軸1.04m、深さは0.63mである。底面は平坦である。覆土は自然堆積である。

第24号土壌 (第191図)

調査区北西端のI9・G1、I9・H1グリッドに位置する。周辺には土壌(第18～32号)が密集しており、本遺構はその北端になる。軸方位はN-2°-Eで、不整形である。規模は長軸0.95m、短軸0.95m、深さは0.54mである。底面はやや凹凸があり、南側にやや傾いている。西側に径30cm、深さ0.50mの掘り込みがある。覆土は自然堆積である。

第25号土壌 (第192図)

調査区北西端のI9・H1グリッドに位置する。周辺には土壌(第18～32号)が密集しており、本遺構はその東端になる。軸方位はN-20°-Wで、楕円形である。規模は長軸0.92m、短軸0.67m、深さは0.66mである。底面は平坦である。覆土は自然堆積である。

第26号土壌 (第193図)

調査区北西端のI9・H1グリッドに位置する。周辺には土壌(第18～32号)が密集しており、本遺構はその中央辺りになる。第27号土壌と重複し、本遺構の方が古い。軸方位はN-56°-Wで、北東側に張り出しがある楕円形である。規模は長軸1.12m、短軸0.98m、深さは0.40mである。底面は平坦である。覆土は自然堆積である。

第27号土壌 (第194図)

調査区北西端のI9・H1グリッドに位置する。周辺には土壌(第18～32号)が密集しており、本遺構はその中央辺りになる。第26号土壌と重複し、本遺構の方が新しい。軸方位はN-40°-Wで、楕円形である。規模は長軸0.84m、短軸0.68m、深さは0.17mである。底面は平坦である。覆土は自然堆積である。

第28号土壌 (第195図)

調査区北西端のI9・H1グリッドに位置する。周辺には土壌(第18～32号)が密集しており、本遺構はその西端になる。軸方位はN-58°-Wで、楕円形である。規模は長軸1.04m、短軸0.98m、深さは0.24mである。底面は平坦である。覆土は自然堆積である。

第29号土壌 (第196図)

調査区北西端のI9・H1グリッドに位置する。周辺には土壌(第18～32号)が密集しており、本遺構はその西端になる。軸方位はN-65°-Wで、楕円形である。規模は長軸1.03m、短軸0.75m、深さは0.28mである。底面は平坦である。覆土は自然堆積である。

第30号土壌 (第197図)

調査区北西端のI9・H1グリッドに位置する。周辺には土壌(第18～32号)が密集しており、本遺構はその西端になる。軸方位はN-6°-Eで、楕円形である。規模は長軸1.09m、短軸0.87m、深さは0.34mである。底面は平坦である。覆土は自然堆積である。

第31号土壌 (第198図)

調査区北西端のI9・I1グリッドに位置する。周辺には土壌(第18～32号)が密集しており、本遺構はその南端になる。軸方位はN-7°-Eで、東側が凹む楕円形である。規模は長軸1.84m、短軸1.15m、深さは0.59mである。底面は平坦である。覆土は自然堆積である。

第32号土壌 (第199図)

調査区北西端のI9・I1グリッドに位置する。周辺には土壌(第18～32号)が密集しており、本遺構はその南端になる。軸方位はN-89°-Wで、楕円形である。規模は長軸0.83m、短軸0.72m、深さは0.19mである。底面は平坦である。覆土はロームブロックを多く含み、埋め戻しの可能性がある。

第33号土壌 (第200図)

調査区の西側のJ9・B1グリッドに位置する。

周辺には土壌（第33-69・77・78号）が密集しており、本遺構はその西側、中央になる。軸方位はN-14°-Wで、ほぼ円形である。規模は長軸0.65m、短軸0.61m、深さは0.24mである。底面は平坦である。覆土は自然堆積である。

第34号土壌（第193図）

調査区の西側のJ9・B1グリッドに位置する。周辺には土壌（第33-69・77・78号）が密集しており、本遺構はその西側中央に当たる。至近に第35・36号土壌がある。軸方位はN-53°-Eで、不整な楕円形である。規模は長軸0.97m、短軸0.78m、深さは0.28mである。底面は平坦である。覆土は自然堆積である。

第35号土壌（第193図）

調査区の西側のJ9・B1グリッドに位置する。周辺には土壌（第33-69・77・78号）が密集しており、本遺構はその西側中央に当たる。至近に第34・36号土壌がある。軸方位はN-31°-Wで、不整な円形である。規模は長軸1.23m、短軸1.07m、深さは0.26mである。底面は平坦である。覆土は自然堆積である。

第36号土壌（第193図）

調査区西側のJ9・B1グリッドに位置する。周辺には土壌（第33-69・77・78号）が密集しており、本遺構はその西側中央に当たる。至近に第34・35号土壌がある。軸方位はN-48°-Eで、不整な円形である。規模は長軸1.08m、短軸0.83m、深さは1.07mで、深い。底面は舟底状である。覆土はロームブロックを多く含み、埋め戻しの可能性がある。

第37号土壌（第193図）

調査区西端のJ8・B10グリッドに位置する。遺構の西側は調査区域外になる。周辺には土壌（第33-69・77・78号）が密集しており、本遺構はその西端に当たる。軸方位はN-36°-Wで、隅丸方形である。規模は長軸1.00m、短軸0.73mである。深さは1.08mで、深い。底面は舟底状で

ある。覆土はロームブロックを多く含み、埋め戻しの可能性がある。

第38号土壌（第193図）

調査区西側のJ9・B1グリッドに位置する。周辺には土壌（第33-69・77・78号）が密集しており、本遺構はそのほぼ中央に当たる。軸方位はN-84°-Eで、不整な円形である。規模は長軸0.83m、短軸0.74m、深さは0.25mである。底面は平坦である。覆土は自然堆積である。

第39号土壌（第193図）

調査区西側のJ9・B1 J9・B2グリッドに位置する。周辺には土壌（第33-69・77・78号）が密集しており、本遺構はそのほぼ中央に当たる。第40号土壌が東側に近接している。軸方位はN-22°-Eで、不整な円形である。規模は長軸0.86m、短軸0.81m、深さは0.35mである。底面は平坦である。覆土は自然堆積である。

第40号土壌（第193図）

調査区西側のJ9・B2グリッドに位置する。周辺には土壌（第33-69・77・78号）が密集しており、本遺構はそのほぼ中央に当たる。第39号土壌が西側に近接している。軸方位は南北方向で、楕円形である。規模は長軸1.59m、短軸1.12m、深さは0.18mである。底面は平坦である。覆土は自然堆積である。

第41号土壌（第193図）

調査区西側のJ9・B2グリッドに位置する。周辺には土壌（第33-69・77・78号）が密集しており、本遺構はそのほぼ中央に当たる。南側に近接して第39・40号土壌がある。軸方位はN-31°-Wで、楕円形である。規模は長軸0.83m、短軸0.65m、深さは0.17mである。底面は舟底状である。覆土は自然堆積である。

第42号土壌（第193図）

調査区西側のJ9・B2グリッドに位置する。周辺には土壌（第33-69・77・78号）が密集しており、本遺構はそのほぼ中央に当たる。南側に近

接して第44・45号土壌がある。軸方位はN-44°-Wで、楕円形である。規模は長軸0.90m、短軸0.81m、深さは0.45mである。底面は舟底状である。覆土は自然堆積である。

第43号土壌 (第193区)

調査区西側のJ9・B2グリッドに位置する。周辺には土壌(第33-69・77・78号)が密集しており、本遺構はその東側に当たる。第62・63号土壌に挟まれた形で重複し、本遺構が最も新しい。軸方位はN-17°-Eで、不整な楕円形である。規模は長軸0.85m、短軸0.63m、深さは0.35mである。底面は舟底状である。覆土は自然堆積である。

第44号土壌 (第193区)

調査区西側のJ9・B2、J9・C2グリッドに位置する。周辺には土壌(第33-69・77・78号)が密集しており、本遺構はその東側に当たる。第42・45号土壌が至近に位置する。軸方位はN-49°-Eで、張り出しのある不整な方形である。北東側の張り出しの部分が一段浅くなっている。規模は長軸2.08m、短軸1.53m、深さは1.08mである。底面は凹凸がある。覆土は自然堆積である。地下式城の可能性がある。

第45号土壌 (第193区)

調査区西側のJ9・B2グリッドに位置する。周辺には土壌(第33-69・77・78号)が密集しており、本遺構はその南東隅に当たる。第44号土壌が西側にある。軸方位はN-21°-Eで、不整円形である。規模は長軸1.03m、短軸0.94mである。深さは1.11mで、深い。底面は北側に傾いている。覆土は自然堆積である。

第46号土壌 (第193区)

調査区西側のJ9・B2グリッドに位置する。周辺には土壌(第33-69・77・78号)が密集しており、本遺構はその南東隅に当たる。第60・61号土壌が北側にある。軸方位はN-56°-Wで、不整な円形である。規模は長・短軸とも0.57mで、深さは0.23mである。底面は平坦である。覆土は

自然堆積である。

第47号土壌 (第193区)

調査区西側のJ9・B1グリッドに位置する。周辺には土壌(第33-69・77・78号)が密集しており、本遺構はそのほぼ中央に当たる。軸方位はN-85°-Eで、不整な楕円形である。規模は長軸0.85m、短軸0.68mで、深さは0.28mである。底面は舟底状である。覆土は自然堆積である。

第48号土壌 (第193区)

調査区西側のJ9・B1グリッドに位置する。周辺には土壌(第33-69・77・78号)が密集しており、本遺構はそのほぼ中央に当たる。軸方位はN-17°-Wで、楕円形である。規模は長軸0.52m、短軸0.33m、深さは0.21mである。底面は舟底状である。覆土は自然堆積である。

第49号土壌 (第193区)

調査区西側のJ9・A1グリッドに位置する。周辺には土壌(第33-69・77・78号)が密集しており、本遺構はその北側に当たる。軸方位は南北方向で、不整な円形である。規模は長軸0.53m、短軸0.50m、深さは0.39mである。底面は舟底状である。覆土は自然堆積である。

第50号土壌 (第194区)

調査区西側のJ9・A1グリッドに位置する。周辺には土壌(第33-69・77・78号)が密集しており、本遺構はその北側に当たる。西側に第51・52号土壌がある。軸方位はN-13°-Eで、不整な楕円形である。規模は長軸1.52m、短軸0.73m、深さは0.32mである。底面は北側が凹んでいる。覆土は自然堆積である。

第51号土壌 (第194区)

調査区西側のJ9・A1グリッドに位置する。周辺には土壌(第33-69・77・78号)が密集しており、本遺構はその北側に当たる。第50・52号土壌が近接している。軸方位はN-75°-Eで、円形である。規模は径0.38m、深さは0.45mである。底面は舟底状である。覆土は自然堆積である。

第52号土壌 (第194区)

調査区西側の J 9・A 1 グリッドに位置する。周辺には土壌 (第33-69・77・78号) が密集しており、本遺構はその北側に当たる。第51号土壌が近接している。軸方位は N-67°-E で、西側に張り出しがある円形である。規模は長軸 0.98m、短軸 0.65m、深さは 0.37m である。底面は西側に段がある。覆土は自然堆積である。

第53号土壌 (第194区)

調査区西側の J 8・A 10 グリッドに位置する。周辺には土壌 (第33-69・77・78号) が密集している。遺構の西側は調査区域外に接している。軸方位は N-51°-W で、円形である。規模は長軸 0.87m、短軸 0.82m、深さは 0.28m である。底面は中央が一段深くなり、ピット状である。覆土は不明である。

第54号土壌 (第194区)

調査区西側の J 8・A 10 グリッドに位置する。周辺には土壌 (第33-69・77・78号) が密集しており、本遺構はその北西端に当たる。軸方位は N-13°-E で、楕円形である。規模は長軸 0.64m、短軸 0.50m、深さは 0.28m である。底面は東側が深い。覆土は自然堆積である。

第55号土壌 (第194区)

調査区西側の J 9・A 1 グリッドに位置する。周辺には土壌 (第33-69・77・78号) が密集しており、本遺構はその北側に当たる。軸方位は N-25°-W で、楕円形である。規模は長軸 0.64m、短軸 0.51m、深さは 0.35m である。底面は舟底状である。覆土は自然堆積である。瀬戸美濃の陶器、肥前系磁器の破片が出土している。

第56号土壌 (第194区)

調査区西側の J 9・A 1 グリッドに位置する。周辺には土壌 (第33-69・77・78号) が密集しており、本遺構はその北側に当たる。軸方位は N-55°-W で、円形である。規模は長軸 0.46m、短軸 0.45m、深さは 0.24m である。底面は舟底状であ

る。覆土は自然堆積である。上層は耕作の影響を多く受けている。

第57号土壌 (第194区)

調査区西側の J 9・A 1 グリッドに位置する。周辺には土壌 (第33-69・77・78号) が密集しており、本遺構はその北側に当たる。軸方位は N-48°-E で、円形である。規模は長軸 0.77m、短軸 0.65m、深さは 0.42m である。底面は西側が一段深くなっている。覆土は自然堆積である。上層は耕作の影響を多く受けている。

第58号土壌 (第194区)

調査区西側の J 9・A 1 グリッドに位置する。周辺には土壌 (第33-69・77・78号) が密集しており、本遺構はその北端に当たる。軸方位は N-61°-E で、楕円形である。規模は長軸 0.80m、短軸 0.63m、深さは 0.38m である。底面は平坦である。覆土は自然堆積である。

第59号土壌 (第194区)

調査区西側の J 9・A 1 グリッドに位置する。周辺には土壌 (第33-69・77・78号) が密集しており、本遺構はその北側に当たる。軸方位は N-33°-W で、不整な楕円形である。規模は長軸 0.77m、短軸 0.48m、深さは 0.20m である。底面は舟底状である。覆土は自然堆積である。

第60号土壌 (第194区)

調査区西側の J 9・B 2 グリッドに位置する。周辺には土壌 (第33-69・77・78号) が密集しており、本遺構はその東端に当たる。第61号土壌と重複するが、新旧関係は不明である。軸方位は N-16°-E で、楕円形である。規模は長軸 1.15m、短軸 0.86m、深さは 0.76m である。底面は西側が深くなっている。覆土は自然堆積である。

第61号土壌 (第194区)

調査区西側の J 9・B 2 グリッドに位置する。周辺には土壌 (第33-69・77・78号) が密集しており、本遺構はその東端に当たる。第60号土壌と重複するが、新旧関係は不明である。軸方位は

N-84°-Wで、楕円形である。規模は長軸1.16m、短軸1.00m、深さは0.39mである。底面は舟底状である。覆土は自然堆積である。かわらけの破片が出土している。

第62号土壌 (第195図)

調査区西側のJ9・B2グリッドに位置する。周辺には土壌(第33~69・77・78号)が密集しており、本遺構はその東端に当たる。第43号土壌と重複し、本遺構の方が古い。また、同様の規模の第63号土壌が東側に近接する。両遺構とともに、地下式城等の一つの遺構である可能性がある。軸方位はN-16°-Eで、不整な楕円形である。規模は長軸1.60m、短軸1.47m、深さは0.56mである。底面は東側が一段深くなっている。覆土は自然堆積である。

第63号土壌 (第195図)

調査区西側のJ9・B2グリッドに位置する。周辺には土壌(第33~69・77・78号)が密集しており、本遺構はその東端に当たる。第43号土壌と重複し、本遺構の方が古い。また、同様の規模の第62号土壌が西側に近接する。両遺構とともに、地下式城等の一つの遺構である可能性がある。軸方位はN-17°-Eで、不整な楕円形である。規模は長軸1.43m、短軸1.17m、深さは1.12mである。底面は東側が一段深くなっている。覆土は自然堆積である。

第64号土壌 (第195図)

調査区西側のJ9・B2グリッドに位置する。周辺には土壌(第33~69・77・78号)が密集しており、本遺構はその東端に当たる。周辺には土壌(第33~69・77・78号)が密集しており、本遺構はその東端に当たる。軸方位はN-41°-Eで、不整な円形である。規模は長軸0.93m、短軸0.79m、深さは0.24mである。底面は平坦である。覆土は自然堆積である。

第65号土壌 (第195図)

調査区西側のJ9・B2グリッドに位置する。

周辺には土壌(第33~69・77・78号)が密集しており、本遺構はその東側に当たる。軸方位はN-13°-Wで、不整な円形である。規模は長軸1.20m、短軸1.07m、深さは0.41mである。底面は平坦である。覆土は自然堆積である。

第66号土壌 (第195図)

調査区西側のJ9・B2グリッドに位置する。周辺には土壌(第33~69・77・78号)が密集しており、本遺構はその東側に当たる。軸方位はN-10°-Eで、不整な円形である。規模は長軸1.62m、短軸1.36m、深さは0.36mである。底面は平坦である。覆土は自然堆積である。

第67号土壌 (第195図)

調査区西側のJ9・A2グリッドに位置する。周辺には土壌(第33~69・77・78号)が密集しており、本遺構はその北東端に当たる。軸方位はN-24°-Wで、不整な円形である。地下式城の可能性がある。規模は長軸1.55m、短軸1.41m、深さは0.90mである。底面は南側が一段深くなっている。覆土は自然堆積である。

第68号土壌 (第195図)

調査区西側のJ9・A2グリッドに位置する。周辺には土壌(第33~69・77・78号)が密集しており、本遺構はその北東端に当たる。軸方位はN-12°-Eで、不整な円形である。規模は長軸1.14m、短軸1.08m、深さは0.61mである。底面は南側が一段深くなっている。覆土は自然堆積である。

第69号土壌 (第195図)

調査区西側のJ9・A2グリッドに位置する。周辺には土壌(第33~69・77・78号)が密集しており、本遺構はその北東側に当たる。北西側の至近に第70号土壌がある。軸方位はN-25°-Wで、楕円形である。規模は長軸0.82m、短軸0.70m、深さは0.13mである。底面は舟底状である。覆土は自然堆積である。

第70号土壌 (第196図)

調査区西側のJ9・A2グリッドに位置する。周辺には土壌(第33-69・77・78号)が密集しており、本遺構はその北東側に当たる。南東側の至近に第69号土壌がある。軸方位はN-12°-Wで、西側に突出部が付く楕円形である。規模は長軸1.39m、短軸1.15m、深さは0.38mである。底面は舟底状である。突出部は一段浅くなっている。覆土は自然堆積である。

第73号土壌 (第196図)

調査区の中央やや西寄りのJ9・B3グリッドに位置する。第28号溝跡の東側に隣接している。軸方位はN-77°-Wで、楕円形である。規模は長軸1.54m、短軸0.97m、深さは0.22mである。底面は平坦である。覆土は自然堆積である。

第74号土壌 (第196図)

調査区の中央やや西寄りのJ9・B4 J9・C4グリッドに位置する。第25号溝跡の北側延長線上にある。軸方位はN-61°-Eで、楕円形である。規模は長軸1.87m、短軸1.12m、深さは0.37mである。底面は中央が一段ビット状に凹んでいる。覆土は自然堆積である。

第75号土壌 (第196図)

調査区の中央やや西寄りのJ9・C4グリッドに位置する。北西側に第74号土壌がある。軸方位はN-31°-Eで、不整な楕円形である。規模は長軸1.35m、短軸0.98m、深さは0.16mである。底面は平坦である。覆土は自然堆積である。

第76号土壌 (第196図)

調査区の中央やや西寄りのJ9・C3グリッドに位置する。第23号溝跡と重複し、本遺構の方が古い。また、第1号掘立柱建物跡のP3が掘り込まれている。軸方位はN-83°-Wで、不整な楕円形である。規模は長軸1.77m、短軸1.00m、深さは0.15-0.20mである。底面は平坦である。覆

土は自然堆積である。

第77号土壌 (第196図)

調査区南西側のJ9・B1、J9・C1グリッドに位置する。周辺には土壌(第33-69・77・78号)が密集しており、本遺構はその南西側に当たる。軸方位はN-35°-Wで、不整な円形である。規模は長軸1.51m、短軸1.30m、深さは0.45mである。底面は北側にビット状の掘り込みがある。覆土は自然堆積である。

第78号土壌 (第196図)

調査区南西側のJ9・C1グリッドに位置する。北側には土壌が密集しているが、本遺構は南にやや離れている。軸方位はN-37°-Eで、不整な円形である。規模は長軸1.37m、短軸1.07m、深さは0.27mである。底面は平坦である。覆土は自然堆積である。

(第3地点)

調査区の西側からビット群に伴って、2基の土壌が検出されている。いずれも遺物は出土していない。

第80号土壌 (第196図)

調査区西側のJ9・B1、J9・C1グリッドに位置する。周辺にはビットが多く分布している。第81号土壌が南西にある。軸方位はN-17°-Eで、不整な円形である。規模は長軸1.92m、短軸1.63m、深さは0.53mである。底面は舟底状である。覆土は自然堆積である。

第81号土壌 (第196図)

調査区西側のJ9・C1グリッドに位置する。周辺にはビットが多く分布している。第80号土壌が北東にある。軸方位はN-36°-Eで、不整な円形である。規模は長軸1.14m、短軸0.96m、深さは0.29mである。底面は平坦である。覆土はロームブロックが多く、埋め戻しの可能性がある。

(3) 溝跡

清河寺前原遺跡では、第1地点から4条、第2地点から25条、第3地点から8条の溝跡が検出されている。概ねN-15°-Eとそれに直交するN-75°-Wの軸方向のものが多く、調査区全体で共通した地割のもと土地利用が行われていたと考えられる。

第1地点

調査区の西側に4条の溝跡が分布する。第1・2号溝跡が7mの間隔で並行する。第3号溝跡は南側で両者と直交している。第1号溝跡以外、遺物は出土していない。

第1号溝跡 (第197区)

調査区の西側、H9・G3、H9・H3、H9・I3、H9・J3、I9・A2、I9・A3グリッドに位置する。第2号溝跡が東側7mに並行する。第3号溝跡と重複するが新日は不明である。遺構の西側は調査区域外にかかり、全体の規模は不明である。軸方位はN-15°-Eで、調査区の西縁を縦走している。検出した範囲で長さは45.3mである。幅は1.55~2.0mほどが調査できた。深さは0.45~0.7mである。覆土は上層の1~4層が自然堆積、下層の5~6層がロームブロックを多く含み、埋め戻しと考えられる。

遺物は、近世の瀬戸美濃陶器碗、播鉢、肥前系陶器、在地産陶器鉢、焙烙、かわらけの破片が出土している。

第2号溝跡 (第197区)

調査区の西側、H9・I4、H9・J3、H9・J4、I9・A3、I9・B3グリッドに位置する。第1号溝跡が西側7mに並行する。第3号溝跡と重複するが新日は不明である。第3号溝跡以南では、第4号溝跡が東脇に並行する。遺構の南側は調査区域外に延びる。ほぼ直線のだが、北半はやや曲がっている。検出した範囲で長さは33.3mである。幅は0.8~1.0mほどだが、先端部は

細くなっている。深さは0.16~0.21mで、浅い。覆土は自然堆積である。

第3号溝跡 (第197区)

調査区の西側、I9・A3、I9・A4グリッドに位置する。遺構の東側は、擾乱により壊されている。遺構の西側は第1号溝跡に接続する。第2号溝跡と重複するが、新日は不明である。検出した範囲で、長さは10.7mである。幅は1.4~2.0mほどで壁面の凹凸が激しい。深さは0.25mで、浅い。覆土は自然堆積である。

第4号溝跡 (第197区)

調査区の西側、I9・A3、I9・B3グリッドに位置する。第2号溝跡が東脇に並行する。第3号溝跡に接続し、南側は調査区域外に延びる。検出した範囲で、長さは7.2mである。幅は1.4~1.6mほどで壁面は凹凸がある。深さは0.22mで、浅い。覆土は自然堆積である。

第2地点

調査区西縁の第8号溝跡を除き、調査区の西側に分布する土壌群より東側に分布している。

第5・6・7・8~13・21・28号溝跡は、調査区を縦断、横断するもので、区画溝と考えられる。

第14~20・22~29号溝跡は調査区の南側に分布しており、長さが10~15mで、およそ3.5~4.5m間隔で並行しており、耕作に伴うさく跡と考えられる。

出土遺物は、概ね18世紀の瀬戸美濃系陶器、肥前系磁器、在地産陶器、焙烙である。瀬戸美濃系皿、鉢はほとんどが灰釉である。一部に17世紀に遡る可能性があるものもみられる。

以下では、西端でまとまって南北に調査区を縦断する第5・6・7・28号溝跡、調査区西縁の第8号溝跡、調査区中央、東側で南北に縦断する第10・13号溝跡、東西に調査区を横断する第9・11・12・21号溝跡、さく跡と考えられる第14~

20・22～27・29号溝跡に分けて記述する。

第5・6・7・28号溝跡 (第198図)

調査区西側の19・H～J3・4、J9・A～D2・3グリッドに位置する。第6・7号溝跡を中心に、西側2mに第5号溝跡、東側2mに第28号溝跡が並行する。軸方位はN-11°Eで、いずれも北側は調査区域外に延びる。第1号溝跡は南側に現在でも信仰されている塚があり、先端は確認できなかった。その南では遺構を確認できなかったため、いずれかの地点で立ち上がるものと考えられる。第28号溝跡は攪乱の事前で立ち上がっている。第6・7号溝跡の南側は調査区域外に延びている。いずれも同様の覆土で、自然堆積である。

また、第1号掘立柱建物跡と重複するが、新旧は不明である。

第5号溝跡は、調査区内で、長さ22.5m、幅1.2～1.5mほどで壁面は凹凸がある。深さは0.45～0.6mである。18世紀の肥前系磁器碗、瀬戸美濃皿、在地産陶器、焙烙、瓦、火打石が出土している。

第6・7号溝跡はほぼ並行して調査区を縦断する。一部重複しており、土層からは第6号溝跡の方が古いが、新旧は不明である。

第6号溝跡の南側は、調査区の中でそのまま直線的に延伸する部分と直角に分岐する部分に分かれる。更に南側へ屈曲し南に延びる部分は、第1号溝跡の延長線上になる。検出した範囲で、直線的に延びる部分の長さは48.6m、屈曲して西に8.6m延び、更にその南側は17.4mである。幅は0.5～2.2mほどで、南側の方が広い。壁面は凹凸がある。深さは0.3～0.6mほどである。

第7号溝跡の南側は、調査区の中で第6号溝跡の屈曲部と直交し、その部分で互い違いになる。第7号溝跡は、調査区内で長さ45.0m、幅0.5～1.6mほどで、壁面は凹凸がある。深さは0.8mほどである。瀬戸美濃香炉(三足)、鉢、碗、瓦、焙烙の破片が出土している。

第28号溝跡の南側は、第6号溝跡の屈曲部より南側で分岐、拡幅が目立つようになる。調査区内で長さ45.0m、幅0.8～1.5mほどで、壁面は凹凸がある。深さは0.3～0.4mほどである。18世紀前半の瀬戸美濃碗、18世紀中葉から19世紀中葉の瀬戸美濃火入、肥前系磁器(赤絵)の破片が出土している。

第8号溝跡 (第200図)

調査区の西端J8・B10、J8・C10グリッドに位置する。軸方位はN-3°Eで、調査区の西縁を縦走している。遺構の西側は調査区域外にかなり、全体の規模は不明である。検出した範囲で、長さは13.2m、幅は0.56mほどである。深さは0.14～0.27mである。覆土は観察できなかった。

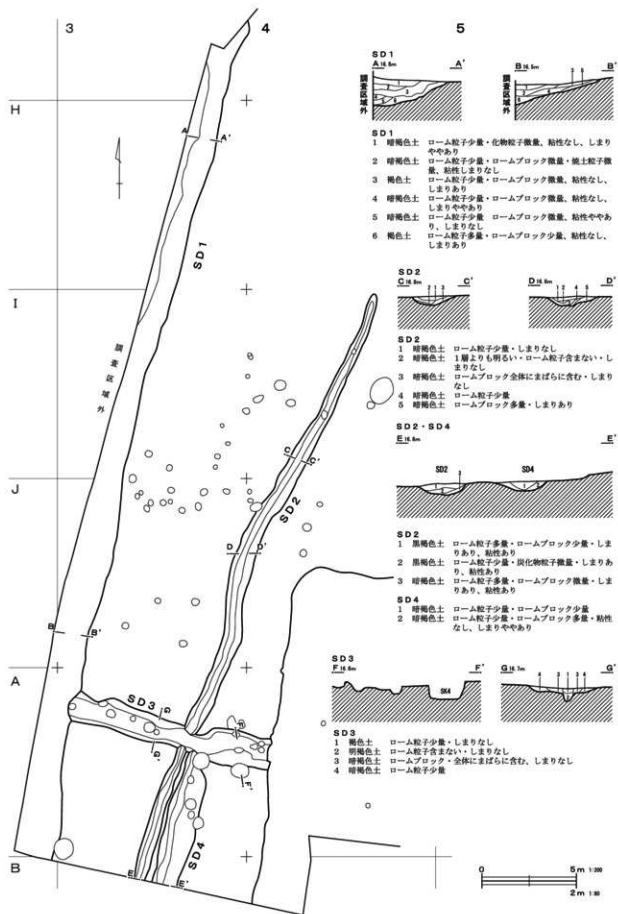
第10・13号溝跡 (第199図)

第10・13号溝跡は第9号溝跡を起点として、調査区を南北に縦断するものである。軸方位は前者がN-5°E、後者がN-8°Eである。遺構の南側は調査区域外に延びる。第13号溝跡は第28号溝跡の18.0～19.0m西側に並行し、第10号溝跡はその16.0～17.0m西側に並行している。

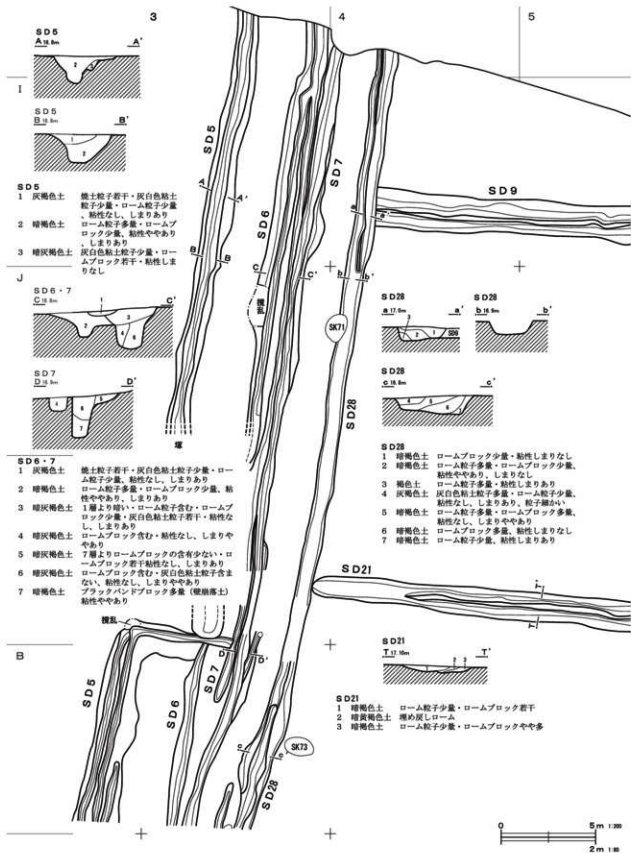
第13号溝跡は一つの掘り込みの中に2条の底がみられるものである。第12・21号溝跡と直交するが新旧は不明である。遺構の配置からは同時存在の可能性が考えられる。調査区内で、長さ49.5m、幅1.8～3.0mほどで、壁面は凹凸がある。深さは0.1～0.17mである。17世紀後半の瀬戸美濃菊皿、在地産陶器、焙烙の破片が出土している。

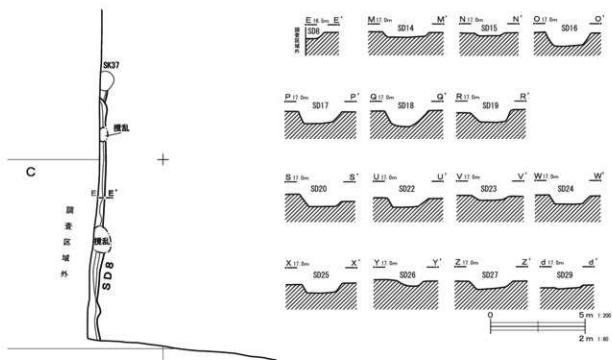
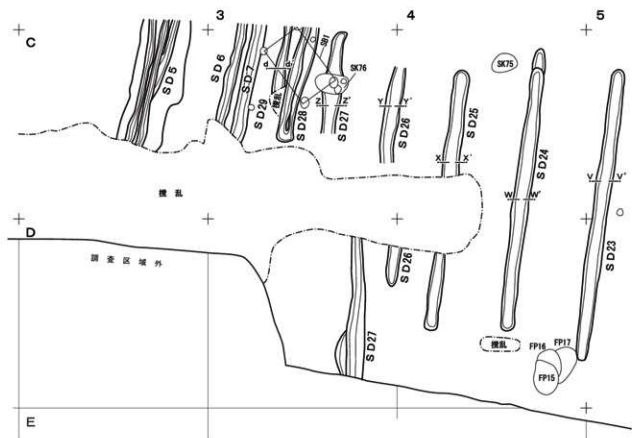
第10号溝跡は、2条の溝が一つの遺構を構成していると考えられるものである。調査区の中ほどで5mほど間隔を開けている。その開口部を第11号溝跡が東西に通っている。調査区内で、長さ55.0m、幅0.5～1.0mの溝が複合して幅1.5mほどになっている。壁面は凹凸がある。深さは0.1mである。瀬戸美濃鉢、在地産陶器鉢、鉄滓、縄文土器の破片が出土している。

いずれも同様の覆土で、自然堆積である。

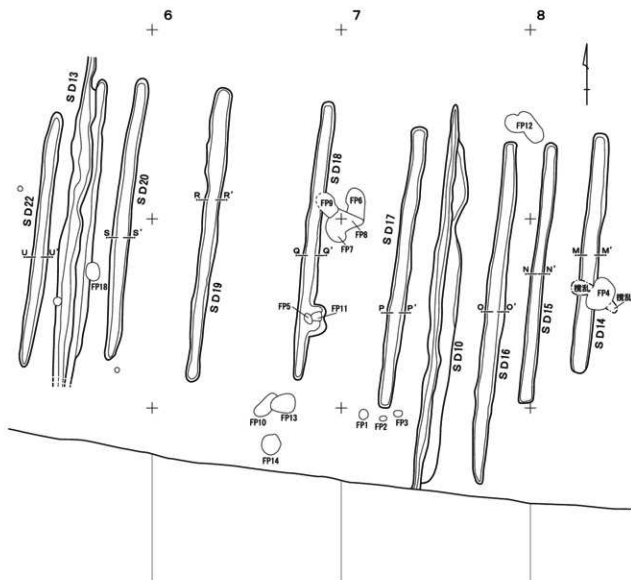


第197図 溝跡(1)





第200図 溝跡(4)



第201図 溝跡(5)

第9・11・12・21号溝跡 (第198図)

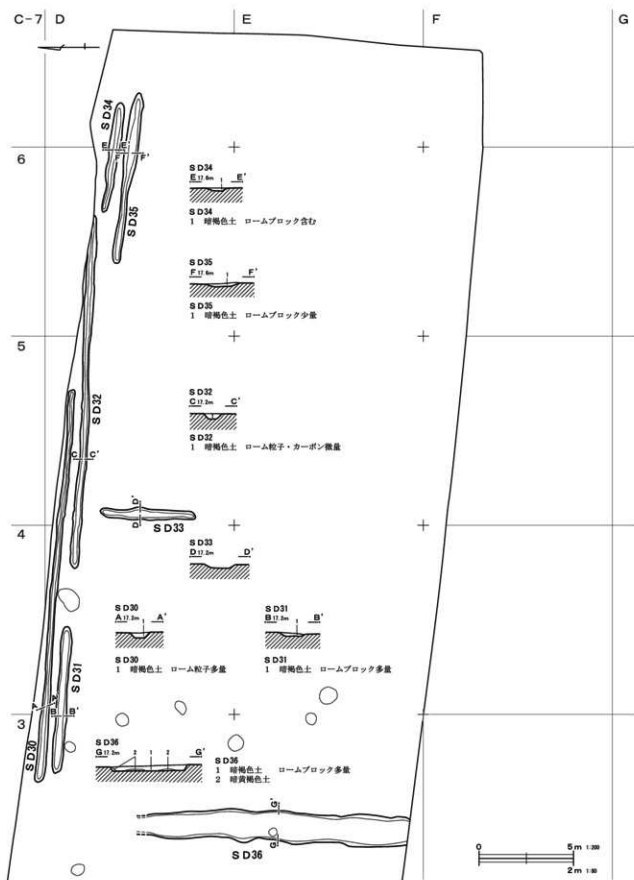
第9・11・12・21号溝跡は、東西方向に延びるものである。軸方向はいずれもN-85°-Wである。最も北側にある第9号溝跡は、南北方向の第28号溝跡を西端の起点に、東側は調査区外に延びる。第10・13号溝跡はこの第9号溝を北端の起点として、南の調査区域外まで南北に延びている。西側は二股に分岐している。長さは、検出された範囲で45.2mである。幅は1.5~2.3m、深さは0.15mほどである。

第21号溝跡は、第9号溝跡と18.5mの間隔を置

いて並行する。第28号溝跡と第13号溝跡の間を区画するものである。長さは19.5m、幅1.2~1.5m、深さは0.15mほどである。

第12号溝跡は、第9号溝跡と26.0mの間隔を置いて並行し、第13号溝跡と第10号溝跡の間を区画している。2条の溝跡がセットとして一つの溝跡になっている。長さは16.5m、幅1.5~2.0m、深さは0.11mほどである。瀬戸美濃碗、砥石、石臼の破片、縄文土器の破片が出土している。

第11号溝跡は、第12号溝跡と1.3mの間隔を置いて並行する。第12号溝跡と同様の区画溝と考えら



第202図 溝跡(6)

れる。本遺構は第6号溝跡の中間を抜けて、東側は調査区域外まで延びている。第10号溝跡より東側は幅が数倍になる。検出された範囲で、長さは28.5m、幅0.5～2.0m、深さは0.13mほどである。瀬戸美濃系天目茶碗、火鉢、在産陶器の破片が出土している。

いずれも同様の覆土で自然堆積と考えられる。

遺物はいずれも近世以降のものである。

第14～20・22～27・29号溝跡 (第200図)

調査区の南側、J9・C～E3～8グリッドに分布する。第28号溝跡より東側、第11号溝跡より南側に限られる。軸方位はN-6°-Eで、およそ3.5～4.5m間隔で並行している。北端は第11号溝跡の南約3.5mに揃っている。長さは最も短い26号で7.1m、最も長い16号で17.2mになるが、概ね10～15mほどである。幅0.7～1.5m、深さ0.1～0.34mである。これらは、耕作に伴うさく跡と考えられる。覆土は観察できなかった。

遺物は第15号溝跡から焙烙、第18号溝跡から17世紀に遡る可能性がある瀬戸美濃皿、肥前系磁器碗、かわらけが、第19号溝跡から在産陶器、焙烙が、第23号溝跡から肥前系磁器碗、第24号溝跡から瀬戸美濃系天目茶碗、肥前系磁器碗、焙烙が、第25号溝跡から在産陶器、焙烙が、第26号溝跡からかわらけが出土している。

第29号溝跡のみが北側にずれ、長さ6.0m、幅も0.4mと狭く、あるいは他の性格の溝跡である可能性がある。

第3地点

溝跡は調査区の東半に分布している。南北方向の第33・36号溝跡と、東西方向の第30～32・34・35号溝跡がある。東西方向のものは第2地点の第11・12号溝跡の延長線上に当たる。南北方向のものは第10・13号溝跡と並行する。第33号溝跡は長さが短く、幅が狭いなどさく跡の可能性がある。それ以外のものは区画溝と考えられる。いずれか

らも遺物は出土しなかった。

以下では、第33・36号、第30～32・34・35号に分けて記述する。

第33・36号溝跡 (第201図)

第33・36号溝跡は、東西の溝跡より南側に分布する。軸方位はいずれも南北方向に近く、第2地点の南北方向のものとはほぼ平行する。

第36号溝跡は、調査区のほぼ中央に位置する。遺構の北側は掘乱しに当たり確認できなかった。南側は調査区域外に延びる。調査区内で、長さ14.0m、幅1.4～1.6mほどで、壁面は凹凸がある。深さは0.12～0.21mである。覆土はロームブロックを多く含み、埋め戻しの可能性がある。

第33号溝跡は、調査区中央西側にあり、第36号溝跡の15.5m東側に並行する。長さ5.0m、幅0.4～0.6m、深さは0.1mである。第29号溝跡とはほぼ同様の規模であり、同様の性格をもつ可能性がある。覆土は観察できなかった。

第30～32・34・35号溝跡 (第202図)

第30～32・34・35号溝跡は、東西方向に延びるものである。軸方位はいずれもN-85°-Wである。途切れ途切れの一連の遺構と考えることもできる。

最も北側にある第30号溝跡は、長さ20.8m、幅0.3m、深さ0.1mである。

第31号溝跡は、第30号溝跡の南側0.5mに並行するように造られている。長さ7.6m、幅0.5m、深さ0.1mである。

第32号溝跡は、3mの間隔を置いて、第31号溝跡の延長線上の東側に延びる。遺構の東側は調査区域外にかかる。長さ18.4m、幅0.4～0.5m、深さ0.1～0.2mで、壁面は凹凸がある。

第34号溝跡は、第31・32号溝跡の南縁の延長線上に北縁を合わせて作られている。長さ5.9m、幅0.4～0.6mで、東側は幅広である。深さは0.1mである。

第35号溝跡は、第34号溝跡の南側0.5mに並行す

るように造られている。長さ9.15、幅0.3～0.8mで、東側は幅広である。深さは0.1mである。

いずれも同様の覆土で、自然堆積である。

(4) ビット群

ビット群は調査区全体に分布し、総数165基に上る。第1地点全体、第2地点中央南側、第3地点西側に集中した分布が見られる。

第1地点

調査区の東西両側に集中して分布している。西側は円形、東側は列状の分布が見られる。前者は何かの施設、後者は柵列、生垣等の可能性がある。形態はやや細長い楕円形のものが多く、規模は長径0.20～0.82m、短径0.14～0.50mで、概ね径0.3～0.5mほどのものが多い。深さは0.13～0.84mで、0.25～0.45mのものが多い。

第13表 第1地点ビット計測表

グリッド	番号	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
H9-G4	1	0.27	0.21	0.45
H9-G4	2	0.27	0.20	0.13
H9-G4	3	0.30	0.21	0.27
H9-G4	4	0.42	0.40	0.58
H9-G5	1	0.48	0.36	0.12
H9-G6	1	0.82	0.33	0.36
H9-G6	2	0.53	0.31	0.40
H9-H4	1	0.25	0.21	0.39
H9-H4	2	0.40	0.32	0.39
H9-H4	3	0.27	0.21	0.24
H9-H4	4	0.34	0.24	0.44
H9-H4	5	0.33	0.30	0.46
H9-H4	6	0.47	0.35	0.24
H9-H4	7	0.38	0.37	0.38
H9-H5	1	0.60	0.37	0.71
H9-H5	2	0.70	0.57	0.30
H9-H5	3	0.58	0.49	0.40
H9-H5	4	0.35	0.33	0.27
H9-H5	5	0.48	0.33	0.27
H9-H6	1	0.47	0.25	0.17
H9-H6	2	0.39	0.37	0.36
H9-H6	3	0.31	0.25	0.21
H9-H6	4	0.47	0.42	0.34
H9-H6	5	0.28	0.25	0.28
H9-H6	6	0.28	0.21	0.20
H9-H6	7	0.42	0.25	0.32
H9-H6	8	0.47	0.41	0.51
H9-H6	9	0.50	0.46	0.36
H9-H6	10	0.56	0.43	0.55
H9-H6	11	0.52	0.42	0.52
H9-H6	12	0.40	0.39	0.53
H9-H6	13	0.55	0.47	0.22
H9-H6	14	0.38	0.25	0.34

グリッド	番号	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
H9-H6	15	0.53	0.46	0.30
H9-B-14	1	0.35	0.31	0.28
H9-B	2	0.20	0.19	0.26
H9-B	3	0.22	0.18	0.22
H9-B	4	0.23	0.23	0.35
H9-B	5	0.21	0.20	0.47
H9-B	6	0.35	0.31	0.34
H9-B	7	0.39	0.30	0.26
H9-B	8	0.34	0.25	0.31
H9-H	1	0.32	0.17	0.29
H9-B-14	2		0.17	0.22
H9-H	3	0.60	0.50	0.16
H9-H	4	0.58	0.30	0.51
H9-H	5	0.44	0.39	0.45
H9-H	6	0.43	0.35	0.27
H9-B	1	0.56	0.51	0.22
H9-B	2	0.36	0.32	0.16
H9-B	3	0.54	0.46	0.24
H9-B-16	4	0.41	0.37	0.50
H9-B	5	0.31	0.26	1.18
H9-A5	1	0.37	0.35	0.40
H9-A5	2	0.26	0.24	0.38
H9-A5	3	0.23	0.20	0.17
H9-A5	4	0.28	0.25	0.24
H9-A5	5	0.30	0.28	0.27
H9-A6	1	0.37	0.34	0.38
H9-B-16	1	0.45	0.41	0.37
H9-B	2	0.31	0.30	0.31
H9-B	3	0.50	0.45	0.40
H9-B	4	0.38	0.37	0.47
H9-B	5	0.29	0.25	0.22
H9-B	6	0.37	0.31	0.21
H9-J3	1	0.28	0.22	0.21
H9-J3	2	0.25	0.22	0.22
H9-J3	3	0.40	0.32	0.54
H9-J3	4	0.27	0.25	0.31
H9-J3	5	0.30	0.28	0.33
H9-J3	6	0.30	0.27	0.41
H9-J3	7	0.22	0.19	0.19
H9-J3	8	0.30	0.27	0.15
H9-J3	9	0.34	0.27	0.20
H9-J3	10	0.37	0.35	0.50
H9-J3	11	0.31	0.16	0.44
H9-J3	12	0.31	0.30	0.26
H9-J3	13	0.40	0.34	0.27
H9-J3	14	0.42	0.38	0.27
H9-J3	15	0.42	0.35	0.28
H9-J4	1	0.22	0.21	0.15
H9-J4	2	0.27	0.22	0.24
H9-J4	3	0.61	0.42	0.46
H9-J4	4	0.28	0.25	0.25
H9-J4	5	0.45	0.41	0.58
H9-J4	6	0.38	0.36	0.45
H9-J5	1	0.46	0.35	0.86
H9-J5	2	0.37	0.34	0.84
H9-J5	3	0.72	0.47	0.43
H9-J5	4	0.26	0.25	0.21
H9-J6	1	0.40	0.32	0.17
H9-J6	2	0.52	0.46	0.54
H9-J6	3	0.40	0.35	0.15
H9-J6	4	0.39	0.39	0.28
H9-J6	5	0.34	0.32	0.56
H9-J6	6	0.47	0.32	0.13

グリッド	番号	長さ(m)	短径(m)	深さ(m)
B9-B6	7	0.28	0.27	0.23
B9-A3	1	0.40	0.34	0.25
B9-A3	2	0.47	0.32	0.23
B9-A3	3	0.41	0.35	0.22
B9-A3	4	0.26	0.25	0.16
B9-A3	5	0.29	0.27	0.21
B9-A3	6	0.43	0.25	0.18
B9-A3	7	0.40	0.30	0.15
B9-A3	8	0.36	0.32	0.14
B9-A4	1	0.32	0.28	0.26
B9-A4	2	0.30	0.26	0.39
B9-A4	3	0.28	0.22	0.15
B9-A4	4	0.15	0.14	0.33
B9-A4	5	0.24	0.22	0.22
B9-A4	6	0.20	0.20	0.15
B9-A4	7	0.24	0.22	0.12
B9-A4	8	0.20	0.20	0.14

第2地点

調査区の中央南側に散在して分布している。調査区西側には土壌群が分布し、ビットに規模が近いものも見受けられることから、調査区の南側、西側を中心に土坑、ビット群が見られるということができよう。形態は円形のものも多く、規模は長さ0.20～0.46m、短径0.19～0.37mで、概ね径0.2～0.3mほどのものが多い。深さは0.19～0.65mである。性格は不明である。

第14表 第2地点ビット計測表

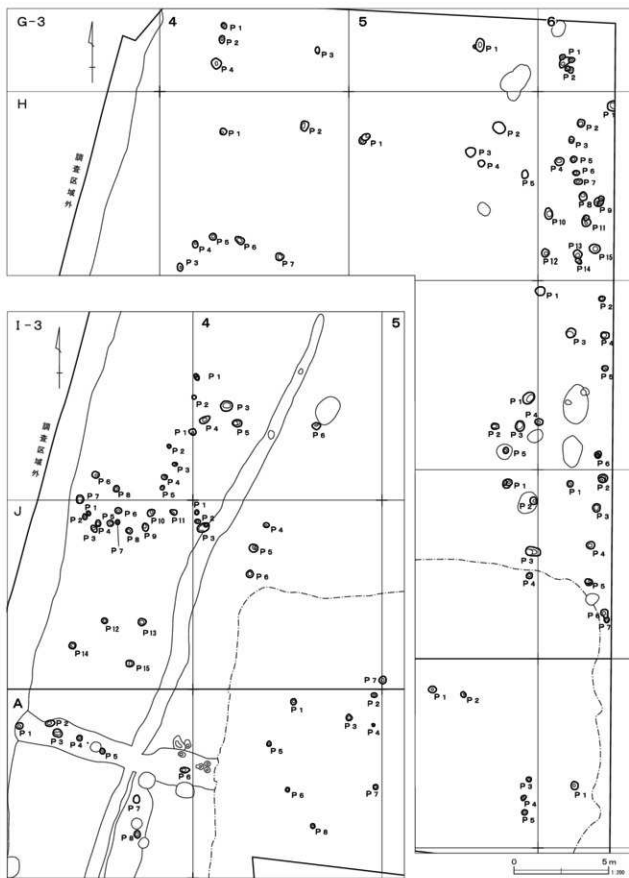
グリッド	番号	長さ(m)	短径(m)	深さ(m)
B9-H1	1	0.38	—	0.20
B9-A3	1	0.20	—	0.31
B9-C3	1	0.24	0.19	0.19
B9-C3	2	0.28	0.26	0.20
B9-C3	3	0.27	0.22	0.36
B9-C3	4	0.35	0.30	0.53
B9-C5	1	0.27	0.23	0.42
B9-C5	2	0.32	0.29	0.46
B9-D5	1	0.46	0.37	0.65
B9-D5	2	0.29	0.25	0.52

第3地点

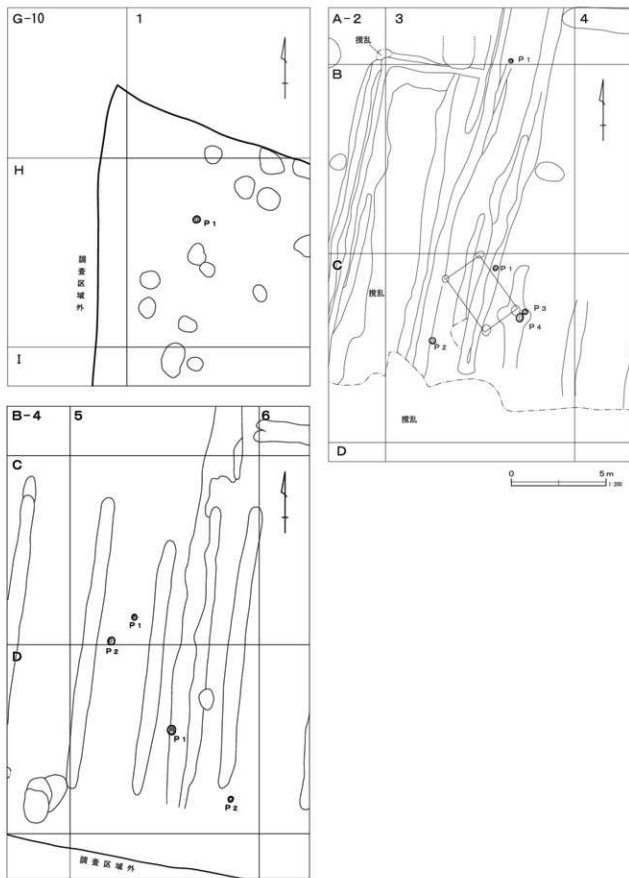
調査区の西側に集中して分布している。J9・D10グリッドに集中した分布が、J10・D～E1～4に隅丸方形形の分布が見られる。何らかの施設の可能性がある。形態は楕円形のものが多い。規模は第1・2地点に比べて大きなものも多く、長さ0.35～1.39m、短径0.32～1.18mで、概ね径0.6～0.9mほどのものが多い。深さは0.09～0.76mで、0.3～0.6mのものが多い。

第15表 第3地点ビット計測表

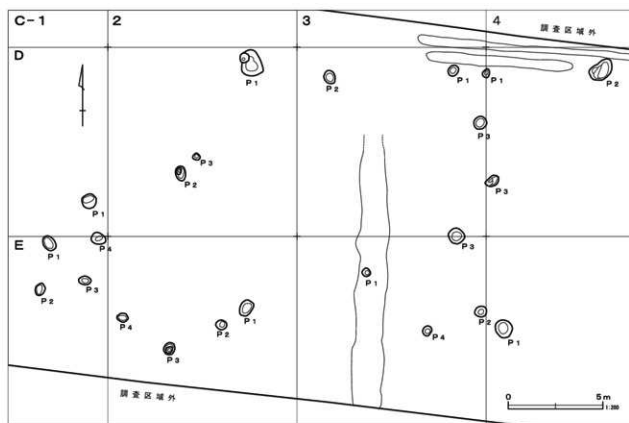
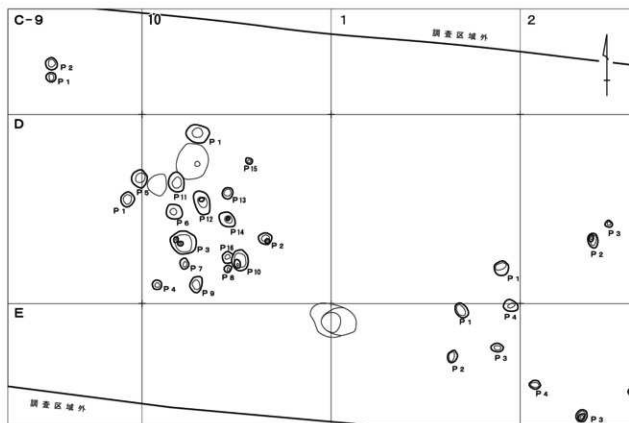
グリッド	番号	長さ(m)	短径(m)	深さ(m)
J9-C9	1	0.65	0.61	0.49
J9-C9	2	0.50	0.50	0.46
J9-D9	1	0.80	0.70	0.20
J9-D10	1	1.25	0.95	0.47
J9-D10	2	0.67	0.60	0.60
J9-D10	3	1.39	1.18	0.55
J9-D10	4	0.53	0.48	0.32
J9-D9-D10	5	0.95	0.90	0.27
J9-D10	6	0.85	0.75	0.30
J9-D10	7	0.57	0.45	0.18
J9-D10	8	0.43	0.32	0.20
J9-D10	9	0.83	0.65	0.56
J9-D10	10	1.10	0.90	0.76
J9-D10	11	1.05	0.83	0.46
J9-D10	12	1.31	0.80	0.73
J9-D10	13	0.55	0.53	0.34
J9-D10	14	0.95	0.66	0.68
J9-D10	15	0.40	0.30	0.28
J9-D10	16	6.00	—	0.40
J10-D1	1	0.79	0.72	0.39
J10-D2	1	1.40	1.05	0.46
J10-D2	2	0.76	0.53	0.55
J10-D2	3	0.35	0.33	0.50
J10-D3	1	0.57	0.54	0.09
J10-D3	2	0.73	0.57	0.17
J10-D3	3	0.68	0.68	0.15
J10-D3-D4	1	0.50	0.48	0.17
J10-D3-D4	2	1.35	0.90	0.23
J10-D3-D4	3	0.77	0.48	0.24
J10-E1	1	0.80	0.60	0.44
J10-E1	2	0.65	0.50	0.28
J10-E1	3	0.60	0.44	0.32
J10-D1 J10-E1	4	0.77	0.45	0.36
J10-E2	1	0.87	0.65	0.40
J10-E2	2	0.50	0.50	0.51
J10-E2	3	0.68	0.56	0.32
J10-E2	4	0.55	0.45	0.19
J10-E3	1	0.43	0.39	0.29
J10-E3	2	0.66	0.47	0.34
J10-D3 J10-E3	3	0.80	0.70	0.34
J10-E3	4	0.53	0.47	0.09
J10-E4	1	0.95	0.90	0.27



第203図 グリッドピット (1)



第204図 グリッドピット (2)



第205図 グリッドピット (3)

(5) グリッド出土遺物

表土掘削、遺構確認等の際に出土し、埴塚遺構を限定できなかったものをグリッドごとに取り上げた。清跡出土遺物同様に、概ね18世紀代の陶磁器が出土している。第3地点からは遺物が出土していない。以下、地点ごとに概要を記す。

第1地点

18世紀の瀬戸美濃鉢、搦鉢、碗、肥前系磁器碗、在地産陶器、焙烙が出土している。肥前系磁器碗には赤絵のものもある。

また、古銭が1枚出土している（第206図1）。

元禄八年（1695）初鋳の所謂「新寛永」である。

第2地点

18世紀の瀬戸美濃皿、大皿、搦鉢、碗、肥前系磁器碗、堺産搦鉢、産地不明の鉄軸が施された搦鉢、常滑甕、在地産陶器、焙烙、陶器片を転用した銅罫りなどが出土している。

また、古銭が1枚出土している（第206図2）。寛文八年（1668）から天和三年（1683）まで鋳造された所謂「新寛永」の「文銭」である。



第206図 グリッド出土遺物

第16表 遺構新旧対照表

新	旧	新	旧	新	旧
第1地点		SK-50	SK2-33	SD7	SD3
SK-6	SK1-17	SK-51	SK2-34	SD8	SD4
SK-8	SK1-18	SK-52	SK2-35	SD9	SD5
第2地点		SK-53	SK2-36	SD10	SD6
SK-17	SK2-1	SK-54	SK2-37	SD11	SD7
SK-18	SK2-2	SK-55	SK2-38	SD12	SD8
SK-19	SK2-3	SK-56	SK2-39	SD13	SD9
SK-20	SK2-4	SK-57	SK2-40	SD14	SD10
SK-21	SK2-5	SK-58	SK2-41	SD15	SD11
SK-22	SK2-6	SK-59	SK2-42	SD16	SD12
SK-23	SK2-7	SK-60	SK2-44	SD17	SD13
SK-24	SK2-8	SK-61	SK2-45	SD18	SD14
SK-25	SK2-9	SK-62	SK2-46	SD19	SD15
SK-26	SK2-10	SK-63	SK2-47	SD20	SD16
SK-27	SK2-11	SK-64	SK2-48	SD21	SD17
SK-28	SK2-12	SK-65	SK2-49	SD22	SD18
SK-29	SK2-13	SK-66	SK2-50	SD23	D19
SK-30	SK2-14	SK-67	SK2-51	SD24	SD20
SK-31	SK2-15	SK-68	SK2-52	SD25	SD21
SK-32	SK2-16	SK-69	SK2-53	SD26	SD22
SK-33	SK2-17	SK-70	SK2-54	SD27	SD23
SK-34	SK2-18	SK-71	SK2-56	SD28	SD24
SK-35	SK2-19	SK-72	SK2-57	SD29	SD25
SK-36	SK2-20	SK-73	SK2-58	第3地点	
SK-37	SK2-21	SK-74	SK2-59	SD30	SD1
SK-38	SK2-22	SK-75	SK2-60	SD31	SD2
SK-39	SK2-23	SK-76	SK2-61	SD32	SD3
SK-40	SK2-24	SK-77	SK2-62	SD33	SD4
SK-41	SK2-25	SK-78	SK2-63	SD34	SD5
SK-42	SK2-26	SK-79	SK2-64	SD35	SD6
SK-43	新	第3地点		欠番	SD7
SK-44	SK2-27	SK-80	SK3-2	SD36	SD8
SK-45	SK2-28	SK-81	SK3-3	第1地点	
SK-46	SK2-29	FP-25	SK3-1	Pr1	H9-G4 47
SK-47	SK2-30	第2地点		Pr2	H9-G4 48
SK-48	SK2-31	SD5	SD1	Pr3	H9-G4 46
SK-49	SK2-32	SD6	SD2	Pr4	H9-G4 49

新	旧		新	旧		新	旧	
Pit1	H9-G5	45	Pit8	H9-I3	86	Pit5	H9-J4	70
Pit1	H9-G6	1	Pit1	H9-I4	59	Pit6	H9-J4	71
Pit2	H9-G6	2	Pit2	H9-I3-I4	60	Pit7	H9-J4	37
Pit1	H9-H4	50	Pit3	H9-I4		Pit1	H9-J5	26
Pit2	H9-H4	52	Pit4	H9-I4	63	Pit2	H9-J5	105
Pit3	H9-H4	58	Pit5	H9-I4	62	Pit3	H9-J5	28
Pit4	H9-H4	57	Pit6	H9-I4	61	Pit4	H9-J5	20
Pit5	H9-H4	56	Pit1	H9-I5	32	Pit1	H9-J6	104
Pit6	H9-H4	54	Pit2	H9-I5	25	Pit2	H9-J6	103
Pit7	H9-H4	55	Pit3	H9-I5	107	Pit3	H9-J6	102
Pit1	H9-H5	53	Pit4	H9-I5-I6	108	Pit4	H9-J6	101
Pit2	H9-H5	16	Pit5	H9-I5	106	Pit5	H9-J6	29
Pit3	H9-H5	19	Pit1	H9-I5-I6	21	Pit6	H9-J6	111
Pit4	H9-H5	18	Pit2	H9-I6	22	Pit7	H9-J6	112
Pit5	H9-H5	17	Pit3	H9-I6	31	Pit1	I9-A3	90
Pit1	H9-H6	44	Pit4	H9-I6	23	Pit2	I9-A3	91
Pit2	H9-H6	3	Pit5	H9-I6	24	Pit3	I9-A3	92
Pit3	H9-H6	4	Pit6	H9-I6	27	Pit4	I9-A3	93
Pit4	H9-H6	5	Pit1	H9-J3	83	Pit5	I9-A3	94
Pit5	H9-H6	6	Pit2	H9-J3	84	Pit6	I9-A3	95
Pit6	H9-H6	7	Pit3	H9-J3	82	Pit7	I9-A3	116
Pit7	H9-H6	8	Pit4	H9-J3	81	Pit8	I9-A3	96
Pit8	H9-H6	9	Pit5	H9-J3	80	Pit1	I9-A4	42
Pit9	H9-H6	10	Pit6	H9-J3	78	Pit2	I9-A4	36
Pit10	H9-H6	43	Pit7	H9-J3	79	Pit3	I9-A4	38
Pit11	H9-H6	11	Pit8	H9-J3	87	Pit4	I9-A4	35
Pit12	H9-H6	15	Pit9	H9-J3	77	Pit5	I9-A4	41
Pit13	H9-H6	13	Pit10	H9-J3	76	Pit6	I9-A4	39
Pit14	H9-H6	14	Pit11	H9-J3	75	Pit7	I9-A4	34
Pit15	H9-H6	12	Pit12	H9-J3	114	Pit8	I9-A4	40
Pit1	H9-I3-I4	64	Pit13	H9-J3	115	Pit1	I9-A5	33
Pit2	H9-I3	65	Pit14	H9-J3	89	Pit2	I9-A5	30
Pit3	H9-I3	66	Pit15	H9-J3	88	Pit3	I9-A5	97
Pit4	H9-I3	67	Pit1	H9-J4	72	Pit4	I9-A5	98
Pit8	H9-I3	68	Pit2	H9-J4	73	Pit5	I9-A5	99
Pit6	H9-I3	113	Pit3	H9-J4	74	Pit1	I9-A6	100
Pit7	H9-I3-J3	85	Pit4	H9-J4	69			

V 調査のまとめ

(1) 調査の成果

清河寺前原遺跡は、大宮台地西縁に位置する。遺跡は滝沼川によって複雑に開析された樹枝状台地上に立地しており、周辺に大木戸遺跡、西大宮バイパス№5遺跡、高木道下遺跡、高木道下北遺跡等がある。遺跡の標高は16~17mで、低地との標高差は約4mある。

発掘調査によって、旧石器時代と縄文時代、中・近世の遺構と遺物が検出された。以下その概要を述べる。

旧石器時代

旧石器時代は、4枚の文化層から石器集中が18箇所検出された。

第1文化層は、槍先形尖頭器を主体とする石器群で、遺物の出土層位は第Ⅲ層(ソフトローム層)中である。石器集中は第1地点の石器集中1、第2地点の石器集中5の2箇所である。石器集中1は、黒曜石製の槍先形尖頭器1点と焼礫が少数検出された。石器集中5は、硬質頁岩製の槍先形尖頭器3点と剥片類が検出されている。2つの石器群は、槍先形尖頭器の形態や石器石材の運用から、時期差が想定されるが、出土地点が離れていることから、詳細は不明である。大宮台地では当該期の調査例が少なく、新しい資料の提示としての意味は大きいと考えられる。

第2文化層は、砂川期からナイフ形石器終末期の石器群で、遺物は第Ⅲ層から第Ⅳ層にかけて出土した。第2地点の石器集中6が該当する。当該期の石器群は、隣接する大木戸遺跡、西大宮バイパス№5遺跡から出土している。

(2) 第4文化層の石器群について

大宮台地の石器編年は、田代 治による1997年の論考と、西井が2004年に検討を行っている。2つの編年にはほとんど齟齬はないが、後期旧石器

第3文化層は、岩宿Ⅱ期の石器群である。大宮台地で最も遺跡数が増える時期である。遺物の出層位は第Ⅳ層(ハードローム層)中であるが、本遺跡では第Ⅳ層上面から出土している。第1地点の石器集中2は焼礫の分布を伴っており、分布範囲が拡散しているが、一つの石器集中として捉えた。第2地点の石器集中7は、第4文化層の環状ブロック群(石器集中8~18)の北側に隣接しているが、出土層位等から分離した。

出土石器は、切出状のナイフ形石器が出土しているが、いずれも小規模である。

第4文化層は、後期旧石器時代前半、第Ⅳ~Ⅴ層(第2暗色帯)中の石器群である。第1地点と第2地点から発見された。特に第2地点の石器集中8~18は、埼玉県において最も良好な石器群である。

縄文時代

縄文時代は、早期と後期の遺構・遺物がみつまっている。

早期は、第2・3地点の台地南縁Ⅱ部付近からガ穴25基が検出された。後期は、第1地点の第4号土層から深鉢形土器の下半分が出土した。他は、土層4基と集石土層1基が検出されている。

中世以降近世

第1地点は、溝跡4条と土層14基が検出された。第2・3地点は、掘立柱建物跡1棟と溝跡32状と土層62基が検出された。区画溝に囲まれた畑の跡と考えられる。

時代前半(AT降灰以前)を田代は、Ⅰ期からⅢ期に時期区分し、Ⅰ期を武蔵野台地基本層位の第Ⅳ~Ⅴ層、Ⅱ期を第Ⅵ層、Ⅲ期を第Ⅶ層に對比し

ている。これに対し、西井は当該期の遺跡数が少なく、層位的に分離が難しいことから、大枠として1期としa～c群と石器群の違いとした。

清河寺前原遺跡第4文化層は、第Ⅶ～Ⅷ層（第2暗色帯）中から出土している。石器集中は、第1地点から2箇所、第2地点から11箇所検出された。

本石器群は、田代の1期、西井の1期a群に相当する。この時期の遺跡は、さいたま市明花向遺跡A区と大木戸遺跡1次調査第3文化層（西大宮バイパス№6遺跡）、西大宮バイパス№5遺跡第3文化層が挙げられる。この3遺跡の中で、明花向遺跡A区だけが、第2暗色帯より下層のハードルーム層（報告書では第Ⅳ層と表記しているが、武蔵野台地基本層位では第Ⅷ層に対比される）中から出土しており、他の2遺跡は第Ⅶ～Ⅷ層（第2暗色帯）中から出土している。

清河寺前原遺跡の第1地点と第2地点は、約120m離れており石器群の様相が大きく異なっている。第1地点は小規模な石器集中が2箇所近接しており、Toolは掻・削器1点で、他は剥片類と石核だけである。また、石器石材はガラス質黒色安山岩と流紋岩が多く用いられている。一方、第2地点は、石器集中11箇所が環状ブロック群を呈しており、石器点数は約1,400点である。Toolはナイフ形石器26点、台形練石器19点と石錐、掻・削器等が出土し、石器石材は黒羅石が主体を占めている。しかし、両地点の石器群は第Ⅶ～Ⅷ層（第2暗色帯）中から検出されており、当遺跡において層位的に新旧関係を検討するのは難しい。また、大宮台地内に当該石器群の分析に対応する資料は殆ど無く、現状で2つの石器群の関係を云々出来る状況ではない。

環状ブロック群は大宮台地で初めての発見例であり別項で述べることとして、ここでは、第1地点の石器群をみて行くことにする。

第1地点の石器集中3・4は隣接しており、接

合関係は無いが、層位・石器石材等から同時期の所産と考えられる。石器点数は、石器集中3は44点、石器集中4は9点である。石器集中3は炭化物粒子の集中が伴っている。

定型的な石器は殆どなく、僅かに石器集中3から掻・削器（第21図1）が出土しただけである。石器石材は、ガラス質黒色安山岩と流紋岩が多く用いられている。剥片剥離をみるとガラス質黒色安山岩は、剥片素材で求心状の石核（第25図20）と、剥片の正面から主要剥離面方向にスライスする（第25図19）石核がある。剥片類は、小形貝殻状のものが殆どである。流紋岩は小形の剥片類が多く、形状は縦長・貝殻状がみられる。メノウ製は点数が少ないが、単独出土を含め縦長を呈するものがある。

大宮台地の当該期遺跡は、明花向遺跡A区は層位的に古くなるが、石器集中4箇所から218点が出土している。石器石材は、安山岩（ガラス質黒色安山岩）、チャート、メノウが用いられている。Toolは掻・削器と彫器が僅かに組成している。剥片剥離は求心状の石核と接合資料、大形厚手の剥片を素材に、主要剥離面を取り込むように、連続して剥離する接合資料がみられる。

清河寺前原遺跡と谷を挟んで、当該期の2遺跡が隣接している。大木戸遺跡（第1次調査）は、石器集中1箇所から186点出土している。石器石材は緻密黒色安山岩（ガラス質黒色安山岩）、黒色頁岩、チャート等である。Toolは無く剥片類と石核が出土している。剥片剥離は求心状の石核が出土している。

西大宮バイパス№5遺跡は、石器集中2箇所から200点出土している。Toolは台形練石器、礫器、殻石が出土している。石器石材は、頁岩、珪質頁岩、ガラス質黒色安山岩（田代 1997）である。

以上、当該期の遺跡を概観したが、Toolが非常に少なく、ガラス質黒色安山岩の使用頻度が高い点は共通している。また、剥片剥離は求心状の石

核が検出され、他の時期に比べ接合する資料が目につく、遺跡は小規模であるが、遺跡内で剥片剥離作業が行われていることが窺える。また、西大宮バイパスNo.5 遺跡出土の台形様石器は、石器石

材によるためか第2地点出土の台形様石器に比べて、調整加工は平坦剥離のみで粗く、大きさに比べて薄手である。

(3) 環状ブロック群について

石器集中8-18は、径約15mの範囲に遺物の密集部が環状に並び、その周辺からも多くの石器が出土している。密集部を石器集中とし、その周辺をエリアとした。石器集中は11箇所認められ、分布域全体を3つのエリアに区分した。この様な、遺物分布の在り方は、当該期に特徴的な環状ブロック群と呼称されている。

環状ブロック群は、群馬県下触牛伏遺跡で径約50mの環状に石器集中が分布するという、極めて特徴的な在り方から注目された。それ以後、類例が群馬県と千葉県を中心に発見されている。

橋本勝男は1989年に環状ブロック群を、後期旧石器時代前半（武蔵野台地第2暗色帯中とその下層（第X層））に時期的に限られる。規模は大小に区分できる。他の石器集中と隔絶ないし孤立している。台形様石器を出土する遺跡と関連性などが指摘されている。現象面としての環状ブロック群の特徴は、ほぼ把握されている。

その後、環状ブロック群を「単位集団の一定期間内における生活の行動様式」（橋本 1989）の分析と解釈を主題に、狩猟・採集社会に於ける集団形態との関連が議論された。この魅力的なテーマを題材に、1993年に第1回岩宿フォーラム／シンポジウムで「環状ブロック群—一岩宿時代の集落と実像にせまる—」、2005年に日本旧石器学会第3回シンポジウム「環状集落—その機能と展開をめぐって—」が開催され、他にも環状ブロック群を取り上げた論文等が多数出され、形成の要因について諸説が提示されている。小菅将夫はこれを「石器交換説」「祭祀場説」「外部警戒説」「紐帯確認説」「大形獣狩猟説」「折衷説」として整理

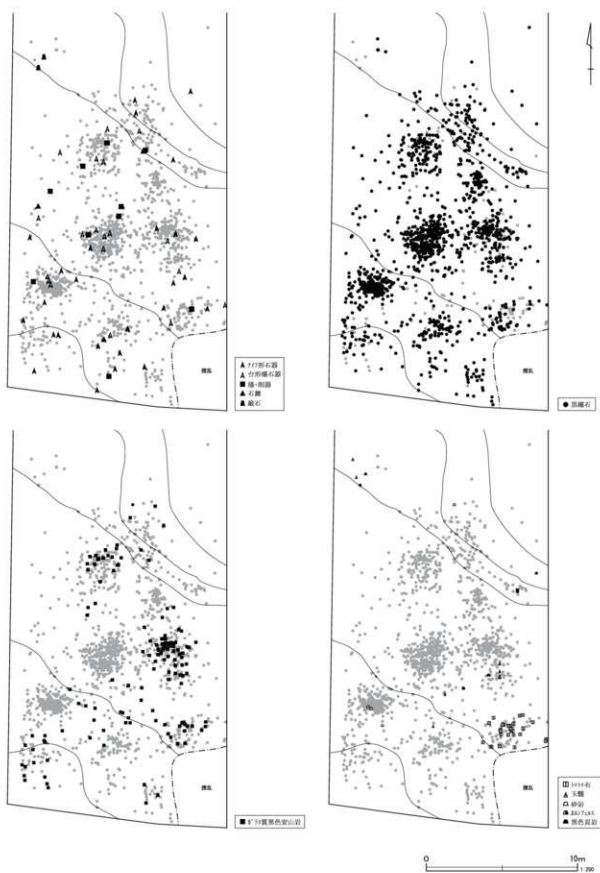
しており、形成の要因は一つではなく、重層的であるとしている。

栗島義明は「集団形態を遺物分布規模の大小へと直接的に対比する点の危険性」を指摘し、環状ブロック群すなわち大規模遺跡ではなく、遺物の点数及び遺跡空間での個体消費を比較することで、環状ブロック群を弁別する必要性を説いている。その中で、環状ブロック群を集団統合の形態的反映と理解できるのは下触牛伏遺跡など限られるとしている。栗島は環状を呈する要因を、接合関係等からブロック群の形成が比較的短期間であること、多くの遺跡が石刃等の製作痕跡を留めないのに対し、逆に環状ブロック群では石刃等があまり出土していない点に注目し「石材獲得のネットワークの中でこうした環状ブロック群を理解」（栗島 1993）し意識的に追及しなければならないとしている。

春成秀爾は大規模遺跡と小規模遺跡の関連を、集団の季節的離合集散と考えており、大工原豊は環状ブロック群を大形獣狩猟のための季節的離合集散の結果としている。

橋本勝男は、後期旧石器時代前半を特徴づけるものとして、環状ブロック群と石斧をとりあげ、2つの関連に注目している。環状ブロック群における石斧の出土量は、規模に関わらず、ほぼ一定しており、例外的に多い日向林B遺跡等を除くと、石器の使用頻度が高く、環状部から出土する傾向が指摘されている。

小菅将夫は、環状ブロック群を規模によって、直径40mを超える大形、直径20～30mの中形、直径20m以下の小形にわけ、大・中形には中央部に



第207図 環状ブロック群の器種・石器石材分布

石器集中があり、小形のものには存在しない場合が多いとしている。例外としては、静岡県中見代第1遺跡が挙げられている。

中見代第1遺跡第V文化層は、A区の環状ブロック群に隣接してB区から石器集中1箇所検出されている。遺物の総数は1,856点でB区から65点出ているので、A区は約1,800点になる。器種組成はナイフ形石器1点、台形様石器18点、石斧4点等である。

大宮台地は当該期の遺跡の発見例が少なく、環状ブロック群は清河寺前原遺跡で初めての発見である。大宮台地と自然地理的に関係が深いのは、群馬県の赤城山南麓地域である。現在は埼玉県と群馬県の県境に利根川は流れているが、当時は大宮・館林台地として赤城山南麓まで一体の地域であった。その為、当該地域との比較が有効と考えられる。

高津秀章は、赤城山南麓地域に分布する、遺跡群の分析をおとして、環状ブロック群を直径約50m規模のものを大型環状ブロック群、直径約20m程度程度のものを中型環状ブロック群と区分し、前者は原産地が異なる石器の分布状況によって、分節化される複数の単位集団によって形成された遺跡として捉え、後者を単一原産地の石材を用いた単位集団とし、大型環状ブロック群を中型環状ブロック群の集合体として解釈している。

清河寺前原遺跡の環状ブロック群を、上記で検討した先行研究の成果と比べると、径約15mで小形の小形、津島の中型規模であるが、遺物総数は約1,400点を多く、環状の中央部に石器集中が在る点は、小菅が例外とした中見代第1遺跡と環状ブロック群と近似している。また、石器点数も中見代第1遺跡が約1,800点、清河寺前原遺跡が約1,400点とほぼ同規模であり、津島が中型とした群馬県の遺跡群が400～500点程度である点とも異なる。ちなみに大形環状ブロック群とした下鴨牛伏遺跡が約2,000点である。

この様に、清河寺前原遺跡の環状ブロック群は、径は小さいが、遺物点数及び石器群の内容は、小形環状ブロック群に取まるものではない。

また、石器石材は、黒曜石が88%、ガラス質黒色安山岩9%、トトロ石2%と黒曜石が主体を占めている。黒曜石は産地分析を行っていないので確定的なことは言えないが、関東地域で良質(信州系)の黒曜石が多用されている遺跡は少なく、中部地域を含めて広範囲での検討が必要である。

次に、遺跡内でのToolおよび石器石材の分布をみて行くことにする(第20頁図)。

Toolの分布は、ナイフ形石器・台形様石器は大きな偏在はみられず、環状部と中央の石器集中から出土している。掻・削器は環状の北側部に分布が偏る傾向がみられ、中央の石器集中周辺に3点がまとまっている。石錐は点数が少ないので、分布の傾向と言えるかわからないが、環状の西側にそれぞれ離れて分布している。敲石は環状部から北側にやや離れた石器集中18から、2点近接して出土している。他の環状ブロック群でよくみられるToolの分布の偏在は、本環状ブロック群ではあまりみられない。

次に黒曜石の分布は、全体の88%を占めているため逆に偏在はみえにくい。全体の傾向としては西側に密に分布している。

ガラス質黒色安山岩は、環状部北側の石器集中11に密集し、北側の石器集中9とその周辺に分布のまとまりがみられる。南側は広範囲に明確な密集部を形成せずに分布している。

トトロ石は、環状部の南西部、石器集中12にまとまり、分布の広がりはない。石器集中12はガラス質黒色安山岩も多く分しており、黒曜石の比率が52%と低くなっている。

その他の石材は、環状部にそれぞれの石材ごとに数点単位で、出土している。

主体を占める黒曜石は、大形の剥片類と石核・

原石が多く、接合の結果、原石の形状が想定できる資料(第129・131図)がある。また、剥片類の正面に自然面を残すものが多く、遺跡内でToolの素材剥片作出等の作業が活発に行われていたことが窺える。

以上、清河寺前原遺跡の環状ブロック群を概観したが、若干の整理をしておく。

環状の規模は約15mと小さいが、石器総数やToolの組成、中央部に集中度の高い石器集中を持つ点など、小形環状ブロック群の範疇で捉える事は出来ない。また、Toolの分布に偏在があまりない点、石斧を組成しない点など、多くの環状ブロック群と異なっている。それが、大宮台地の地理的特殊性なのかは不明である。

清河寺前原遺跡は、黒曜石原産地から遠隔地域

であるにも関わらず、黒曜石が多く出土している。接合資料及び、剥片類の正面に残された自然面の割合から、遺跡内で原石から剥片剥離が活発に行われていたことが窺える。

関東地域で、良質の黒曜石を集中的に利用している遺跡はあまり種類が無く、ナイフ形石器・台形様石器の特徴から中部地域を含めた広域で比較検討する必要がある。

大宮台地は当該期の遺跡が少なく、小規模である。その中で、清河寺前原遺跡の環状ブロック群は規模・石器群の内容等が突出している。現状では、資料的制約は大きいだが、今後、清河寺前原遺跡と黒曜石原産地の関係、大宮台地内における清河寺前原遺跡の位置付けの2面性を検討していかなければならないと考える。

(4) 環状ブロック群出土の石器

清河寺前原遺跡の環状ブロック群で主体を占める石器石材は、良質の黒曜石である。

大宮台地の旧石器時代を通時的にみると、遺跡ごとに黒曜石の使用に偏在が大きく、特に岩宿Ⅱ期は黒曜石を主体的に用いる遺跡と、ほとんど使われない遺跡がある。しかし、田代のⅠ・Ⅱ期、西井のⅠb・c期は、ガラス質黒色安山岩が多く用いられており、黒曜石は殆ど使われていない。関東地域に視野を広げると、下総台地では黒曜石を比較的多く用いられているが、殆どが高原山産黒曜石とされており、清河寺前原の黒曜石石器群とは異なっている。また、赤城山南麓は、ガラス質黒色安山岩、黒色頁岩が多用されており、黒曜石が主体遺跡は安中市古城遺跡、前橋市内堀遺跡、吉井町長根遺跡群が挙げられる程度である。

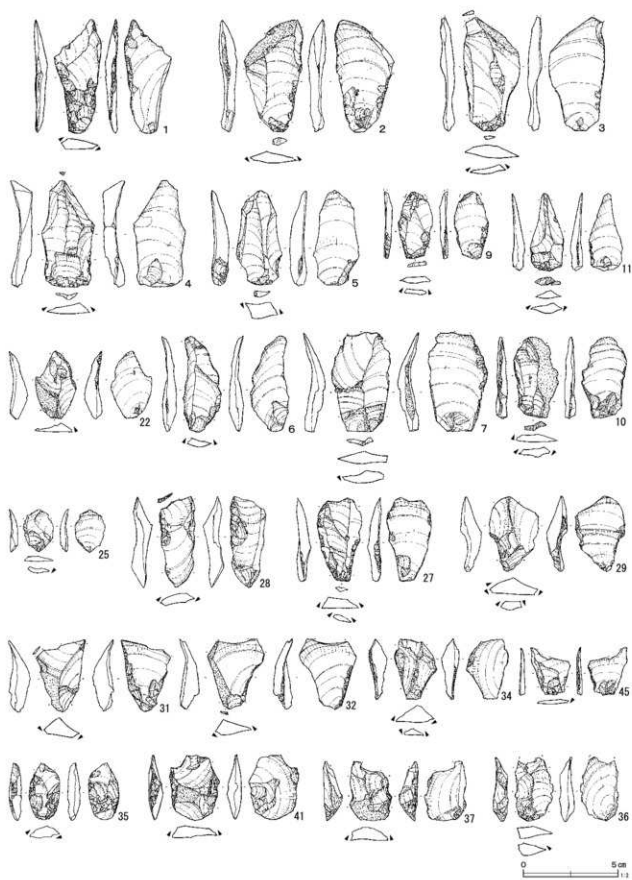
良質の黒曜石が主体的に用いられているのは、島田和高が「黒曜石利用のバイオニア期」で取り上げた、原産地遺跡の追分遺跡と消費地遺跡の野尻湖遺跡群がある。それに加え、山梨県の横針前久保遺跡と群馬県の内堀遺跡から、良好な資料が

出土している。

清河寺前原遺跡の黒曜石は、肉眼観察であるが、良質なものが多く信州系と思われる。今後産地分析を行い、詳しい検討を行う必要があるが、今回はナイフ形石器及び台形様石器の形態的特徴から、上記の遺跡と比較する。

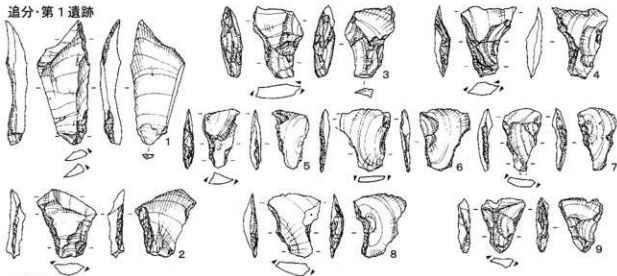
清河寺前原遺跡はナイフ形石器26点、台形様石器19点の合計45点である。ナイフ形石器と台形様石器の区分は必ずしも明確ではなく、形態は漸移的に変わっており、便宜的に分類した部分がある。他の遺跡との比較の際にナイフ形石器と台形様石器をあわせて、検討して行くことにする。

ナイフ形石器・台形様石器の剥片素材は、縦長の剥片と貝殻状剥片がみられる。前者とナイフ形石器、後者と台形様石器の結びつきが強いが、台形様石器に関しては、素材剥片の用い方は多様である。ナイフ形石器と分類したものは、打面を基端面に残すものが多く、台形様石器は貝殻状剥片を、横に用いるものが含まれる。調整加工は、平坦剥離と微細剥離を主体であるが、Blunting加工

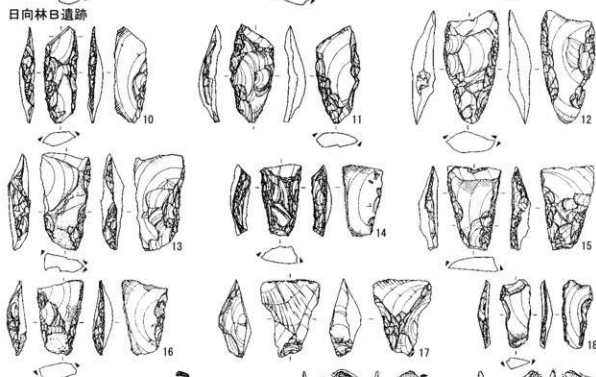


第208図 清河寺前原遺跡出土のナイフ形石器・台形核石器

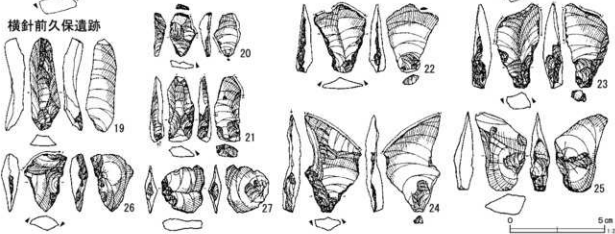
追分・第1遺跡



日向林B遺跡



横針前久保遺跡



第209図 関連遺跡のナイフ形石器・台形様石器

も一定量みられる。調整加工の特徴として、両側縁の加工方向が同一方向ではなく、左右回転させているもの（1・2・5・10・11・28・29・31・32・34・35）が目につく（第208図）。

追分遺跡（第209図）

長野県長和町の鷹山黒曜石原産地遺跡群内に所在する。

5枚の文化層が確認され、今回対象とするのは第5文化層である。

遺物分布は約10×20mの範囲から、石器集中5箇所検出されたが、環状ブロック群は形成していない。資料総数は936点である。器種組成は、ナイフ形石器2点と台形様石器26点、石錐、搔・削器、敲石等が出土し、石斧は出土していない。

ナイフ形石器は（第209図1）は、清河寺前原遺跡の1～3と形態が似ている。台形様石器は貝殻状剥片を横に用いたものが多く、側縁に抉るのを入れているのが特徴である。調整加工は平坦剥離と微細剥離が用いられており、左右回転させたものが多い。

日向林B遺跡（第209図）

長野県信濃町の野尻湖遺跡群内に所在する。

長径約30m、短径約25mの範囲に、石器集中30箇所が密集する、環状ブロック群である。石器総点数は約9,000点で、器種組成は台形様石器59点、搔・削器276点、石斧60点等である。石斧が最も多く出土した遺跡で、環状ブロック群の分析では下融半伏遺跡と並んで、常に取り上げられている。

剥片Toolは、台形様石器と搔・削器と貝殻状刃器とした剥片が多く出土している。日向林B遺跡では、素材剥片を横に用いているため台形様石器と分類しているが、大形の一部は他の遺跡のナイフ形石器と近い形態をしているものがある。調整加工は、比較的大形のものには平坦剥離が多用され、中形から小形のものにBlunting加工が多く用いられている。調整加工の方向は、左右回転させているものが多い。

横針久保遺跡（第209図）

山梨県長坂長に所在し八ヶ岳南麓の標高800m付近に位置する。遺跡は斜面地であるため、若干の移動は想定されるが、遺物集中は石器集中10箇所が径約40mの範囲にまとまるが、環状ブロック群は呈していない。

石器総数は197点と少ないが、ナイフ形石器10点、台形様石器8点、局部磨製石斧2点、石錐4点等、器種の組成は充実している。

石器石材は、黒曜石が59%を占めている。ナイフ形石器は、縦長の剥片を素材とし基端面に打面を残すものが多く、調整加工はBlunting加工又は平坦剥離が施されている。清河寺前原遺跡で多い微細な剥離はあまりみられない。台形様石器は、折衝と平坦剥離が多用されている。

内堀遺跡

群馬県前橋市に所在し、他の遺跡と比べると近い距離にある。

石器群はA区とB区の2箇所から検出されており、ここではA区の石器群を検討する。

遺物総数は319点と少ないが、ナイフ形石器20点、台形様石器11点、石斧が4点出土している。石器石材は黒曜石が92%を占めている。Toolは縦長剥片を素材としたものが目立ち、ナイフ形石器の多くは、打面を基端面に残した基部加工である。台形様石器は左右端を折衝したものがある。石器群の形態から編年的にやや新しくなると思われる。

以上、清河寺前原遺跡と黒曜石石器群の遺跡を概観したが、石器石材によるためか非常に似た石器群という印象を受ける。しかし、素材剥片の使い方、調整加工等は遺跡ごとに違いがあり、日向林B遺跡では、台形様石器のみでナイフ形石器は出土していない。

それぞれの石器をみると違いはあるが、清河寺前原遺跡や日向林B遺跡のように、黒曜石原産地から遠距離にありながら、黒曜石が多量に持ち込まれ、活発に剥片剥離が行われており、ナイフ形

石器・台形様石器が40～50点出土している。また、横針前久保遺跡や内堀遺跡のように遺物総数が200～300点と少ないのに、ナイフ形石器・台形様石器が20～30点と高い割合で出土している。

黒曜石原産地と遠距離にある遺跡は、野尻湖遺跡群（日向林B遺跡等）を除くと、黒曜石を集中的に持ち込んでいる遺跡は、点的にしか存在しておらず、黒曜石の流通形態を考えるのに示唆的

である。しかし、現状では清河寺前原遺跡等から持ち出されたと考えられる石器群は見つかっておらず、立体的な遺跡群の在り方は分かっていない。環状ブロック群の形成要因とともに、黒曜石が集中的に持ち込まれた遺跡の分析が重要になると考える。今後、黒曜石の産地推定分析を実施し、より詳細な検討を行うことにする。

参考・引用文献

- 安藤政雄・小菅将夫・島田和 1999 「月野遺跡群と槍先形尖頭器」〔大和市史研究〕第25号 大和市役所総務部情報資料室編
- 大竹幸恵他 2001 「県道男女倉長門線改良工事に伴う発掘調査報告書―鷹山遺跡群第1遺跡および追分遺跡群発掘調査―」長門町教育委員会
- 栗島義明 1993 「環状ブロックの構成」〔環状ブロック群―岩宿時代の集落の実像にせまる―〕第1回岩宿フォーラム/シンポジウム
- 小菅将夫 2006 「赤城山麓の三万年前のムラ下融牛伏遺跡」泉水者
- 島田和 2008 「氷河期の山をひらき、海をわたる―日本列島人類文化のバイオニア期―」明治大学博物館
- 島田和 2009 「黒曜石利用のバイオニア期の環状のムラの消滅」〔シンポジウム 東アジアの新人の拡散とOIS3の日本列島〕日本第四紀学会研究委員会
- 大工原豊 1993 「環状ブロック群が形成された背景―離合集散の要因について―」〔環状ブロック群―岩宿時代の集落の実像にせまる―〕第1回岩宿フォーラム/シンポジウム
- 田代 治他 1989 「西大宮バイパスNo.5遺跡」大宮市遺跡調査会報告第24集
- 田代 治他 1995 「西大宮バイパスNo.6遺跡」大宮市遺跡調査会報告第48集
- 田代 治 1997 「大宮台地の概要」〔埼玉考古別冊第5号―特集号 埼玉の旧石器時代〕埼玉考古学会
- 田中英司他 1984 「明花向・明花上ノ台・井沼方馬堤・とうのこし」埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第35集
- 津島秀章 2009 「集落と分散―石器原産地分析からみた中型環状ブロック群の構造―」〔研究紀要27〕群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 土屋 積・谷 和隆 2000 「上越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書15 信濃町内その1―日向林B遺跡・日向林A遺跡・七ツ栗遺跡・大平B遺跡」長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書48
- 西井幸雄 2004 「大宮台地における石器群の変遷」〔山下秀樹氏追悼考古論集〕
- 西井幸雄他 2008 「大木戸遺跡Ⅰ」埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第355集
- 橋本勝男 1989 「AT降灰以前における特殊な遺物分布の様相―いわゆる「環状ユニット」について（その1）―」〔考古学ジャーナル〕309
- 橋本勝男 2006 「環状ユニットと石斧の関わり」〔旧石器研究〕第2号 日本旧石器学会
- 春成秀嗣 2001 「更新世末の大形獣の絶滅と人類」〔国立歴史民俗博物館研究報告〕第90集 国立歴史民俗博物館
- 前原 豊 1998 「内堀遺跡群内堀遺跡」〔第5回石器文化研究交流会―発表要旨―〕石器文化研究会他
- 村石眞道・小林 稔他 2000 「横針前久保遺跡・米山遺跡」山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第176集